おじどうさん

Robotic Process Automation

ユーザーマニュアル

User Manual

※本マニュアルは、Ver.1.40.3 以降が対象となります。

内容

1. おじどうさん実行環境 8
2. はじめに 9
2.1. インストール方法 9
2.2. 起動方法 9
2.3. 終了方法 10
2.4. 自動アップデート 11
2.5. ファイアウォールの例外設定（ライセンス認証ができない場合） 12
2.6. Internet Explorer v11 操作の設定 16
2.6.1. IE の保護モードを有効にする 16
2.6.2. 拡張保護モードを無効にする 18
2.6.3. IE のズームレベルを 100%に設定する 19
2.6.4. ディスプレイのテキストサイズを 100%に設定する 19
2.6.5. レジストリ設定 20
2.6.6. Microsoft Edge の IE モードやユーザ情報引継でブラウザ起動できない場合 21
3. 単語表 22
4. おじどうさん画面説明 23
4.1. ライセンス認証画面 23
4.1.1. ライセンス認証手順（通常） 23
4.1.2. ライセンス認証手順（オフライン） 24
4.2. スケジュール画面 25
4.2.1. シナリオ一覧メニュー 26
4.2.2. シナリオ操作メニュー 26
4.2.3. メニューボタン 27
4.3. シナリオ編集画面 35
4.3.1. コマンドカテゴリ 36
4.3.2. メニューボタン（シナリオ編集画面） 38
4.3.3. シナリオ操作メニュー 39
4.3.4. ログの一覧表示 40
4.3.5. コマンドのブックマーク 41
4.3.6. コマンドの無効化・有効化 42
4.3.7. キーワード検索 43
4.3.8. 設定した参照 ID で一部実行 44
5. 基本操作 46
5.1. シナリオ作成方法 46
5.2. シナリオ保存 47
5.3. シナリオ実行 47
5.4. シナリオ実行の停止 48

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

5.5. シナリオ名の変更 49
5.6. スケジュール実行設定 50
5.6.1. シナリオ別スケジュール設定 50
5.6.2. スケジュール一覧 55
5.6.3. スケジュールのカレンダー表示 56
5.6.4. スケジュール実行結果の表示 58
6. コマンド説明 59
6.1. アプリ・画面 59
6.1.1. アプリ ＞ 起動 59
6.1.2. 画面 ＞ 最前画面を覚える 60
6.1.3. 画面 ＞ 画面を覚える（名前） 61
6.1.4. 画面 ＞ 切り替え（参照 ID） 61
6.1.5. 画面 ＞ 切り替え（名前） 62
6.1.6. 画面 ＞ 画面の名前を取得 64
6.1.7. 画面 ＞ 移動 65
6.1.8. 画面 ＞ 最大化／最小化 66
6.1.9. 画面 ＞ スクリーンショットを撮る 67
6.2. 待機・終了・エラー 68
6.2.1. 秒 68
6.2.2. 画像出現を待つ 69
6.2.3. 続行確認 72
6.2.4. タイマー付き続行確認（秒） 73
6.2.5. コマンド間待機時間を変更 74
6.2.6. 作業強制終了 75
6.2.7. エラー発生 75
6.2.8. エラー確認・処理 76
6.2.9. エラー確認・処理（リトライ前処理） 78
6.3. マウス 80
6.3.1. 移動 ＞ 座標 80
6.3.2. 移動 ＞ 距離 81
6.3.3. 移動 ＞ 画像認識 82
6.3.4. ドラッグ＆ドロップ ＞ 座標（D&D） 83
6.3.5. ドラッグ＆ドロップ ＞ 距離（D&D） 84
6.3.6. ドラッグ＆ドロップ ＞ 画像認識（D&D） 86
6.3.7. マウスクリック 89
6.3.8. スクロール 89
6.4. キーボード 90
6.4.1. 入力 ＞ 文字 90
6.4.2. 入力 ＞ 文字（貼り付け） 91

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.4.3. 入力 > パスワード 92
6.4.4. ショートカット 93
6.5. 記憶 96
6.5.1. 文字 96
6.5.2. パスワード 97
6.5.3. 環境情報 98
6.5.4. 日付 99
6.5.5. 日付（営業日） 100
6.5.6. 日付（曜日） 103
6.5.7. 日付計算 105
6.5.8. 曜日 108
6.5.9. 時刻 110
6.5.10. 時刻計算 111
6.5.11. 計算 113
6.5.12. 乱数 116
6.5.13. コピー内容 118
6.5.14. クリップボードへコピー 119
6.5.15. 実行中に入力 120
6.5.16. ファイル更新日時 121
6.5.17. ファイルサイズ 122
6.5.18. 最新ファイル・フォルダ名 124
6.6. 文字抽出 126
6.6.1. 括弧・引用符号から 126
6.6.2. 区切り文字から 128
6.6.3. 改行・空白を削除 131
6.6.4. ファイルパスから 133
6.6.5. ルールにマッチ 134
6.6.6. 置換 140
6.6.7. 文字変換 142
6.6.8. 日付形式変換 143
6.6.9. 1 行ずつループ 145
6.7. 分岐 147
6.7.1. 文字列 147
6.7.2. 数値 149
6.7.3. 日付 151
6.7.4. ファイル・フォルダの有/無を確認 151
6.7.5. 画像 153
6.8. 繰り返し 155
6.8.1. 繰り返し 155

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.8.2. 繰り返しを抜ける 157
6.8.3. 繰り返しの最初に戻る 158
6.9. ファイル・フォルダ 162
6.9.1. ファイル ＞ 開く 162
6.9.2. ファイル ＞ 移動 163
6.9.3. フォルダ ＞ 開く 164
6.9.4. フォルダ ＞ 作成 165
6.9.5. フォルダ ＞ ループ 166
6.9.6. ファイル・フォルダ名の変更 167
6.9.7. ファイル・フォルダをコピー 168
6.9.8. ファイル・フォルダを削除 169
6.9.9. 圧縮・解凍 ＞ ファイル・フォルダを圧縮 170
6.9.10. 圧縮・解凍 ＞ ファイル・フォルダに解凍 172
6.9.11. ファイル名変更(挿入) ＞ 文字 173
6.9.12. ファイル名変更(挿入) ＞ 日付 174
6.9.13. ファイル名変更(挿入) >参照 ID 175
6.10. エクセル 178
6.10.1. ブック ＞ ブックを開く 178
6.10.2. ブック ＞ ブックを覚える 179
6.10.3. ブック ＞ ブックを保存 181
6.10.4. ブック ＞ ブックを閉じる 183
6.10.5. シート操作 ＞ 新規作成 183
6.10.6. シート操作 ＞ 削除 184
6.10.7. シート操作 ＞ 切り替え 185
6.10.8. シート操作 ＞ 移動・コピー 187
6.10.9. シート操作 ＞ 名前取得 188
6.10.10. シート操作 ＞ 名前変更 188
6.10.11. セル操作 ＞ 範囲指定 189
6.10.12. セル操作 ＞ 指定範囲の移動 191
6.10.13. セル操作 ＞ 指定範囲の削除 192
6.10.14. セル操作 ＞ 指定範囲にセルを挿入 194
6.10.15. セル操作 ＞ 値を取得 196
6.10.16. セル操作 ＞ 値を入力 199
6.10.17. セル操作 ＞ セルをコピー 200
6.10.18. セル操作 ＞ セルを貼り付け 202
6.10.19. セル操作 ＞ 位置を取得 203
6.10.20. セル操作 ＞ 最終行取得 205
6.10.21. セル操作 ＞ 最終列取得 206
6.10.22. セル操作 ＞ 列計算 207

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.23. セル操作 > マクロ実行 208
6.10.24. セル操作 > 行ループ 210
6.10.25. セル操作 > 列ループ 211
6.10.26. CSV 読込ループ 212
6.11. スプレッドシート 215
6.11.1. スプレッドシート > 作成 215
6.11.2. スプレッドシート > 読み込む 216
6.11.3. スプレッドシート > 削除 218
6.11.4. スプレッドシート > 名前変更 219
6.11.5. スプレッドシート > URL 取得 220
6.11.6. シート > 新規作成 220
6.11.7. シート > 削除 221
6.11.8. シート > 移動 222
6.11.9. シート > コピー 223
6.11.10. シート > 名前取得 224
6.11.11. シート > 名前変更 225
6.11.12. セル操作 > 指定範囲の削除 225
6.11.13. セル操作 > 指定範囲にセルを挿入 227
6.11.14. セル操作 > 値を取得 227
6.11.15. セル操作 > 値を入力 229
6.11.16. セル操作 > セルをコピー・貼り付け 232
6.11.17. セル操作 > 最終行取得 233
6.11.18. セル操作 > 行ループ 235
6.11.19. セル操作 > 列ループ 237
6.12. ウェブブラウザ 239
6.12.1. 起動 239
6.12.2. 起動（ユーザ情報引継） 243
6.12.3. 閉じる 246
6.12.4. 派生ブラウザ画面記憶 246
6.12.5. URL 移動 248
6.12.6. URL 移動（Basic 認証） 249
6.12.7. Cookie を追加 251
6.12.8. ページ操作 > HTML クリック 252
6.12.9. ページ操作 > HTML ショートカットキー 253
6.12.10. ページ操作 > HTML 選択 255
6.12.11. ページ操作 > HTML チェック確認 258
6.12.12. ページ操作 > HTML キーボード入力 259
6.12.13. ページ操作 > HTML キーボード入力（パスワード） 261
6.12.14. ページ操作 > HTML ドロップダウン操作 263

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.15. ページ操作 > HTML 文字列抽出 264
6.12.16. ページ操作 > HTML リンク抽出 268
6.12.17. ページ操作 > HTML 画像 URL 抽出 270
6.12.18. ページ操作 > HTML 画像ダウンロード 272
6.12.19. ページ操作 > HTML 表ダウンロード（CSV） 273
6.12.20. ページ操作 > HTML 属性抽出 275
6.12.21. ページ操作 > HTML ポップアップクリック 277
6.12.22. ページ操作 > HTML ポップアップ内容抽出 278
6.12.23. ページ操作 > HTML エレメント出現を待つ 280
6.12.24. ページ操作 > JavaScript 実行 282
6.12.25. IFrame 移動 > IFrame に入る 285
6.12.26. IFrame 移動 > IFrame から出る 287
6.13. メール 288
6.13.1. 送信 288
6.13.2. 受信 290
6.13.3. 送信（Gmail） 293
6.13.4. 受信（Gmail） 294
6.13.5. 送信（Microsoft） 296
6.13.6. 受信（Microsoft） 297
6.14. 特殊アプリ操作 298
6.14.1. クリック 299
6.14.2. 文字入力 302
6.14.3. 文字入力（パスワード） 304
6.14.4. 座標取得 305
6.14.5. 文字取得 307
6.14.6. 操作記録 309
6.15. API 315
6.15.1. Web API 315
6.15.2. JSON > JSON 値取得 317
6.15.3. JSON > JSON 型確認 319
6.16. シナリオ整理 322
6.16.1. グループ化 322
6.16.2. メモ 323
6.16.3. 通知音を再生 323
6.17. 別シナリオ実行・継承 324
6.17.1. 別シナリオ実行 324
6.17.2. 親シナリオからデータを継承 326
6.17.3. 親シナリオからパスワードを継承 329
6.17.4. 親シナリオからウィンドウを継承 329

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.17.5. 親シナリオからエクセルを継承 334
6.17.6. 親シナリオからブラウザを継承 337
7. ブラウザ操作 340
7.1. おじどうさんブラウザ起動方法 340
7.2. おじどうさんブラウザ画面説明 340
7.3. おじどうさんブラウザの調査モード 341
7.4. おじどうさんブラウザ以外の調査モード 342
8. アクセス制御機能 343
8.1. 管理・制限モード 343
8.2. シナリオロック 344
8.2.1. シナリオロックの権限とデフォルト設定 344
8.2.2. 制御レベル 345
8.2.3. シナリオロックの設定と初期化 345
8.2.4. 管理・制限モードとシナリオロック UI 347
9. 上級者向け操作 349
9.1. 高度データ参照 ID 呼び出し機能 349
9.2. ワイルドカード（*） 351
9.3. ブラウザプロファイルの使い方 352
9.3.1. デフォルト以外のプロファイルを利用したい場合 353
9.3.2. その他のブラウザでプロファイルを読み込みたい場合 354
10. おじどうさん利用における注意点 355
10.1. シナリオ行数の推奨値は 1,000 行 355
10.2. デスクトップの背景色を単色に 355
10.3. 画像探索系コマンドのざっくり検索について解説 355
10.3.1. ざっくり検索％（色：RGB）の考え方 355
10.3.2. ざっくり検索％（ピクセル）の考え方 356
10.4. 入力値の制限 357
11. Google Services (Self-Registration)の事前準備 358
11.1. 概要 358
11.2. 詳細手順 359
11.2.1. Google Cloud Console にログインする 359
11.2.2. おじどうさんを Google アプリとして登録します 360
11.2.3. 作成した Google プロジェクトの API を有効化する 362
11.2.4. OAuth クライアント ID を発行し、ダウンロードする 378
11.2.5. おじどうさんにクライアント ID を読み込ませ、OAuth 認証する 380

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

1. おじどうさん実行環境

【安全性宣言】

おじどうさんは「Robotic Process Automation (RPA)」を実装したものです。RPA の特性上、マウス、キーボード、ファイル操作、インターネット通信などの自動化を行いますが、ライセンスの自動認証を除き、原則ユーザが指定した動作しか自動化しません。なお、このソフトウェアには、スパイウェア、ウイルス、トロイの木馬、バックドアなど、マルウェアの形態は含まれませんのでご安心下さい。

【対応 OS】

・Windows 8/8.1
・Windows 10
・Windows 11
（32/64bit 対応）

【メモリ】

・4GB 以上

【CPU】

・1GHz 以上

【HDD】

・500MB 以上

【ディスプレイ】

・1024×768 以上
（デュアルディスプレイの場合、メインディスプレイのみ対応）
・スリープモード、スクリーンセーバーが起動している状態だと、おじどうさんは動作できません。画面がロックされていない状態でお使いください。

【その他】

・ライセンス認証にはインターネット接続が必要です
・おじどうさん実行中に画面解像度を変更すると、誤動作する可能性がございます
・バックグラウンドで動作させることは出来ません

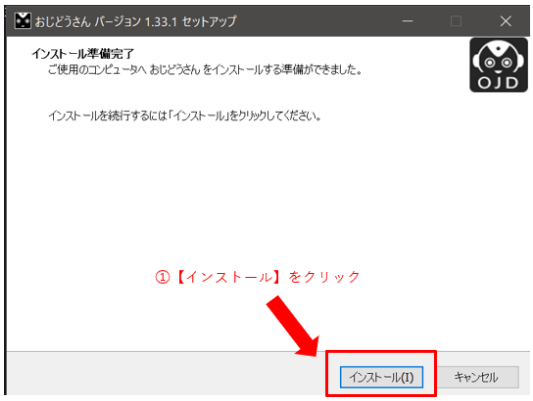
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

2. はじめに

2.1. インストール方法

おじどうさん用インストーラーをダブルクリックして起動する。

セットアップウィンドウ（下図）が開くので、[インストール]をクリックして、インストール完了後に[完了]をクリックする。



インストール完了後、デスクトップ上におじどうさんアイコンが表示される。

2.2. 起動方法

デスクトップ上のおじどうさんアイコンをダブルクリックして起動する。
起動後はタスクトレイにおじどうさんが常駐する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

2.3. 終了方法

おじどうさんを終了する方法は 2 通りある。

1. [メニューボタン]から[終了]を選択する

2. タスクトレイに常駐しているおじどうさんアイコンを右クリックするとメニューが開く。そのメニューの[終了]を選択することでおじどうさんを終了できる。

※注意点

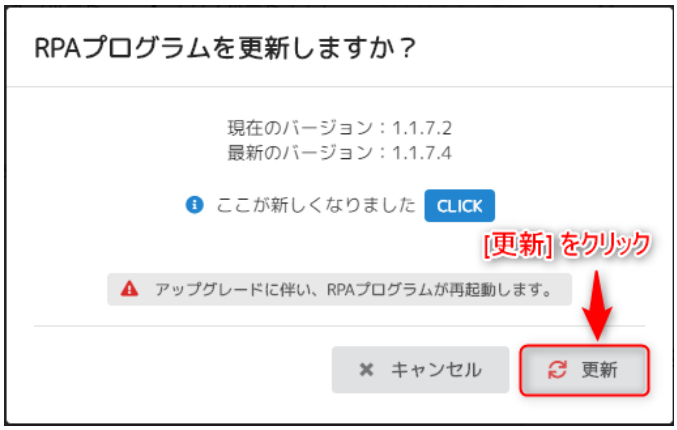
・おじどうさんウィンドウの[×(閉じるボタン)]をクリックするだけでは、おじどうさんは終了しません。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

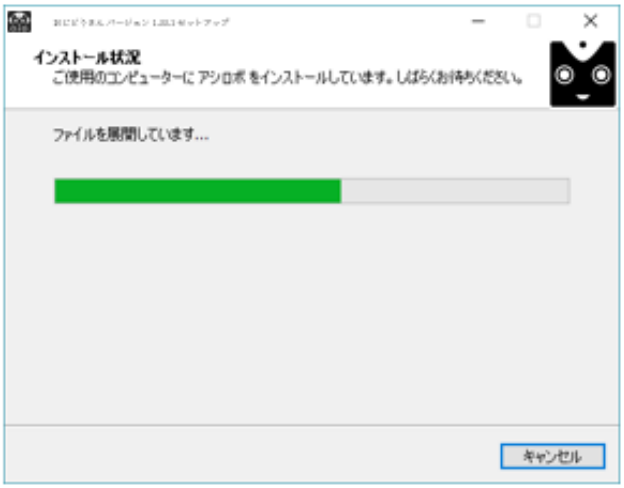
2.4. 自動アップデート

新しいバージョンがある場合はおじどうさん画面からアップデートすることができる。
アップデート可能な場合はスケジュール画面右上に更新ボタン（下図）が表示される。

更新ボタンクリックすると更新画面（下図）が表示される。 [更新]をクリックすると自動アップデートを開始する。
※アップデートにはインストーラーのダウンロードを伴うため多少の時間がかかることがあります。



更新中は下記の画面が表示され、自動アップデート完了後は自動で下記画面を閉じる。



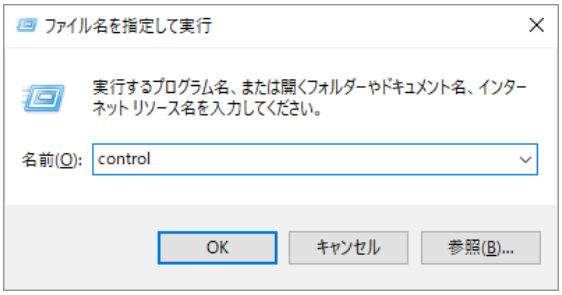
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

2.5. ファイアウォールの例外設定（ライセンス認証ができない場合）

※おじどうさんのライセンス認証ができない場合に下記の手順を実施してください。なお、本手順で解決しない場合は御社ファイアウォールにておじどうさんが拒否されている可能性があるため、情報システム部門にご確認ください。

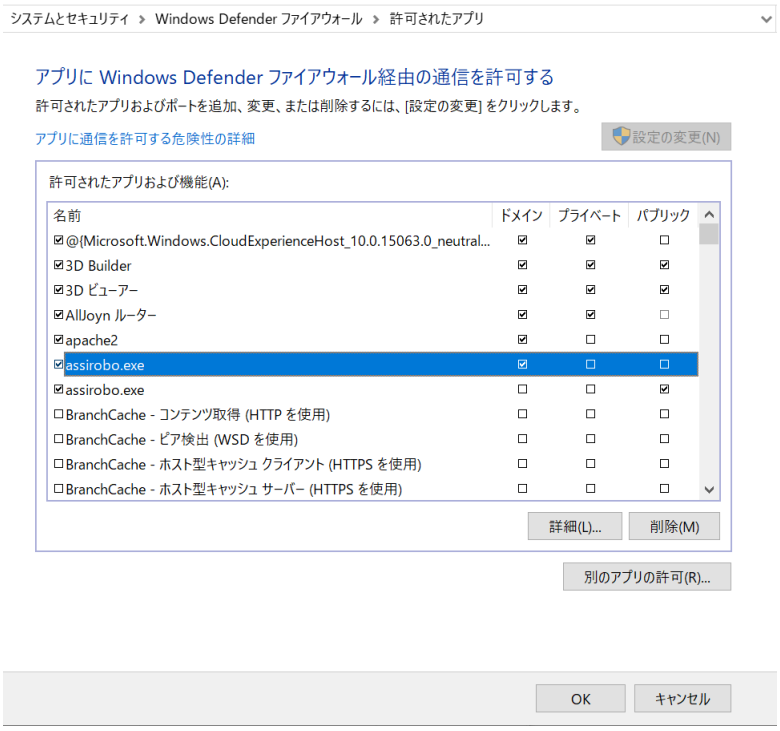
おじどうさんによる通信を許可するために Windows Defender ファイアウォールの例外としておじどうさんを追加する。

（1） ショートカットキー[win + r] > [control]入力し、コントロールパネルを開く



（2） [システムとセキュリティ] > [Windows Defender ファイアウォール] を選択する

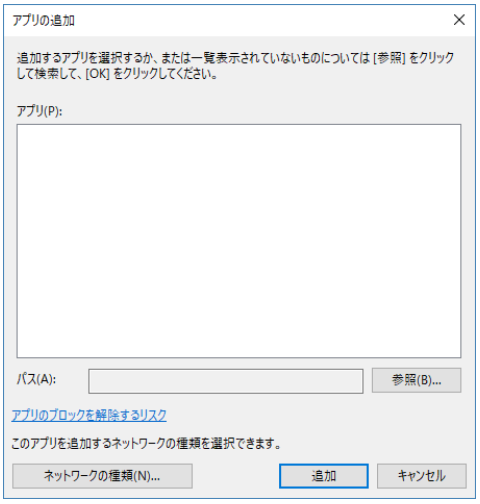
（3） [Windows Defender ファイアウォールを介したアプリまたは機能を許可]から、「おじどうさん.exe」の通信が許可されているか確認する



「おじどうさん.exe」が許可されていない場合は [設定の変更]を選択し、「おじどうさん.exe」にチェックを入れて[OK]をクリックする。

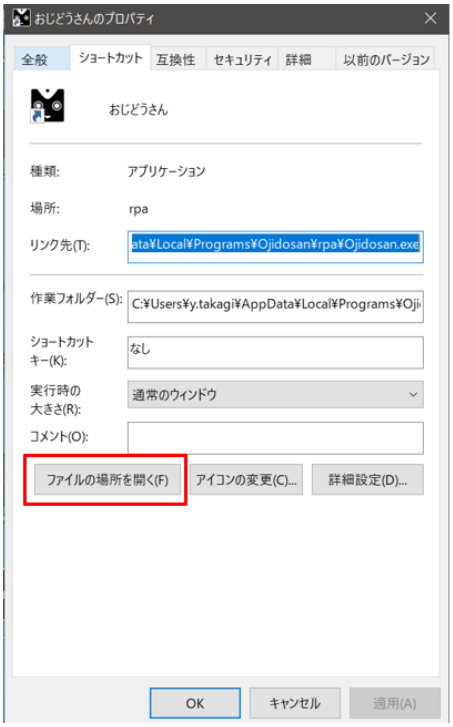
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

※それ以前に「おじどうさん.exe」が表示されていない場合
[設定の変更]を選択して[別のアプリの許可]をクリックするとウィンドウ（下図）が表示されます。[参照]から「おじどうさん.exe」を選択し、[追加]をクリックすることでファイアウォールの例外アプリケーションとしておじどうさんが追加されます。

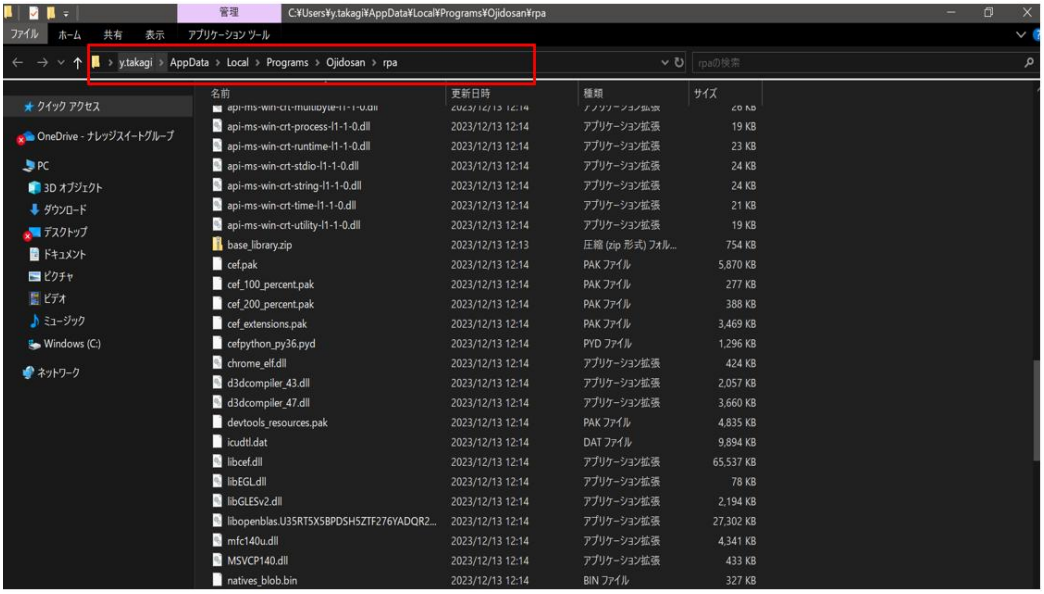


「おじどうさん.exe」のファイルパスは次の手順から取得できます。

1. デスクトップ上のおじどうさんアイコンを右クリック＞[プロパティ]を選択する＞[ファイルの場所を開く]を選択する
2. 開かれたエクスプローラーのアドレスバーからファイルパスをコピーする



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

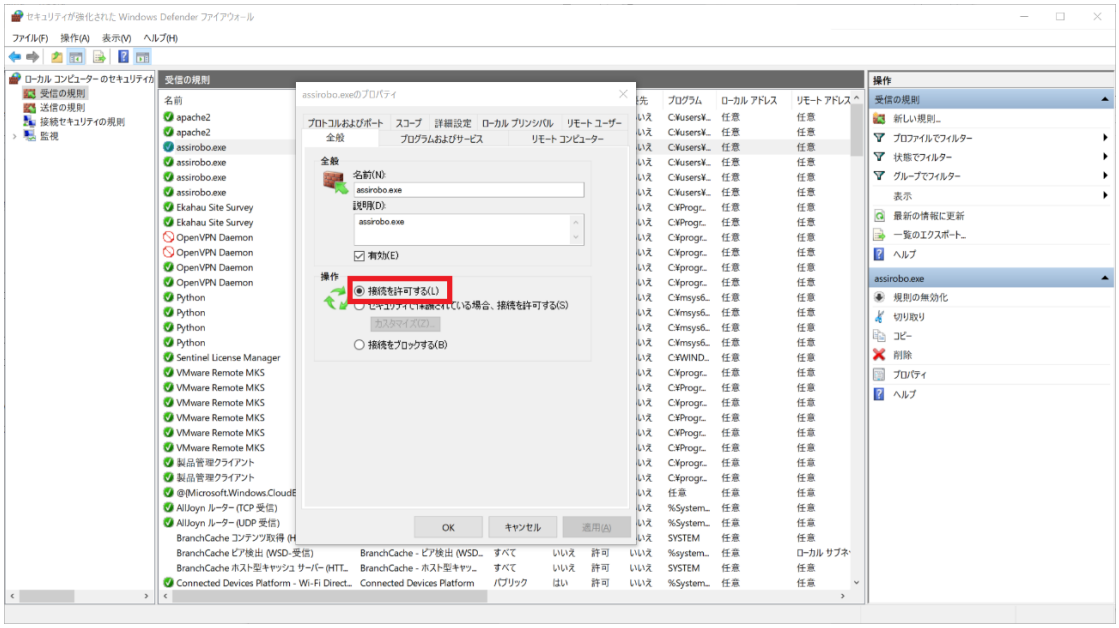


※この手順を踏まえてもライセンス認証が通らない場合は（例外追加の確認）の設定もお願いします。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

（例外追加の確認）

[システムとセキュリティ] > [Windows Defender ファイアウォール] を選択し、[詳細設定] > [受信の規則] > おじどうさん.exe]をダブルクリックする。接続を許可されているか確認する（下図）。



※本手順で解決しない場合は御社ファイアウォールにておじどうさんが拒否されている可能性があるため、情報システム部門にご確認ください。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

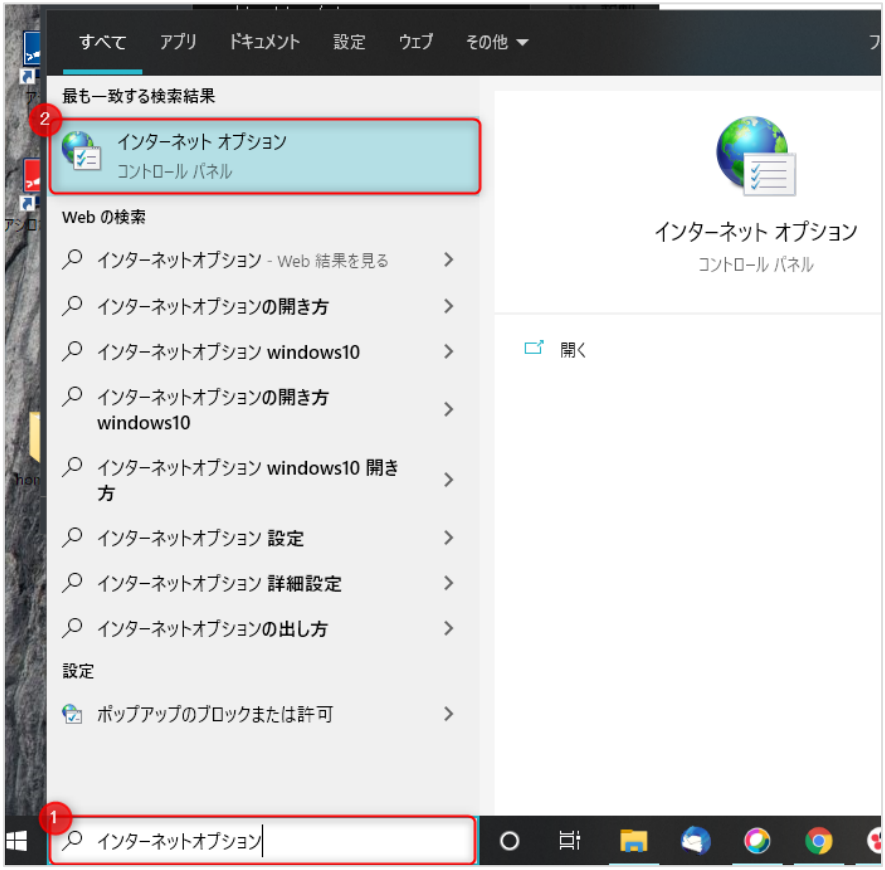
2.6. Internet Explorer v11 操作の設定

ブラウザ起動コマンドで Internet Explorer v11（以下、「IE」という）を操作するために以下を設定する。

- IE の保護モードを有効にする
- 拡張保護モードを無効にする
- IE のズームレベルを 100%に設定する
- ディスプレイのテキストサイズを 100%に設定する
- レジストリ設定

2.6.1. IE の保護モードを有効にする

（1） タスクバーから「インターネットオプション」を検索して開く



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

（2） タブ「セキュリティ」を選択し、

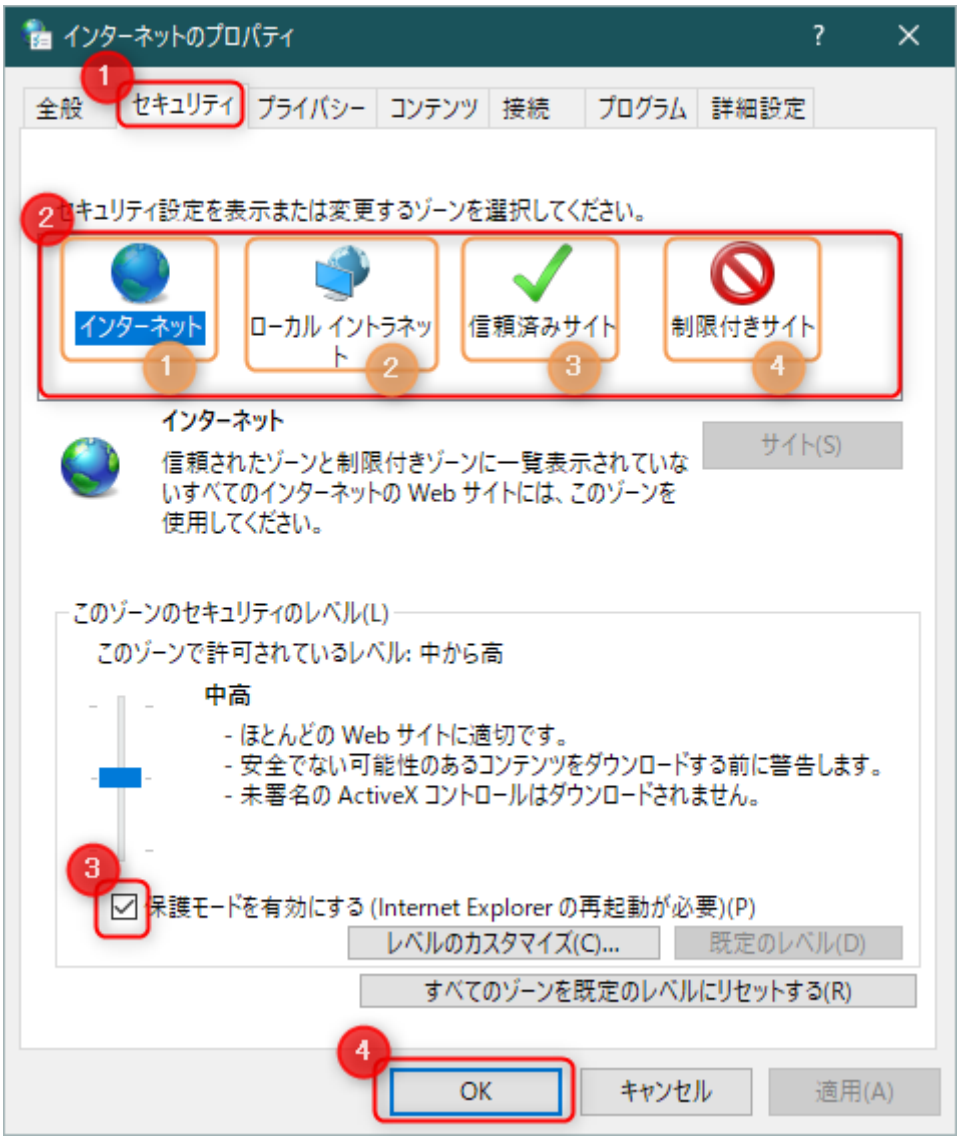
・インターネット

・ローカルイントラネット

・信用済みサイト

・制限付きサイト

の 4 つに対して「保護モードを有効にする」にチェックを入れ、OK を押す



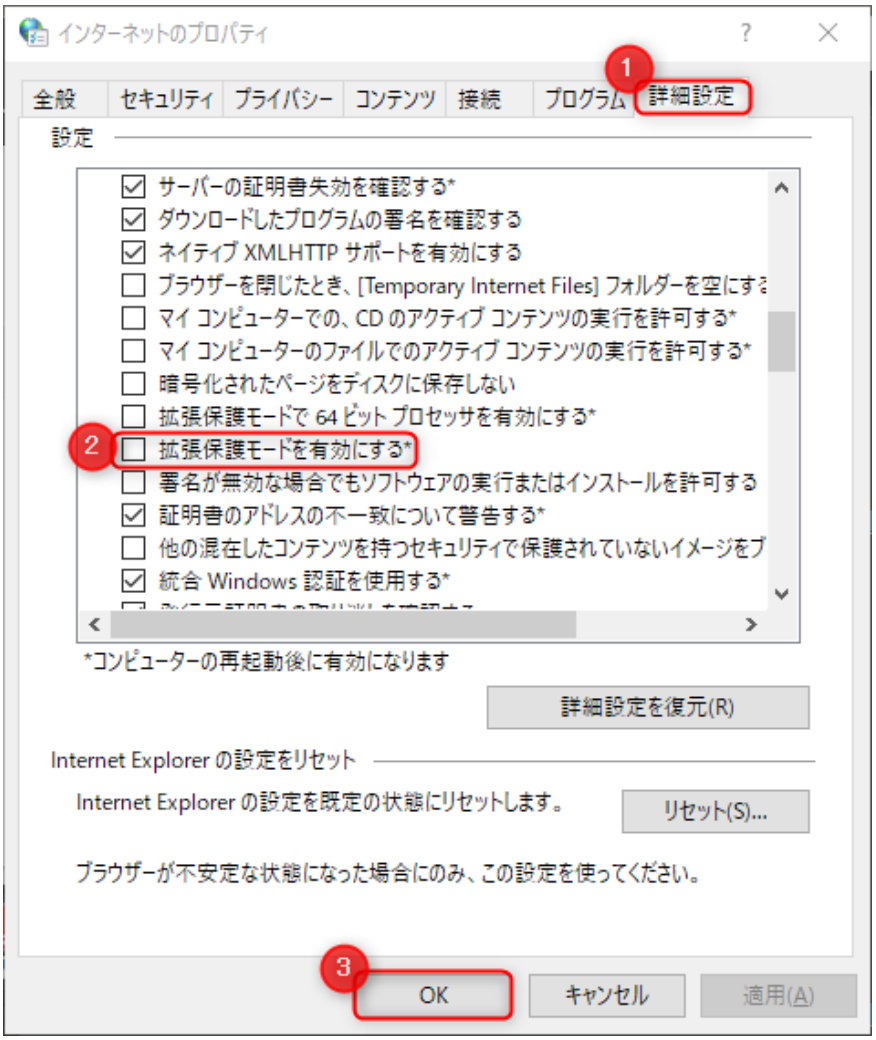
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

2.6.2. 拡張保護モードを無効にする

（1） 2.6.1.の(1)と同様にインターネットオプションを開く

（2） タブ「詳細設定」を選択する

（3） 設定＞セキュリティ＞「拡張保護モードを有効にする」
のチェックを外して OK を押す



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

2.6.3. IE のズームレベルを 100%に設定する

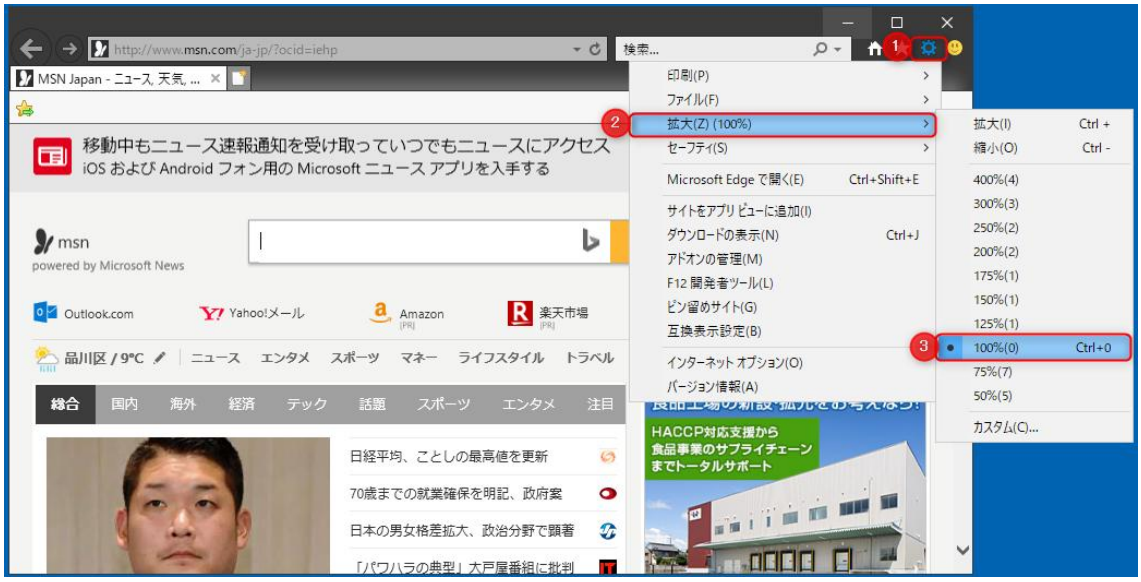
IE を開き、以下の方法 1 または方法 2 を実行する。

方法 1：

（1）[ツール] アイコンを選択する

（2）[拡大(Z)] を選択する

（3）[100%] を選択する



方法 2：

（1）ショートカットキー [Ctrl + 0(ゼロ)] を入力する

2.6.4. ディスプレイのテキストサイズを 100%に設定する

（1）スタートメニューを開く

（2）[設定] アイコンを選択する

（3）[システム] を選択する

（4）[ディスプレイ] を選択する

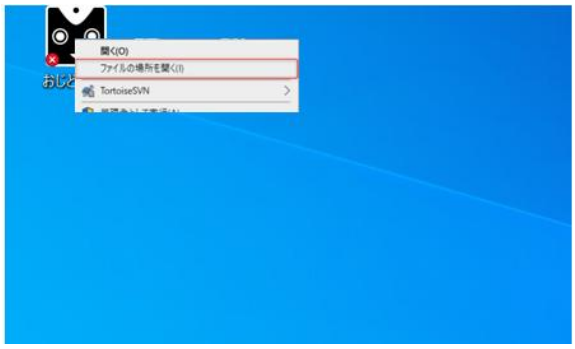
（5）[拡大縮小とレイアウト] ＞ [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] を [100%] に設定する

※上記を設定すると画面の解像度が変化するため、それまでに設定した座標系コマンドおよび画像認識系コマンドの再設定を推奨します。

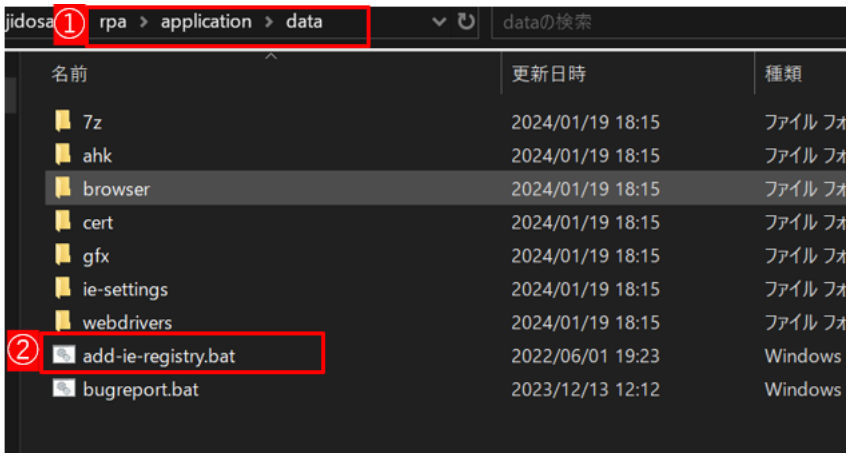
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

2.6.5. レジストリ設定

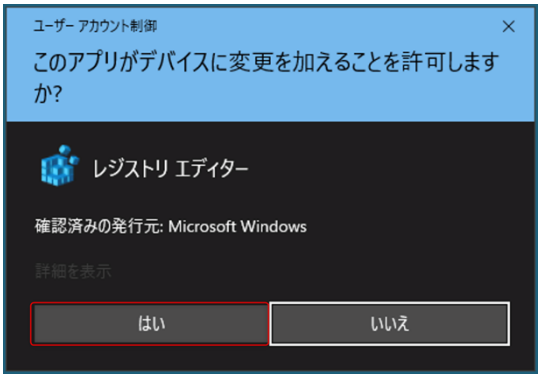
（1） デスクトップ上のおじどうさんアイコンを右クリック＞ファイルの場所を開く　を選択する



（2） rpa>application > data > add-ie-registry.bat を選択する

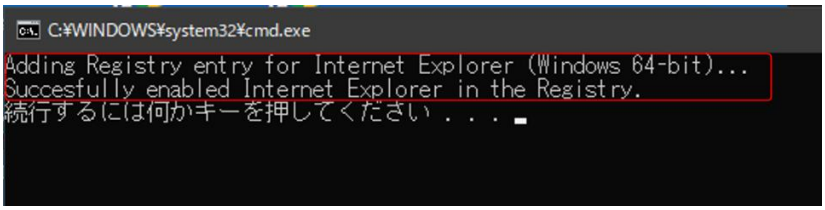


（3） ユーザーアカウント制御の通知で「はい」を選択する



（4） 以下のような結果が表示され，レジストリ設定が完了する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



2.6.6. Microsoft Edge の IE モードやユーザ情報引継でブラウザ起動できない場合

Microsoft Edge の IE モードを設定したブラウザ起動コマンド、もしくは起動（ユーザ情報引継）コマンドで Edge を実行すると、Edge を閉じているにもかかわらず、下記エラーメッセージが出る場合がある。その現象の対処方法を下記に記す。

ブラウザ起動：ブラウザ起動中にエラーが発生しました。自動化以外の Edge を起動中の場合は、閉じてからもう一度お試しください。

[対処方法 1] スタートアップブースト機能を無効化する

手順

(1) Microsoft Edge を開く

(2) ブラウザの URL に「edge://settings/system」を入力する

(3) 「スタートアップ ブースト」を無効化する

(4) ブラウザを閉じる

[対処方法 2] バックグラウンドの拡張機能及びアプリの実行を無効化する

※稼働しているバックグラウンド機能/アプリを停止することで他のシステムに影響がないか、事前に確認するようお願いします。

手順

(1) Microsoft Edge を開く

(2) ブラウザの URL に「edge://settings/system」を入力する

(3) 「Microsoft Edge が終了してもバック グラウンドの拡張機能およびアプリの実行を続行する」を無効化する

(4) ブラウザを閉じる

上記の対処方法を試してもブラウザ起動できない場合はテクニカルサポートにお問い合わせください。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

3. 単語表

名称	説明
コマンド	おじどうさんで使用できる命令のこと 「アプリを起動する」コマンド、「マウスをクリックする」コマンド等、様々なものがある
シナリオ	特定の処理をおじどうさんで実現させるためにコマンドを組み合わせたもの コマンドの集合体ともいえる

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4. おじどうさん画面説明

4.1. ライセンス認証画面

おじどうさん初回起動時またはライセンス有効期限が切れた場合は、ライセンス認証画面
（下図）が表示される。

4.1.1. ライセンス認証手順（通常）

発行されたおじどうさんのユーザ名とライセンスキーを入力後、[ライセンス認証]をクリックすることで認証が行われる。下図の①、②、③の手順となる。

認証後に有効期限が切れると自動更新処理を行う。自動更新処理時はインターネット接続が必要となる。

※インターネット接続ができている状態でライセンス認証が通らない場合、クライアント端末や御社ファイアウォールにておじどうさんを許可する必要があります。詳細は『2.5 Windows Defender ファイアウォールの例外設定』をご参照ください。

※プロキシ設定が必要の場合、画面右上のメニューボタンからプロキシ設定（4.2.3.2. 一般設定 のプロキシ適用の設定例参照）を行ってください。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

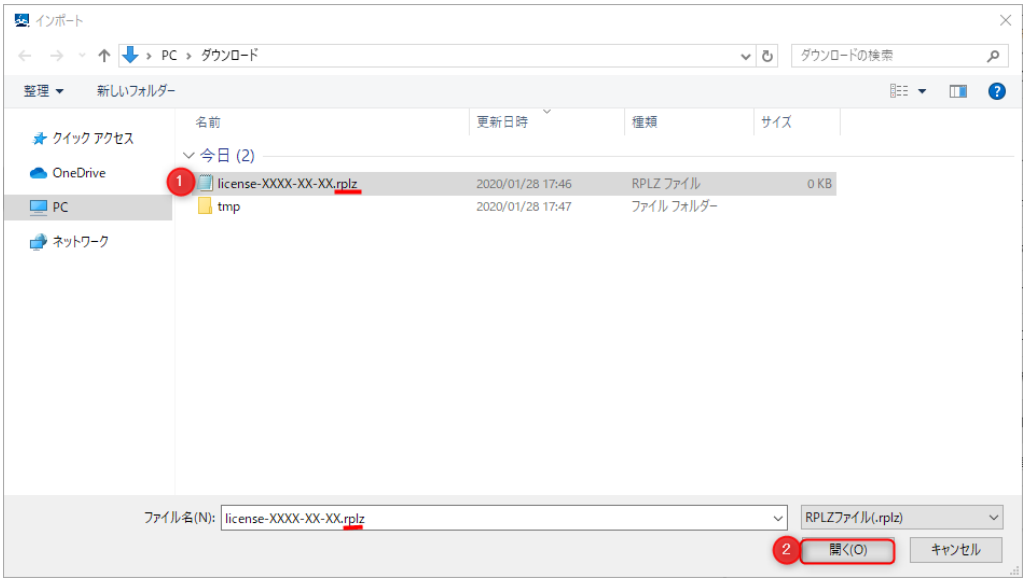
4.1.2. ライセンス認証手順（オフライン）

インターネットに接続せずにおじどうさんを利用する場合のライセンス認証手順は以下の通りである。

準備するもの：　ライセンスファイル（ファイル名.rplz）

（1）　メニューボタンから［ライセンスをインポート］を選択する

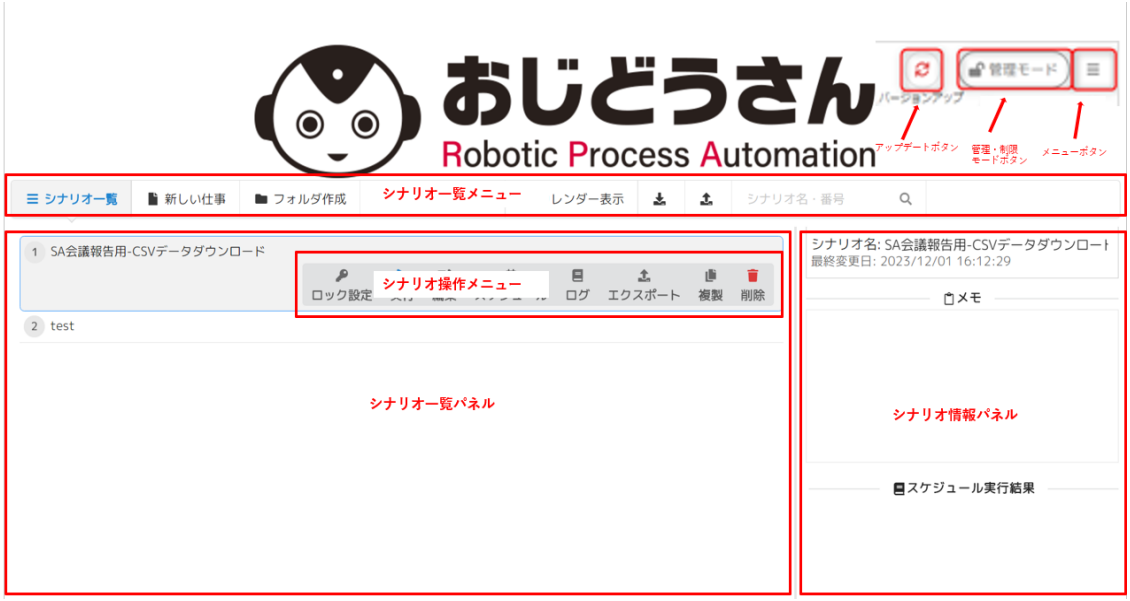
（2）　ライセンスファイル（ファイル名.rplz）を選択する



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.2. スケジュール画面

ライセンス認証後におじどうさんを起動するとスケジュール画面（下図）が表示される。



名称	内容
シナリオ一覧メニュー	シナリオ一覧パネルに対して操作する
シナリオ一覧パネル	作成したシナリオ一覧を表示する
シナリオ情報パネル	選択したシナリオの情報と実行ログを表示する
シナリオ操作メニュー	選択したシナリオに対して操作する
メニューボタン	おじどうさんについての情報、設定、サポート受付を表示する
管理・制限モードボタン	管理モード・制限モードを切り替える 詳細は 8.1. 管理・制限モード に記載
アップデートボタン	おじどうさんのアップデートボタン アップデートがあるときのみ表示される

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.2.1. シナリオ一覧メニュー

シナリオ一覧メニューではシナリオ一覧パネル内に対して操作を行う。

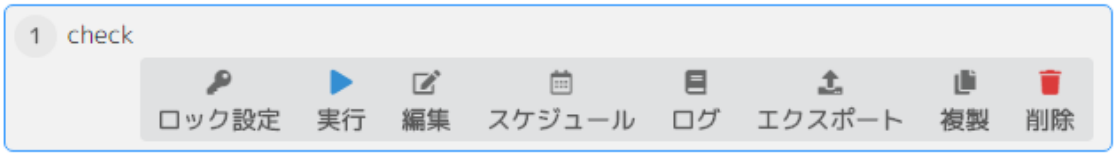
名称	説明
新しい仕事	新規のシナリオを作成する
フォルダ作成	新規フォルダを作成する
スケジュール一覧	全シナリオで設定したスケジュールを表示・編集する
カレンダー表示	スケジュールを週毎のカレンダー形式で表示する
インポート	シナリオファイル(.rpz)、シナリオフォルダ(.rpdz)をインポートする。ver1.33.0 以降でエクスポートしたシナリオにはスケジュールが含まれる（注 1）。
エクスポート（全）	シナリオ一覧パネル内のすべてのシナリオを一括エクスポート
シナリオ名・番号	シナリオ名や番号でシナリオを検索する

注意事項

- スケジュールはすべて無効化の状態でインポートされる。

4.2.2. シナリオ操作メニュー

シナリオ操作メニューでは選択されたシナリオに対して操作を行う。



名称	説明
ロック設定	シナリオロックのレベルを設定する ※管理モードのときのみ表示されます
実行	対象シナリオを実行する
編集	対象シナリオのシナリオ編集画面に遷移する
スケジュール	対象シナリオのスケジュール実行設定を行う 設定した時間にシナリオが実行される おじどうさんが常駐していることが条件となる
ログ	実行ログを一覧で表示する。 詳細は「4.3.4 ログの一覧表示」を参照ください
エクスポート	対象シナリオのエクスポート（.rpz）を行う
複製	対象シナリオを複製する
削除	対象シナリオを削除する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

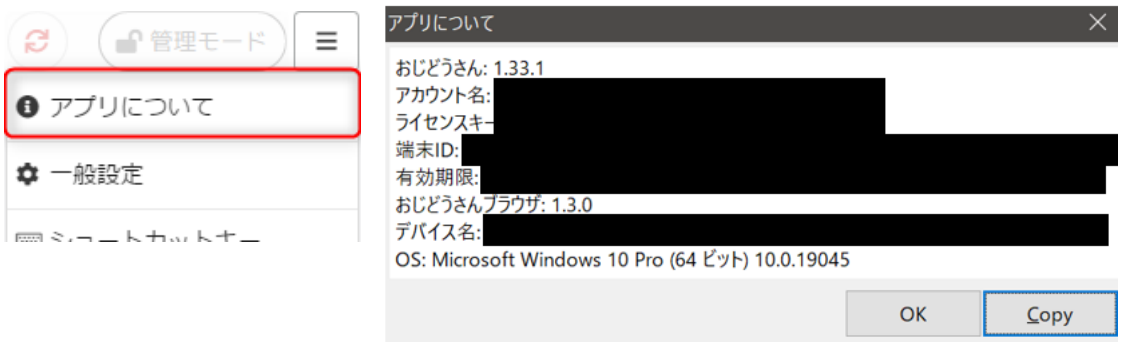
4.2.3. メニューボタン

メニューボタンをクリックすると下図が表示される。

4.2.3.1. アプリについて

以下の項目を表示する。また、サポートの際に利用状況を共有できるよう、おじどうさんについての情報をコピーできる。タスクトレイのおじどうさんアイコンから選択できる[アプリについて]も同様に機能する。

・おじどうさんのバージョン	・アカウント名	・ライセンスキー	・端末 ID
・有効期限	・おじどうさんブラウザのバージョン	・PC の OS	



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.2.3.2.　一般設定

スケジュール画面から[メニューボタン]>[一般設定]をクリックするとおじどうさんの一般設定モーダル（下図）が開く。

このモーダルから次の設定ができる。

1. シナリオ実行時の設定
   コマンド間待機時間と緊急停止方法を指定する。
   緊急停止方法の選択肢は以下のとおり。

マウス左上・ESC（長押し）・マウス左上＋ESC（長押し）

   データ参照 ID のログ出力制限にチェックを入れると、一部のコマンドにおいてログに出力される文字列の長さが制限される。

2. シナリオ編集時の設定
   コマンド挿入方法を以下の選択肢から指定する。

シングルクリック・ダブルクリック

   コマンド詳細設定方法を以下の選択肢から指定する。

シングルクリック・ダブルクリック

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

3. 言語
表示言語を切り替える。対応言語は以下の通り。

日本語・English

4. スケジュール実行後のメール通知適用の設定
スケジュールされたシナリオの実行結果をメールで送信できる。
通知結果の選択肢は以下の通り。

スケジュール実行結果すべて・エラー時のみ

5. プロキシ適用の設定
プロキシを通してネットワーク通信を利用したい場合に有効である。

6. シナリオバックアップの設定
　シナリオを定期的にバックアップする。指定した保存場所に新しいフォルダ「YYYYMMDD_HHMM」が作成され、そのフォルダにシナリオが全て保存される。
※指定した保存場所が存在しない場合、バックアップされません。
フォルダ名の例：
2021/02/14 の 01 時 30 分にバックアップを実行する場合、フォルダ「20210214_0130」を新規作成する。

ここで設定された内容は全てのシナリオに適用される。

スケジュール実行後のメール通知適用の設定例：
※メール設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

プロキシ適用の設定例：
　基本的には「アドレス」「ポート」のみを入力する。BASIC 認証の必要があれば「ユーザ

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名」「パスワード」の項目も入力する。
※プロキシ情報についてはシステム管理者にお問い合わせください。

4.2.3.3. 祝日設定

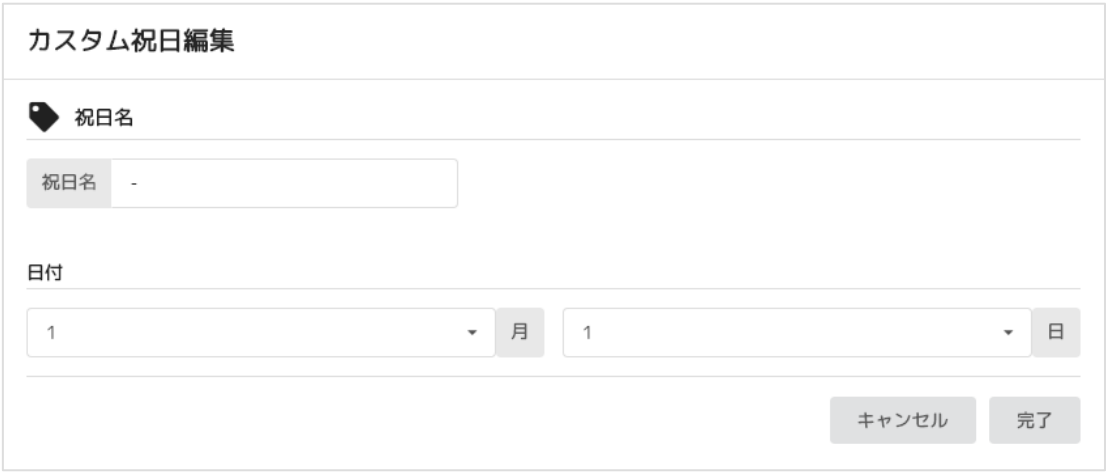
祝日を設定する。

- カスタム祝日設定

  独自の祝日を登録できる。

  [+]ボタンをクリックすると表にカスタム祝日情報が新しく追加される。

追加された行をクリックすると、カスタム祝日編集画面が開く。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

編集画面と設定画面の完了ボタンをクリックすることで、祝日設定が反映される。

4.2.3.4. OAuth2 アカウント管理

認証に OAuth2.0 を採用している外部サービスのアカウントを管理する。

OAuth2 対応サービス名	コマンド名
Google Gmail	メール送信（Gmail），メール受信（Gmail）
Google Spreadsheet	スプレッドシートを作成，スプレッドシートを読み込む スプレッドシートを削除，スプレッドシート名を変更
Google Services (Self-Registration)	メール送信（Gmail），メール受信（Gmail）、 スプレッドシートを作成，スプレッドシートを読み込む スプレッドシートを削除，スプレッドシート名を変更
Microsoft Mail	メール送信（Microsoft），メール受信（Microsoft）

※Google Services (Self-Registration)でアカウント登録するには、Google 社の Google Cloud Services ポータルサイトで事前準備をしなければならない。詳しい手順は、本マニュアルの 11 章を参照。

補足事項

- Google アカウントまたは Microsoft アカウントのパスワードを更新した場合、OAuth2 アカウントの再登録が必要になる。
- PC 名（デバイス名）に日本語が含まれている場合、Google サービスの OAuth2 アカウントを登録できない。
- Microsoft Mail は、Microsoft Outlook と Microsoft Exchange に対応している。
- OAuth2 アカウントを登録する際、ブラウザが起動し対象アカウントへログインするよう求められる。このとき、指定したアカウントとは別のものを選択した場合、OAuth2 アカウント一覧に表示されるものと、実際に操作するアカウントにずれが発生する。

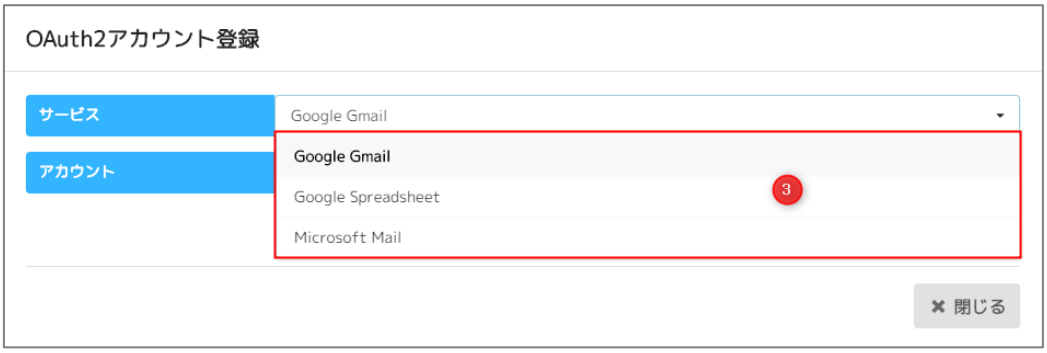
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

OAuth2 アカウント登録手順

(1) メニューボタンから「OAuth2 アカウント管理」を選択する

(2) [+]ボタンをクリックする

(3) 利用するサービスを選択する



(4) 登録するアカウントを入力する

(5) 「アプリの認証」ボタンをクリックする

(6) 利用サービスの案内の通りに進む

※おじどうさんが利用する権限を確認・許可をする

※OAuth 登録にあたり機能製造元の企業名が表示されますが、実際のお取引に関する企業名とは関与ございません。

(7) アプリ画面に戻り OAuth2 アカウント管理にアカウントが表示されていることを確認する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.2.3.5.　ショートカットキー

おじどうさんではシナリオ作成の際、ショートカットがいくつか使用できる。[メニューボタン]から[ショートカットキー]を選択するとその一覧が表示される。

このショートカットキーとは別で、コマンド一覧パネルに対応した英字キーを入力すると、そのパネルが開閉する。パネルをすべて閉じるショートカットキーは 0（ゼロ）である。

ショートカットキーの一覧

キー	操作
Ctrl s	シナリオ保存
F5	シナリオ実行
F6	シナリオ・チェックのみ実行
F12	シナリオ一覧へ戻る
Ctrl z	元に戻す
Ctrl y	やり直す
Ctrl f	キーワード検索
Ctrl h	参照ID置換
Click	コマンド１つ選択
Ctrl Click	コマンド追加選択
Shift Click	コマンド連続選択
Ctrl a	コマンド全て選択
ESC	コマンド選択解除
DEL	選択コマンド削除
Ctrl c	選択コマンドコピー
Ctrl x	選択コマンドカット
Ctrl v	選択コマンドペースト
Ctrl d	選択コマンド複製
Ctrl e	選択コマンド無効化・有効化
Ctrl b	選択コマンドをブックマーク
Ctrl g	選択コマンドをグループ化・グループ解除
Ctrl ←	ネストコマンド最小化
Ctrl →	ネストコマンド最大化
Ctrl ↑	選択コマンド移動（上）
Ctrl ↓	選択コマンド移動（下）

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.2.3.6. ユーザマニュアル

おじどうさんのユーザマニュアルを表示する。

4.2.3.7. サポートサイト

よく使用するおじどうさんのシナリオがダウンロードできる WEB サイトを開く。

4.2.3.8. ライセンス更新

おじどうさんを製品版ライセンスに変更した際に利用する。製品版への手続き完了後に本ボタンをクリックすることで、スケジュール画面右上に表示される体験版情報の表示が消える。

4.2.3.9. ライセンスをインポート

インターネットに接続せずにライセンス認証する場合に利用する。詳しい説明は 4.1.2. ライセンス認証手順（オフライン）を参照すること。

4.2.3.10. パソコン入替

おじどうさんを別のパソコンへ入れ替えるための手順とライセンスのディアクティベート機能を提供する。

4.2.3.11. アプリログ取得

おじどうさんのログファイル「rpa.log」と「error.log」をダウンロードする。これらのログはおじどうさんの動作不具合を調査、または運営へ不具合を問い合わせる際に有用な情報となる。

4.2.3.12. 終了

おじどうさんを終了する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

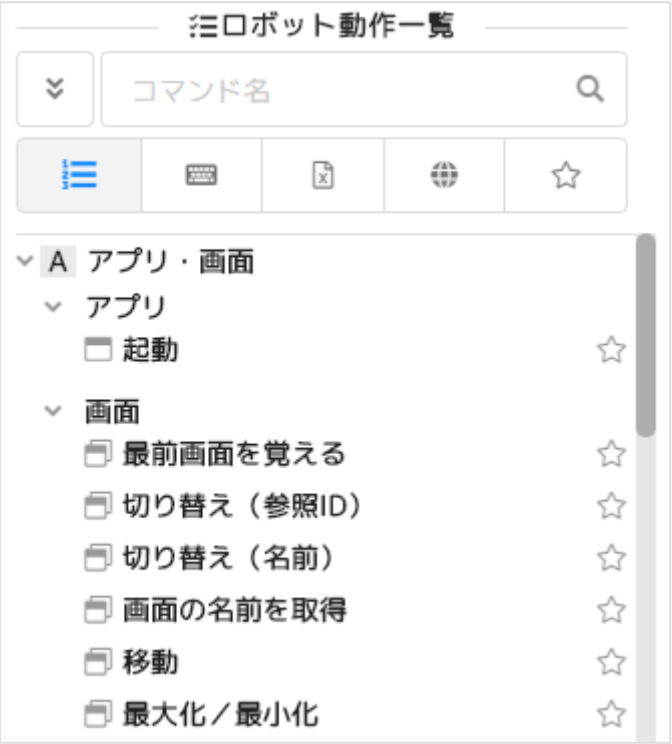
4.3. シナリオ編集画面

名称	内容
コマンド一括表示・非表示ボタン	コマンドを一括で表示または非表示にする
コマンド検索	コマンド一覧パネル内にあるコマンドを検索する
コマンドカテゴリ	選択したカテゴリに該当するコマンドを表示する
コマンド一覧パネル	おじどうさんで実行可能なコマンドのリスト ※各パネルに対応する英字キーを入力すると、そのパネルを開閉できる ※すべてのパネルを閉じる場合は 0（ゼロ）を入力
メニューボタン	スケジュール画面のメニューボタンと同様。
シナリオ編集パネル	おじどうさんで実行されるコマンドのリスト
シナリオ操作メニュー	シナリオを操作する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.1. コマンドカテゴリ

コマンド一覧をカテゴリごとに、タブで切り替えて表示できる。
機能とカテゴリに応じたコマンドだけを表示して、探す手間を省くことができる。



各カテゴリのタブアイコンおよびカテゴリ名、意味、ショートカットキーを下の表に示す。

アイコン	カテゴリ名	ショートカットキー	カテゴリの意味
	すべて	1	全てのコマンド
	基本	2	一般的によく使うコマンド
	エクセル/CSV	3	エクセル CSV のコマンド
	ブラウザ	4	ブラウザコマンド
	お気に入り	5	自分が星マークをつけたコマンド

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.1.1. 「お気に入り」カテゴリ

「お気に入り」カテゴリには、ユーザがお気に入り登録したコマンドが表示される。コマンドをお気に入り登録するにはコマンド名横にある☆アイコンをクリックすることで登録できる。登録すると、☆アイコンは青色になる。

また、再度クリックすることでお気に入りを解除できる。未登録になると、☆アイコンは白色になる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.2. メニューボタン（シナリオ編集画面）

シナリオ編集画面のメニューボタンには、スケジュール画面のものの簡易版+シナリオ編集用機能が備わっている。本項ではシナリオ編集用の機能のみ紹介する。

- シナリオ印刷

表示されているシナリオを印刷する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.3. シナリオ操作メニュー

シナリオ操作メニューではシナリオに対して操作を行う。

名称	内容
シナリオ一覧に戻る	スケジュール画面に遷移する
表示切替	シナリオ編集パネル上のコンテンツ表示モードを切り替える
移動	コマンド番号やブックマークしているコマンドの位置に移動する
置換	参照 ID を一括で置換する
ログ	対象シナリオを実行した日時・コマンド・実行結果を記憶したログを表示またはダウンロードする。実行結果がエラーの場合には、その時のスクリーンショットも表示またはダウンロードする。
保存	シナリオを保存する
実行	シナリオ編集パネル内のすべてのコマンドを実行する
一括チェック	すべてのコマンドにチェックを入れる
一部実行	シナリオ編集パネル内のチェックされたコマンドのみ実行する
参照 ID 確認	カーソルを合わせると下記のメニューが表示される 参照 ID 確認：参照 ID の値を確認または設定する（詳細は 4.3.6. を参照） 設定した値で一部実行: 「参照 ID 確認」の内容を利用して、チェックされたコマンドのみ実行する（詳細は 4.3.6.を参照）
コマンド無効化	選択したコマンドを無効化する 無効化されたコマンドは実行されない
コマンド有効化	無効化したコマンドを有効化する
全て閉じる	ネストコマンド（コマンドの中にコマンドを入れることができるもの）を全て閉じる
全て開く	ネストコマンドを全て開く
キーワード検索	キーワードを含むコマンドを検索する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.4. ログの一覧表示

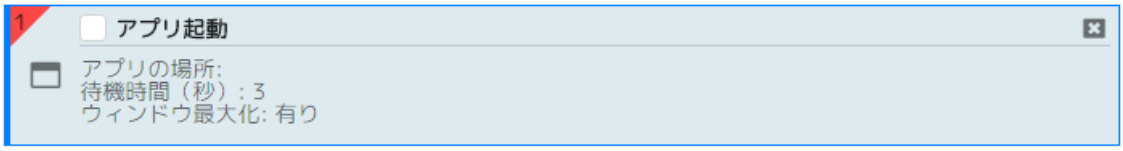
シナリオの実行ログを一覧で表示する。

名称	内容
ログ削除（全）	すべてのログを削除する。管理モード時に利用可能。 「ログ削除（全）」をクリック後、「本当に削除（全）」をクリックすると削除される。
ダウンロード（全）	すべてのログとエラー画像をダウンロードする。
ログ	シナリオのログを表示する
詳細ログ	シナリオの詳細ログを表示する
エラー画像	エラー時のスクリーンショットを表示する
削除	ログとエラー画像を削除する。管理モード時に利用可能。 「削除」をクリック後、「本当に削除」をクリックすると削除される。
ダウンロード	ログをダウンロードする。

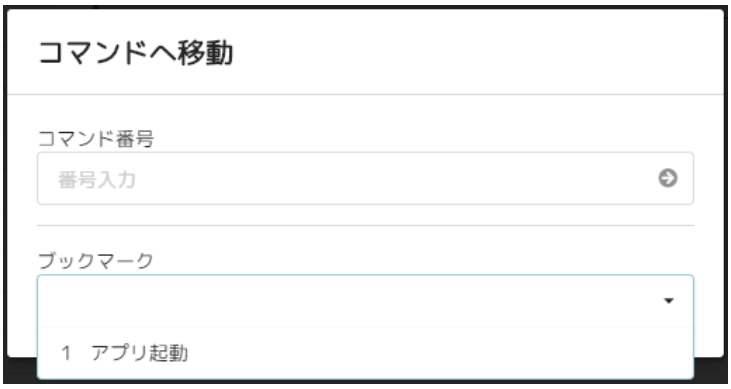
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.5. コマンドのブックマーク

おじどうさんにはコマンドにブックマークをつける機能がある。コマンドを選択した状態でショートカットキー［Ctrl + b］を入力すると、下図のように見た目が変化する。



ブックマークされたコマンドはシナリオ操作メニューの[移動]のブックマークに表示される。これにより、コマンドの移動が容易になる。

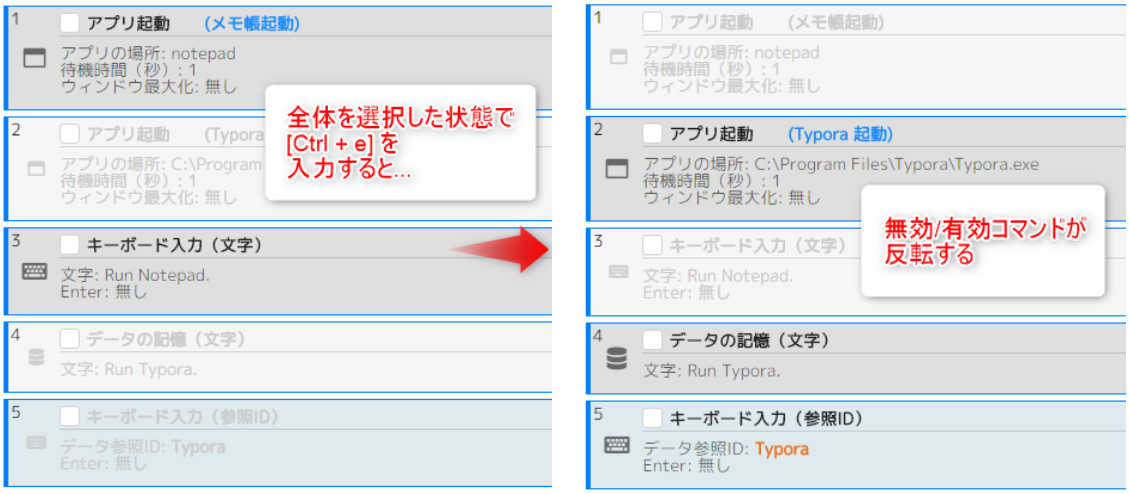


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.6. コマンドの無効化・有効化

コマンドを選択した状態で[コマンド無効化][コマンド無効化]をクリック、または、ショートカットキー［ctrl + e］を入力すると、コマンドの実行を無効化／有効化することができる。

全体を選択した状態で［Ctrl + e］を入力するとコマンドの無効／有効化が反転する。



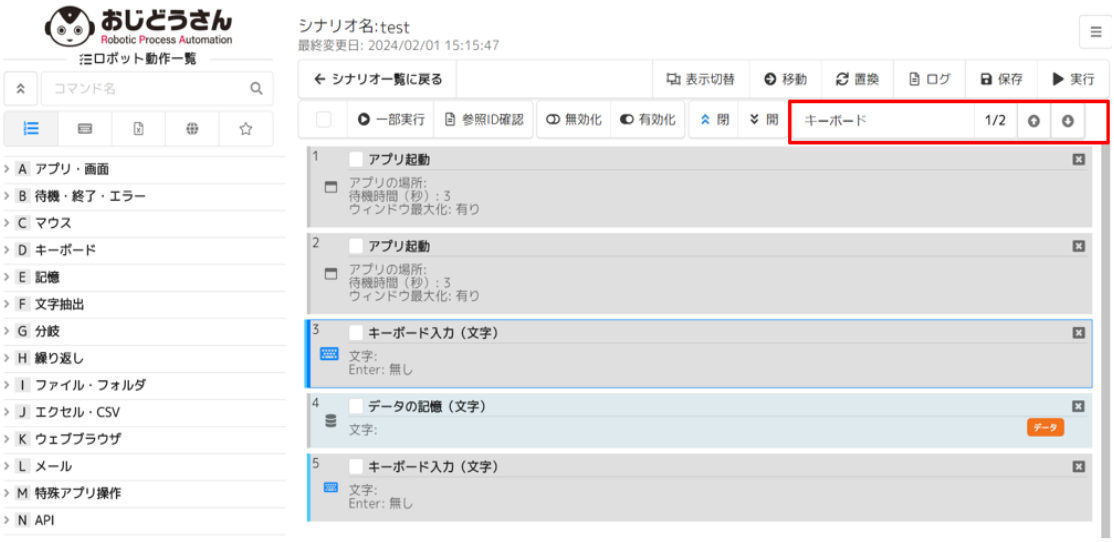
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.7. キーワード検索

キーワードを含むコマンドを検索する。検索対象は以下の通りである。

- コマンドのタイトル
- コマンドのテキスト入力項目（ドロップダウン等の入力項目は除く）
- コマンドのメモ

検索に一致したコマンドは、枠左側が水色に変化する。（下図）



キーワード検索のショートカットキー（検索欄フォーカス時に有効）

・Enter: 次の検索一致コマンドへ移動

・Shift+Enter: 前の検索一致コマンドへ移動

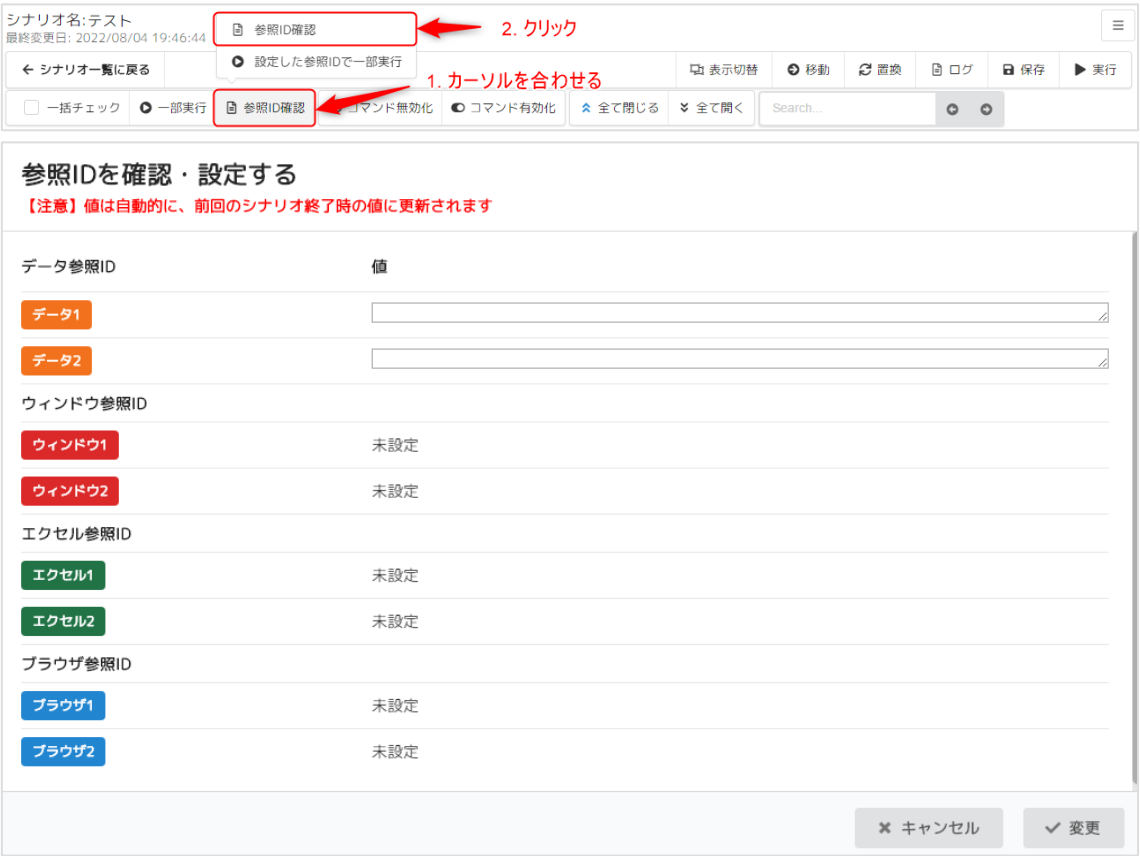
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

4.3.8. 設定した参照 ID で一部実行

「参照 ID 確認」ボタンでシナリオ内の参照 ID の一覧が表示され、それらの値のデフォルト値を一時的に設定できる。「設定した参照 ID で実行」ボタンをクリックすることで、その画面で設定した参照 ID を利用してシナリオを一部実行できる。

この機能は、シナリオ実行後やエラー終了時の参照 ID の値を確認したり、様々な参照 ID の値でシナリオを試験したりすることができるため、シナリオ作成時のサポートとして役立つ。

「参照 ID 確認」及び「設定した参照 ID で実行」ボタンは、シナリオ操作メニューの「参照 ID 確認」にカーソルを合わせると表示される。そのメニューから「参照 ID 確認」をクリックすると、下図の「参照 ID を確認・設定する」モーダルが表示される。



この「参照 ID を確認・設定する」モーダルでは、シナリオ一部実行前の参照 ID を確認および設定ができる。表示される参照 ID は下記の通りである。

- そのシナリオで定義されている参照 ID
- そのシナリオの親シナリオから継承する参照 ID

これらの参照 ID の値はシナリオが実行終了する度に、終了時点の値に更新される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

「設定した参照 ID で一部実行」ボタンからシナリオ実行したときのみ、参照 ID の値がこの設定に基づいたものに一時的に変化する。「実行」「一部実行」「スケジュール実行」ではこの設定は反映されない。

この設定の有効期限について、「シナリオ一覧画面」に移動する、もしくはおじどうさんを終了すると設定内容はすべてリセットされる。ただし、ブラウザ参照 ID については「シナリオ一覧画面」に移動しても保持される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

5. 基本操作

5.1. シナリオ作成方法

シナリオ作成方法は以下の 2 通りある。

(8) コマンド

(9) 操作記録

基本的には (1)コマンド を利用するが、それに(2)操作記録を加えることができる。

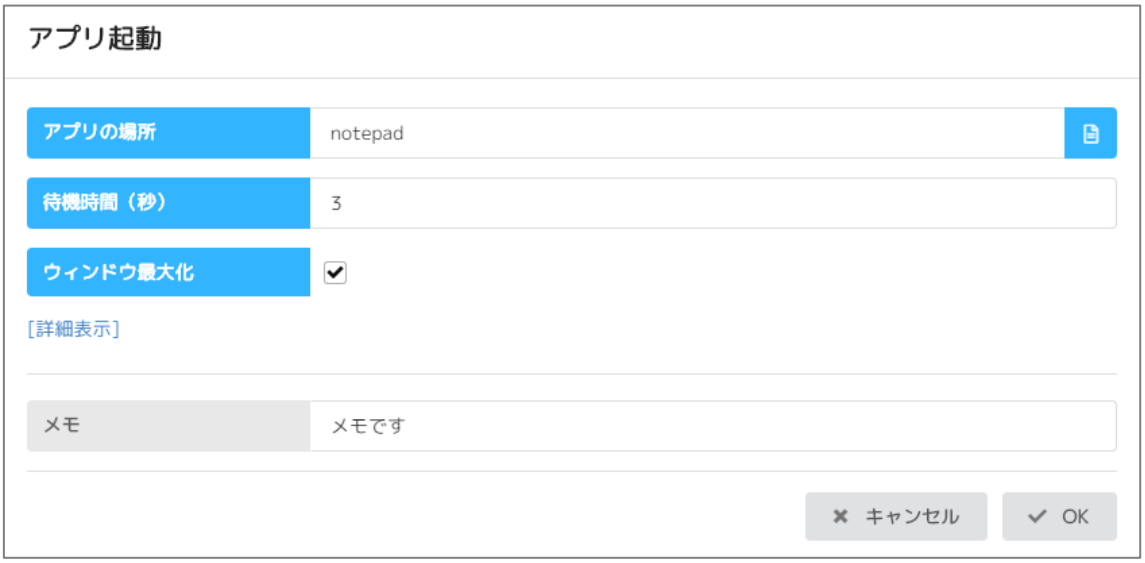
（1）コマンドでのシナリオ作成方法

シナリオ編集画面にてコマンド一覧パネル内のコマンドをクリックすると、そのコマンドがシナリオ編集パネルに配置される。

下図の例の場合、起動コマンドをクリックする（①）とコマンドがシナリオ編集パネルに配置される（②）。

全コマンドにはそれぞれ設定用のモーダルが用意されている。シナリオ編集パネルに配置されたコマンドをクリックすると、そのコマンドの設定モーダルが開く。

アプリ起動コマンド（上図②）をクリックすると下図のような設定モーダルが開く。



全てのコマンドにはメモを残すことができる。メモの文字数上限は 128 文字で、コマン

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

ド名の右側に青文字でメモが表示される（下図）。

（2）操作記録でのコマンド作成

6.13.4. 操作記録を御覧ください。

5.2. シナリオ保存

シナリオに変更が加わった場合は［保存］が赤くなる。その状態で［保存］をクリックするとシナリオを保存できる。

- シナリオが編集されている状態

- シナリオが保存されている状態

5.3. シナリオ実行

［スケジュール画面］の［実行］または［シナリオ編集画面］の［実行］をクリックすると、シナリオが実行される。シナリオ実行中はおじどうさんウィンドウが非表示となる。

- ［スケジュール画面］の対象シナリオの［実行］をクリック

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

- [シナリオ編集画面]の[シナリオ操作メニュー]上の[実行]をクリック
  ※[シナリオ編集パネル]上のコマンドにチェックを入れると、チェックしたコマンドに対してのみ実行することもできます。

シナリオ実行完了後はシナリオ実行終了モーダルが表示される。下図（左）は正常終了、下図（右）は失敗を表す。失敗内容は失敗したコマンド毎によって異なる。

5.4. シナリオ実行の停止

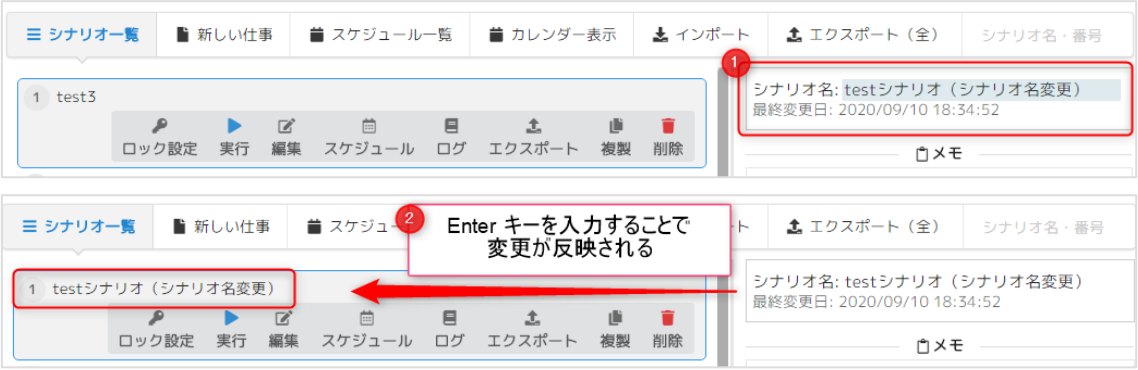
デフォルトの実行中シナリオの停止方法は、マウスポインタを画面の左上へ移動させる方法である。シナリオ停止方法は一般設定の「緊急停止オプション」から変更できる。

緊急停止のタイミングはコマンド実行前または待機 10 秒間毎である。停止後は緊急停止モーダル（下図）が表示され，停止箇所のコマンドに黄色のラベルが表示される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

5.5. シナリオ名の変更

方法 1：　スケジュール画面より変更



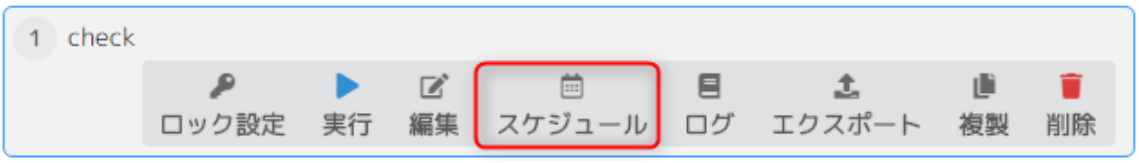
方法 2：　シナリオ編集画面より変更

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

5.6. スケジュール実行設定

5.6.1. シナリオ別スケジュール設定

[スケジュール画面]にて対象シナリオの[シナリオ操作メニュー]から[スケジュール]をクリックすると[シナリオ別スケジュール一覧モーダル]が開く。



モーダル上の[+]をクリックすることで新規スケジュールを追加する。

スケジュール有効・無効を切り替える場合は、左のチェックボックスをクリックする削除する場合は対象スケジュールの削除項目（右赤枠）をクリックする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

追加されたスケジュール項目をクリックすることで詳細なスケジュール編集モーダルに遷移する。

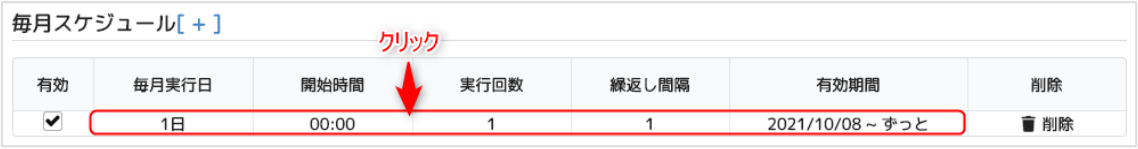
日付指定スケジュール例：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

毎週スケジュール例：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

毎月スケジュール例：



↓

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

営業日スケジュール例：

追加したスケジュールの日時を設定し、[完了]をクリックすることで設定完了となる。

※補足

・休日設定で再計算された日付が例外日だった場合、そのスケジュールは無効化される

・例外日を設定すると、その日のスケジュールを無効化する

・営業日スケジュール設定において、実行月に存在しない営業日のスケジュールは無効化される

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

※注意点

・複数のシナリオのスケジュールを同時刻に設定した場合、カレンダーに表示されている順序でシナリオを実行します。

5.6.2. スケジュール一覧

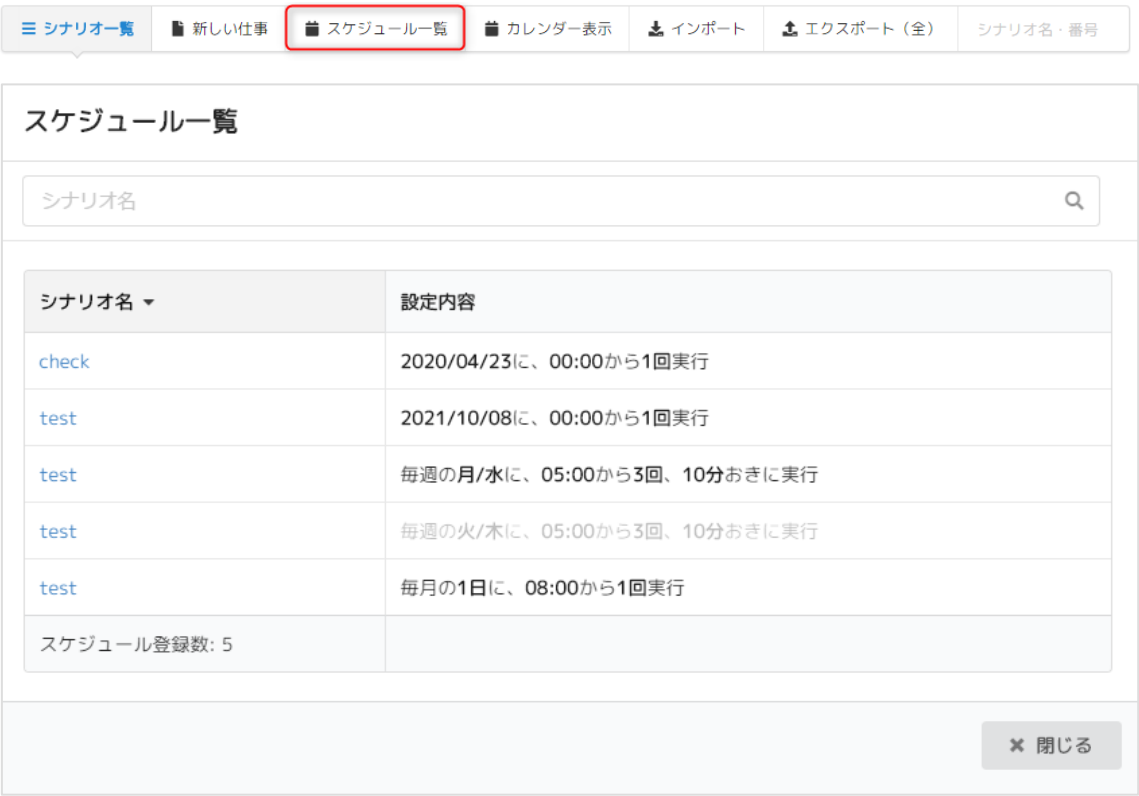
シナリオ一覧メニューの[スケジュール一覧]から次の操作が可能である。

1. シナリオ検索
2. スケジュール設定の編集

※シナリオ名をクリックするとスケジュール編集モーダルが表示されます

※一覧にないシナリオのスケジュールを設定することはできません

※無効化したスケジュールは説明内容が灰色になります

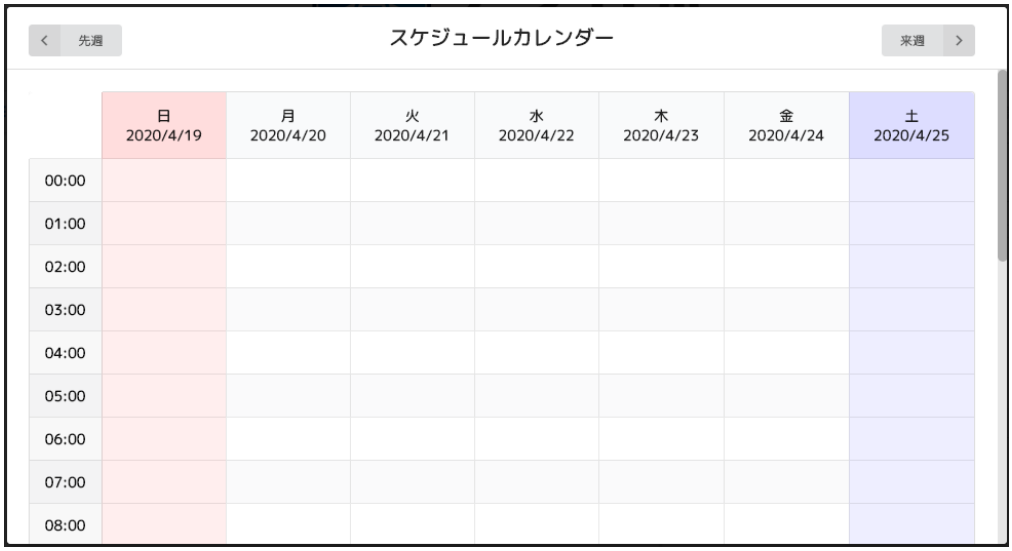


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

5.6.3. スケジュールのカレンダー表示

シナリオ一覧メニューの[カレンダー表示]から次の内容が確認できる。

- スケジュールの開始時間（繰り返しを含む）



以下のスケジュール一覧の内容をカレンダー表示すると次のようになる（2020/04/26 開始の週）。

※2020/04/23 のみ実行のシナリオ「check」は 2020/04/26 週のカレンダーには表示されません

※無効化したスケジュールはカレンダーには表示されません

シナリオ名 ▾	設定内容
check	2020/04/23に、00:00から1回実行
check	毎週の日/土に、08:00から6回、60分おきに実行
check	毎月の月末に、12:30から1回実行
demo	毎週の月/火/水/木/金に、10:00から1回実行
スケジュール登録数: 4	

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

	日 2020/4/26	月 2020/4/27	火 2020/4/28	水 2020/4/29	木 2020/4/30	金 2020/5/1	土 2020/5/2
00:00							
01:00							
02:00							
03:00							
04:00							
05:00							
06:00							
07:00							
08:00	08:00 check						08:00 check
09:00	09:00 check						09:00 check
10:00	10:00 check	10:00 demo	10:00 demo	10:00 demo	10:00 demo	10:00 demo	10:00 check
11:00	11:00 check						11:00 check
12:00	12:00 check				12:30 check		12:00 check
13:00	13:00 check						13:00 check
14:00							

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

5.6.4. スケジュール実行結果の表示

スケジュール実行されたシナリオの結果はシナリオ情報パネルの[スケジュール実行結果]に最大 100 件表示される。

※注意点

- スケジュール実行結果は保存されず、画面が切り替わると表示がリセットされます。ログファイルは保存されますのでご安心ください。

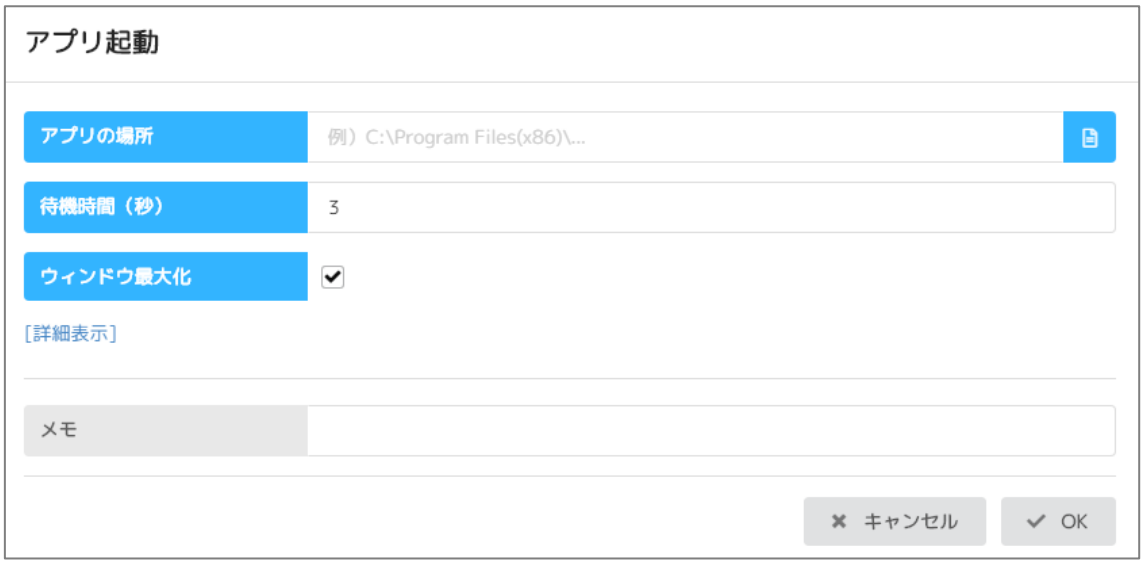
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

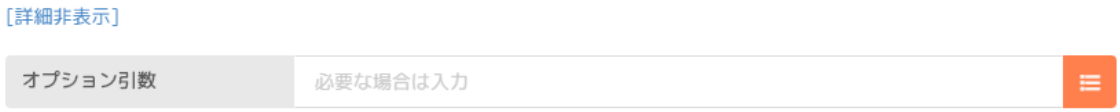
6. コマンド説明

6.1. アプリ・画面

6.1.1. アプリ ＞ 起動

アプリケーションを起動するコマンド。

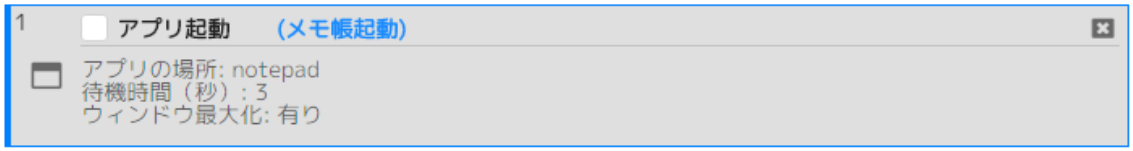




名称	内容
アプリの場所	起動したいアプリケーションを指定する ファイルアイコンから実行するアプリを選択できる 下記のような Windows 標準で名前のみで実行できるアプリケーションは直接入力で実行できる （excel：エクセル、notepad：メモ帳、chrome：Google Chrome 等）
待機時間（秒）	アプリ起動後に待機する時間を指定する アプリ全体が表示されるまで待機する場合に有効である
ウィンドウ最大化	アプリのウィンドウを最大化する
オプション引数	アプリ起動時のオプション（引数）を入力する [詳細表示]をクリックすると表示される

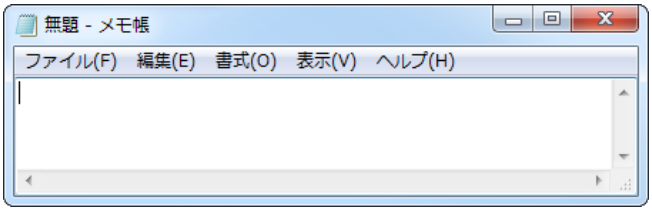
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（アプリ＞起動）：



シナリオ例（アプリ＞起動）の実行結果：

メモ帳が起動する。



6.1.2. 画面 ＞ 最前画面を覚える

画面の最前面にあるウィンドウを記憶するコマンド。[ウィンドウ参照 ID]に定義したウィンドウ参照 ID を別のコマンドで指定することで、記憶したウィンドウを呼び出せる。

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	ウィンドウ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.1.3. 画面 ＞ 画面を覚える（名前）

指定した名前の画面（ウィンドウ）を記憶するコマンド。[ウィンドウ参照 ID]に定義したウィンドウ参照 ID を別のコマンドで指定することで、記憶したウィンドウを呼び出せる。なお、同じ名前の画面が複数ある場合は、最初にマッチしたウィンドウが記憶される。

名称	内容
ウィンドウ名	記憶したい画面（ウィンドウ）を指定する。ウィンドウ名は部分一致での指定に対応している。
ウィンドウ参照 ID	ウィンドウ参照 ID を定義する

6.1.4. 画面 ＞ 切り替え（参照 ID）

定義したウィンドウ参照 ID を指定し、画面の最前に呼び出すコマンド。

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を指定する

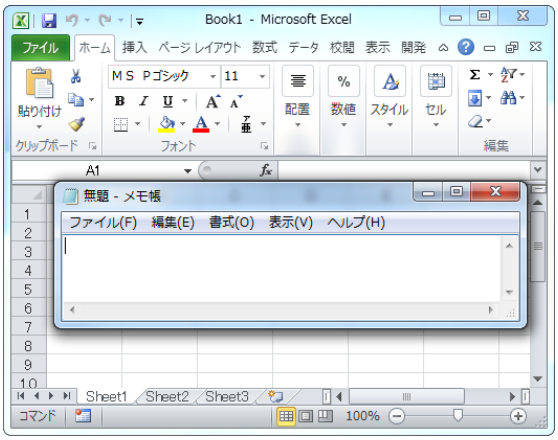
シナリオ例（画面 >切り替え（参照 ID））：

メモ帳、エクセルの順に起動した後、メモ帳を最前面に表示するシナリオ。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（画面 >切り替え（参照 ID））の実行結果：

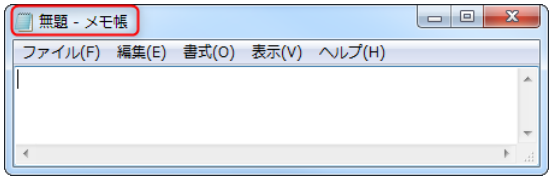
メモ帳が最前面に表示される。



6.1.5. 画面 ＞ 切り替え（名前）

指定したウィンドウ名が含まれるウィンドウを最前面に呼び出すコマンド。

下図のメモ帳は[無題 – メモ帳]がウィンドウ名となるため、[無題 – メモ帳]、[無題]、[メモ帳]のいずれかでウィンドウ名を指定することで、画面の最前面に表示することができる。また、同一のウィンドウ名が複数ある場合は最初にマッチしたウィンドウが最前面に表示される。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
ウィンドウ名	ウィンドウ名を指定する

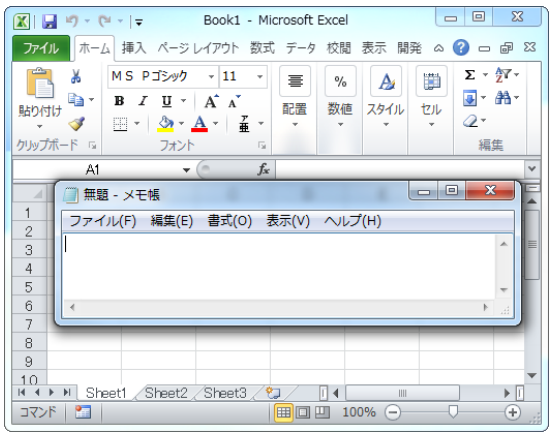
シナリオ例（画面 >切り替え（名前））：

メモ帳、エクセルの順に起動した後、メモ帳を最前面に表示するシナリオ。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（画面 >切り替え（名前））の実行結果：

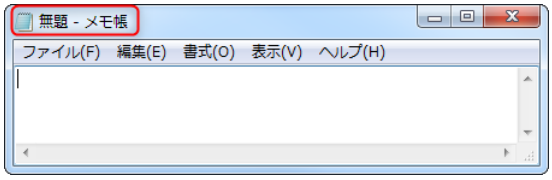
[メモ帳]ウィンドウが最前面に表示される。

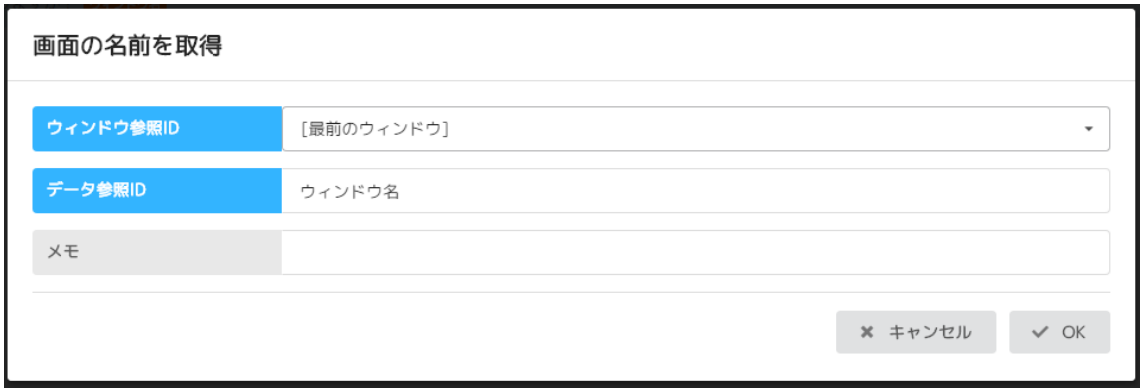


6.1.6. 画面 ＞ 画面の名前を取得

指定したウィンドウの名前を記憶するコマンド。

下図のメモ帳の場合、「無題 – メモ帳」という文字がデータ参照 ID に記憶される。





名称	内容
ウィンドウ参照 ID	記憶したいウィンドウ名をウィンドウの参照 ID または [最前のウィンドウ] から指定する。
データ参照 ID	ウィンドウ参照 ID を定義する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.1.7. 画面 ＞ 移動

最前面のウィンドウを任意の位置に配置するコマンド。

名称	内容
移動先	最前面ウィンドウを移動する位置の指定

シナリオ例（画面 >移動）：

メモ帳を起動して、画面左下に移動するシナリオ。

シナリオ例（画面 >移動）の実行結果：

メモ帳が画面左下に移動する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.1.8. 画面 ＞ 最大化／最小化

ウィンドウを最大化、または最小化する。下図赤枠の最大化と同じ挙動になる。

名称	内容
動作	最大化または最小化を選択する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.1.9. 画面 ＞ スクリーンショットを撮る

指定した撮影範囲のスクリーンショットを撮るコマンド。

名称	内容
保存場所	スクリーンショットの保存場所を指定する
ファイル名	スクリーンショットのファイル名を指定する
撮影範囲	撮影範囲を選択する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.2. 待機・終了・エラー

6.2.1. 秒

指定した秒数の間、待機するコマンド。ウィンドウ全体が表示されるまで待機する必要がある場合や、ネットワーク上のファイルアクセスで待ち時間がある場合にこのコマンドが有効である。

名称	内容
待機時間（秒）	待機秒数を指定する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.2.2. 画像出現を待つ

指定した秒数の間、画像切り取りで登録した画像出現を待機するコマンド。
画像が出現した場合と出現しない場合で処理を分けることができる。
※画像出現を待つコマンドと画像を探す（分岐）コマンドは同一です。

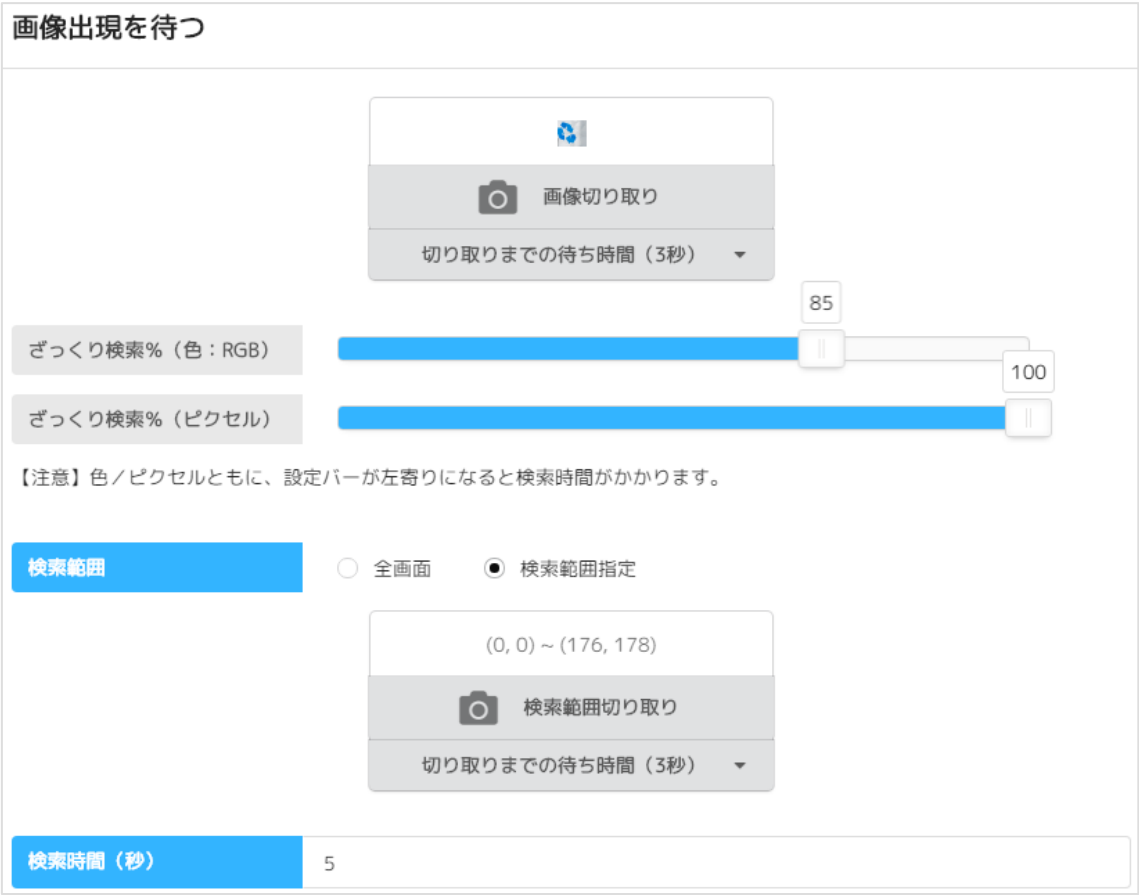
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
画像切り取り	出現を待つ画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ＆ドロップすると座標が表示される。
切り取りまでの待ち時間	画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を選択する。
ざっくり検索％（色：RGB）	画像を画面上で検索する際、色のズレをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色のズレがあっても容認する。
ざっくり検索％（ピクセル）	画像を画面上で検索する際、色が完全に不一致のピクセルをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色が完全不一致のピクセルがあっても容認する。
検索範囲	画像を検索する範囲を指定する。[検索範囲指定]を選択すると、本項目直下に検索範囲切り取りが表示される。
検索範囲切り取り	画像の検索範囲を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ＆ドロップすると座標が表示される。
検索時間（秒）	検索時間を指定する。最大検索時間は 3600 秒。画像が出現した場合は検索時間の経過を待たずに次の処理を実行する。

シナリオ例（画像出現を待つ）：

デスクトップからゴミ箱を探し、その結果をメモ帳に入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

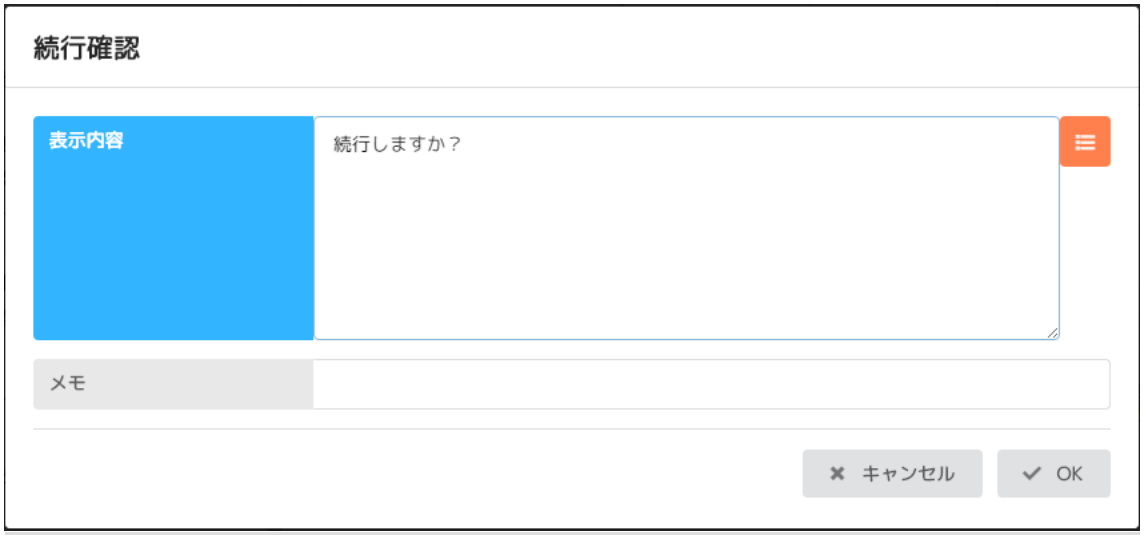


シナリオ例（画像出現を待つ）の実行結果：

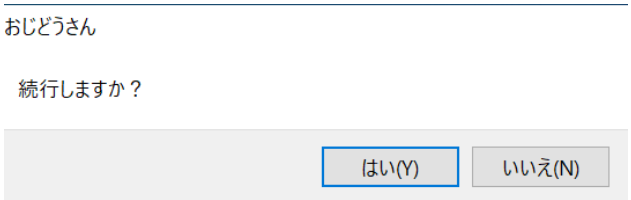
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.2.3. 続行確認

おじどうさん実行中に続行確認ウィンドウを表示するコマンド。
続行の場合は通常通りシナリオ実行を継続し、そうでない場合は緊急停止する。

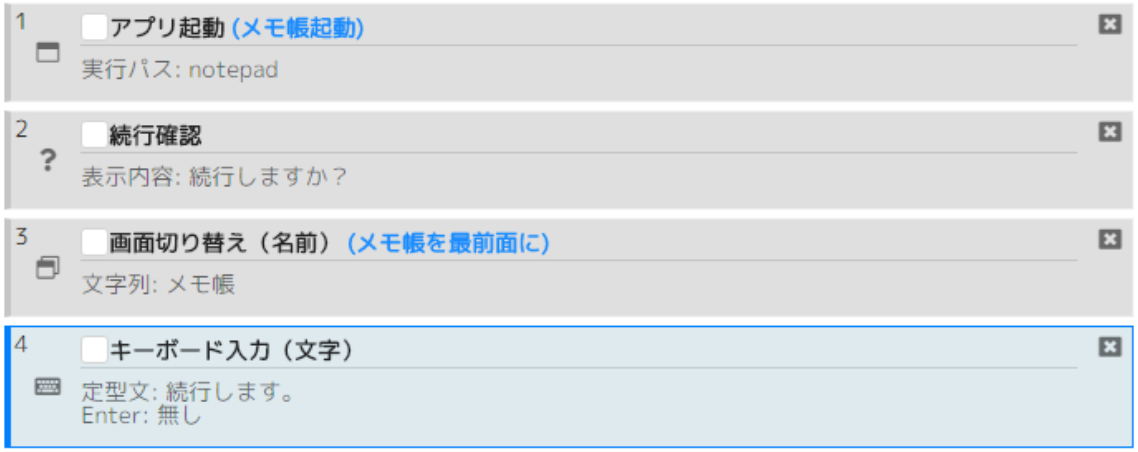


名称	内容
表示内容	入力画面に表示する説明文を入力する



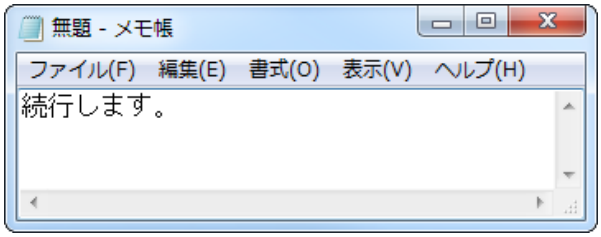
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（続行確認）：



シナリオ例（続行確認）の実行結果：

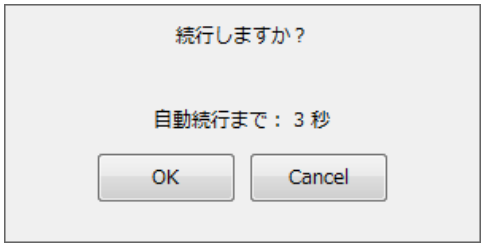
シナリオ続行確認ウィンドウで[はい]を選択した場合、メモ帳に「続行します。」と入力された。



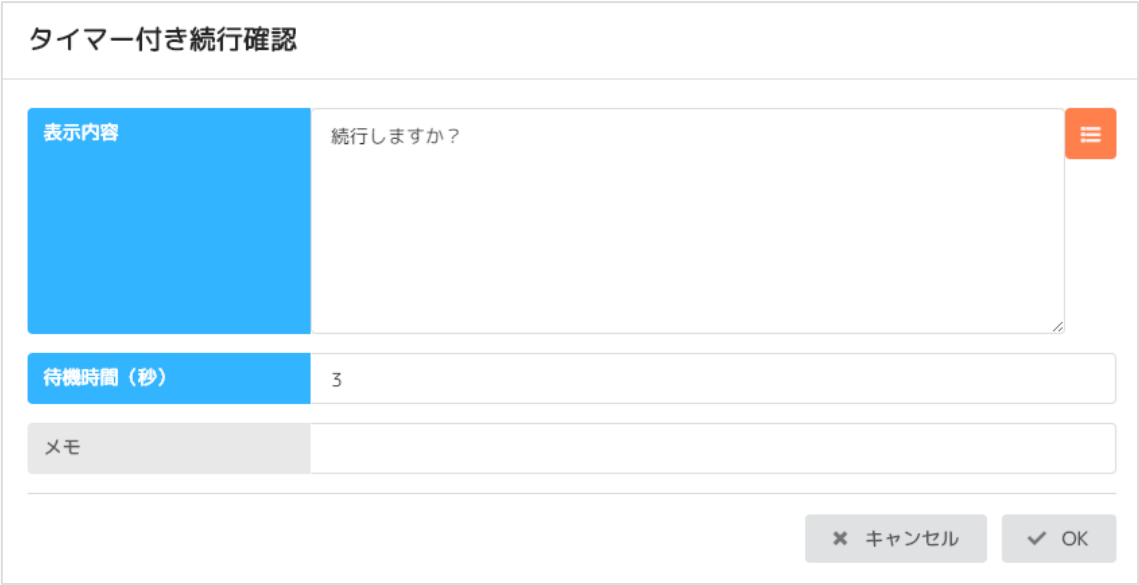
6.2.4. タイマー付き続行確認（秒）

おじどうさん実行中に続行確認モーダル（下図）を表示するコマンド。

続行の場合は通常通りシナリオ実行を継続し、そうでない場合は緊急停止する。設定した時間以内に続行選択をしなかった場合は通常通りシナリオが処理される。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



名称	内容
表示内容	入力画面に表示する説明文を入力する
待機時間（秒）	続行確認の待機秒数を指定する

6.2.5. コマンド間待機時間を変更

コマンド間の待機時間を変更するコマンド。
一部のコマンド群の待機時間を変更する際に有用である。

名称	内容
待機時間（秒）	コマンド間の待機時間を指定する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

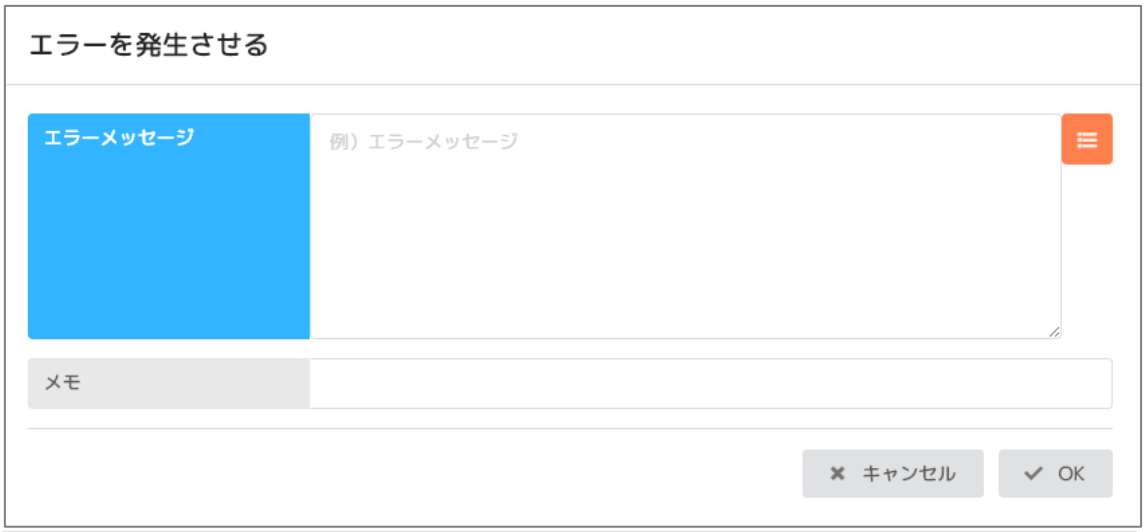
6.2.6. 作業強制終了

シナリオ実行途中に停止させるコマンド。

名称	内容
終了時の扱い	終了時の扱いを選択する。 別シナリオ実行にて本コマンドが緊急停止だった場合は エラー終了扱いとなる。

6.2.7. エラー発生

エラーを発生させるコマンド。このコマンドで発生させたエラーは「6.2.8. エラー確認・処理」でキャッチすることができる。



名称	内容
エラーメッセージ	エラーメッセージを指定する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.2.8. エラー確認・処理

直前コマンドでエラーが発生した場合でもシナリオ実行を継続可能にするコマンド。直前コマンドのエラー発生確認とリトライができる。

直前のコマンドがグループ化や分岐などのネストコマンド（コマンドの中にコマンドを入れることができるもの）の場合、直前コマンド対象となるのはネストコマンドとなり、ネスト配下全てのコマンドがエラー処理確認対象かつリトライ対象となる。

エラーが発生したコマンド、エラーメッセージなどは、エラー処理コマンド内の参照 ID に記憶される。

名称	内容
リトライ回数	直前のコマンドでエラーが発生したとき、指定したリトライ回数分直前のコマンドをリトライする
待機時間（秒）	リトライの待機時間を指定する

名称	内容
[ERR_CMD]	エラーが出たコマンド名
[ERR_MEMO]	エラーが出たコマンドのメモ
[ERR_MSG]	エラーメッセージ
[ERR_PARAM]	エラーが出たコマンドのパラメータ

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

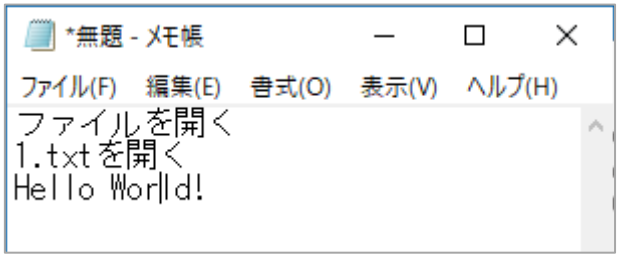
シナリオ例（エラー確認・処理）：

下図フォルダ内から存在しない 1.txt を開き、メモ帳にエラー内容を入力するシナリオ。

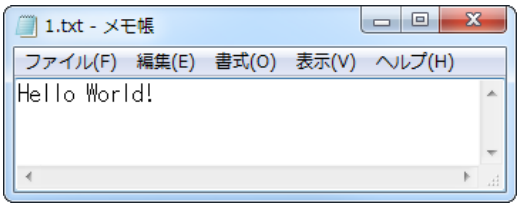
名前	更新日時	作成日時
2019-01-28_1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
2019-01-28_3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2019-01-28_5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

シナリオ例（エラー確認・処理）の実行結果：

メモ帳にエラー内容が入力された。



1.txt が存在した時の結果は以下のようになる。



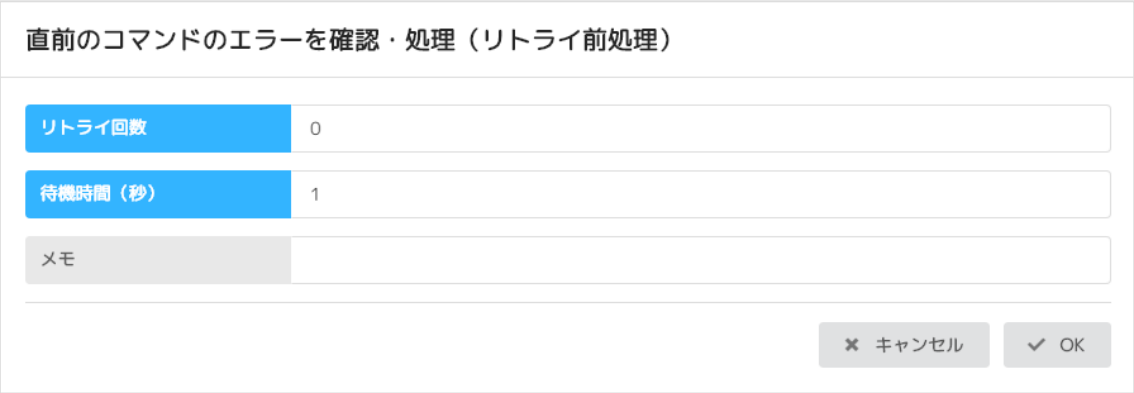
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.2.9. エラー確認・処理（リトライ前処理）

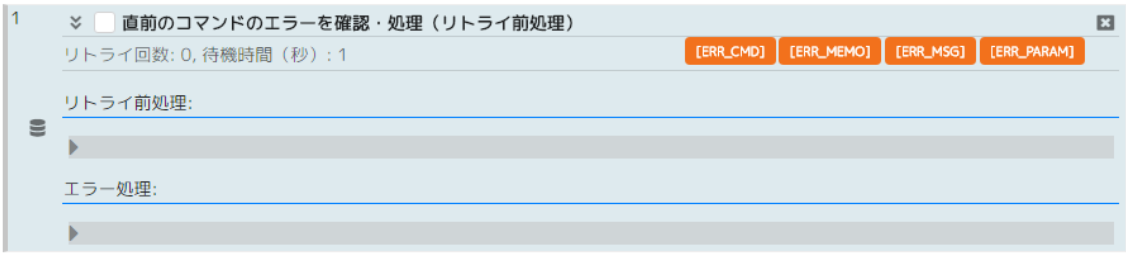
直前コマンドでエラーが発生した場合でも、シナリオ実行を継続可能にするコマンド。直前コマンドのエラーを確認し、リトライ前の処理実行、リトライ、エラーから復帰する際の処理を実行できる。

直前のコマンドがグループ化や分岐などのネストコマンド（コマンドの中にコマンドを入れることができるもの）の場合、直前コマンド対象となるのはネストコマンドとなり、ネスト配下全てのコマンドがエラー処理確認対象かつリトライ対象となる。

エラーが発生したコマンド、エラーメッセージなどは、エラー処理コマンド内の参照 ID に記憶される。



名称	内容
リトライ回数	直前のコマンドでエラーが発生したとき、指定したリトライ回数分直前のコマンドをリトライする
待機時間（秒）	リトライの待機時間を指定する



名称	内容
[ERR_CMD]	エラーが出たコマンド名
[ERR_MEMO]	エラーが出たコマンドのメモ
[ERR_MSG]	エラーメッセージ
[ERR_PARAM]	エラーが出たコマンドのパラメータ

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

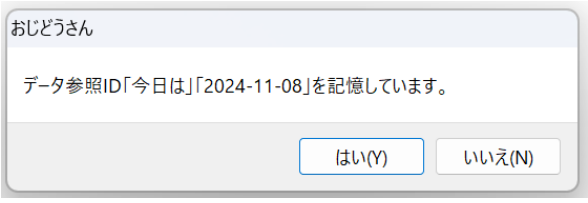
シナリオ例（エラー確認・処理（リトライ前処理））：

データ参照 ID「今日」が 2024 年 11 月 11 日である場合とそうでない場合のメッセージを表示するシナリオ。最初はエラーが発生するよう、データ参照 ID「今日」に日付以外の文字列を設定する。エラー確認・処理（リトライ前処理）コマンドにリトライ回数を 3 回設定し、リトライ前処理でデータ参照 ID「今日」に正しい日付を記憶させる。

シナリオ例（エラー確認・処理（リトライ前処理））の実行結果：

リトライ前処理によってデータ参照 ID「今日」に正しい日付が記憶された。

なお、リトライ 3 回実行しても最終的にエラーとなる場合は、メモ帳にエラーが発生したコマンド名とそのコマンドに設定されたメモが入力される。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.3. マウス

マウス操作コマンドの座標切り取りは座標を表示する。

6.3.1. 移動 ＞ 座標

マウスポインタを指定の座標へ移動するコマンド。座標は画面左上を原点としたピクセル値で表すことができる。座標の指定方法は以下の 2 通りである。

1. ピクセル値を直接入力する
2. [座標を取得]を利用する

名称	内容
座標を取得（3 秒）	クリックして 3 秒後に座標取得モードになる 座標取得モードで移動したい場所をクリックすると、 X 座標値と Y 座標値が自動的に入力される
X（横）	X 座標値（画面左上から右への移動ピクセル値）
Y（縦）	Y 座標値（画面左上から下への移動ピクセル値）
移動後のクリック	マウス移動後のクリックの動作を選択する （無し・シングル・ダブル・トリプル・右）

※クラウドシステムなどで、同じデザインのボタンが羅列している際などの使用に便利です。
※座標を取得したパソコンと画面解像度が異なる別のパソコンにシナリオをインポートすると、インポート先のパソコンで再度座標の取得をやり直す必要があります。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.3.2. 移動 ＞ 距離

現在のマウスポインタの位置を原点とし、マウスを移動するコマンド。X＝横（右方向）、Y＝縦（下方向）への値を指定して移動することができ、逆方向に移動させる場合は、「－（マイナス）」の値を入力する。

名称	内容
移動距離を取得（3 秒）	クリックして 3 秒後に移動距離取得モードになる 取得モードで移動したい場所をドラッグ＆ドロップすると、 X の移動距離と Y の移動距離が自動的に入力される
X（横）	マウスポインタの現在位置から右への移動ピクセル値
Y（縦）	マウスポインタの現在位置から下への移動ピクセル値
移動後のクリック	マウス移動後のクリックの動作を選択する （無し・シングル・ダブル・トリプル・右）

※座標を取得したパソコンと画面解像度が異なる別のパソコンにシナリオをインポートすると、インポート先のパソコンで再度座標の取得をやり直す必要があります。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.3.3. 移動 ＞ 画像認識

指定画像にマウスを移動するコマンド。画像切り取り機能を使用して画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ＆ドロップすると座標が表示される。

名称	内容
画像切り取り	出現を待つ画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ＆ドロップすると座標が表示される。
切り取りまでの待ち時間	画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を選択する。
ざっくり検索%（色：RGB）	画像を画面上で検索する際、色のズレをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色のズレがあっても容認する。
ざっくり検索%（ピクセル）	画像を画面上で検索する際、色が完全に不一致のピクセルをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色が完全不一致のピクセルがあっても容認する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
検索範囲	画像を検索する範囲を指定する。[検索範囲指定]を選択すると、本項目直下に検索範囲切り取りが表示される。
検索範囲切り取り	画像の検索範囲を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ＆ドロップすると座標が表示される。
移動後のクリック	マウス移動後のクリックの動作を選択する

6.3.4. ドラッグ＆ドロップ ＞ 座標（D&D）

現在位置から指定の座標へマウスドラッグ＆ドロップをするコマンド。座標は画面左上を原点としたピクセル値で表すことができる。座標の指定方法は以下の 2 通りである。

1. ピクセル値を直接入力する
2. [座標取得]を利用する

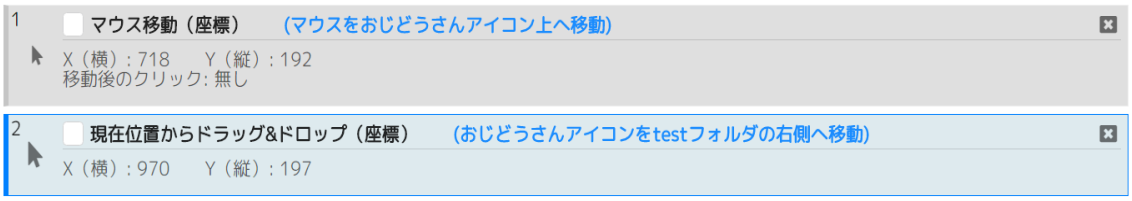
名称	内容
座標を取得（3 秒）	クリックして 3 秒後に座標取得モードになる 座標取得モードで移動したい場所をドラッグ＆ドロップすると、座標が自動的に入力される
X（横）	マウスドロップする X 座標値
Y（縦）	マウスドロップする Y 座標値

※座標を取得したパソコンと画面解像度が異なる別のパソコンにシナリオをインポートすると、インポート先のパソコンで再度座標の取得をやり直す必要があります。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

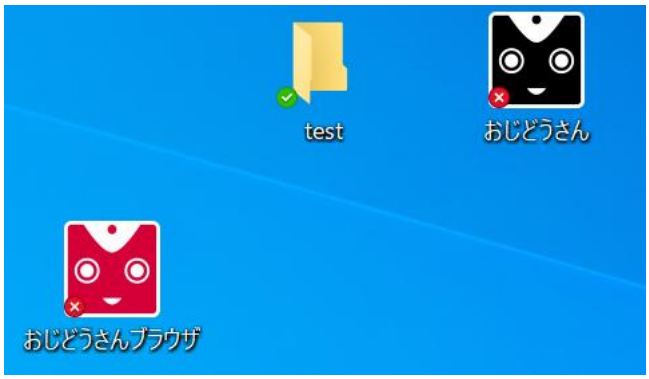
シナリオ例（ドラッグ＆ドロップ＞座標（D&D））：

デスクトップ画面上のおじどうさんアイコンを test フォルダの右側に移動（ドラッグ＆ドロップ）するシナリオ。



シナリオ例（ドラッグ＆ドロップ＞座標（D&D））の実行結果：

おじどうさんアイコンが test フォルダの右側へ移動した。



6.3.5. ドラッグ＆ドロップ ＞ 距離（D&D）

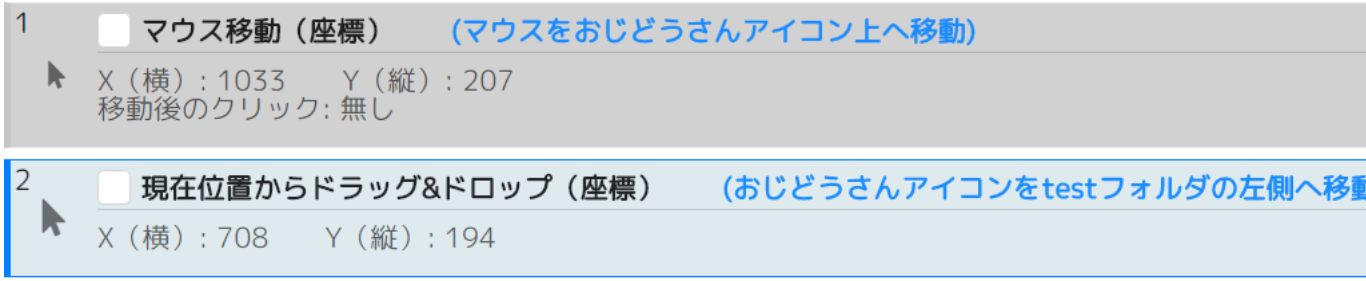
現在位置から指定の距離までマウスドラッグ＆ドロップをするコマンド。距離は X＝横（右方向）、Y＝縦（下方向）と考えて値を指定する。逆方向に移動させる場合は、「－（マイナス）」の値を入力する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
ドラッグ距離を取得（3 秒）	クリックして 3 秒後にドラッグ距離取得モードになる 取得モードで移動したい場所をドラッグ＆ドロップすると、 X の移動距離と Y の移動距離が自動的に入力される
X（横）	現在位置からマウスドロップする横方向の距離
Y（縦）	現在位置からマウスドロップする縦方向の距離

シナリオ例（ドラッグ＆ドロップ＞距離（D&D））：

デスクトップ画面上のおじどうさんアイコンを test フォルダの左側に移動（ドラッグ＆ドロップ）するシナリオ。



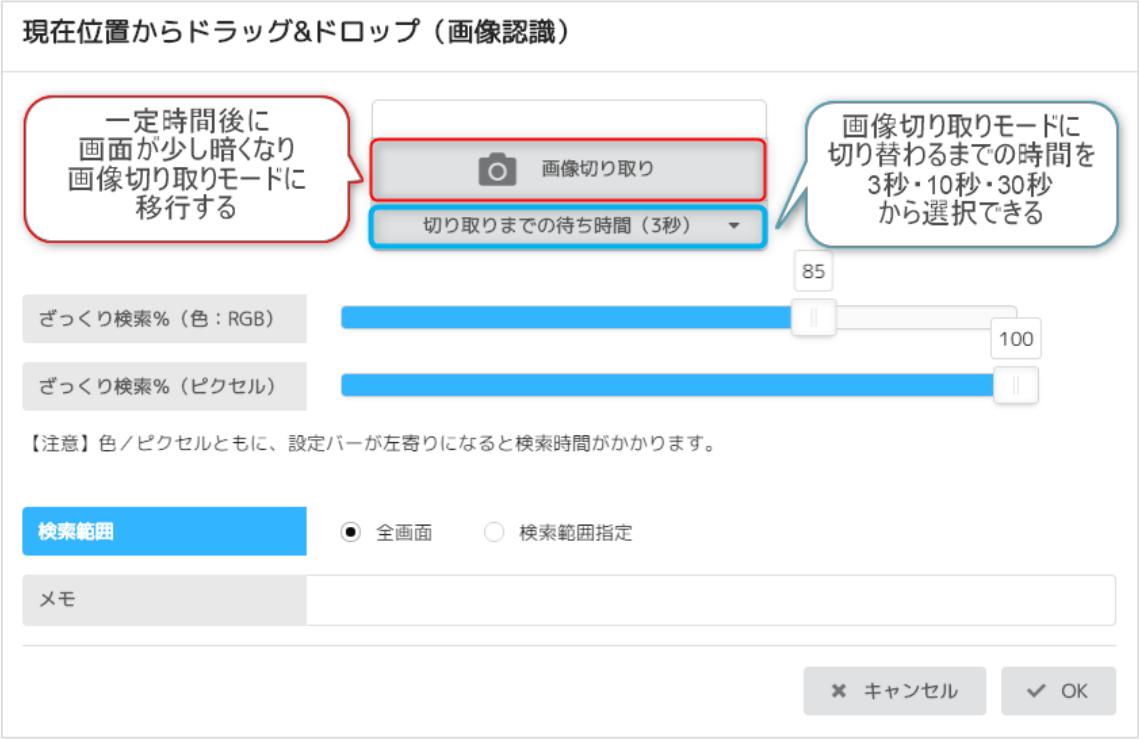
シナリオ例（ドラッグ＆ドロップ＞距離（D&D））の実行結果：

おじどうさんアイコンが test フォルダの左側へ移動した。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.3.6. ドラッグ＆ドロップ ＞ 画像認識（D&D）

現在位置から指定画像へマウスドラッグ＆ドロップをするコマンド。画像切り取り機能を使用して画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ＆ドロップすると座標が表示される。



名称	内容

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

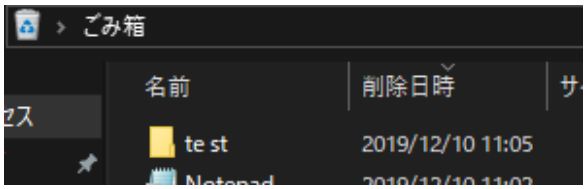
画像切り取り	出現を待つ画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ＆ドロップすると座標が表示される。
切り取りまでの待ち時間	画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を選択する。
ざっくり検索％（色：RGB）	画像を画面上で検索する際、色のズレをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色のズレがあっても容認する。
ざっくり検索％（ピクセル）	画像を画面上で検索する際、色が完全に不一致のピクセルをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色が完全不一致のピクセルがあっても容認する。
検索範囲	画像を検索する範囲を指定する。[検索範囲指定]を選択すると、本項目直下に検索範囲切り取りが表示される。
検索範囲切り取り	画像の検索範囲を指定する。

シナリオ例（ドラッグ＆ドロップ＞画像認識（D&D））：

デスクトップ画面上 test フォルダをゴミ箱へ移動（ドラッグ＆ドロップ）するシナリオ。ゴミ箱があるエリアを検索範囲として指定する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ドラッグ＆ドロップ＞画像認識（D&D））の実行結果：
おじどうさんアイコンが test フォルダの左側へ移動した。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

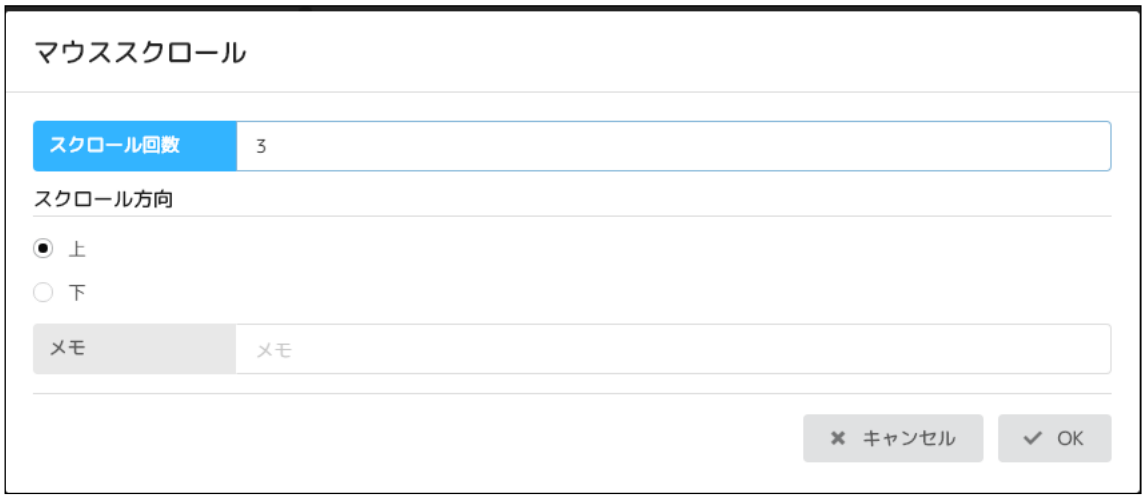
6.3.7. マウスクリック

マウスクリックするコマンド。

名称	内容
クリックタイプ	クリックのタイプを選択する
オプションキー	シングルクリックまたは右クリックの場合は、 クリック前に入力するキーを選択できる。 選択肢は次の 3 つである： 無し・ctrl・shift

6.3.8. スクロール

画面を上下にスクロールさせるコマンド。スクロール回数は使用するパソコンに依存するため調整が必要である。



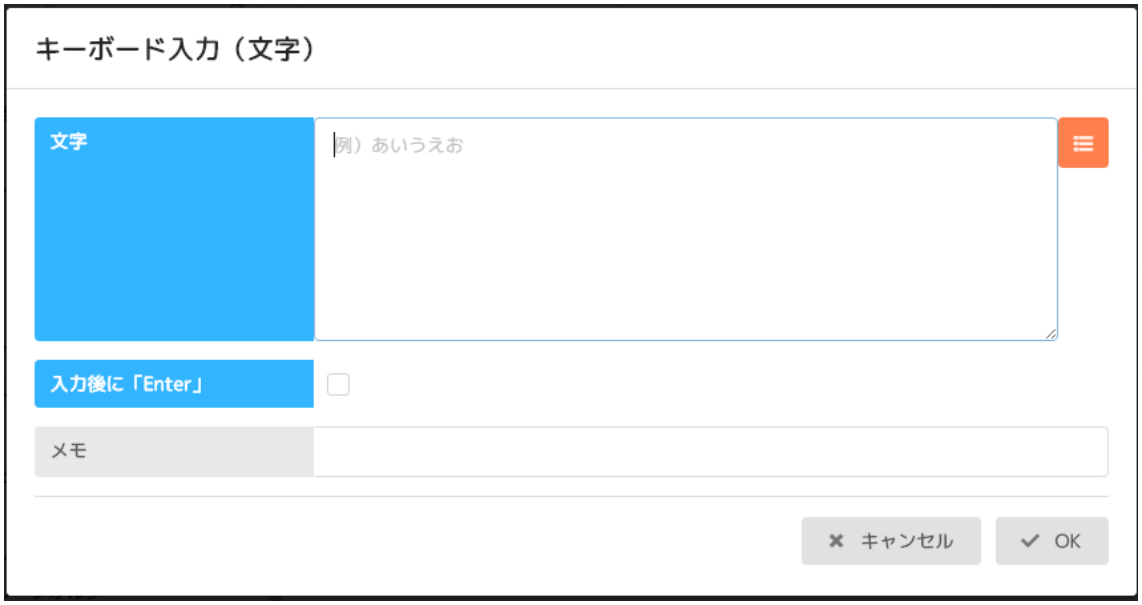
名称	内容
スクロール方向	スクロールする方向を指定する
スクロール回数	スクロール回数を指定する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.4. キーボード

6.4.1. 入力 ＞ 文字

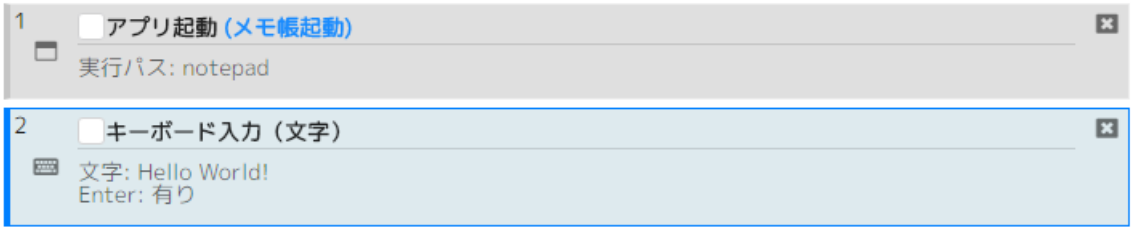
指定した文字をキーボード入力するコマンド。アプリケーションに対しての文字入力、ブラウザでの検索文字、URL 入力等に利用することができる。



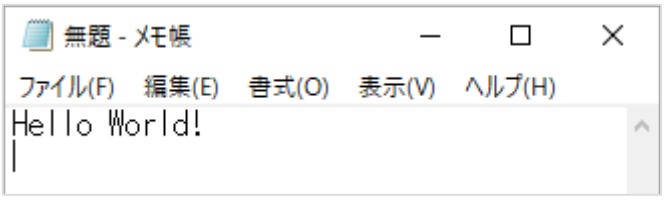
名称	内容
文字	キーボード入力する文字を指定する 上限：1024 文字
入力後に「Enter」	定型文を入力した後にエンターキーを押す

シナリオ例（入力＞文字）：

メモ帳に「Hello World!」を入力し、改行するシナリオ。



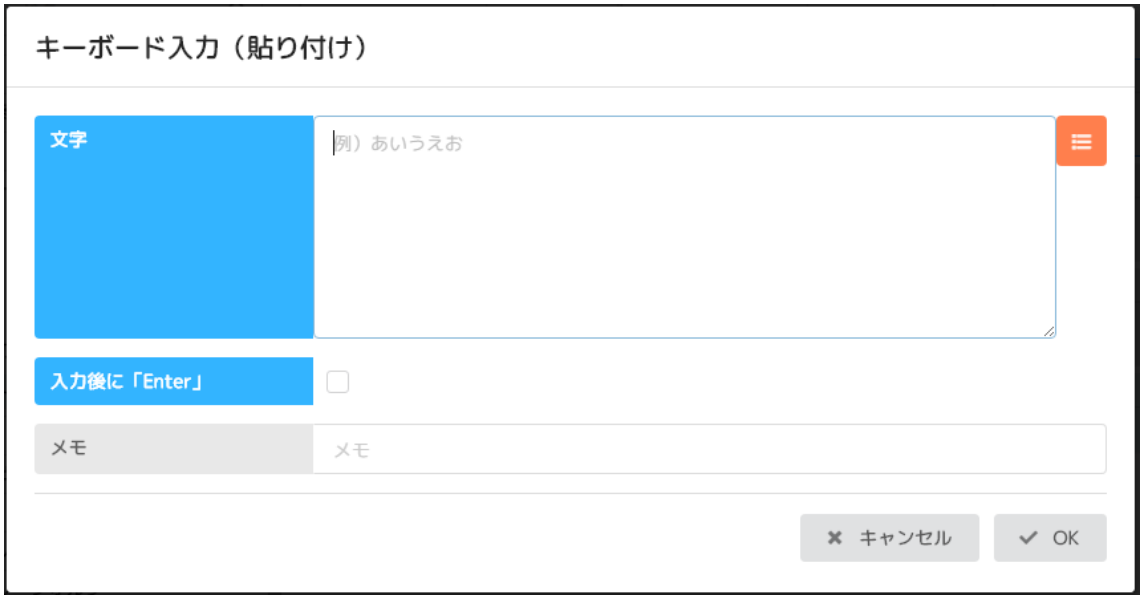
シナリオ例（入力＞文字）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.4.2. 入力 ＞ 文字（貼り付け）

指定した文字を貼り付けるコマンド。

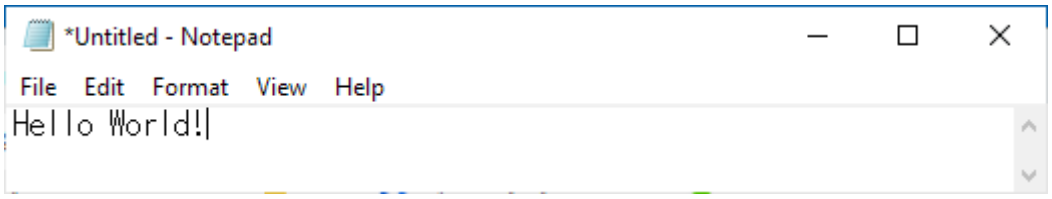


名称	内容
文字	キーボード入力する文字を指定する 上限：31999 文字
入力後に「Enter」	定型文を入力した後にエンターキーを押す

シナリオ例（入力＞文字（貼り付け））：

メモ帳に「Hello World!」を入力し、改行するシナリオ。

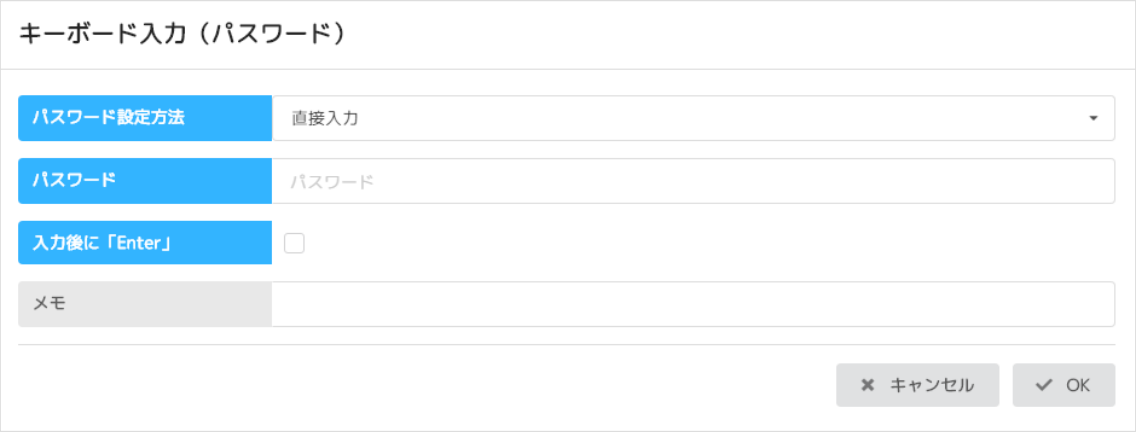
シナリオ例（入力＞文字（貼り付け））の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.4.3. 入力 ＞ パスワード

パスワードを入力するコマンド。シナリオ上で表示させたくない数値や文字列を入力する際に使用する。入力した数値や文字列はマスク処理され、入力内容が全て「●」となる。



名称	内容
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. 直接入力 2. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される パスワード等の表示させたくない数値や文字列を入力する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
入力後に「Enter」	パスワード入力後にエンターキーを押す

シナリオ例（入力＞パスワード）：

ブラウザ起動後、Google にログインするシナリオ。

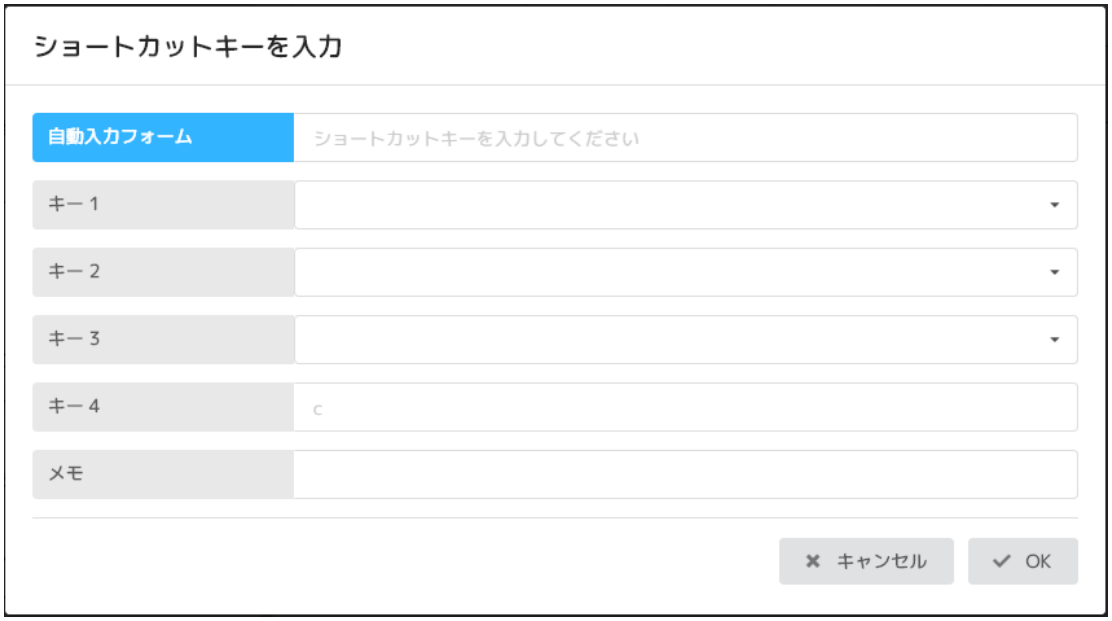
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（入力＞パスワード）の実行結果：

6.4.4. ショートカット

ショートカットキーを入力するコマンド。

自動入力フォームにショートカットキーを入力すると自動的にキーが選択される。



名称	内容
自動入力フォーム	入力したキーを自動的にキー1～キー4 へ挿入する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

キー1～キー3	特殊キーを 1 つ指定する（F1-F12、 Enter、 ctrl、 alt、 win 等）
キー4	キーを 1 文字のみ入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ショートカット）：

メモ帳に文字を入力してデスクトップに保存し、メモ帳終了する。

保存ショートカット：ctrl + s	アプリ終了ショートカット：alt + F4

シナリオ例（ショートカット）の実行結果：

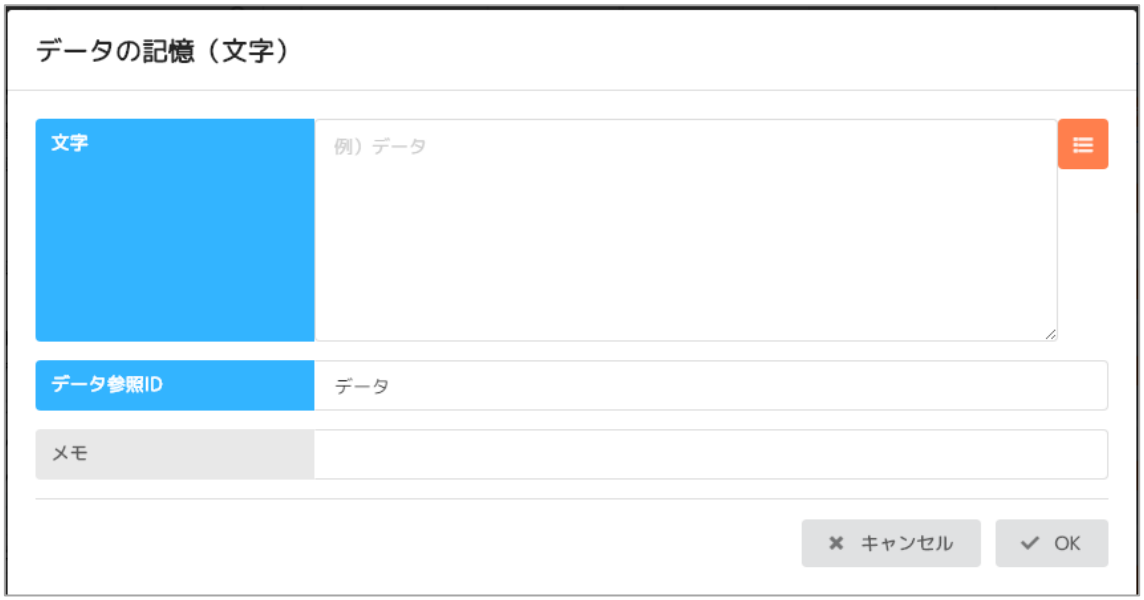
メモ帳に文字を入力して保存し、メモ帳終了した。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5. 記憶

6.5.1. 文字

文字をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。シナリオ内で何度も利用したい文字をこのコマンドで記憶させ、他のコマンドでデータ参照 ID を指定することで使用できる。

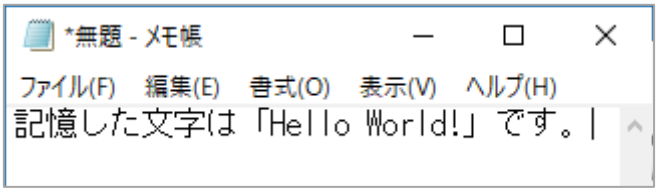


名称	内容
文字	記憶する文字を入力する 上限：31999 文字
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（文字）：

文字を記憶して、メモ帳に入力するシナリオ。

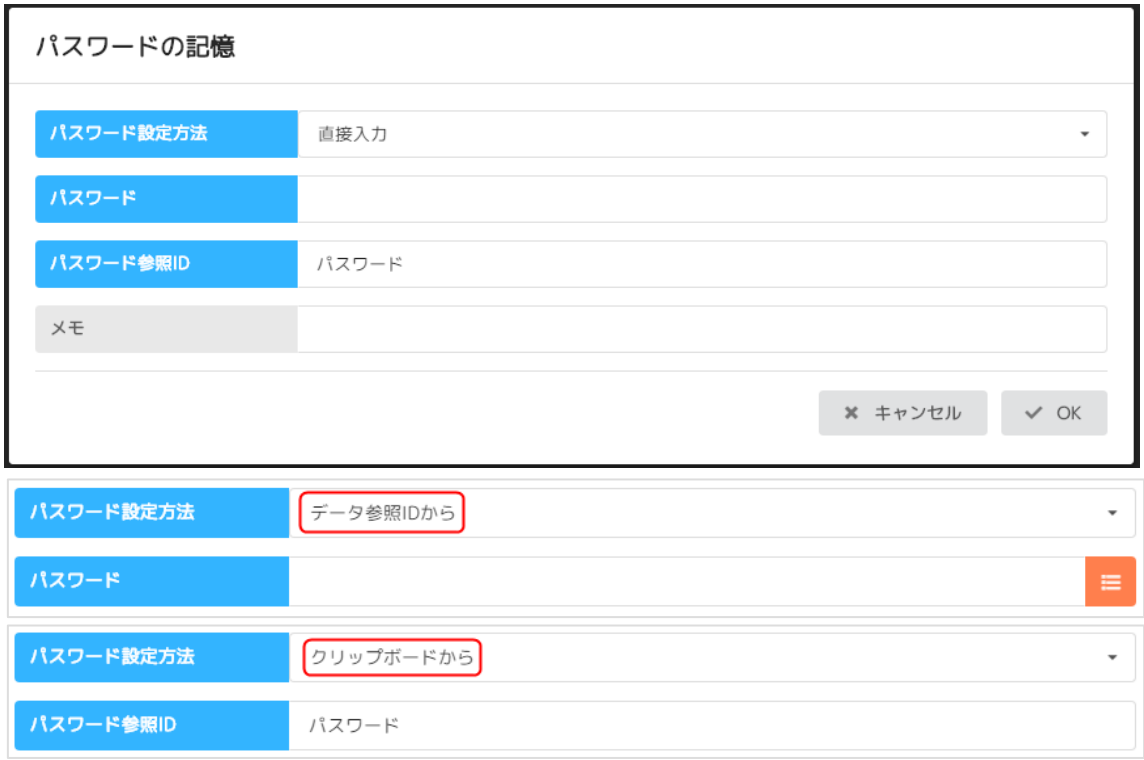
シナリオ例（文字）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.2. パスワード

パスワードを、パスワード参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。シナリオ内で利用するパスワードをこのコマンドで記憶し、他のコマンドでパスワード参照 ID を指定する事で使用できる。文字記憶コマンドと違い、パスワード記憶コマンドで記憶したパスワードは、シナリオを実行する際にログに表示されない。

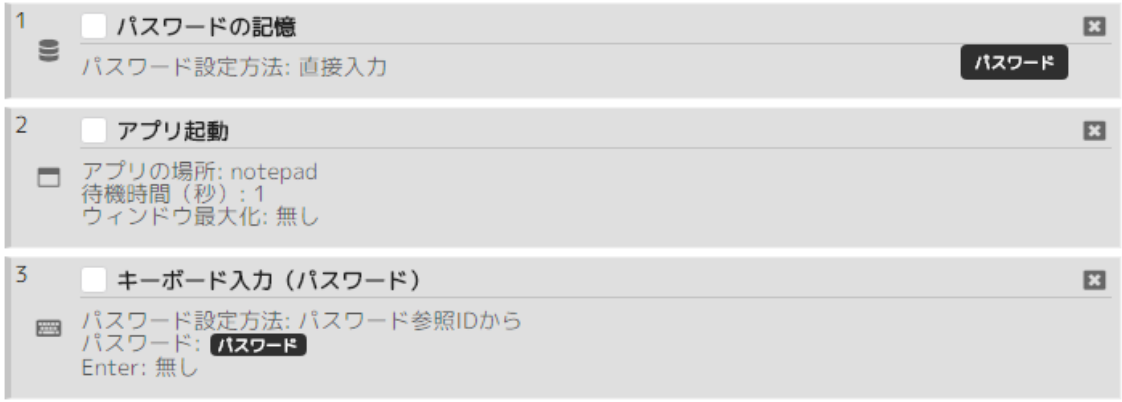


名称	内容
パスワード設定方法	パスワードを記憶する方法を設定する。選べる設定方法は、以下の通り。 1. 直接入力 2. データ参照 ID から 3. クリップボードから
パスワード	直接入力、またはデータ参照 ID からを選択した時に表示される。記憶するパスワードを入力する。
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID を定義する

シナリオ例（パスワード）：

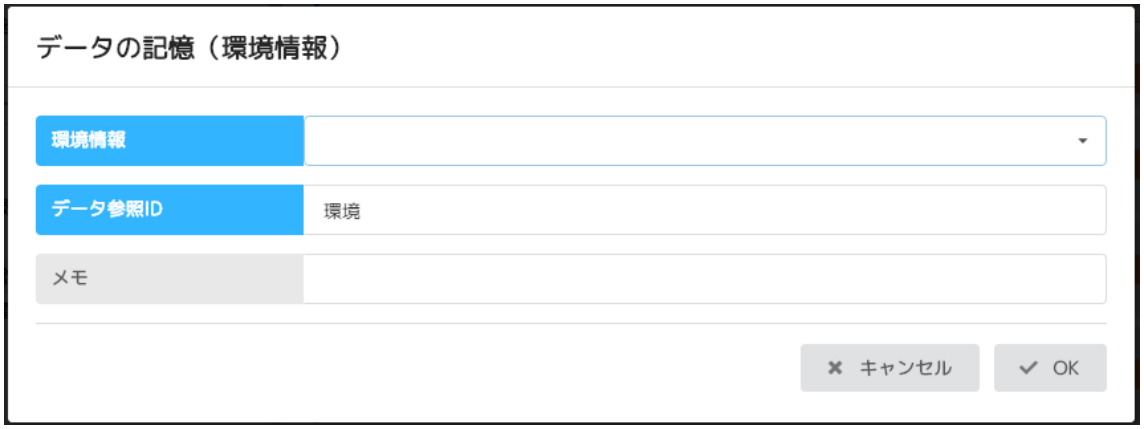
パスワードをパスワード参照 ID に記憶し、メモ帳に出力するシナリオ。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



6.5.3. 環境情報

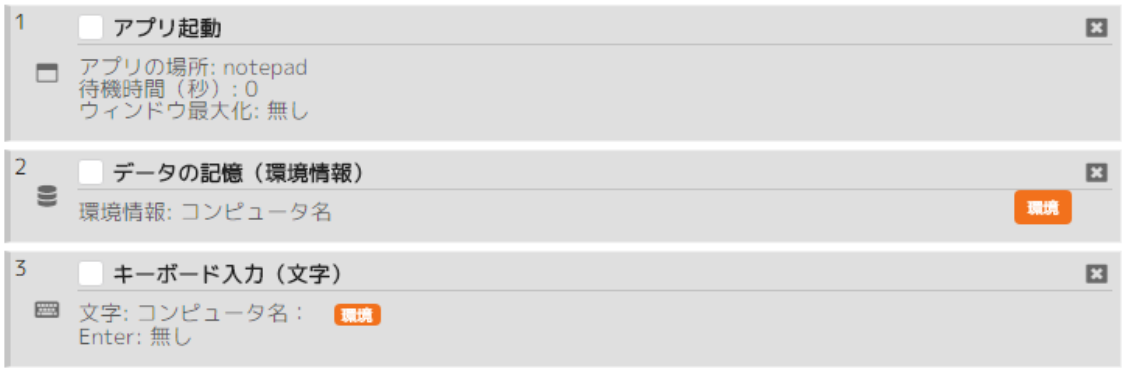
コンピュータ環境の情報を記憶するコマンド。



名称	内容
環境情報	環境情報を選択する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（環境情報・シンプル）：

コンピュータ名をメモ帳に貼り付けるシナリオ。



シナリオ例（環境情報・シンプル）の実行結果：

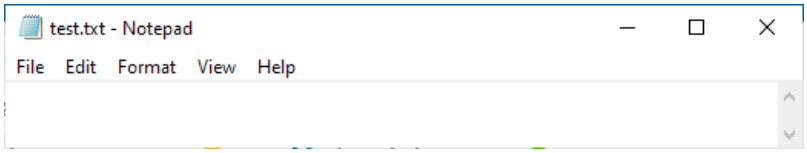
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（環境情報・ファイル）：

デスクトップにあるフォルダ[tmp]内の test.txt を開く。このようなシナリオにすると、別 PC にインポートした場合にファイルパスを書き換える必要が無くなるため便利である。

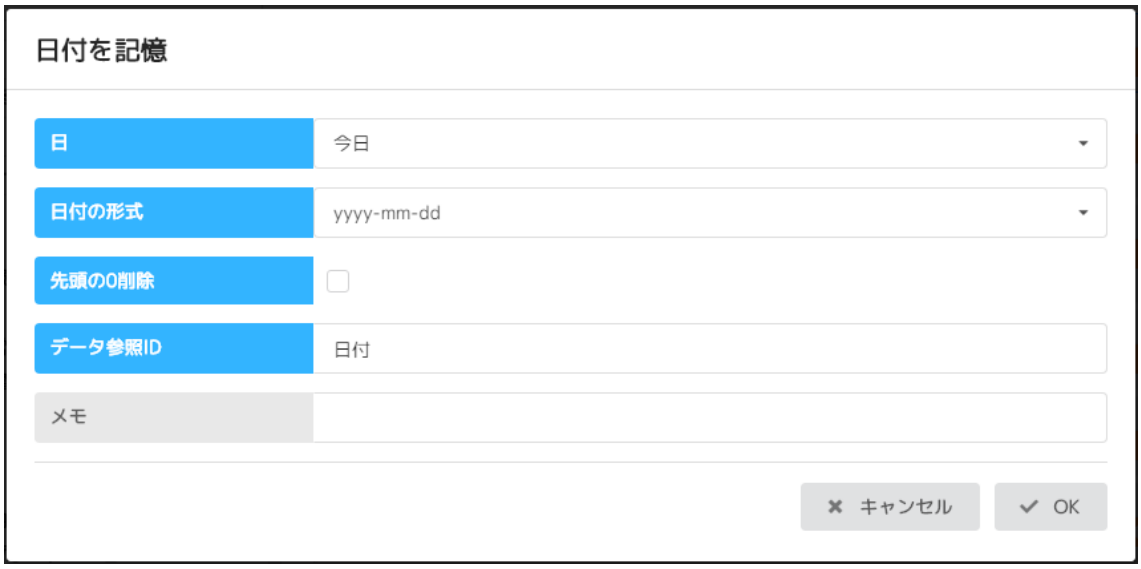
※この例の場合、インポート先のデスクトップに同一のフォルダ[tmp]が存在すること

シナリオ例（環境情報・ファイル）の実行結果：



6.5.4. 日付

日付をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。実行日からの前後 7 日の日と、日付形式の指定できる。



名称	内容
日	実行日からの前後 7 日の指定をする

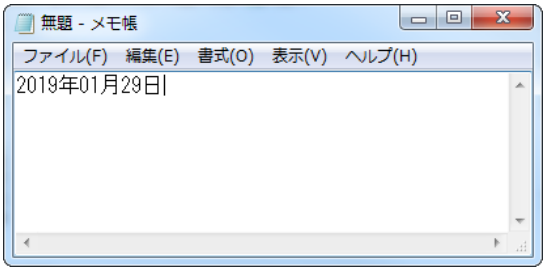
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

日付の形式	日付の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り yyyy:年　mm:月　dd:日
先頭の 0 削除	月日が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除するオプション
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（日付）：

明日の日付を取得してメモ帳に入力するシナリオ。（実行日：2019/1/28）

シナリオ例（日付）の実行結果：



6.5.5. 日付（営業日）

営業日をデータ参照 ID と紐づけて記憶する。月初と月末の営業日を容易に記憶できる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
月	実行月～前後 2 ヶ月の間から月を選択する
営業日	以下から営業日を選択する： 第 1～第 5 営業日・月末営業日
休日設定	休日の曜日を設定する 第 1～第 5 営業日の曜日が休日設定と一致した場合は後倒し、 月末営業日の場合は前倒しの日付を取得する
日付の形式	日付の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り yyyy:年　　mm:月　　dd:日
先頭の 0 削除	月日が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除するオプション
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（日付（営業日））：

2020 年 5 月の第 2 営業日を取得してメモ帳に入力するシナリオ。休日設定を土日祝とする。（実行日：2020/6/10）

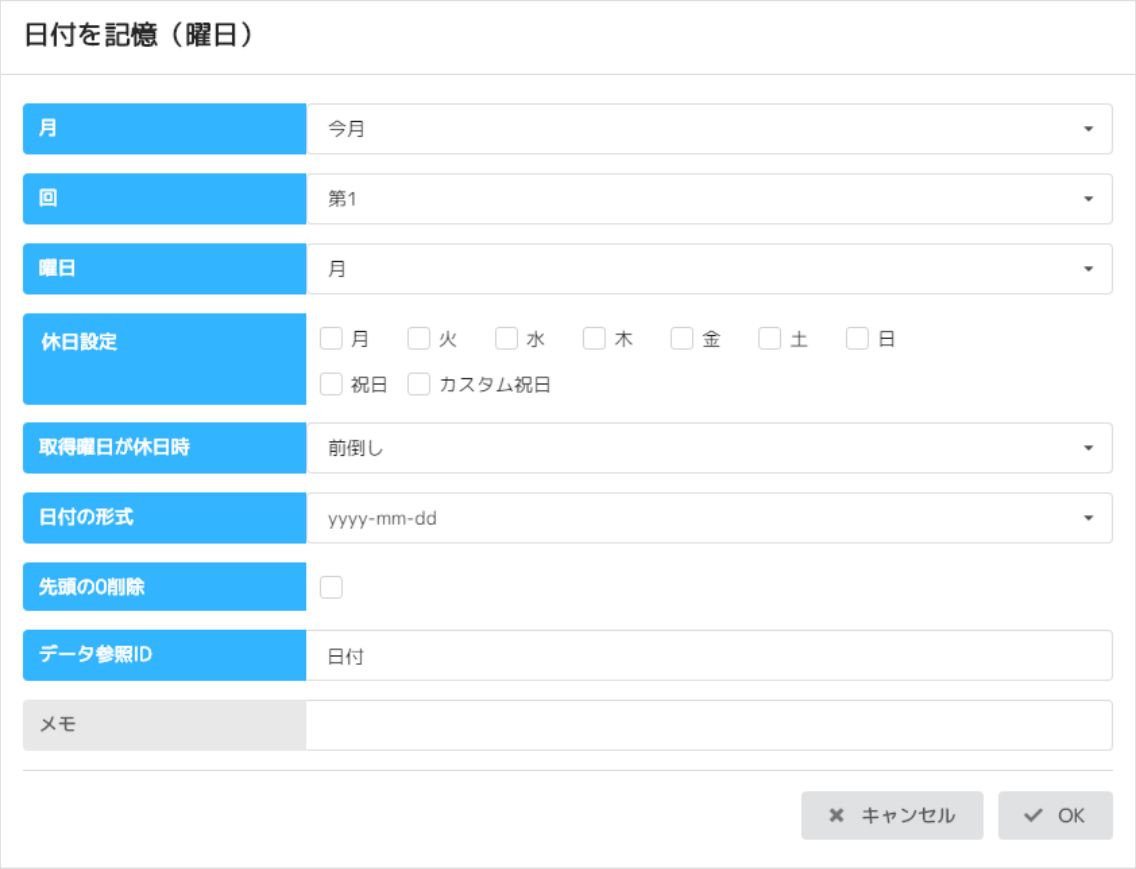
シナリオ例（日付（営業日））の実行結果：

2020 年 5 月 2 日が土曜日であるため、後倒しした日付「2020 年 5 月 7 日」を取得した。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.6. 日付（曜日）

曜日指定の日付をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。第 1 月曜日、第 3 水曜日などの指定ができる。



名称	内容
月	実行月～前後 2 ヶ月の間から月を選択する
回	第 1～第 5 回から選択する
曜日	取得する曜日を指定する
休日設定	休日の曜日を設定する 取得曜日が休日設定と一致した場合は「取得曜日が休日時」の設定に従って日付が変動する
取得曜日が休日時	取得曜日が休日の場合の日付変動方法を以下から選択する： 前倒し・後倒し
日付の形式	日付の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り yyyy:西暦　mm:月　dd:日
先頭の 0 削除	月日が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（日付（曜日））：

2019 年 9 月の第 3 月曜を取得してメモ帳に入力するシナリオ。休日設定を土日祝とする。（実行日：2019/8/30）

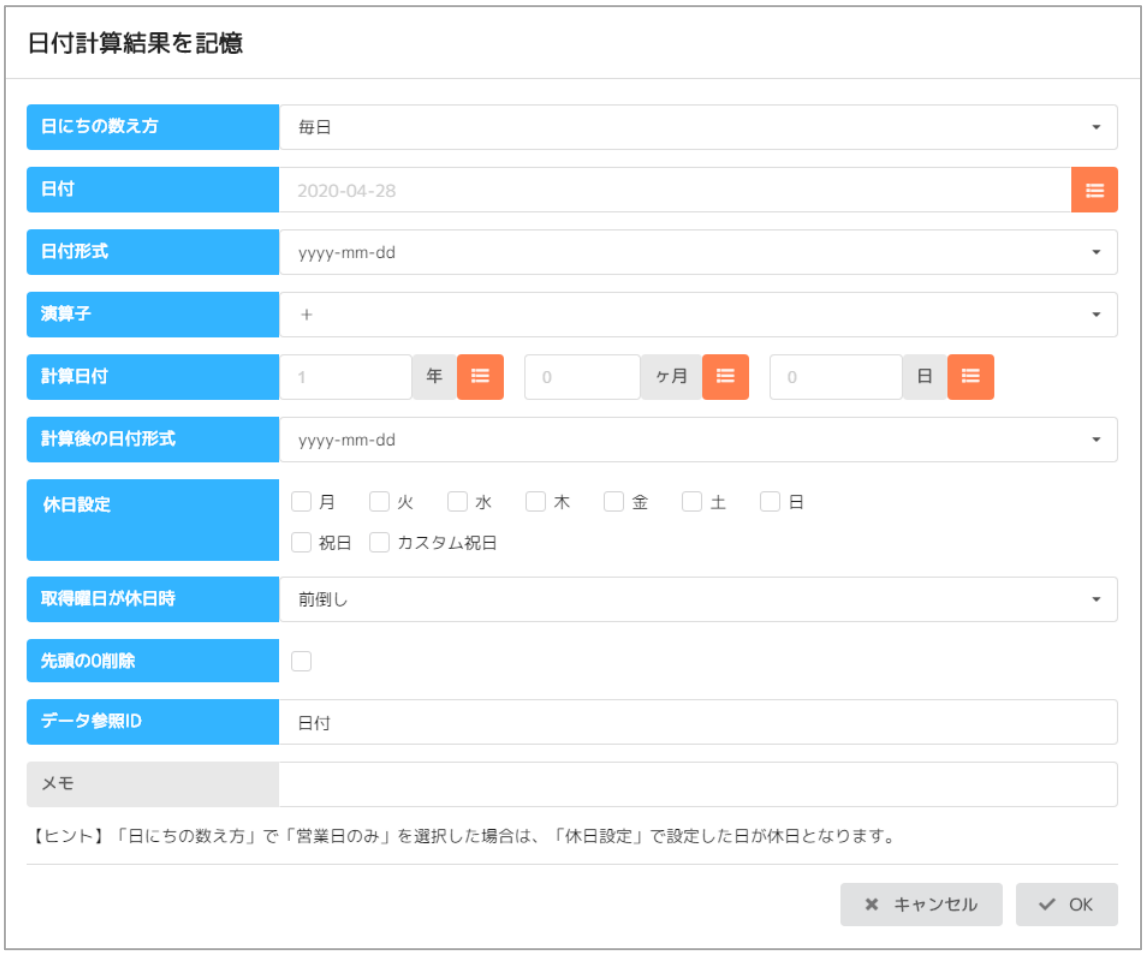
シナリオ例（日付（曜日））の実行結果：

2019 年 9 月 16 日が祝日であるため、後倒しした日付「2019 年 9 月 17 日」を取得した。

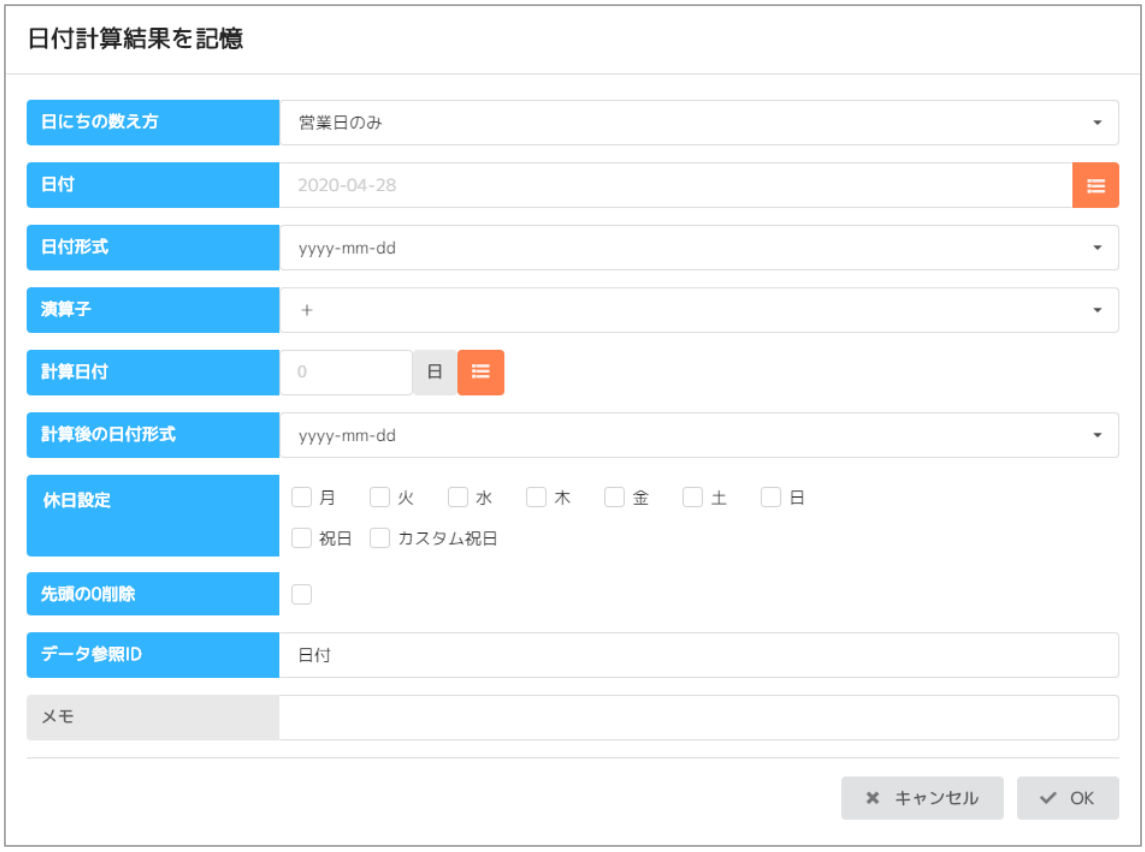
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.7. 日付計算

日付を計算し、その結果をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



名称	内容
日にちの数え方	日にちの数え方を指定する
日付	日付を指定する
日付の形式 計算後の日付形式	日付の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り yyyy:西暦　　mm:月　　dd:日
演算子	加算または減算記号を選択する
計算日付	計算する年月日を指定する
休日設定	休日の曜日を設定する 取得曜日が休日設定と一致した場合は「取得曜日が休日時」の設定に従って日付が変動する
取得曜日が休日時	取得曜日が休日の場合の日付変動方法を以下から選択する 前倒し・後倒し
先頭の 0 削除	月日が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例 1（日付計算・前倒し）：

2020 年 5 月 1 日から 1 年 2 ヶ月 3 日を加算する。休日設定を土日祝し、計算結果が休日であった場合は日付を前倒しする。

シナリオ例 1（日付計算・前倒し）の実行結果：

計算結果の 2021 年 7 月 4 日は日曜日であるため、前倒しした日付「2021 年 7 月 2 日」を取得した。

シナリオ例 2（日付計算・営業日のみ）：

2023 年 9 月 11 日から第 5 営業日を計算する。休日設定は土、日、祝日とする。

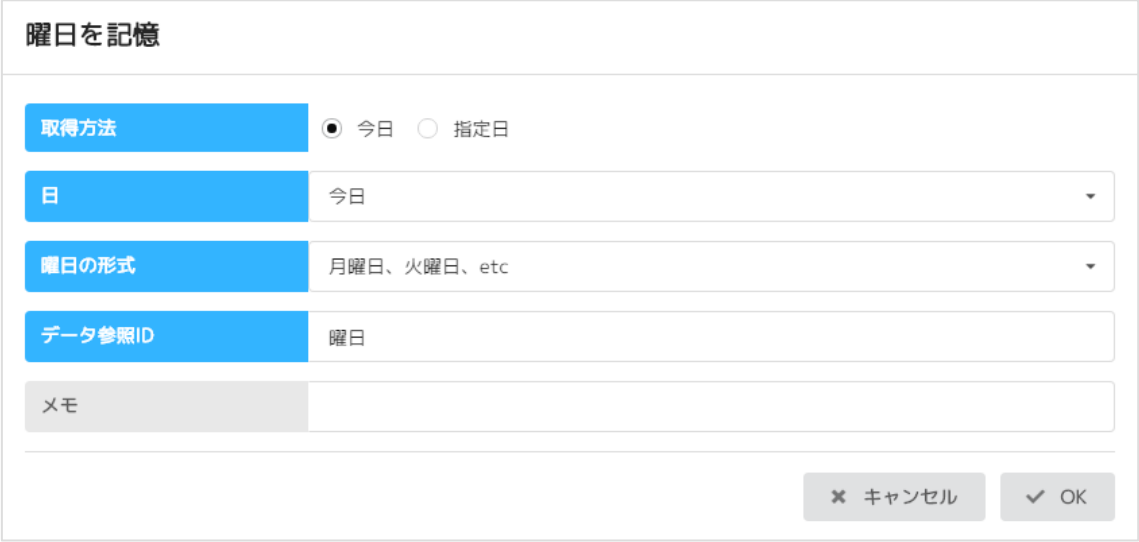
シナリオ例 2（日付計算・営業日のみ）の実行結果：

休日が土、日、祝日の場合、2023 年 9 月 7 日からの第 5 営業日は、「2023 年 9 月 19 日」である。なお、2023 年 9 月 18 日は祝日である。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.8. 曜日

曜日を記憶する。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
取得方法	今日または指定日を選択する
日	取得方法が「今日」の場合に表示される 実行日～前後 1 週間から日を選択する
指定日	取得方法が「指定日」の場合に表示される 日付を入力する
日付の形式	取得方法が「指定日」の場合に表示される 入力した日付の形式を選択する
曜日の形式	曜日の形式を選択する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（曜日・今日）：

2020 年 1 月 27 日から 3 日前の日付と曜日を記憶してメモ帳に入力するシナリオ。

シナリオ例（曜日・今日）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

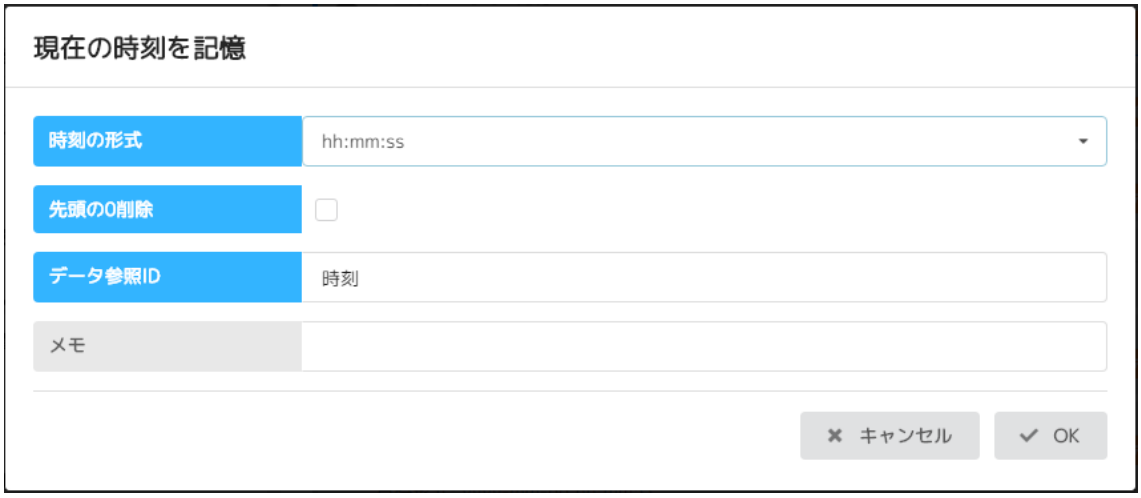
シナリオ例（曜日・指定日）：

2020 年 8 月 1 日の曜日をメモ帳に入力するシナリオ。

シナリオ例（曜日・指定日）の実行結果：

6.5.9. 時刻

現在の時刻を取得するコマンド。



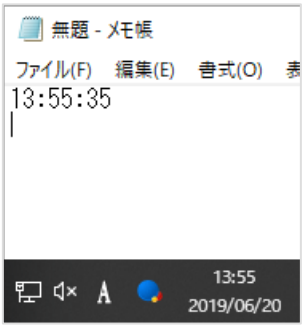
名称	内容
時刻の形式	時刻の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り hh: 時　mm: 分　ss: 秒
先頭の 0 削除	時刻が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除するオプション
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（時刻）：

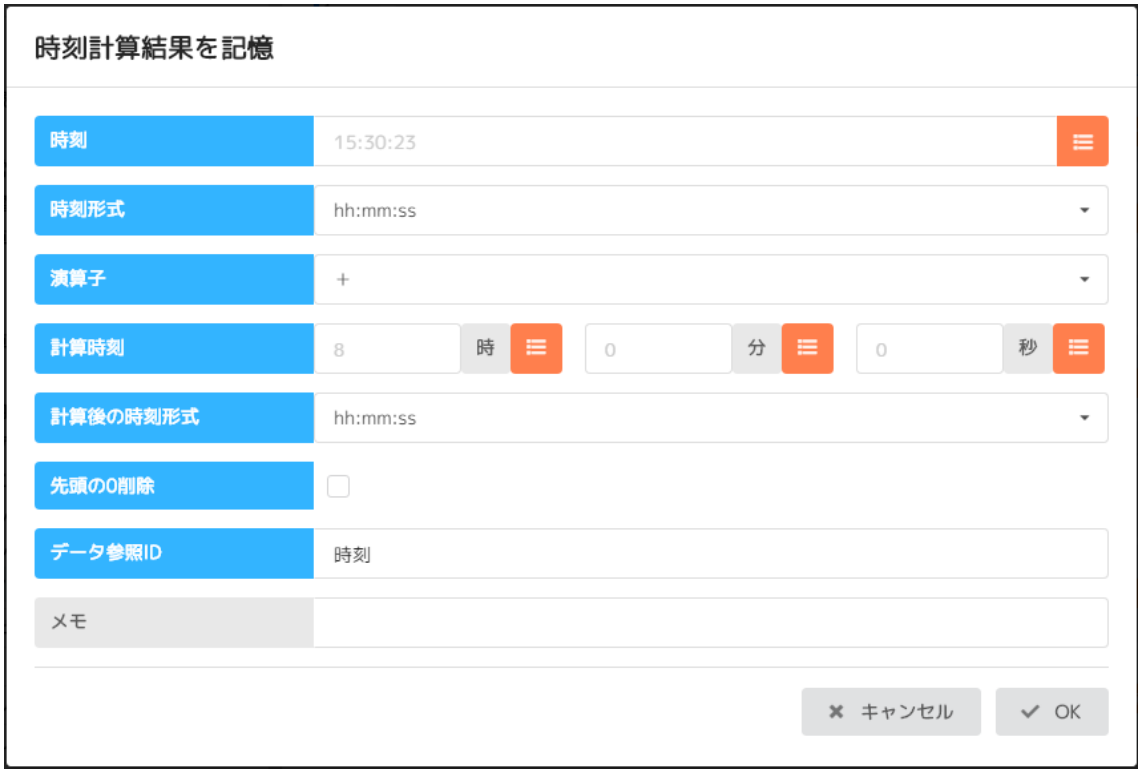
現在の時刻を取得してメモ帳に入力するシナリオ。

シナリオ例（時刻）の実行結果：



6.5.10. 時刻計算

時刻を計算し、その結果をデータ参照 ID に紐づけて記憶するコマンド。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
時刻	時刻を指定する
時刻の形式 計算後の時刻形式	時刻の形式を指定する 形式で表される記号の意味は以下の通り hh: 時　mm: 分　ss: 秒
演算子	加算または減算記号を指定する
計算時刻	計算する時間を指定する
先頭の 0 削除	時刻が 1 桁の場合に先頭の 0 を削除するオプション
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（時刻計算）：

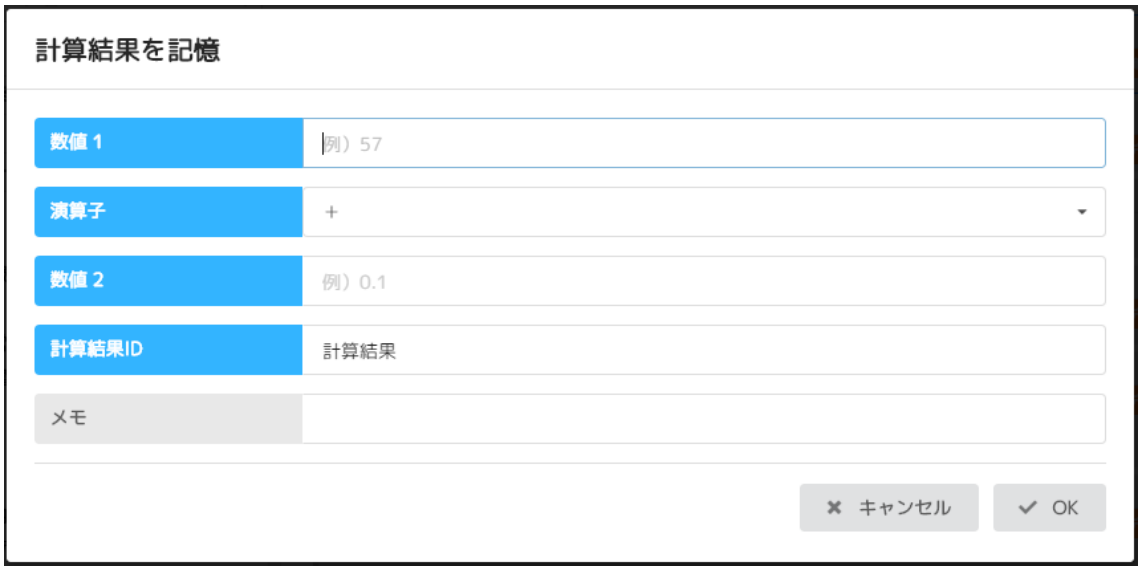
15:06:00 に 9:12:34 を加算し、その結果をメモ帳に入力するシナリオ。

シナリオ例（時刻計算）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.11. 計算

2 つの値を四則演算（足す・引く・掛ける・割る）するコマンド。
計算した結果を計算結果 ID に記憶する。



名称	内容
数値 1	数値を入力する
演算子	演算子（+・−・×・÷・÷（小数点以下:切り捨て））を選択する
数値 2	数値を入力する
データ参照 ID	計算結果 ID を定義する 計算結果を記憶する
小数点の桁数	小数点の桁数を指定する
四捨五入の種類	四捨五入（何もしない、四捨五入、切り上げ、切り捨て）の種類を選択する

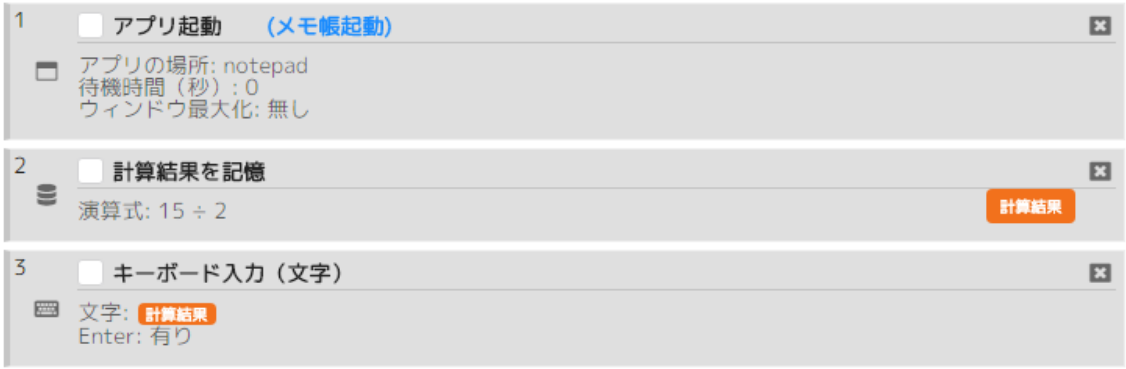
注意事項

- ver1.32.3 以前の「計算結果を記憶」コマンドは旧コマンドとして扱われる。旧コマンドは下記画像のようにコマンド名が変化する。旧コマンドでは正しく計算されないケースがあるため、ver1.33.0 以降の「計算結果を記憶」コマンドの使用を推奨する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

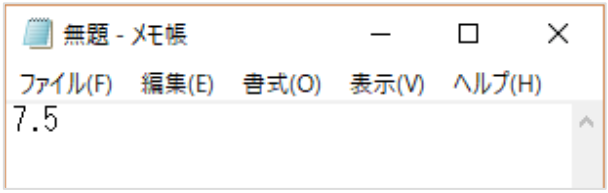
シナリオ例（シンプルな計算）：

15÷2 の計算結果をメモ帳に入力する。



シナリオ例の結果（シンプルな計算）：

15÷2 の計算結果がメモ帳に入力された。



シナリオ例（高度な計算）：

メモ帳に 1~5 の数字を入力するシナリオ。4.1. 高度データ参照 ID 呼び出し機能（${}）を利用している。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

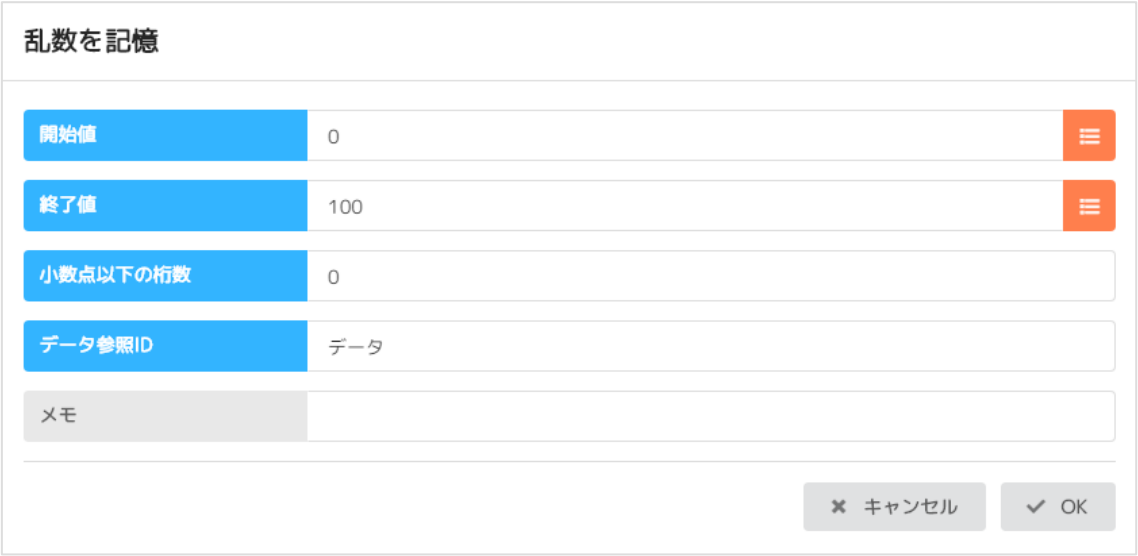
シナリオ例の結果（高度な計算）：

メモ帳に 1~5 の数字が入力された。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.12. 乱数

乱数をデータ参照 ID と紐付けて記憶する。開始値～終了値からいずれかの数値を記憶する。



名称	内容
開始値 終了値	数値を入力する
小数点以下の桁数	小数点桁数を指定する（最大 9 桁）
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（記憶＞乱数・整数）：

ランダムな整数をメモ帳に入力する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（記憶＞乱数・整数）の実行結果：

0~100 からランダムな整数が入力された。

シナリオ例（記憶＞乱数・小数）：

ランダムな小数（小数点以下の桁数：2）をメモ帳に入力する。

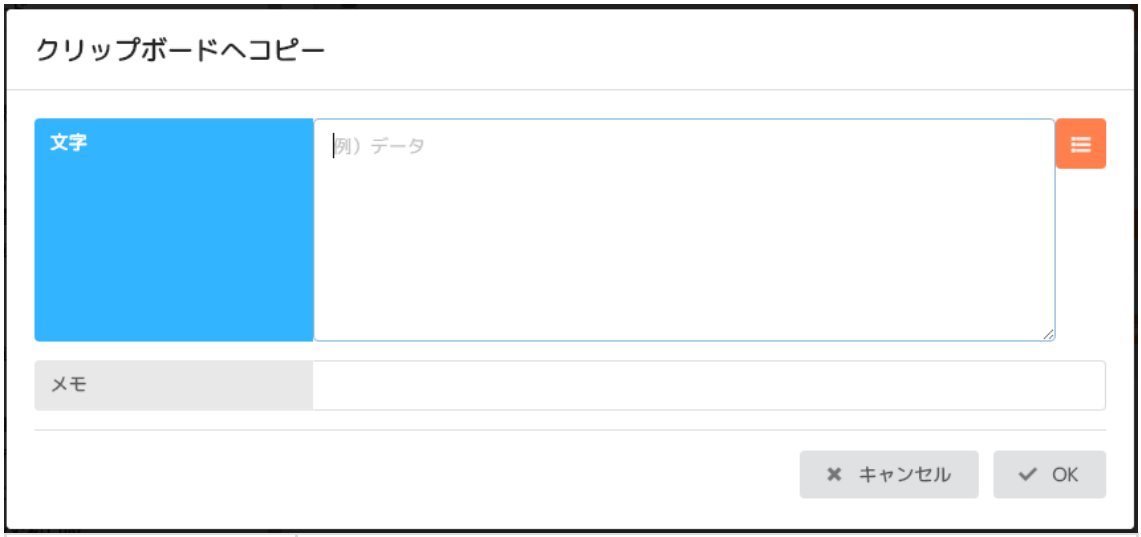
シナリオ例（記憶＞乱数・小数）の実行結果：

8888~1111 からランダムな小数が入力された。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.13. コピー内容

クリップボードの内容をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。テキスト選択時に(Ctrl + c)にてクリップボードにコピーすることができる。



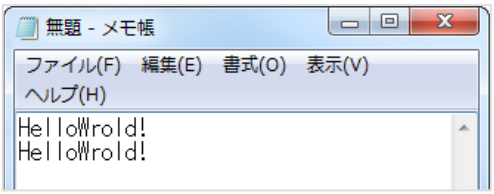
名称	内容
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

シナリオ例（記憶＞コピー内容）：

メモ帳に文字を入力し、その内容をすべてコピーして末尾に貼り付けるシナリオ。

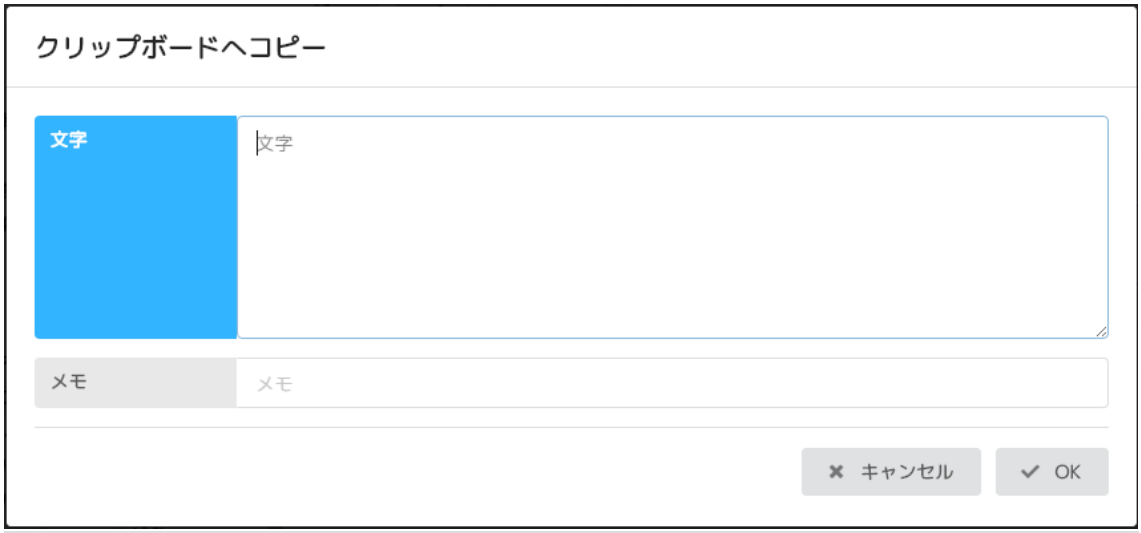
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（記憶＞コピー内容）の実行結果：



6.5.14. クリップボードへコピー

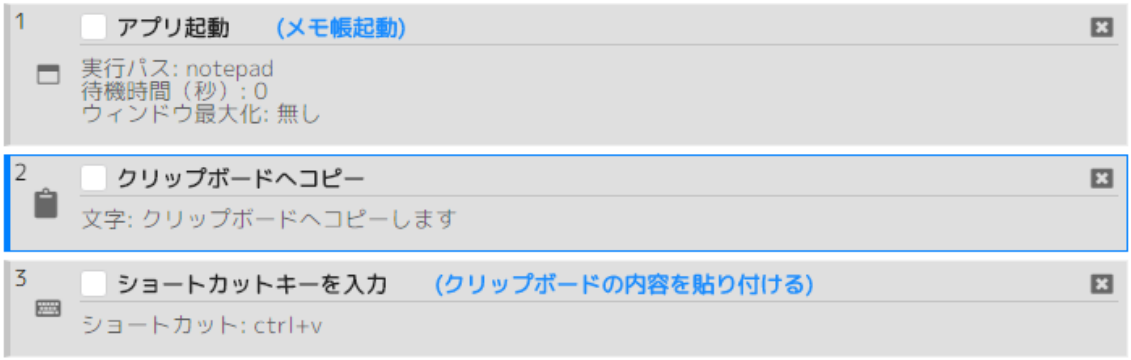
文字をクリップボードへコピーするコマンド。



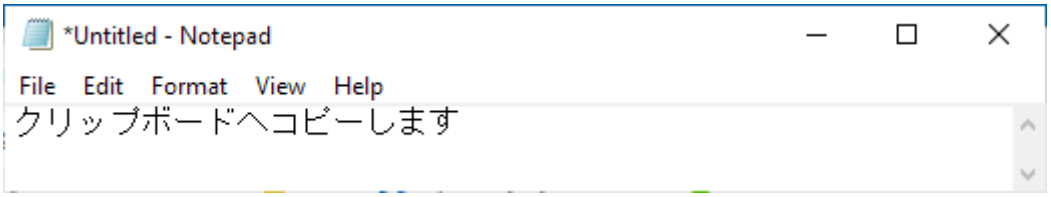
名称	内容
文字	記憶する文字を入力する

シナリオ例（記憶＞クリップボードへコピー）：

クリップボードに文字を記憶させメモ帳に貼り付けるシナリオ。



シナリオ例（記憶＞クリップボードへコピー）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

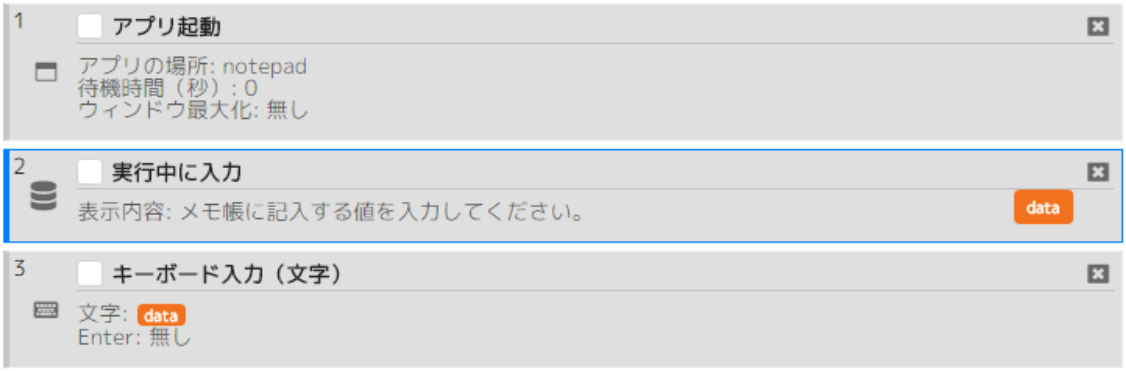
6.5.15. 実行中に入力

シナリオ実行中に手入力した値をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。入力した値が記憶される。

名称	内容
表示内容	入力画面に表示する説明文を入力する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

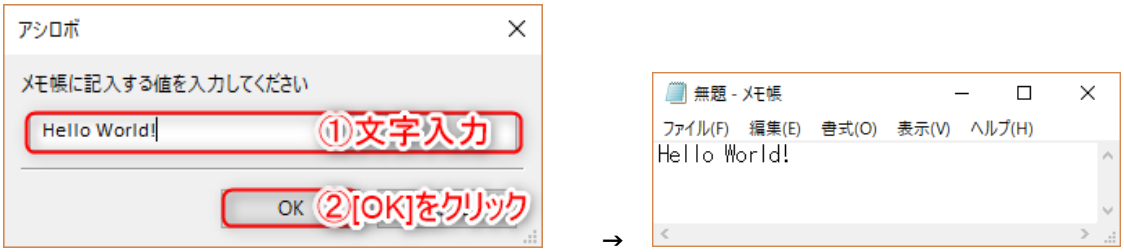
シナリオ例（記憶＞実行中に入力）：

データ入力ウィンドウに入力した値をメモ帳に記入するシナリオ。



シナリオ例（記憶＞実行中に入力）の実行結果：

データ入力ウィンドウに入力した値がメモ帳に記入された。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.16. ファイル更新日時

ファイルまたはフォルダの更新または作成日時をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。

名称	内容
ファイル・フォルダ	ファイルまたはフォルダを指定する
取得情報	ファイル作成日時またはファイル作成日時を指定する
日時形式	日時の形式を指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

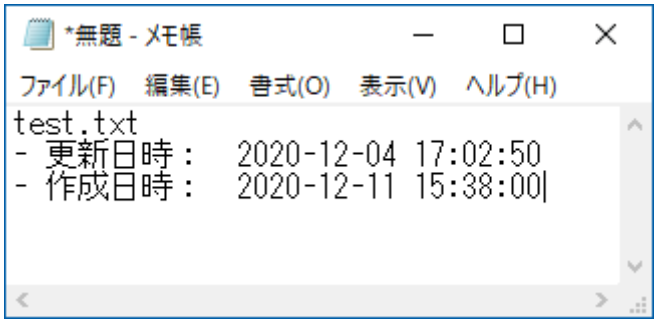
シナリオ例（記憶＞ファイル更新日時）：

test.txt の更新日時と作成日時をメモ帳に入力する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（記憶＞ファイル更新日時）の実行結果：

test.txt の更新日時をメモ帳に入力した。



6.5.17. ファイルサイズ

指定したファイルのサイズを取得し、データ参照 ID と紐付けて記憶するコマンド。

名称	内容
ファイル	ファイルを指定する
サイズ単位	ファイルサイズの単位を指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（記憶＞ファイルサイズ）：

HTML.key の、すべての単位のファイルサイズをメモ帳に入力する。

シナリオ例（記憶＞ファイルサイズ）の実行結果：

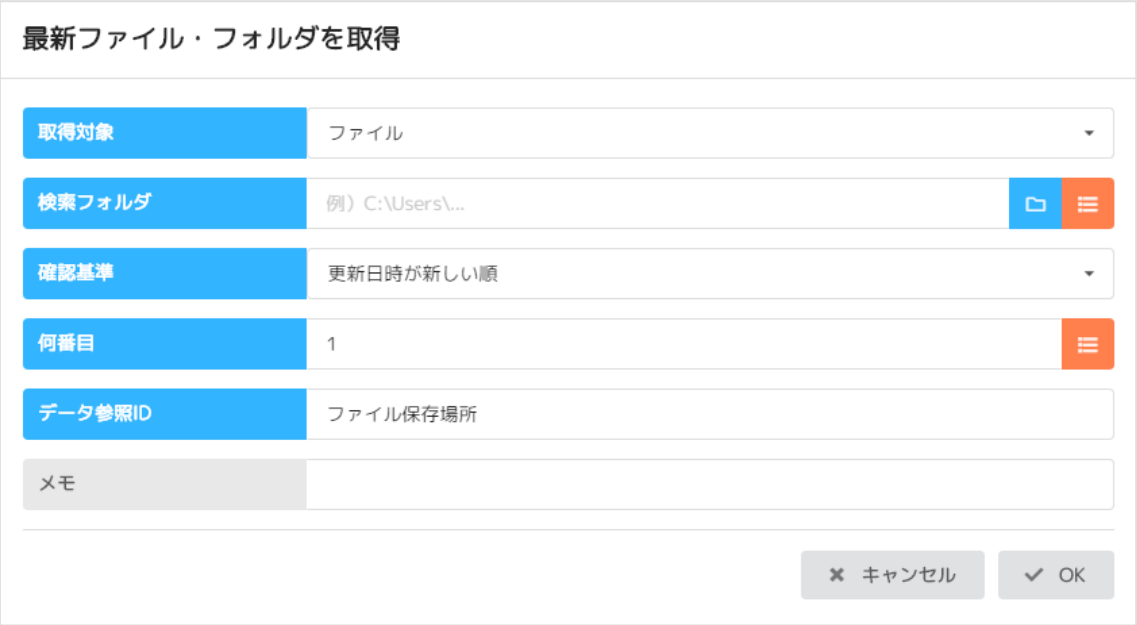
HTML.key のファイルサイズをメモ帳に入力した。単位は上から順にバイト, KB, MB, GB。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.5.18. 最新ファイル・フォルダ名

指定した確認基準に則って検索フォルダからファイルまたはフォルダのパスを取得し、データ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。

確認基準フォームと何番目の組み合わせ次第で最新以外のパスも取得できる。



名称	内容
取得対象	ファイルまたはフォルダを選択する
検索フォルダ	検索するフォルダを指定する
確認基準	パス取得の基準を以下から指定する ・更新日時が新しい順　・更新日時が古い順 ・作成日時が新しい順　・作成日時が古い順
何番目	確認基準の何番目から取得するか指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

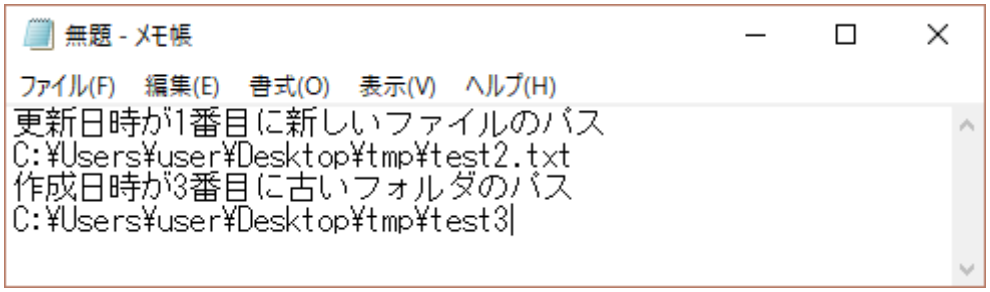
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（記憶＞フォルダ内の最新ファイル）：

下図のフォルダを対象に、更新日時が最新のファイルパスと作成日時が 3 番目に古いフォルダパスをメモ帳に入力するシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
folder1	2019/06/20 15:20	2019/06/20 15:20
folder2	2019/06/20 15:20	2019/06/20 15:20
folder3	2019/06/20 15:20	2019/06/20 15:20
folder4	2019/06/20 15:21	2019/06/20 15:21
test1.txt	2019/06/20 15:13	2019/06/20 15:13
test2.txt	2019/06/20 15:19	2019/06/20 15:14
test3.txt	2019/06/20 15:14	2019/06/20 15:14

シナリオ例（記憶＞フォルダ内の最新ファイル）実行結果：

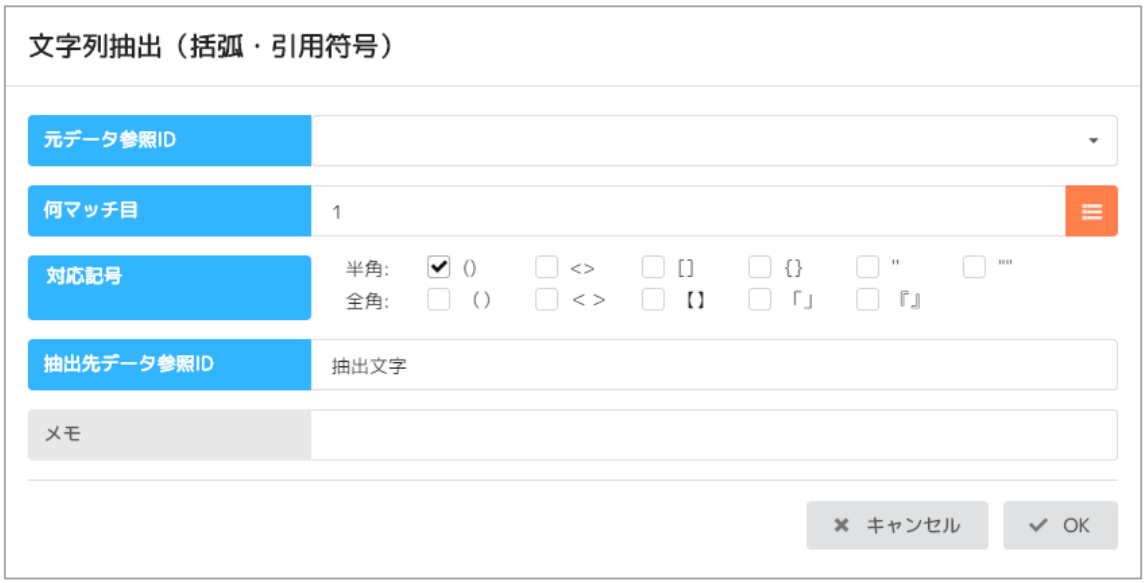


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.6. 文字抽出

6.6.1. 括弧・引用符号から

データ参照 ID の値から、括弧等の記号内の文字列を抽出するコマンド。抽出した文字列は抽出先データ参照 ID に格納される。抽出文字列が複数ある場合、何マッチ目の値を抽出するか指定することができる。

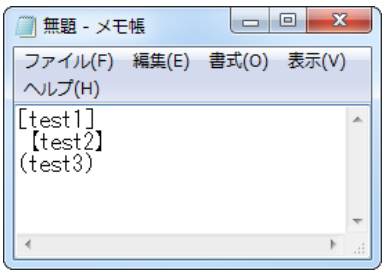


名称	内容
元データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
何マッチ目	何マッチ目の抽出データを取得するか指定する
対応記号	抽出対象の記号を指定する
抽出先データ参照 ID	抽出先データ参照 ID を定義する

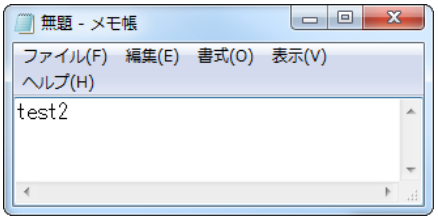
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（括弧・引用符号から）：

下図メモ帳から test2 を取得するシナリオ。



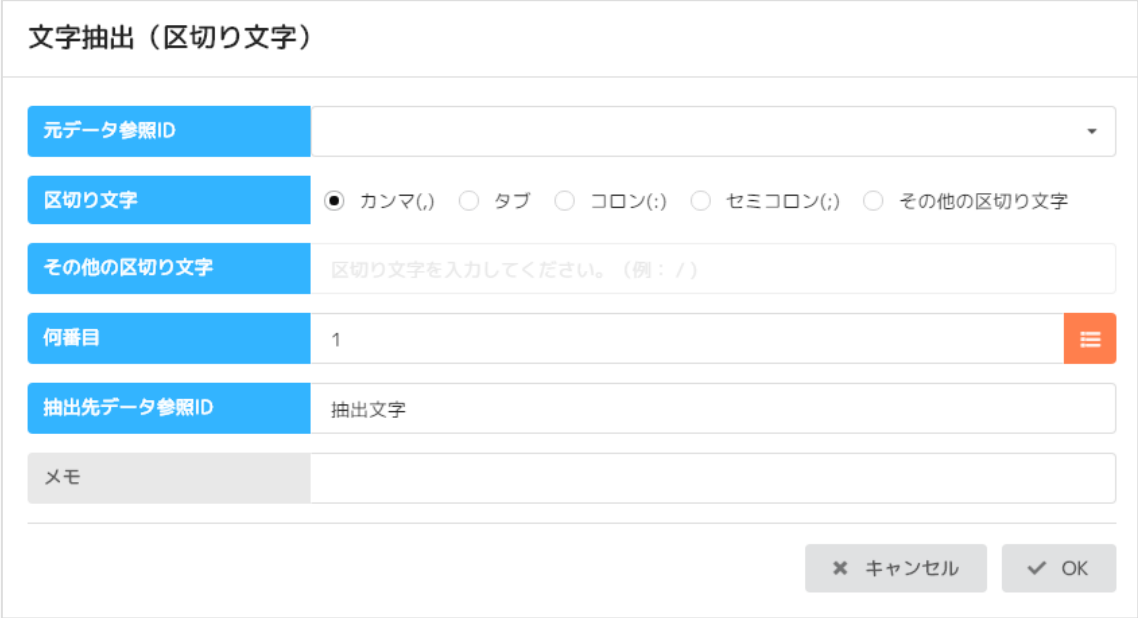
シナリオ例（括弧・引用符号から）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.6.2. 区切り文字から

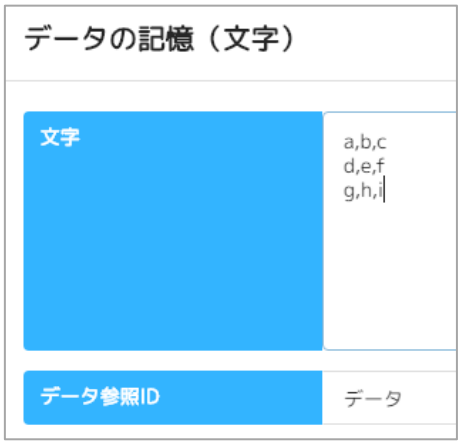
データ参照 ID の値から、特定の文字で区切った文字列を抽出するコマンド。抽出した文字列は抽出先データ参照 ID に格納される。



名称	内容
元データ参照 ID	抽出元のデータ参照 ID を選択する
区切り文字	区切り文字を指定する。「その他の区切り文字」を選択した場合のみ、「その他の区切り文字」のフォームが有効になる。
その他の区切り文字	「区切り文字」フォーム以外の区切り文字を指定する
何番目	区切った文字のなかから、取得したい文字の位置を指定する
抽出先データ参照 ID	抽出先のデータ参照 ID を定義する

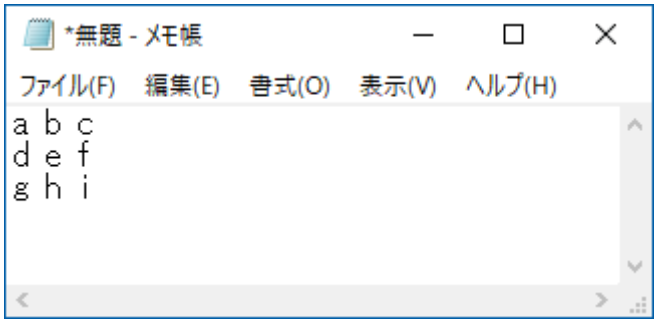
シナリオ例（区切り文字から・カンマ区切り）：

カンマ区切りの文字を抽出するシナリオ。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

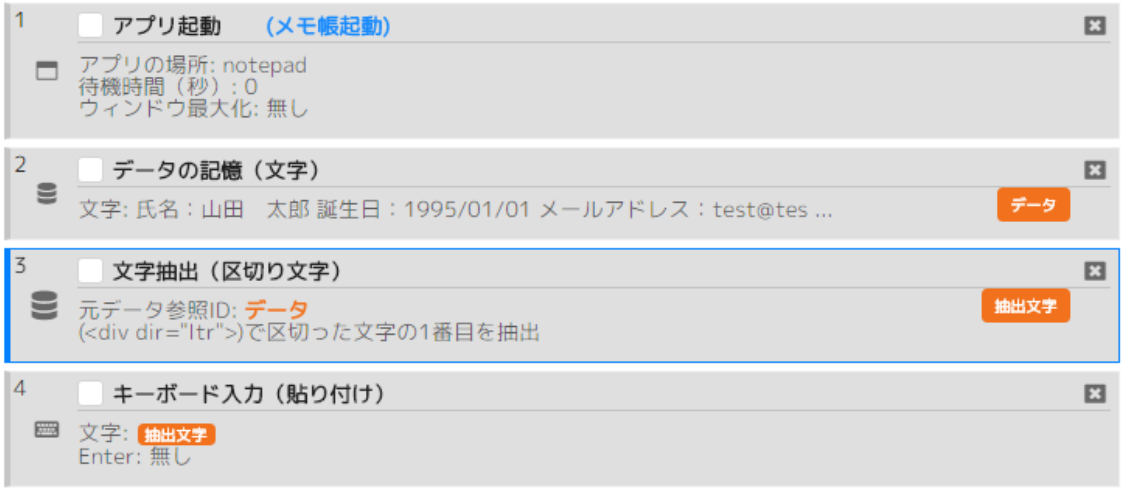
シナリオ例（区切り文字から・カンマ区切り）の実行結果：



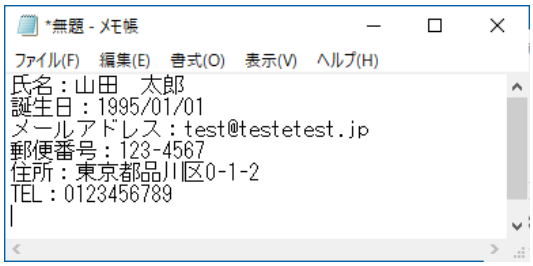
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（区切り文字から・その他の区切り文字）：

データ参照 ID「data」から” ”より前の文字を取得してメモ帳に入力する。



シナリオ例（区切り文字から・その他の区切り文字）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

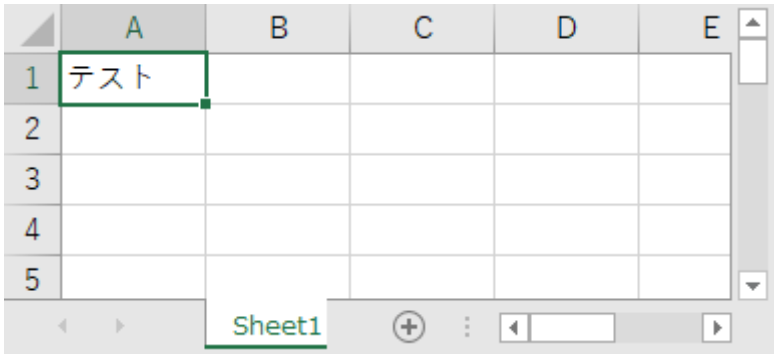
6.6.3. 改行・空白を削除

文字列内の改行・空白を削除するコマンド。

名称	内容
操作内容	削除対象を選択する（改行のみ・空白のみ・改行と空白）
データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
全て（行間含む）	文字列全体から改行・空白を削除したい場合に選択する
行頭	文字列の先頭から改行・空白を削除したい場合に選択する
行末	文字列の末尾から改行・空白を削除したい場合に選択する

シナリオ例（改行・空白を削除）：

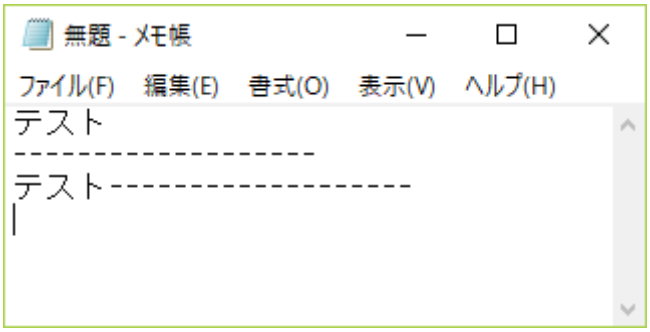
Excel からコピーしたセルの末尾にある改行を削除してメモ帳に入力する。比較のためにセルをコピーしてそのままの文字列もメモ帳に入力する。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（改行・空白を削除）の実行結果：

元データには改行が含まれたまま入力され、抽出データは改行が削除されてメモ帳に入力された。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.6.4. ファイルパスから

ファイルパスからファイル名またはフォルダ名を抽出するコマンド。

名称	内容
元データ参照 ID	ファイルパスが定義されているデータ参照 ID を指定する
拡張子あり	チェックすると拡張子ごと抽出する
抽出先データ参照 ID	抽出したファイル名またはフォルダ名を記録するための データ参照 D を定義する

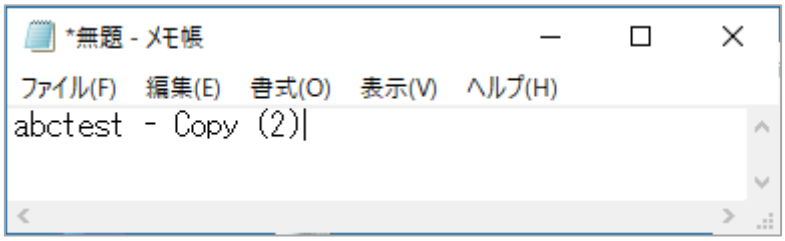
シナリオ例（ファイルパスから）：

フォルダ内のテキストファイルのファイル名を抽出し、メモ帳に入力する

名前	更新日時	種類	サイズ
abctest - コピー (2).txt	2019/07/12 11:51	テキスト ドキュメント	0 KB
bcweetest - コピー (4).txt	2019/07/12 11:51	テキスト ドキュメント	0 KB
test - コピー (5).txt	2019/07/12 11:51	テキスト ドキュメント	0 KB
test - コピー.txt	2019/07/12 11:51	テキスト ドキュメント	0 KB
test.txt	2019/07/12 11:51	テキスト ドキュメント	0 KB
testbcde - コピー (3).txt	2019/07/12 11:51	テキスト ドキュメント	0 KB

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ファイルパスから）の実行結果：



6.6.5. ルールにマッチ

ルール（正規表現）に一致する文字列を抽出するコマンド。ルールに括弧がある場合、その中身だけを抽出する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
元データ参照 ID	ファイルパスが定義されているデータ参照 ID を指定する
ルール（正規表現）	ルールを定義する
抽出先データ参照 ID	抽出したファイル名またはフォルダ名を記録するための データ参照 D を定義する

正規表現とは、簡単に説明すると、「ある定義に沿った形式で文字列を表現する方法」である。その定義を一部抜粋したものを以下に示す。

記号	記号の読みと意味
.	ドット、任意の一文字
*	アスタリスク、直前の文字の 0 回以上の繰り返し
+	プラス、直前の文字の 1 回以上の繰り返し
[ ]	[]内のどれか 1 文字 例：[a-z] だと、a, b, c, …, z からどれか 1 文字があればマッチする
{n}	直前の文字を n 回繰り返し
{min, max}	直前の文字を min 以上 max 以下の繰り返し
A|B	パターン A またはパターン B のどちらか 例：『.*道 | .*県』 だと、～道または～県にマッチする
¥w	アルファベット、数字、アンダースコアのどれか 1 文字
¥W	アルファベット、数字、アンダースコア以外のどれか 1 文字
¥d	数字 1 文字
¥s	半角スペース、タブ、改行のどれか 1 文字
¥	エンまたはバックスラッシュ 特殊文字をマッチさせるために、特殊文字の直前に入力する記号。 特殊文字：.(ドット), *, +, -, ¥など 使い方：「abc¥def」で「¥d」にマッチするルールは『¥¥d』

※この他にも様々な定義があるので「正規表現　一覧」や「正規表現　郵便番号」などで検索してください。

シナリオ例（ルールにマッチ・電話番号）：

ハイフンある場合とない場合の電話番号両方を抽出するシナリオ。

ハイフン有り電話番号 ハイフン無し電話番号	(0¥d{9,10}|0¥d{1,3}-¥d{1,4}-¥d{4})

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ルールにマッチ・電話番号）の実行結果：

シナリオ例（ルールにマッチ・電話番号 ver シンプルルール）：

電話番号（数字-数字-数字）を抽出しメモ帳に入力する。

電話番号	(¥d+-¥d+-¥d+)

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

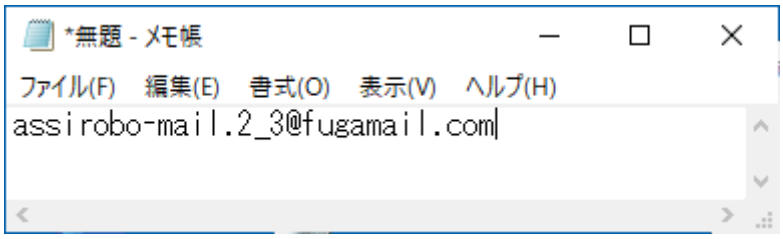
シナリオ例（ルールにマッチ・電話番号 ver シンプルルール）の実行結果：

シナリオ例（ルールにマッチ・メールアドレス）：

メールアドレスを抽出してメモ帳に入力するシナリオ。

メールアドレス	[¥w¥.¥-]+@[¥w¥.¥-]+

シナリオ例（ルールにマッチ・メールアドレス）の実行結果：



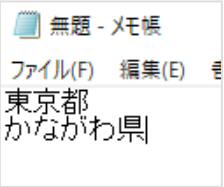
シナリオ例（ルールにマッチ・都道府県）：

住所から都道府県を抽出してメモ帳に入力するシナリオ。

都道府県	.*[都道府県]
都道府県	[ぁ-ん一-龠]+[都道府県]

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ルールにマッチ・都道府県）の実行結果：



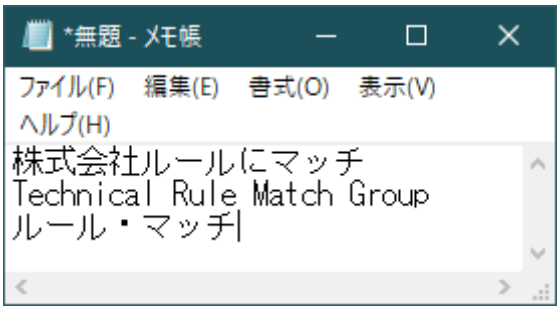
シナリオ例（ルールにマッチ・テンプレート）：

　下図のようにフォーマットが決まっている文字列から会社名、部署、氏名を抽出し、メモ帳に入力する。

()内のすべての文字列	会社名：(.*)
()内のすべての文字列	部署：(.*)
()内のすべての文字列	氏名：(.*)

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

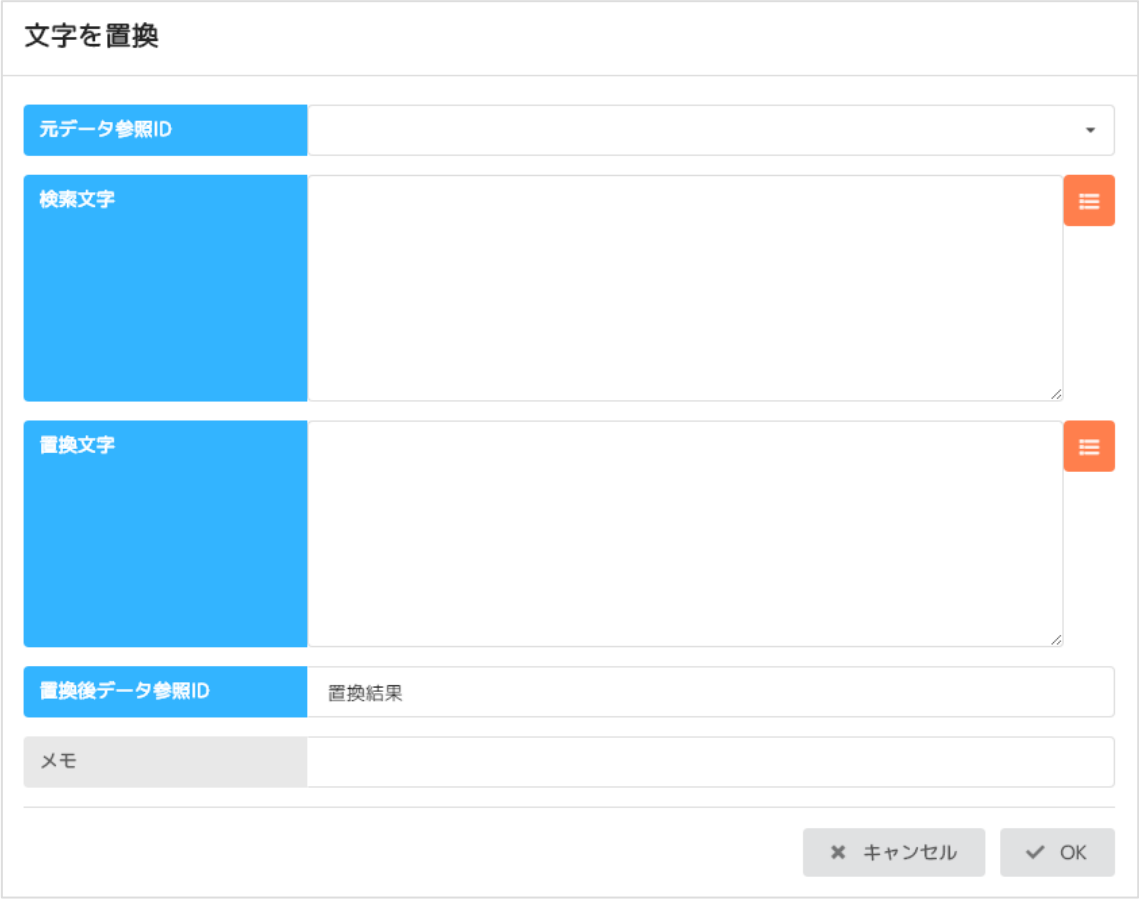
シナリオ例（ルールにマッチ・テンプレート）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.6.6. 置換

検索文字をすべて置換する。

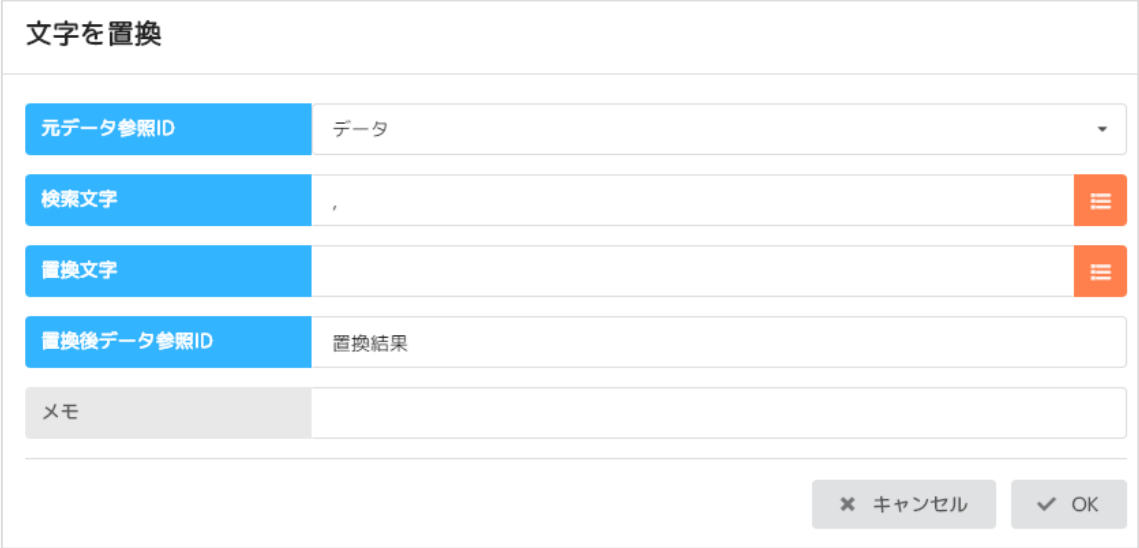


名称	内容
元データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
検索文字	検索する文字を入力する
置換文字	置換する文字を入力する
置換後データ参照 ID	置換後のデータ参照 ID を定義する

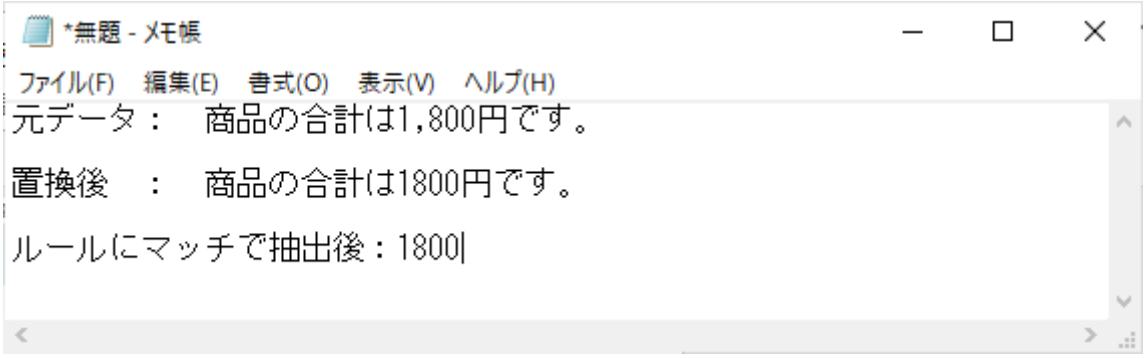
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（置換）：

「商品の合計は 1,800 円です。」から「1800」を抽出する。



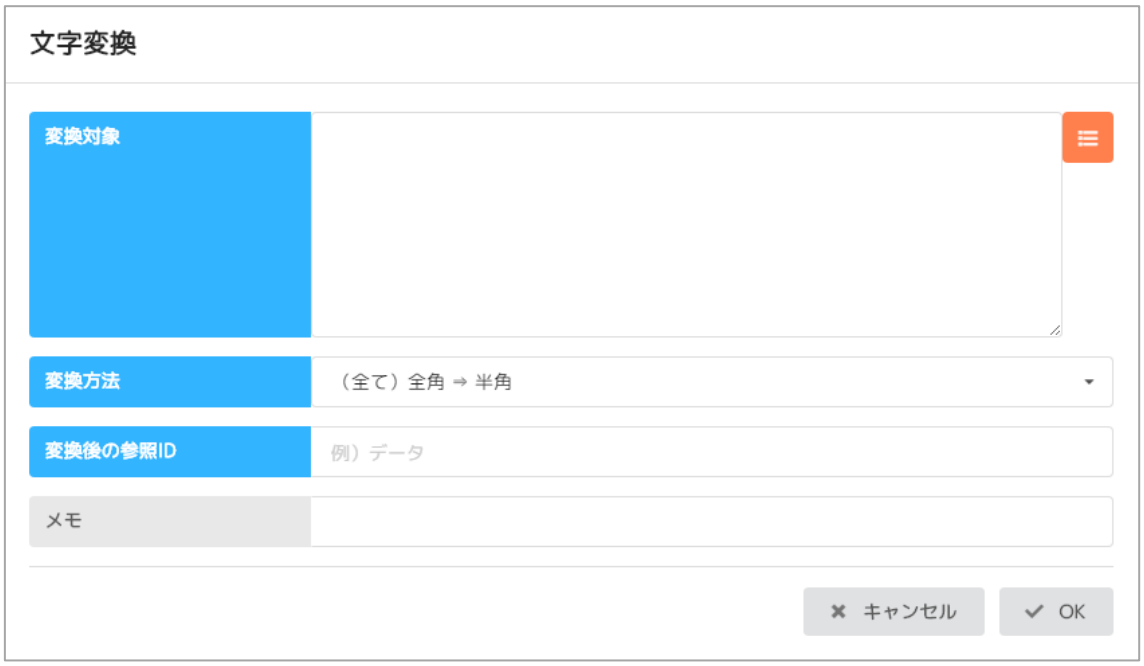
シナリオ例（置換）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.6.7. 文字変換

文字を全角↔半角、大文字↔小文字と変換するコマンド。

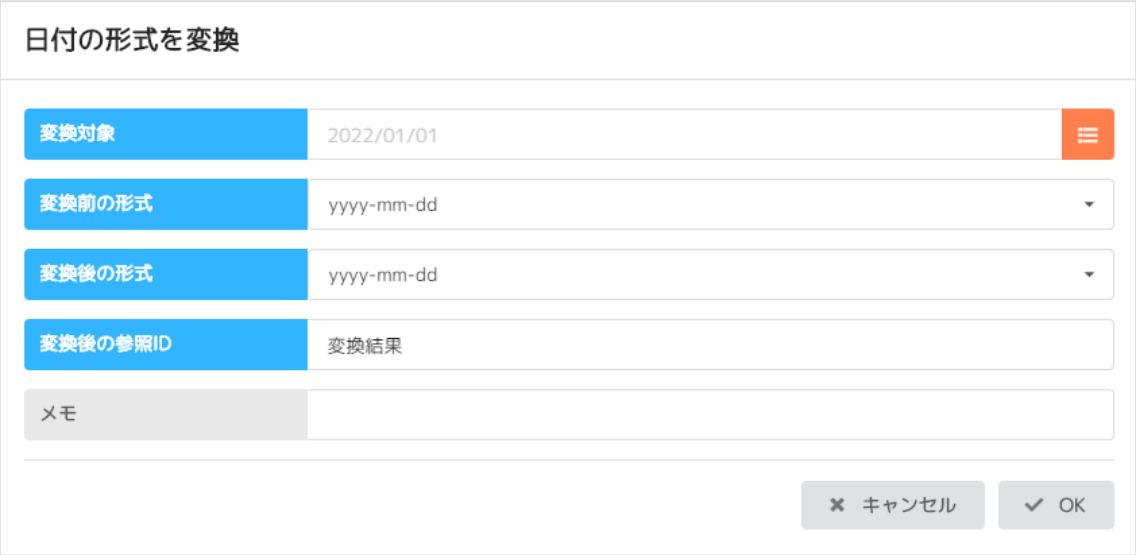


名称	内容
変換対象	変換したい文字を入力する
変換方法	変換対象の文字タイプと変換後の文字タイプを選択する。 変換方法一覧：（※A→B, B→A を A↔B とまとめて表記） （全て）全角↔半角,（数字）全角↔半角,（英字）全角↔半角, （英字）大文字↔小文字,（カタカナ）全角↔半角,
変換後の参照 ID	変換後の文字を記憶するデータ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.6.8. 日付形式変換

日付の形式を変換するコマンド。



名称	内容
変換対象	変換したい日付を入力する。
変換前の形式	変換対象の形式を選択する。
変換前のカスタム形式	カスタム形式の日付を入力する。 変換前の形式「カスタム形式」のときに表示される。
変換後の形式	変換後の形式を選択する。
変換後のカスタム形式	カスタム形式の日付を入力する。 変換後の形式「カスタム形式」のときに表示される。
変換後の参照 ID	変換後の日付を記憶するデータ参照 ID を定義する。

※注意点

「変換前の形式」にはない情報が「変換後の形式」にある場合、変換はできない。例えば、「mm 月 dd 日」を「yyyy 年 mm 月 dd 日」に変換することはできない。

カスタム形式について

「変換前の形式」と「変換後の形式」の選択肢に「カスタム形式」がある。この形式を利用することで、選択肢にない日付形式へ変換することができる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

下記にカスタム形式の仕様と具体例を記載する。

カスタム形式の仕様表

表記	意味	例
yyyy	年	2022
yy	年（下 2 桁）	22
wwww	年（和暦）	令和 4
WW	年（和暦）	R4
ww	年（和暦）	r4
mm	月	02
m	月（0 削除）	2
bb	月（英語）	February
b	月（英語の略語）	Feb
dd	日	09
d	日（0 削除）	9

なお、上記の文字を通常の文字として扱いたい場合は直前に円記号「¥」を挿入する。例えば m を文字として扱いたいときは、¥m と入力する。

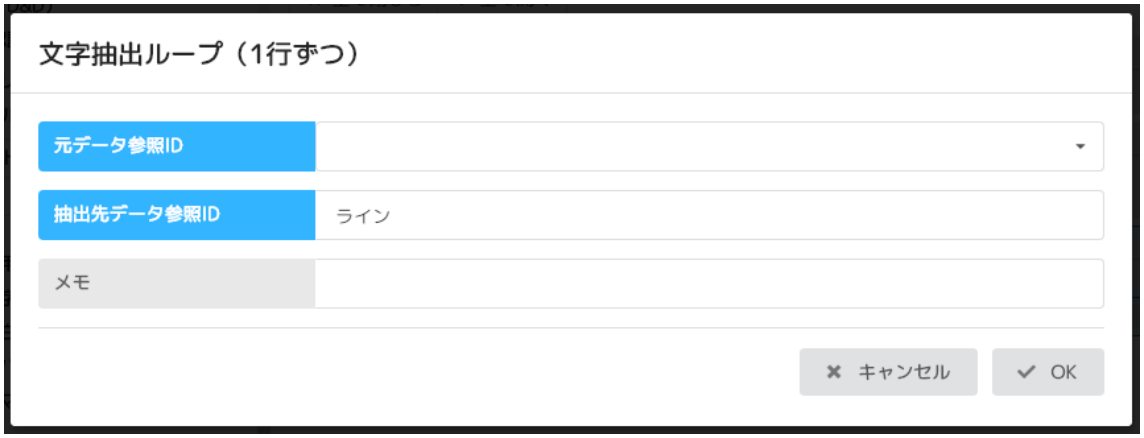
具体例

日付	表記
2022/01/09	yyyy/mm/dd
22/01/09	yy/mm/dd
31/01/09	dd/mm/yy
令和 4 年 1 月 9 日	wwww 年 m 月 d 日
R4 年 1 月 9 日	WW 年 m 月 d 日
r4 年 1 月 9 日	ww 年 m 月 d 日

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.6.9. 1 行ずつループ

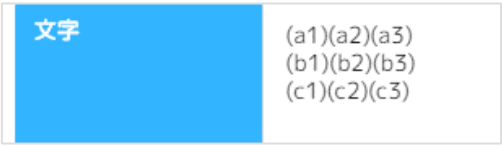
複数行の文字を 1 行ずつ記憶してループするコマンド。



名称	内容
元データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
抽出先データ参照 ID	抽出先データ参照 ID を定義する

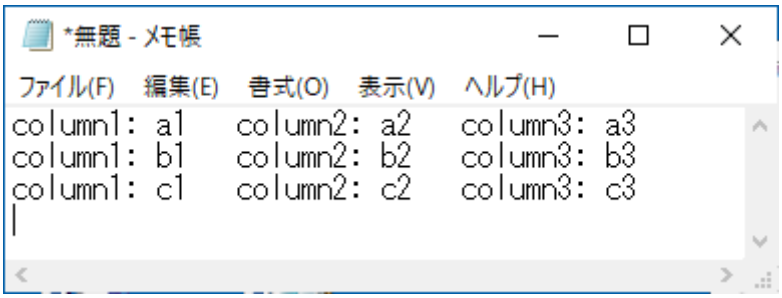
シナリオ例（1 行ずつループ）：

データ参照 ID「data」から()の中の文字を抽出してメモ帳に入力する。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（1 行ずつループ）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

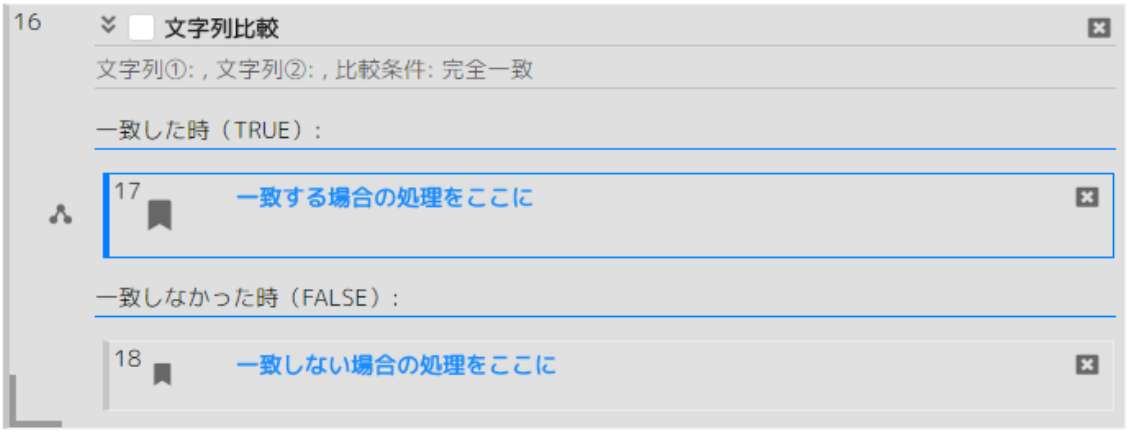
6.7. 分岐

6.7.1. 文字列

文字列を比較するコマンド。
※文字列①から②を検索します

名称	内容
文字列①	文字を入力します
文字列②	文字列①から検索したい文字を入力する
比較条件	以下の 4 つから比較の条件を選択する ・完全一致　・前方一致　・部分一致　・後方一致

比較して一致する場合とそうでない場合で処理を分けることができる。



シナリオ例（文字列）:

データ参照 ID「data」に対して、完全一致、前方一致、部分一致、後方一致する条件を設定しメモ帳に結果を入力する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

1 メモ帳起動＆data=「testだよ」

4 文字列比較
文字列①: data, 文字列②: testだよ, 比較条件: 完全一致

一致した時（TRUE）:

5 キーボード入力（文字）
文字: dataは「testだよ」と完全一致する
Enter: 有り

一致しなかった時（FALSE）:

6 キーボード入力（文字）
文字: dataは「testだよ」と完全一致しない
Enter: 有り

7 文字列比較
文字列①: data, 文字列②: te, 比較条件: 前方一致

一致した時（TRUE）:

8 キーボード入力（文字）
文字: dataは「te」と前方一致する
Enter: 有り

一致しなかった時（FALSE）:

9 キーボード入力（文字）
文字: dataは「te」と前方一致しない
Enter: 有り

10 文字列比較
文字列①: data, 文字列②: tだ, 比較条件: 部分一致

一致した時（TRUE）:

11 キーボード入力（文字）
文字: dataは「tだ」と部分一致する
Enter: 有り

一致しなかった時（FALSE）:

12 キーボード入力（文字）
文字: dataは「tだ」と部分一致しない
Enter: 有り

13 文字列比較
文字列①: data, 文字列②: だよ, 比較条件: 後方一致

一致した時（TRUE）:

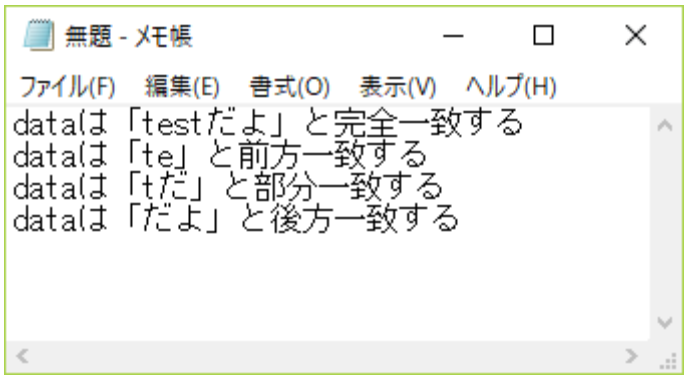
14 キーボード入力（文字）
文字: dataは「だよ」と後方一致する
Enter: 有り

一致しなかった時（FALSE）:

15 キーボード入力（文字）
文字: dataは「だよ」と後方一致しない
Enter: 有り

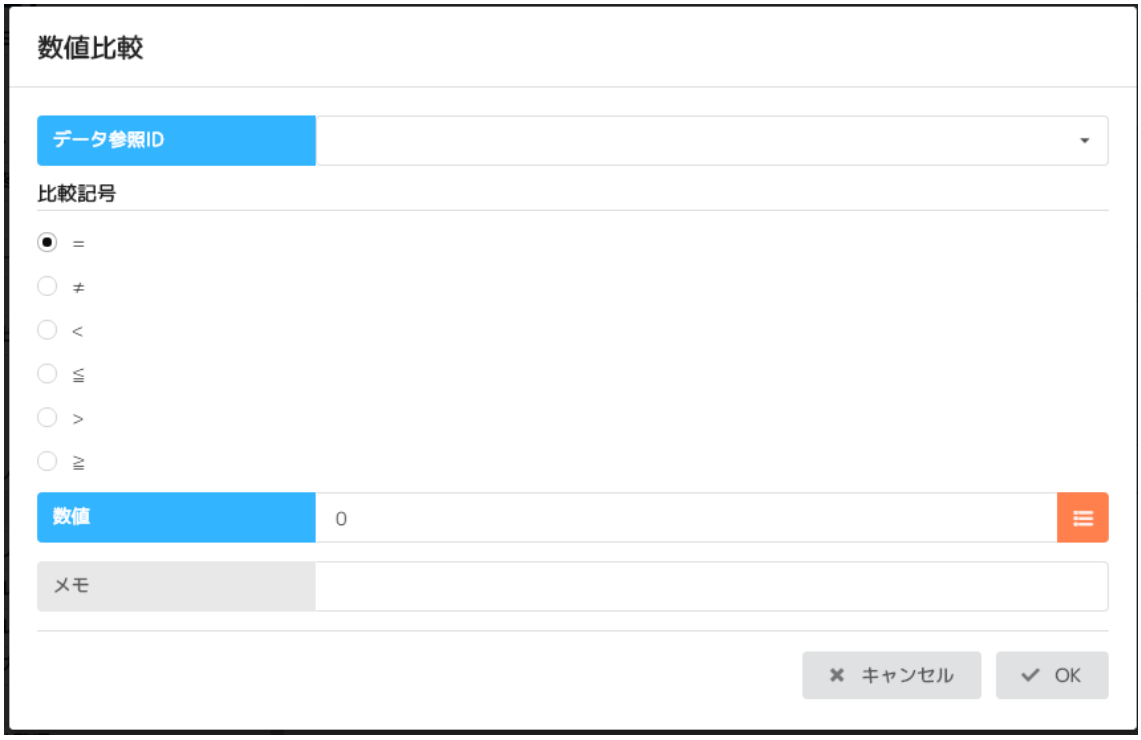
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（文字列）の実行結果：



6.7.2. 数値

データ参照 ID の値と、指定した文字列を比較するコマンド。等しい場合と等しくない場合の処理を分けることができる。



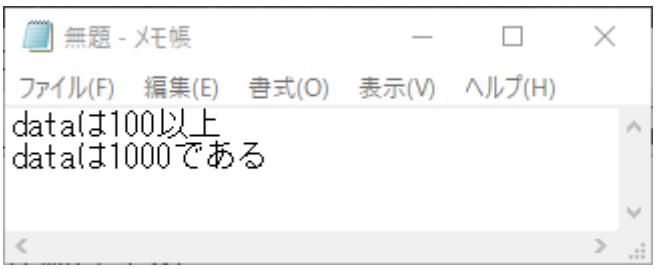
名称	内容
データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する
比較記号	比較する内容を入力する
数値	比較する数値を入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（数値）：

データ参照 ID「data」に格納した 1000 と数値比較をするシナリオ。

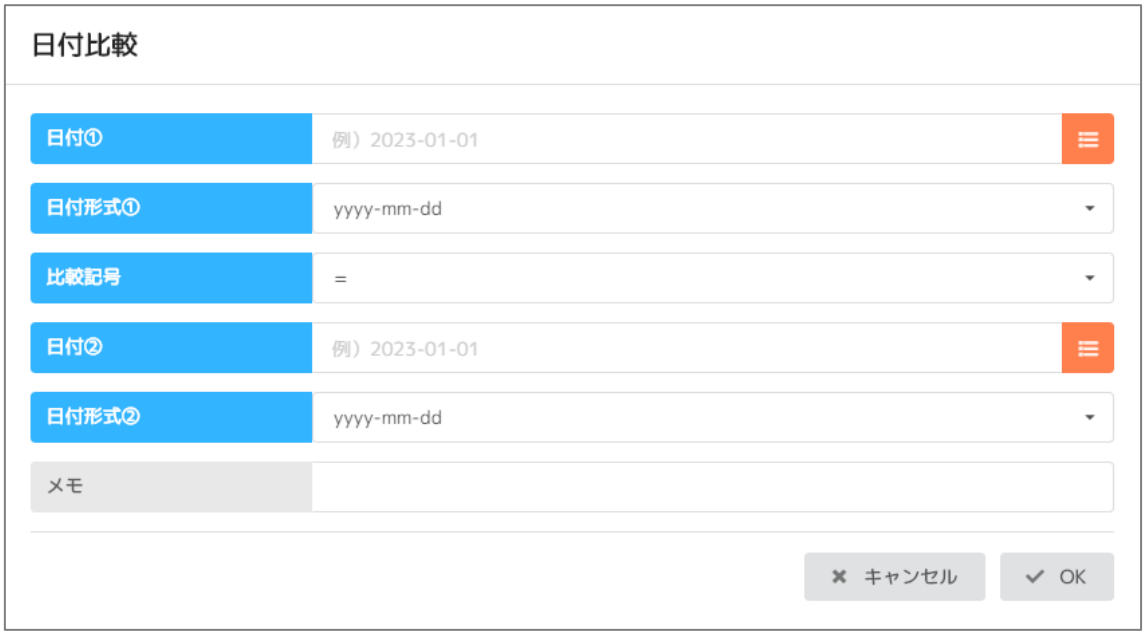
シナリオ例（数値）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.7.3. 日付

指定した 2 つの日付を比較するコマンド。条件に合う場合と合わなかった場合で処理を分けることができる。



名称	内容
日付①	日付を指定する
日付形式①	日付①の日付形式を指定する
比較記号	比較記号を選択する
日付②	日付を指定する
日付形式②	日付②の日付形式を指定する

6.7.4. ファイル・フォルダの有/無を確認

対象フォルダ内に指定ファイルまたはフォルダが存在するか確認するコマンド。存在する場合と存在しない場合の処理を分けることができる。

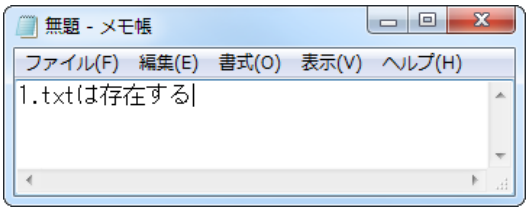
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
フォルダ場所	検索フォルダの指定
検索対象	検索対象（ファイルまたはフォルダ）を選択
ファイル/フォルダ名	検索ファイル/フォルダ名の指定

シナリオ例（ファイル・フォルダの有/無を確認）：

下図のフォルダから 1.txt を検索し、結果をメモ帳に記載するシナリオ。

シナリオ例（ファイル・フォルダの有/無を確認）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.7.5. 画像

指定画像を探す。画像が存在する場合と存在しない場合の処理を分けることができる。
※画像出現を待つコマンドと画像を探す（分岐）コマンドは同一です。

名称	内容
画像切り取り	探索したい画像を指定する。Ctrl キーを押しながらドラッグ＆ドロップすると座標が表示される。
切り取りまでの待ち時間	画像切り取りモードに切り替わるまでの時間を選択する。
ざっくり検索%（色：RGB）	画像を画面上で検索する際、色のズレをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色のズレがあっても容認する。
ざっくり検索%（ピクセル）	画像を画面上で検索する際、色が完全に不一致のピクセルをどれぐらい許容するかを設定する。この数値が低いほど、色が完全不一致のピクセルがあっても容認する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
検索時間（秒）	検索時間を指定する。最大検索時間は 3600 秒。画像が出現した場合は検索時間の経過を待たずに次の処理を実行する。
検索範囲	画像を検索する範囲を指定する。[検索範囲指定]を選択すると、本項目直下に検索範囲切り取りが表示される。
検索範囲切り取り	画像の検索範囲を指定する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.8. 繰り返し

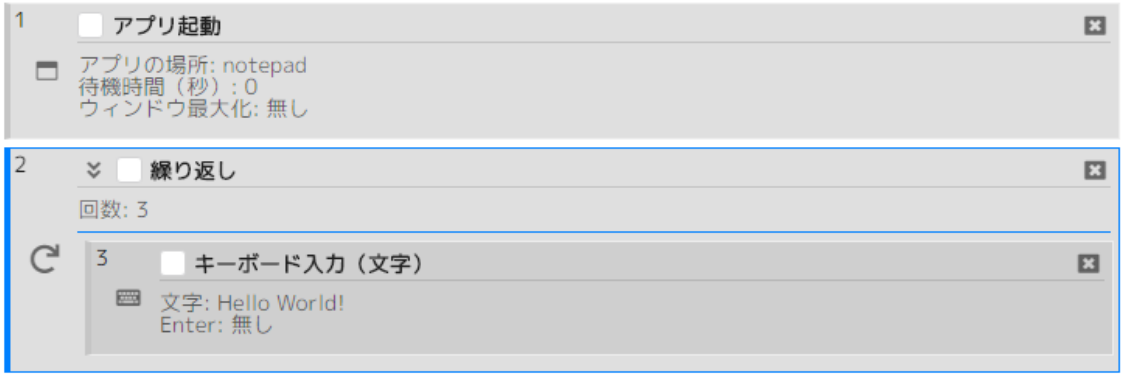
6.8.1. 繰り返し

指定した回数の分だけ、または無限回動作を繰り返すコマンド。繰り返したい動作をこのコマンド内にドラッグ＆ドロップする。

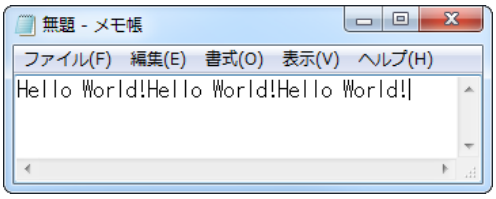
名称	内容
繰り返しタイプ	回数指定または無限を選択する
回数	回数指定の場合、処理を繰り返す回数を指定する

シナリオ例（繰り返し）：

メモ帳に定型文を 3 回入力するシナリオ。



シナリオ例（繰り返し）の実行結果：



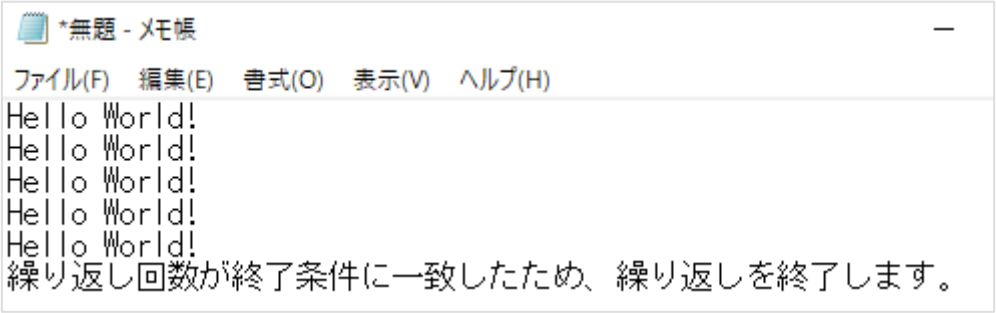
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（回数・無限）：

メモ帳に定型文を無限に入力するシナリオ。もし「繰り返し回数」が「終了条件」と一致した場合は繰り返しを抜ける。

※「計算結果を記憶」コマンドで高度データ参照 ID 呼び出し機能を利用しています。

シナリオ例（回数・無限）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.8.2. 繰り返しを抜ける

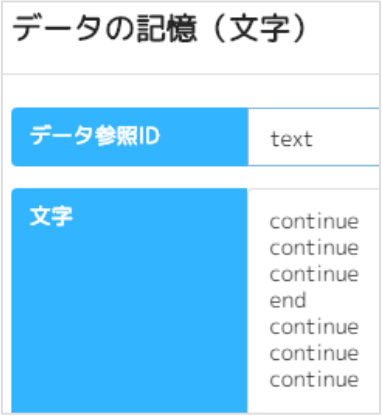
繰り返し系コマンドを終了して、次の処理へ移行するコマンド。

繰り返し系コマンド一覧

- 「文字抽出 ＞1 行ずつループ」コマンド
- 「繰り返し ＞ 繰り返し」コマンド
- 「ファイル・フォルダ>フォルダ>ループ」コマンド
- 「エクセル・CSV ＞ セル操作 ＞ 行ループ」コマンド
- 「エクセル・CSV ＞ セル操作 ＞ 列ループ」コマンド
- 「エクセル・CSV ＞ CSV 読込ループ」コマンド
- 「スプレッドシート ＞ セル操作 ＞ 行ループ」コマンド
- 「スプレッドシート ＞ セル操作 ＞ 列ループ」コマンド
- 「メール ＞ 受信」コマンド
- 「メール ＞ 受信（Gmail）」コマンド
- 「メール ＞ 受信（Microsoft）」コマンド

シナリオ例（繰り返しを抜ける）：

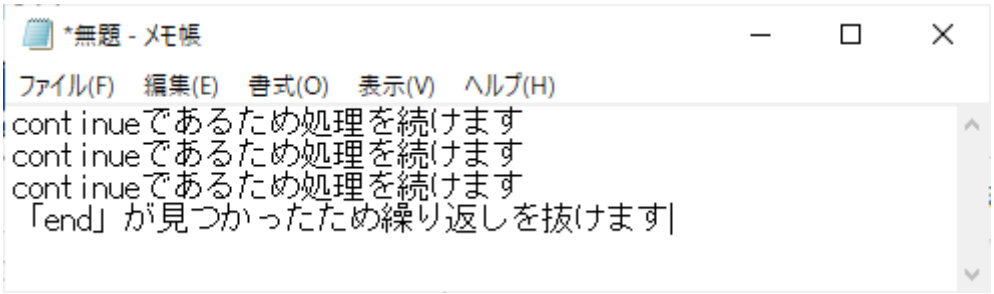
「end」の行の場合は繰り返しを抜けるシナリオ。動作の違いをメモ帳に入力する。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（繰り返しを抜ける）の実行結果：

4 行目の「end」に完全一致したため、繰り返しは 4 回で終了したことがわかる。



6.8.3. 繰り返しの最初に戻る

繰り返し系コマンド内の最初の処理へ移行するコマンド。対応している繰り返し系コマンドはこちらと同様である。

シナリオ例（繰り返しの最初に戻る）：

セルの内容が「記録する」場合のみ、メモ帳にセルを入力するシナリオ。行末のセルが空白の場合は次の行へ移動して繰り返しの最初の処理に戻る。また、行頭のセルが空白の場合にシナリオを終了する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

	A	B	C	D	E
1	データを	記録する	記録する	記録しない	記録する
2	データを	記録しない	記録しない	記録する	
3	データを	記録しない	記録する	記録する	記録しない
4	データを	記録する	記録しない		
5	データを	記録しない			
6	データを	記録しない	記録する	記録しない	
7					

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

1 アプリ起動 (メモ帳起動)
アプリの場所: notepad
待機時間（秒）: 0
ウィンドウ最大化: 無し

2 ファイルを開く (Excelを開く)
ファイル場所: C:\Users\user\Desktop\繰り返しtest2.xlsx
待機時間（秒）: 0
ウィンドウ最大化: 無し

3 ショートカットキーを入力 (Excel: A1へ移動)
ショートカット: ctrl+home

4 繰り返し (繰り返しA)
回数: 10

5 セルを取得(先頭チェック)

6 ショートカットキーを入力 (Excel: コピー)
ショートカット: ctrl+c

7 コピー内容を記憶
先頭チェック

8 文字列抽出（改行・空白を削除）
データ参照ID: 先頭チェック
操作内容: 改行のみ, 行末

9 文字列比較
文字列①: 先頭チェック, 文字列②: データを, 比較条件: 完全一致

一致した時（TRUE）:

10 繰り返し (繰り返しB)
回数: 20

11 セル取得

12 ショートカットキーを入力 (Excel: 右へセル移動)
ショートカット: tab

13 ショートカットキーを入力 (Excel: コピー)
ショートカット: ctrl+c

14 コピー内容を記憶
セルの内容

15 文字列抽出（改行・空白を削除）
データ参照ID: セルの内容
操作内容: 改行のみ, 行末

16 文字列比較 (True: セルの内容「記録する」)
文字列①: セルの内容, 文字列②: 記録する, 比較条件: 完全一致

一致した時（TRUE）:

17 画面切り替え（名前）
文字列: メモ帳

18 キーボード入力（文字）
文字: セルの内容
Enter: 有り

19 画面切り替え（名前）
文字列: Excel

一致しなかった時（FALSE）:

20 文字列比較 (True: 「記憶しない」 False: 空白セル)
文字列①: セルの内容, 文字列②: 記録しない, 比較条件: 完全一致

一致した時（TRUE）:

21 繰り返しの最初に戻る

一致しなかった時（FALSE）:

22 ショートカットキーを入力 (Excel: 選択解除)
ショートカット: esc

23 ショートカットキーを入力 (Excel: 次の行頭へ移動)
ショートカット: enter

24 繰り返しを抜ける (繰り返しBから抜ける)

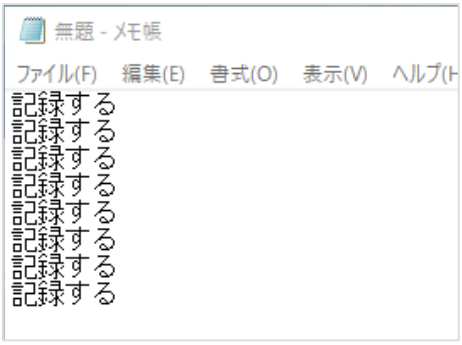
一致しなかった時（FALSE）:

25 繰り返しを抜ける (繰り返しAから抜ける)

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（繰り返しの最初に戻る）の実行結果：

エクセル内の「記録する」セルの全てがメモ帳に記録された。

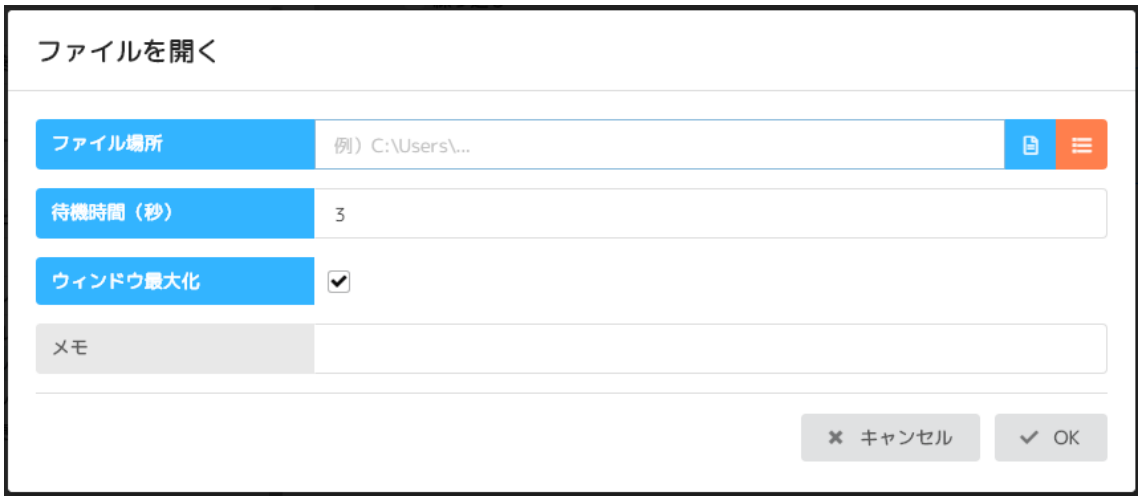


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.9. ファイル・フォルダ

6.9.1. ファイル ＞ 開く

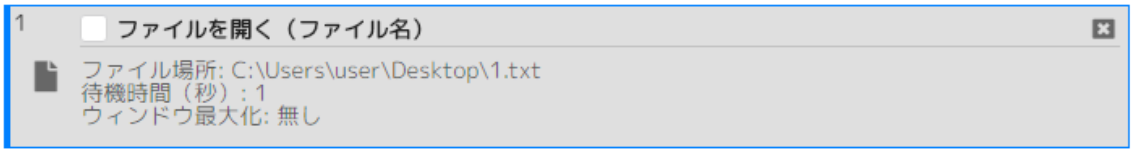
ファイルを開くコマンド。



名称	内容
ファイル場所	ファイルパスを指定する ファイルアイコンからファイルを選択することができる
待機時間（秒）	待機秒数を指定する
ウィンドウ最大化	ウィンドウを最大化する

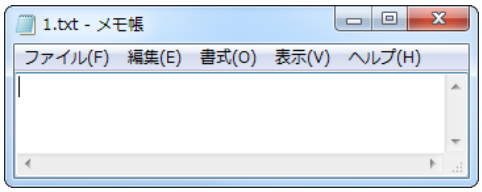
シナリオ例（ファイル ＞ 開く）：

1.txt を開くシナリオ。



シナリオ例（ファイル ＞ 開く）の実行結果：

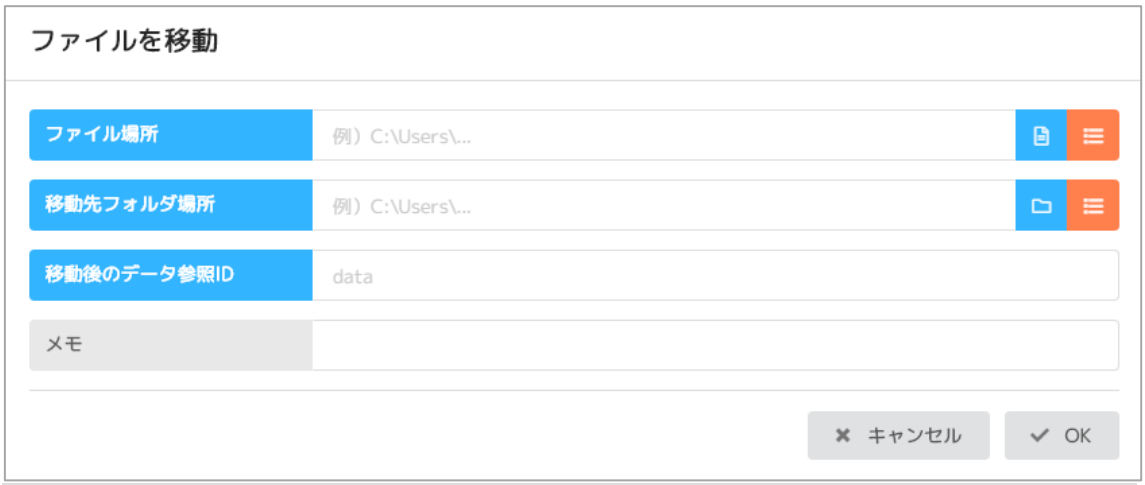
1.txt が起動した。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.9.2. ファイル ＞ 移動

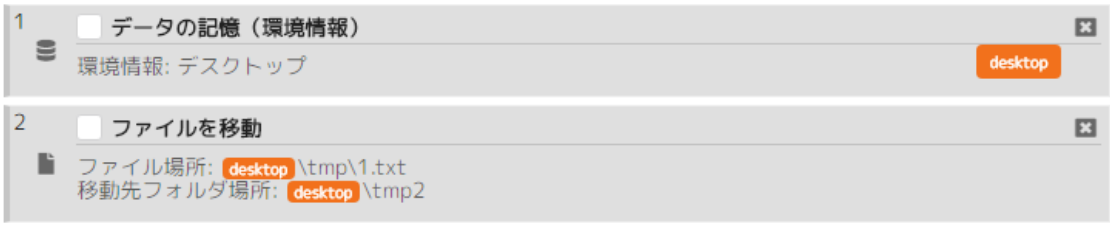
ファイルをフォルダに移動するコマンド。



名称	内容
ファイル場所	移動するファイルを指定する。 ファイルアイコンからファイルを選択することができる。
移動先フォルダ場所	移動先フォルダを指定する。 フォルダアイコンから移動先フォルダを選択することができる。
移動後の データ参照 ID	入力有り：ファイル移動後のファイルパスを記憶するデータ参照 ID を定義する。 入力無し：データ参照 ID を定義しない。

シナリオ例（ファイル ＞ 移動）：

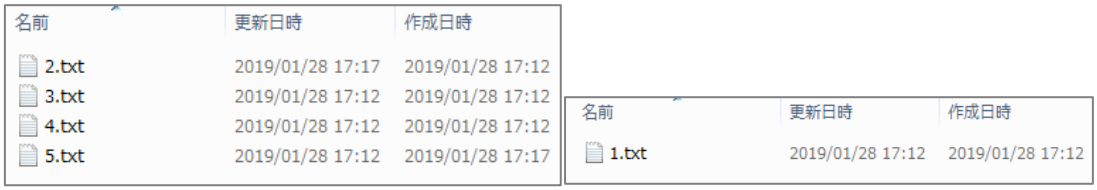
下の左図にある 1.txt を右図のフォルダに移動するシナリオ。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ファイル ＞ 移動）の実行結果：

1.txt が移動した。



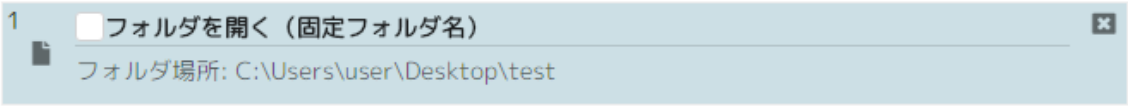
6.9.3. フォルダ ＞ 開く

フォルダを開く。

名称	内容
フォルダ場所	開くフォルダを指定する フォルダアイコンからフォルダを選択できる

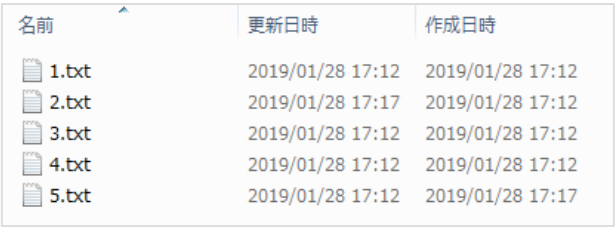
シナリオ例（フォルダ ＞ 開く）：

フォルダを開くシナリオ。



シナリオ例（フォルダ ＞ 開く）の実行結果：

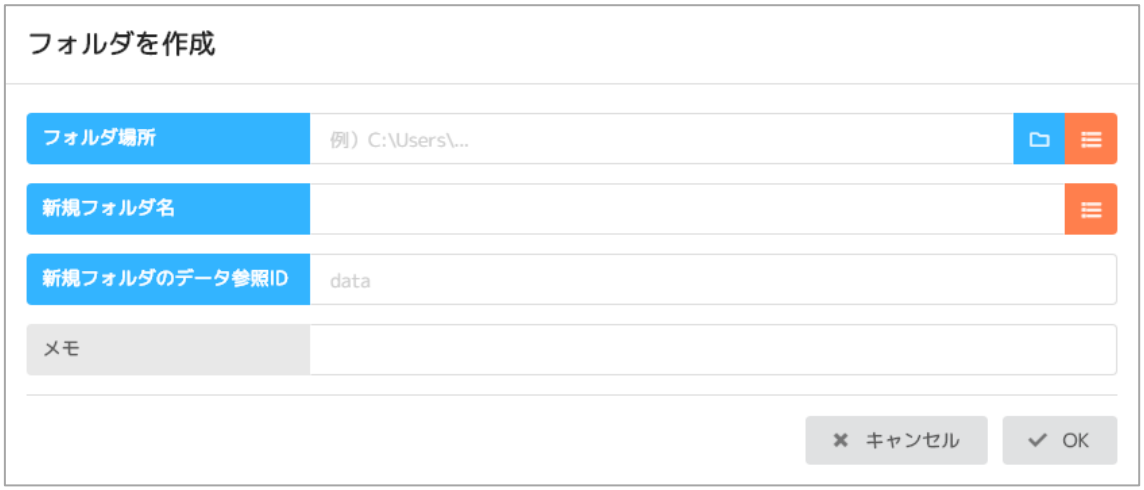
指定したフォルダを開いた。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

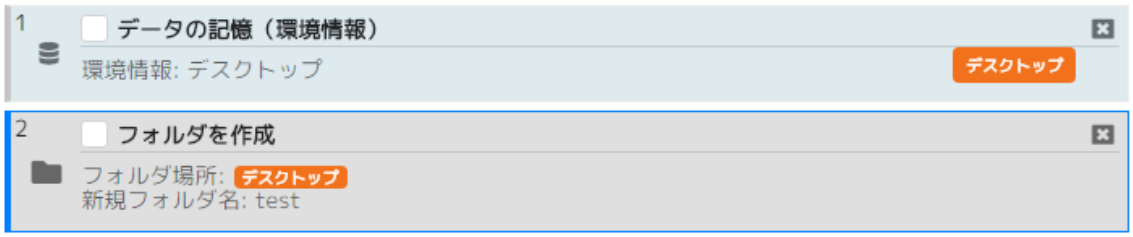
6.9.4. フォルダ ＞ 作成

フォルダを新しく作る。
※すでに同名のフォルダが存在する場合はエラーとなります



名称	内容
フォルダ場所	新規フォルダの作成場所を指定する。 フォルダアイコンからフォルダを選択できる。
新規フォルダ名	新しいフォルダの名前を指定する。
新規フォルダのデータ参照 ID	入力有り:新規フォルダのパスを記憶するデータ参照 ID を定義する。 入力無し：データ参照 ID を定義しない。

シナリオ例（フォルダ ＞ 作成）：
デスクトップに新規フォルダ「test」を作成するシナリオ。

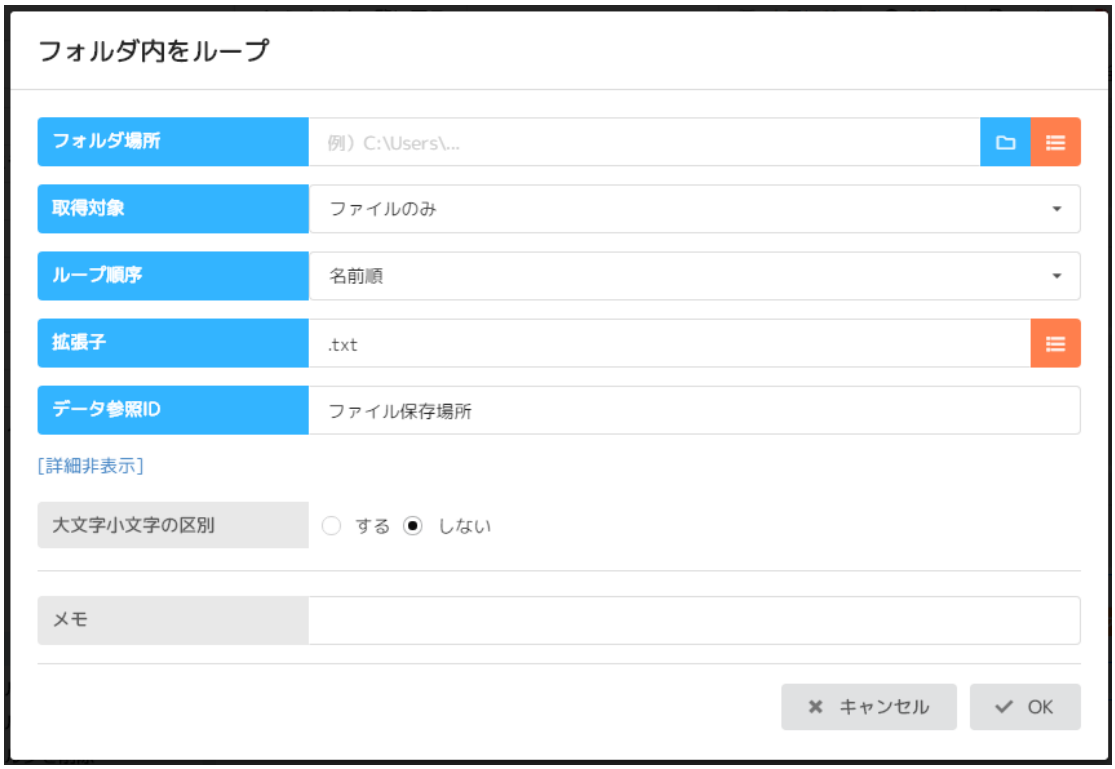


シナリオ例（フォルダ ＞ 作成）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.9.5. フォルダ ＞ ループ

フォルダ内から指定した拡張子のファイルまたはフォルダのパス（保存場所）を全て取得し、それら一つ一つに対して繰り返し処理を行うコマンド。取得したパスはデータ参照 ID に記憶される。繰り返したい動作をこのコマンド内にドラッグ＆ドロップする。



名称	内容
フォルダ場所	フォルダを指定する。 フォルダアイコンからフォルダを選択できる。
取得対象	ファイルもしくはフォルダを指定する。
ループ順序	フォルダループの順序を選択する。選択肢は以下の 5 つ： ・ファイルの名前順/名前順(Windows) ・更新日が新しい/古い順 ・作成日時が新しい/古い順
拡張子	ファイルの拡張子を指定する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する。この参照 ID にパスが記憶される。
大文字小文字の区別	無効：　拡張子の大文字小文字を区別しない （例）拡張子：.txt　test.txt -> 検知　test.TXT -> 検知 有効：　拡張子の大文字小文字を区別する （例）拡張子：.txt　test.txt -> 検知　test.TXT -> 検知しない [詳細表示]をクリックすると表示される

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.9.6. ファイル・フォルダ名の変更

ファイルまたはフォルダの名前を変更するコマンド。

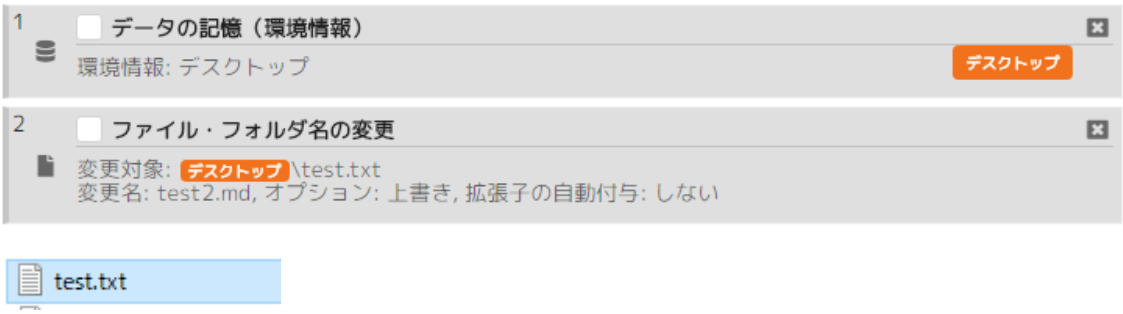
※注意点

・作業強制終了を利用するとスケジュール実行は正常終了となります

名称	内容
変更対象	名前変更したいファイルまたはフォルダを指定する
変更名	変更後の名前を入力する
拡張子の自動付与	する　：　変更対象の拡張子を自動付与する しない：　変更名に拡張子を明記する
同じ名前がある場合	同じ名前のファイル・フォルダが存在する場合の処理を選択する
改名後の データ参照 ID	入力有り：名前変更後のファイルパスを記憶するデータ参照 ID を定義する 入力無し：データ参照 ID を定義しない

シナリオ例（ファイル・フォルダ名の変更）：

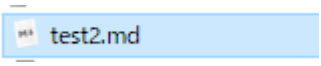
test.txt を test2.md に変更する



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ファイル・フォルダ名の変更）の実行結果：

test.txt が test2.md へと、ファイル名と拡張子が変更された。

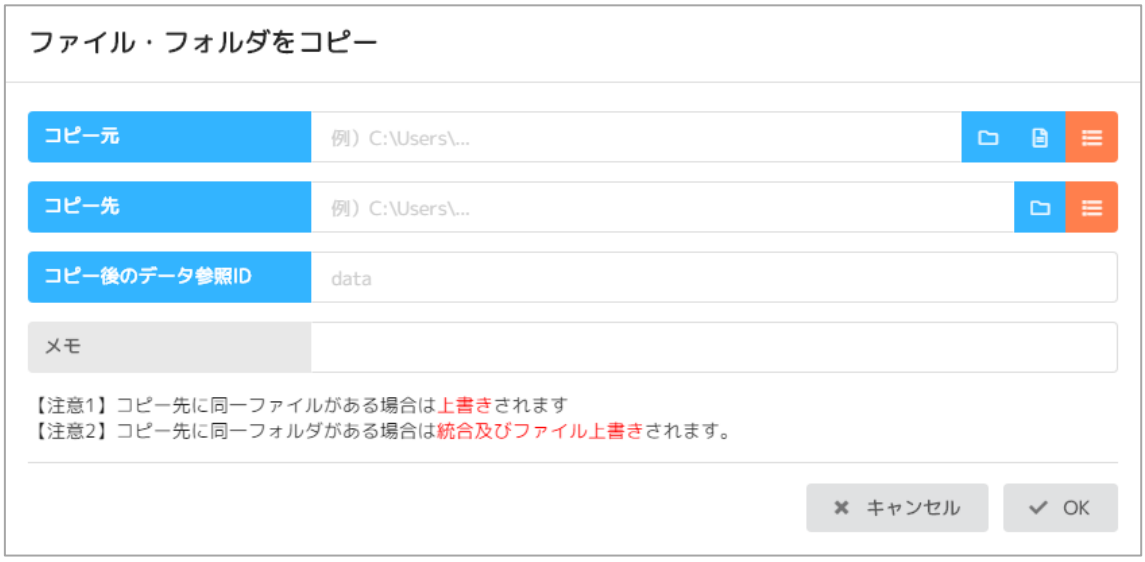


6.9.7. ファイル・フォルダをコピー

ファイルまたはフォルダをコピーするコマンド。

※注意点

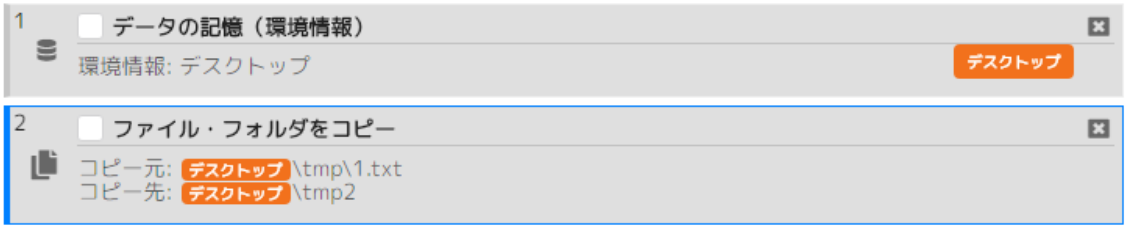
1. コピー先に同一ファイルがある場合は上書きされます。
2. コピー先に同一フォルダがある場合は統合及びファイル上書きされます。



名称	内容
コピー元	コピーしたいファイルまたはフォルダを指定する。
コピー先	コピー元を保存するフォルダを指定する。
コピー後の データ参照 ID	入力有り：コピー先のパスを記憶するデータ参照 ID を定義する。 入力無し：データ参照 ID を定義しない。

シナリオ例（ファイル・フォルダをコピー）：

ファイルをコピーするシナリオ。



シナリオ例（ファイル・フォルダをコピー）の実行結果：

ファイルがコピーされた。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.9.8. ファイル・フォルダを削除

ファイルまたはフォルダを削除するコマンド。

削除方法はゴミ箱に移動・完全に削除の 2 通りある。

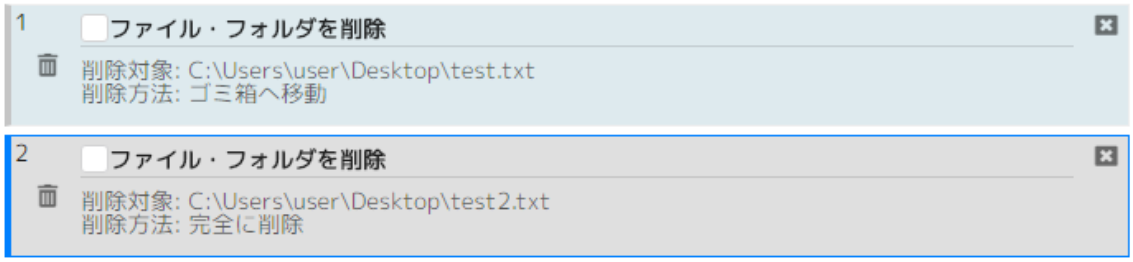
※注意点

・ネットワーク上のファイルを削除する場合は「完全に削除」しか選択できません。

名称	内容
削除対象	削除したいファイルまたはフォルダを指定する
完全に削除	チェックなし：削除対象をゴミ箱へ移動する チェックあり：削除対象を完全に削除する

シナリオ例（ファイル・フォルダを削除）：

test.txt をゴミ箱へ移動し、test2.txt を完全に削除するシナリオ。



シナリオ例（ファイル・フォルダを削除）の実行結果：

test.txt はゴミ箱へ移動され、test2.txt は完全に削除された。

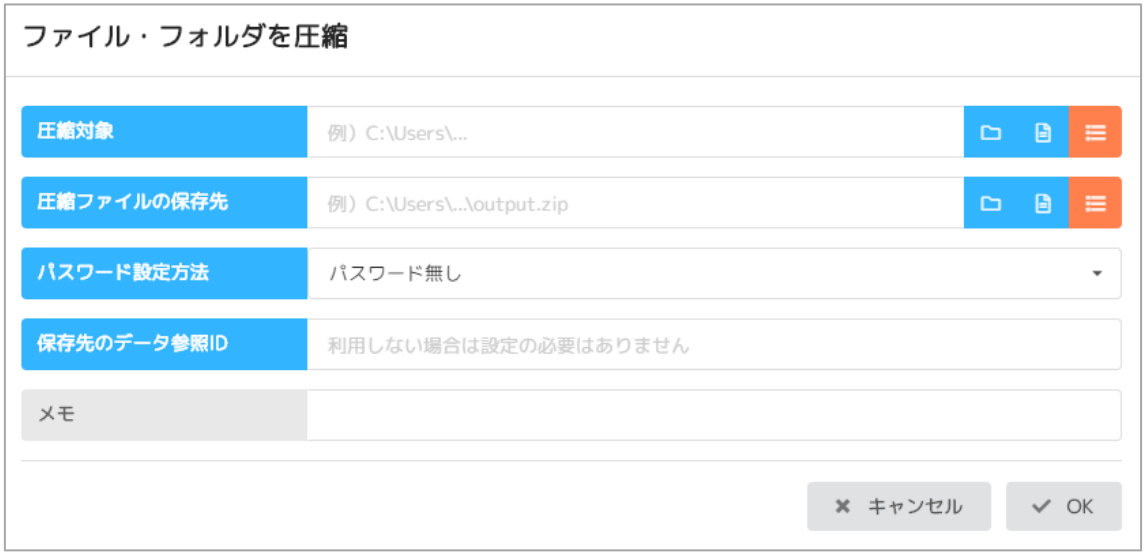
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.9.9. 圧縮・解凍 ＞ ファイル・フォルダを圧縮

ファイルやフォルダを圧縮し、保存先に圧縮ファイル（zip）を作成するコマンド。
作成される zip ファイルの名前は、下記のルールによって決まる：

1. 保存先がフォルダだった場合は、そのフォルダに「<圧縮対象名>.zip」が作成される
2. 保存先が「.zip」拡張子をもつファイル名だった場合は、そのままの名前になる。
3. 保存先が「.zip」拡張子を持たないファイル名だった場合は、「.zip」が付け足される。
4. 保存先が相対パスの場合は、圧縮対象と同フォルダに相対したパスに zip ファイルが作成される。

また、保存先に同名の zip ファイルがすでにあった場合は、圧縮対象ファイル・フォルダは、その既存の zip ファイルに追加される。さらに、その zip ファイルの中に同名のファイルがあった場合は、圧縮パスワードごと上書きする。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
圧縮対象	圧縮したいファイルまたはフォルダを指定する
圧縮ファイルの保存先	圧縮ファイル（zip）の保存先を指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1.　パスワード無し 2.　直接入力 3.　パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される 圧縮対象を解凍する際に必要なパスワードを設定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
保存先のデータ参照 ID	圧縮ファイルの保存先の絶対パスを記憶するための データ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

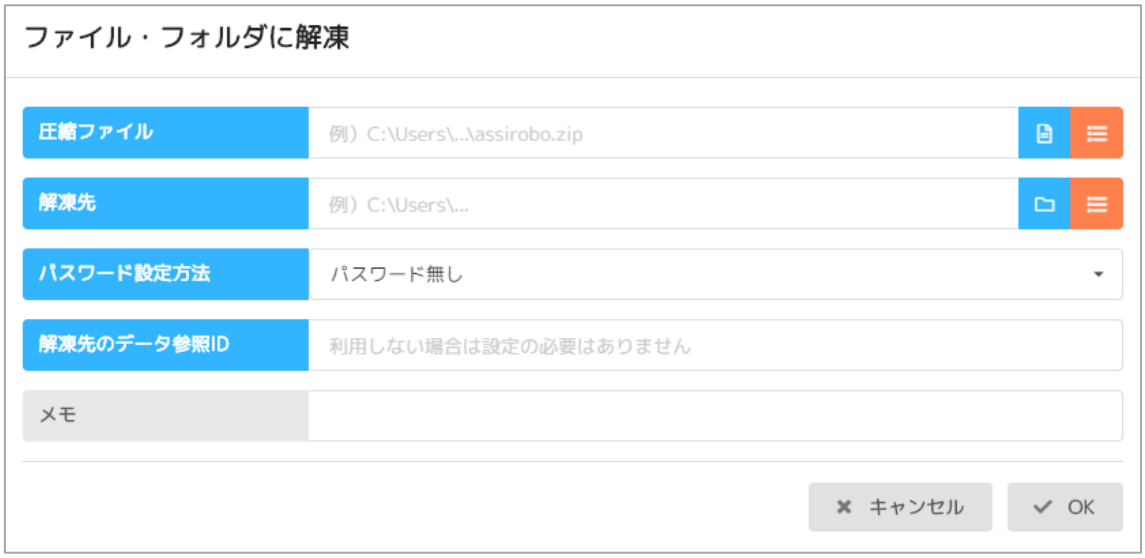
6.9.10. 圧縮・解凍 ＞ ファイル・フォルダに解凍

圧縮ファイル（zip）ファイルを指定の場所に解凍するコマンド。

解凍先のフォルダが相対パスの場合は、圧縮ファイルの親フォルダに相対したパスに解凍する。また、解凍先のフォルダが存在しない場合、自動的に作成される。

※注意点

・解凍先フォルダを自動的に作成する際に、アクセス権がない場合はエラーになる。



名称	内容
圧縮ファイル	解凍したい圧縮ファイル（zip）を指定する
解凍先	解凍先のフォルダを指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1.　パスワード無し 2.　直接入力 3.　パスワード参照 ID から
解凍パスワード	直接入力を選択すると表示される 解凍パスワードを指定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

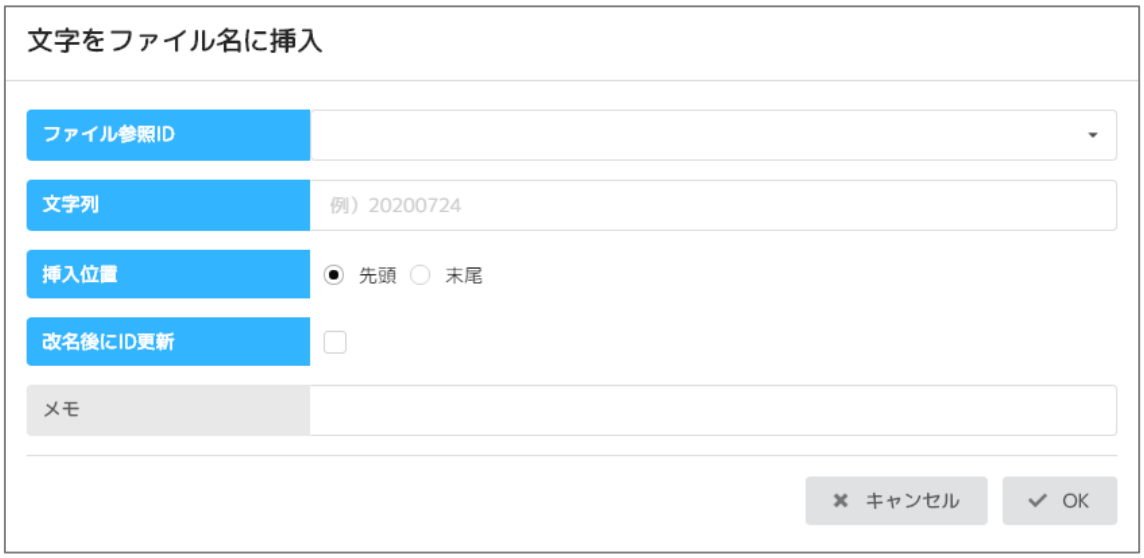
	する
解凍先のデータ参照 ID	解凍先の絶対パスを記憶するためのデータ参照 ID を定義する

6.9.11. ファイル名変更(挿入) > 文字

データ参照 ID に記憶したファイル名の先頭または末尾に文字列を追加するコマンド。
ファイル名の表記は

- 先頭に挿入：　文字_記憶しているファイル名
- 末尾に挿入：　記憶しているファイル名_文字

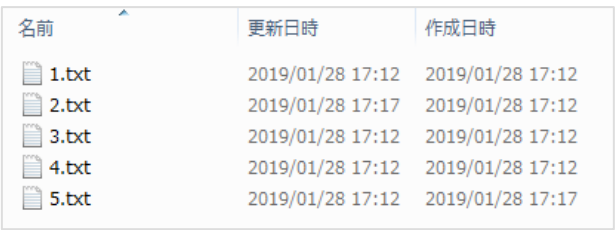
となる。



名称	内容
ファイル参照 ID	ファイルパスを記憶したデータ参照 ID を指定する
文字列	ファイル名の先頭に追加する文字列を指定する
挿入位置	文字を挿入する位置を選択する
改名後に ID 更新	チェックすると対象のファイル参照 ID のファイルパスが改名後のものに更新される

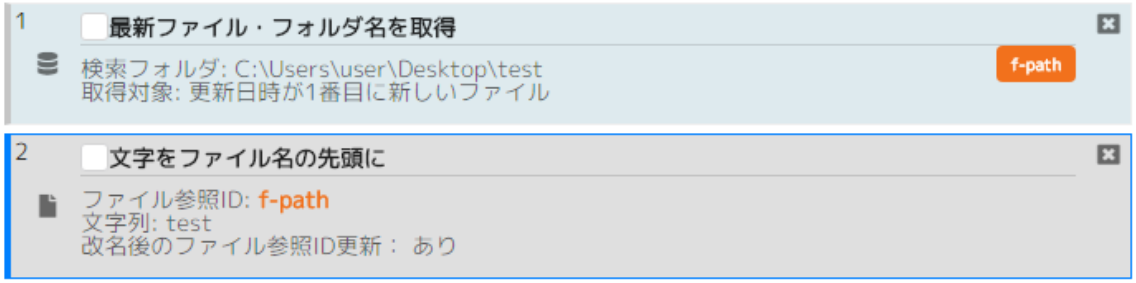
シナリオ例（名前変更（挿入）＞文字）：

下図フォルダ内から更新日時が最新のファイルパスを取得して、そのファイル名の先頭に[test_]を付けるシナリオ。



名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



シナリオ例（名前変更（挿入）＞文字）の実行結果：

更新日時が最新である 2.txt のファイル名が変更された。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17
test_2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12

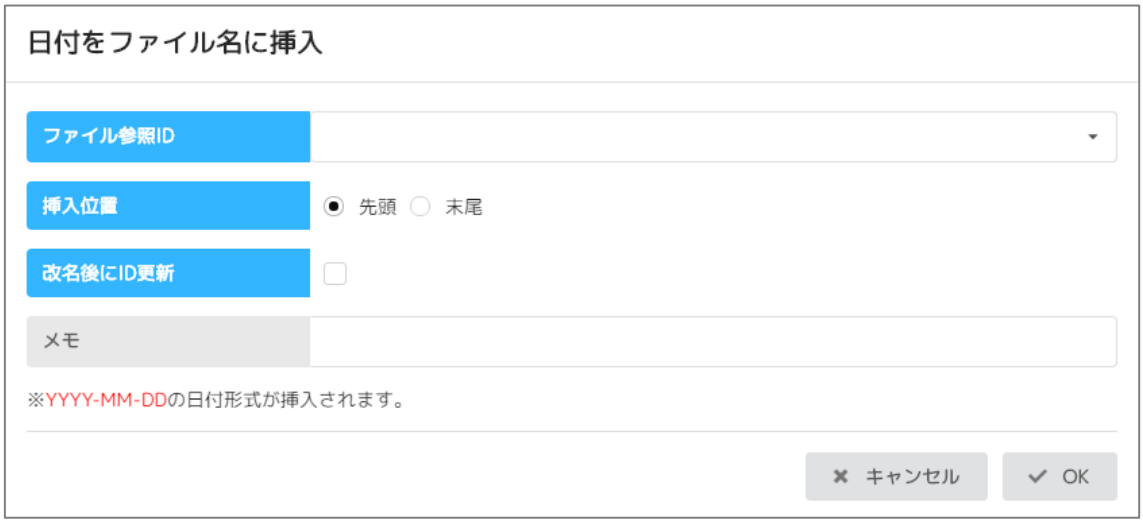
6.9.12. ファイル名変更(挿入) ＞ 日付

記憶したファイル名の先頭または末尾に、日付を追加するコマンド。

ファイル名の表記は

- 先頭に挿入：　年-月-日_記憶したファイル名
- 末尾に挿入：　記憶したファイル名_年-月-日

となる。



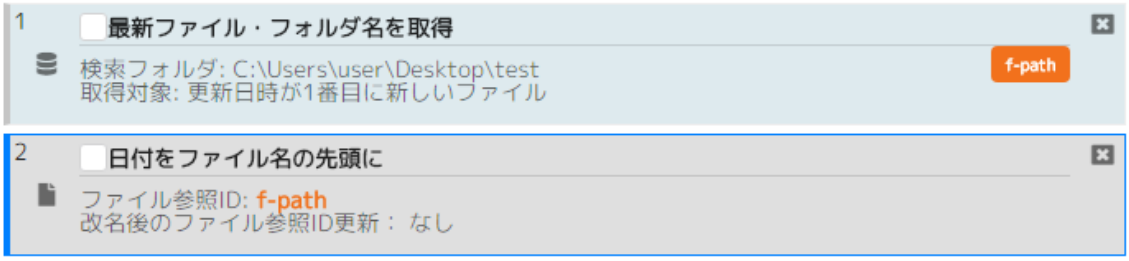
名称	内容
ファイル参照 ID	ファイルパスを記憶したデータ参照 ID を指定する
挿入位置	文字を挿入する位置を選択する
改名後に ID 更新	チェックすると対象のファイル参照 ID のファイルパスが改名後のものに更新される

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（名前変更（挿入）＞日付）：

下図フォルダ内から更新日時が最新のファイルパスを取得して、そのファイル名の先頭に日付を付けるシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17



シナリオ例（名前変更（挿入）＞日付）の実行結果：

更新日時が最新である 2.txt のファイル名が変更された。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17
2019-01-28_2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12

6.9.13. ファイル名変更(挿入) >参照 ID

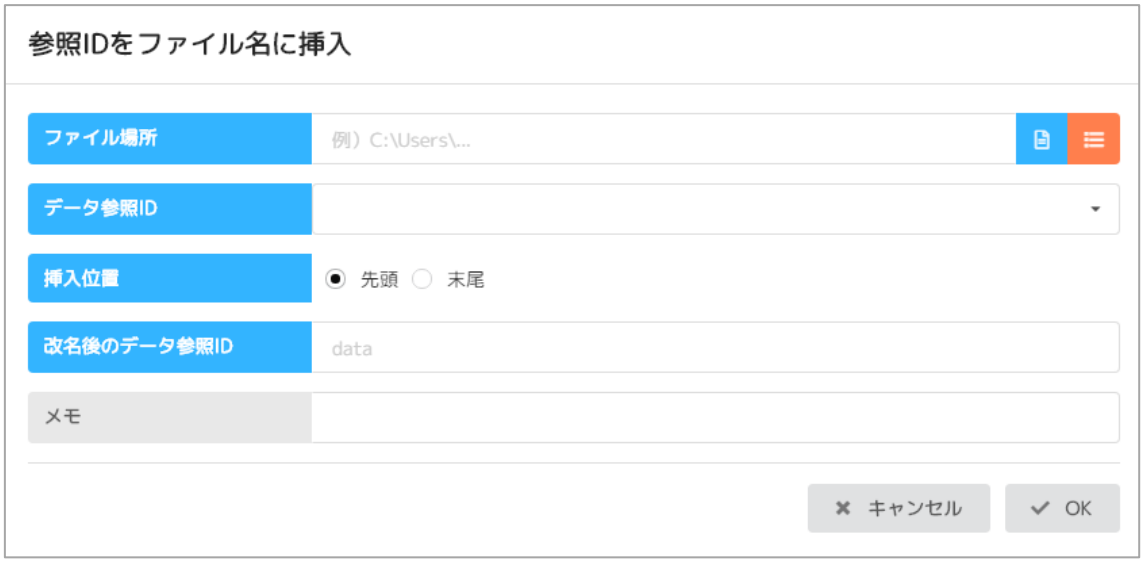
ファイル名の先頭または末尾に、データ参照 ID に記憶した文字を追加するコマンド。

ファイル名の表記は

- 先頭に挿入：　データ参照 ID_指定ファイル名
- 末尾に挿入：　指定ファイル名_データ参照 ID

となる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

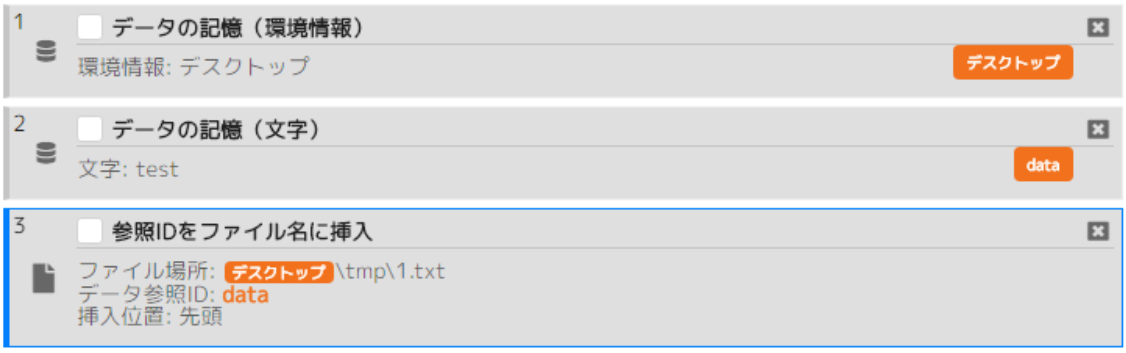


名称	内容
ファイル場所	ファイルを指定する。ファイルアイコンからファイルを選択できる。
データ参照 ID	定義したデータ参照 ID を指定する。
挿入位置	文字を挿入する位置を選択する。
改名後の データ参照 ID	入力有り：名前変更後のファイルパスを記憶するデータ参照 ID を定義する。 入力無し：データ参照 ID を定義しない。

シナリオ例（名前変更（先頭に挿入）＞参照 ID）：

1.txt のファイル名の先頭に、データ参照 ID「data」の値「test」を付けるシナリオ。

名前	更新日時	作成日時
1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17



シナリオ例（名前変更（先頭に挿入）＞参照 ID）の実行結果：

1.txt のファイル名が変更された。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名前	更新日時	作成日時
2.txt	2019/01/28 17:17	2019/01/28 17:12
3.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
4.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12
5.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:17
test_1.txt	2019/01/28 17:12	2019/01/28 17:12

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

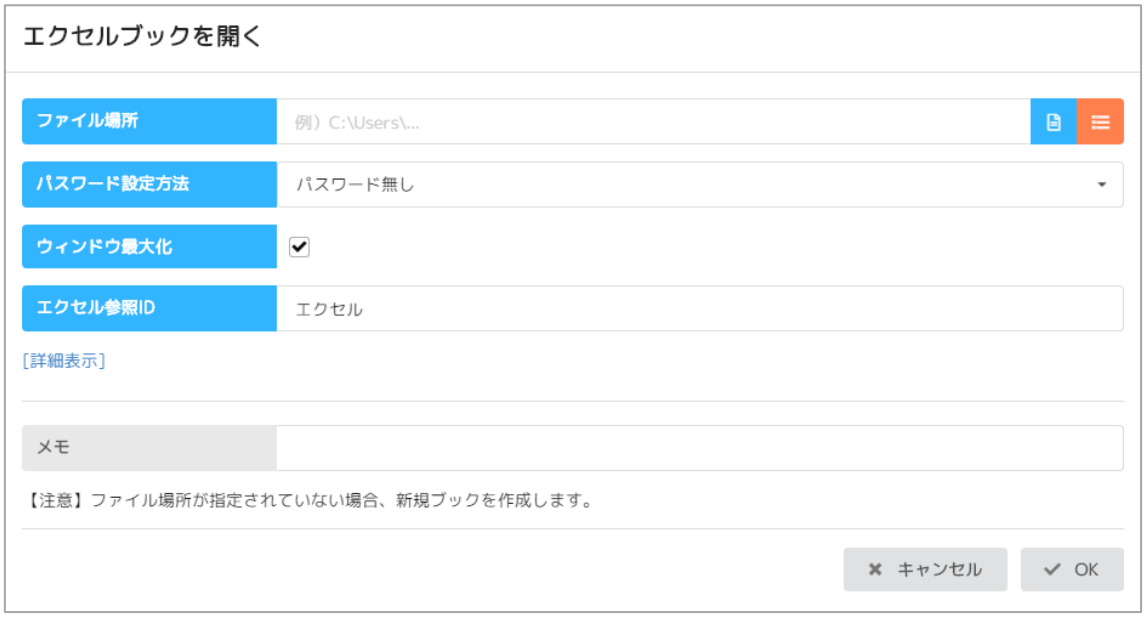
6.10. エクセル

6.10.1. ブック ＞ ブックを開く

エクセルブックを開く。

※注意点

・セル編集状態でエクセルコマンドを実行するとエラーが発生します。セル編集状態を解除して（Esc キーを押す）でコマンドを実行してください。



名称	内容
ファイル場所	エクセルファイルを指定する 新規ブックを作成する場合は指定なしにする
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される ブックの保護を設定している場合にパスワードを入力する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

ウィンドウ最大化	エクセルウィンドウを最大化する
エクセル参照 ID	エクセル参照 ID を定義する
リンクの更新	[詳細設定]を選択すると表示される。「外部ソースへのリンクの更新ダイアログ」に対する操作を選択する

6.10.2. ブック ＞ ブックを覚える

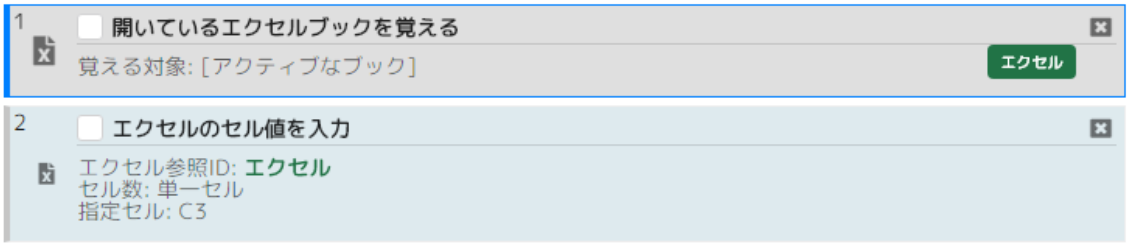
既に開かれている状態のエクセルブックを覚えるコマンド。アクティブな（=ウィンドウが選択されている状態の）エクセルブック、または特定のエクセルブックをエクセル参照 ID に紐付ける。

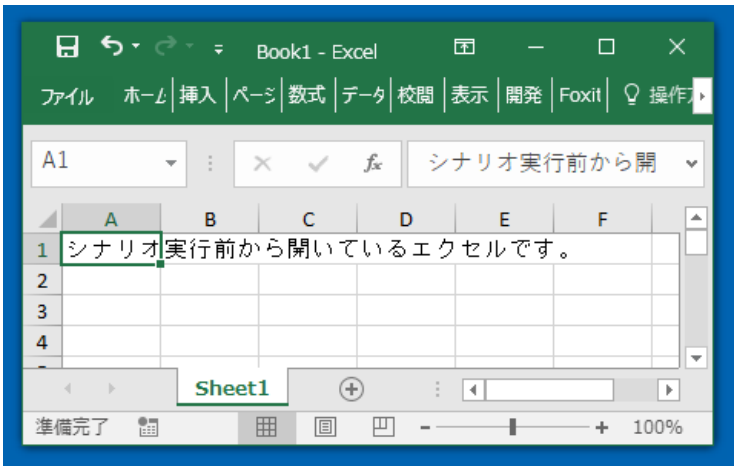
名称	内容
覚える対象	エクセルブックを覚える方法を選択する。選択肢は下記の 2 つ。 （方法 1）アクティブなブックを覚える （方法 2）ブック名を指定して覚える
ブック名	覚える方法対象が「ブック名」のときに表示される。 エクセルブックの名前を入力する。
エクセル参照 ID	エクセル参照 ID を定義する。

シナリオ例（ブック ＞ ブックを覚える（アクティブ））：

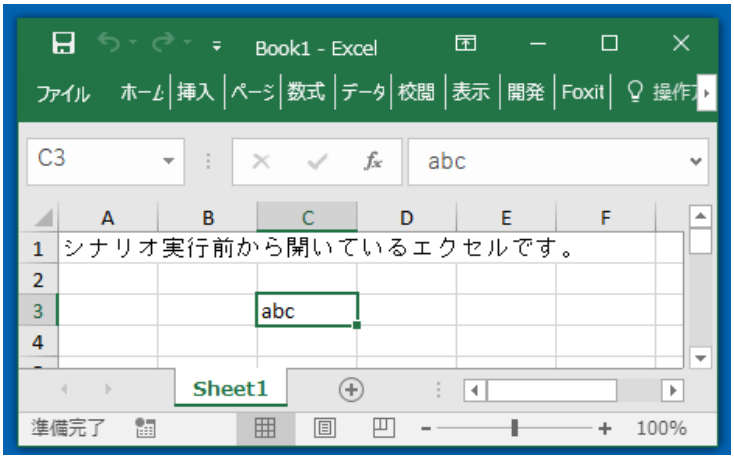
シナリオ実行前から開いているエクセルブックを覚え、C3 セルに値を入力する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



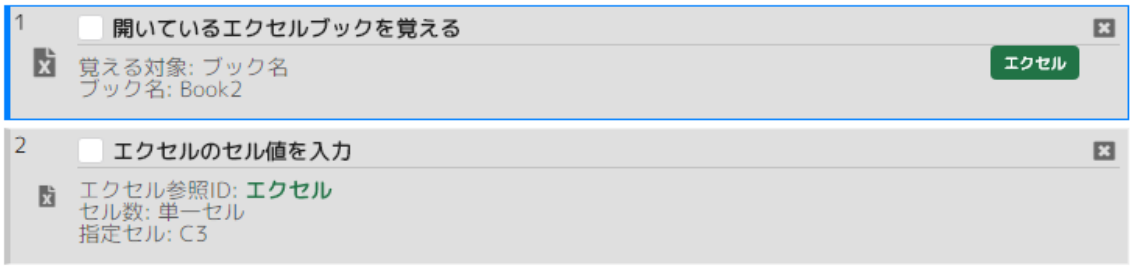


シナリオ例（ブック ＞ ブックを覚える（アクティブ））の実行結果：

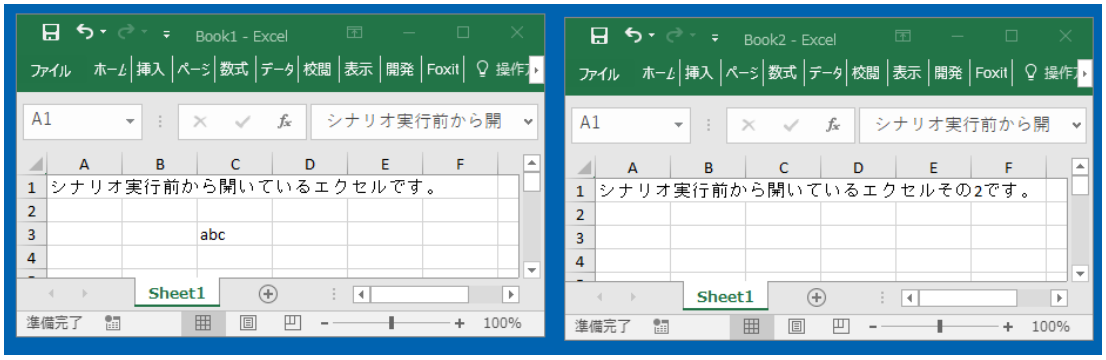


シナリオ例（ブック ＞ ブックを覚える（ブック名））：

　シナリオ実行前から開いているエクセルブック「Book2」を覚えて、C3 セルに値を入力する。

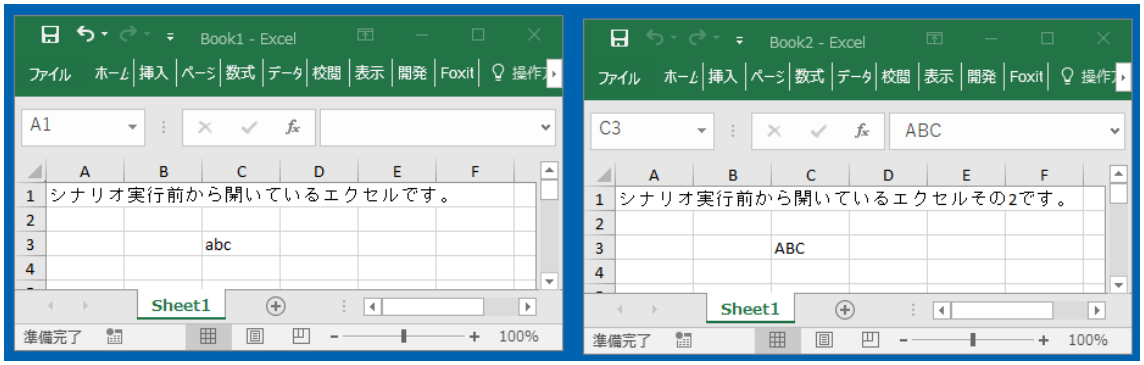


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



シナリオ例（ブック ＞ ブックを覚える（ブック名））の実行結果：

右側の Book2 の C3 セルに文字入力された。



6.10.3. ブック ＞ ブックを保存

エクセルブックを保存する。

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
保存ファイル名	エクセルのファイル名を指定する。指定がない場合はユーザのドキュメントフォルダに Book1.xlsx が上書き保存される。

※保存ファイル名が既存の場合は上書き保存されます。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

※保存ファイル名が
「C:¥Users¥user¥Desktop¥」の場合は「C:¥Users¥user¥Desktop¥Book1.xlsx」、
「C:¥Users¥user¥Desktop」の場合は「C:¥Users¥user¥Desktop.xlsx」
と保存されます。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.4. ブック ＞ ブックを閉じる

エクセルブックを閉じる。

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する

6.10.5. シート操作 ＞ 新規作成

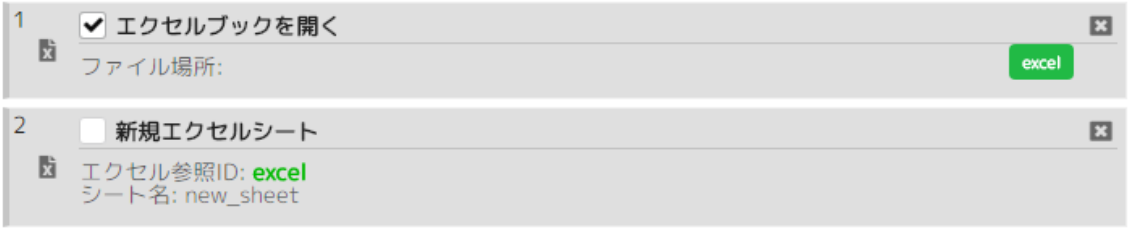
エクセルシートを新規作成する。

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
シート名	シート名を定義する。シート名が定義されていない場合、エクセルのデフォルトシート名が適用される。

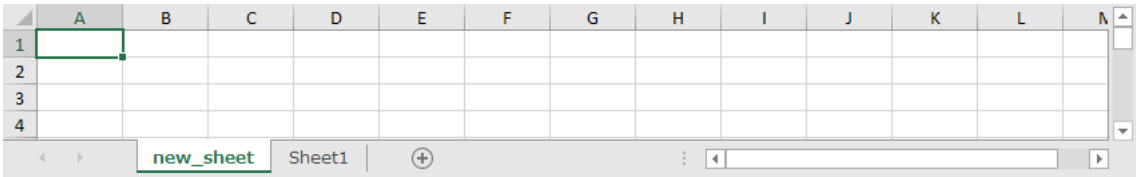
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（シート操作 ＞ 新規作成）：

新規エクセルブックを開いてシート「new_sheet」を新規作成するシナリオ。



シナリオ例（シート操作 ＞ 新規作成）の実行結果：



6.10.6. シート操作 ＞ 削除

エクセルシートを削除する。

※注意点

・シート名が指定されていない場合、現在使用中のシートが削除されます

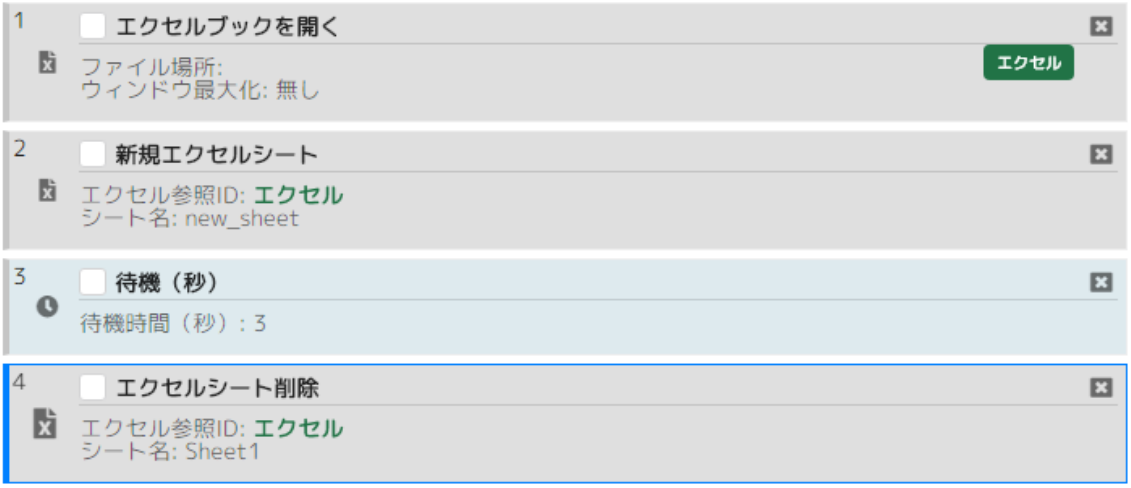
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

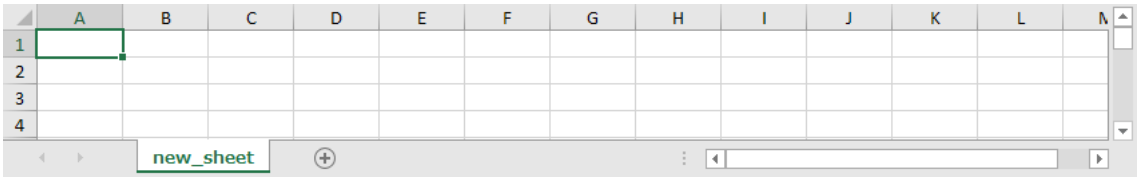
シナリオ例（シート操作 ＞ 削除）：

新規シート「new_sheet」作成後にシート「Sheet1」を削除するシナリオ。

※シート削除を目視確認するために待機コマンドを入れています



シナリオ例（シート操作 ＞ 削除）の実行結果：



6.10.7. シート操作 ＞ 切り替え

エクセルシートを切り替える。

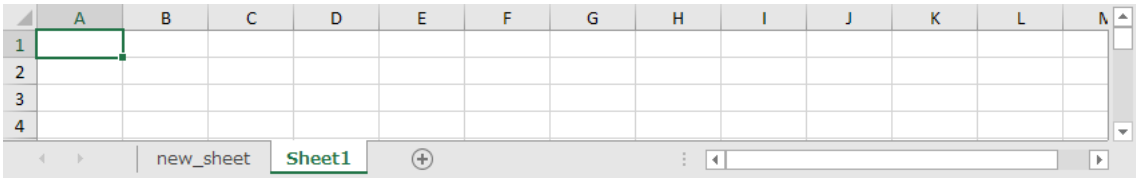
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
切り替え方法	シートを切り替える方法を指定する
シート名	シート名を指定する 切り替え方法で「シート名」を選択したときに表示される
何番目	何番目を指定する 切り替え方法で「何番目のシート」を選択したときに表示される

シナリオ例（シート操作 ＞ 切り替え）：

新規シート「new_sheet」作成後にシート「Sheet1」に切り替えるシナリオ。

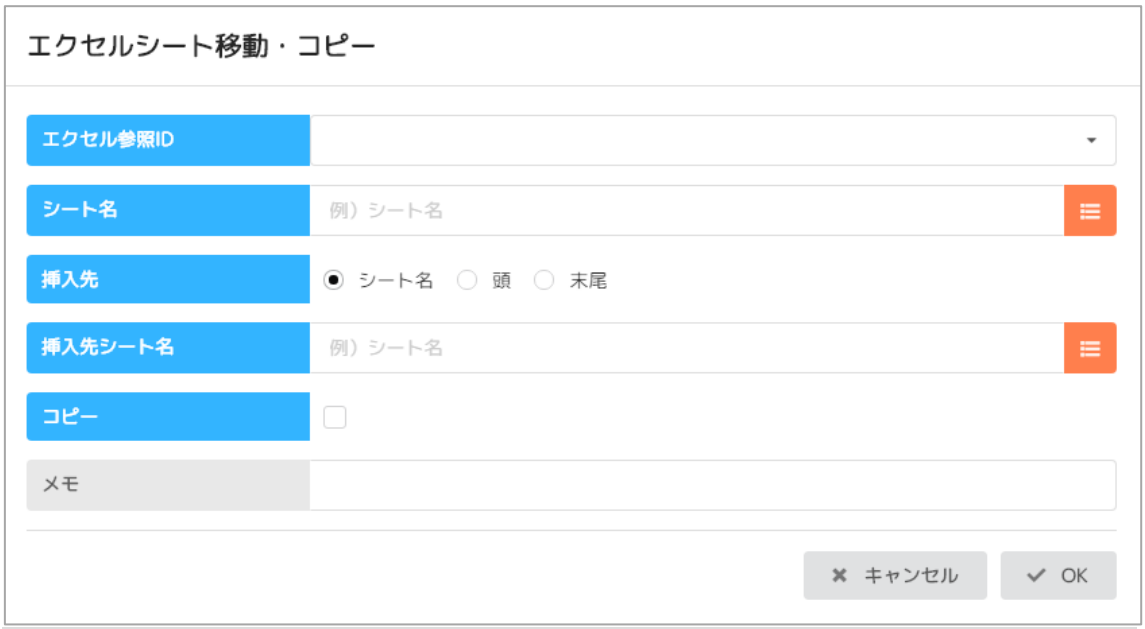
シナリオ例（シート操作 ＞ 切り替え）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.8. シート操作 ＞ 移動・コピー

エクセルシートを移動またはコピーする。



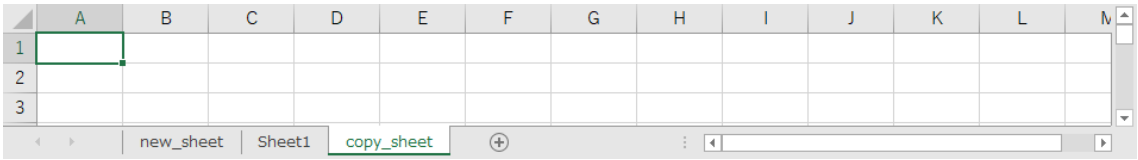
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する
挿入先	シートの移動先を選択する
挿入先シート名	挿入先のシート名を入力する
コピー	チェック有り：シートをコピーする チェック無し：シートを移動する

シナリオ例（シート操作 ＞ 移動・コピー）：

新規シート「new_sheet」作成後、「new_sheet」を末尾にコピーして、シート名「copy_sheet」を作成するシナリオ。

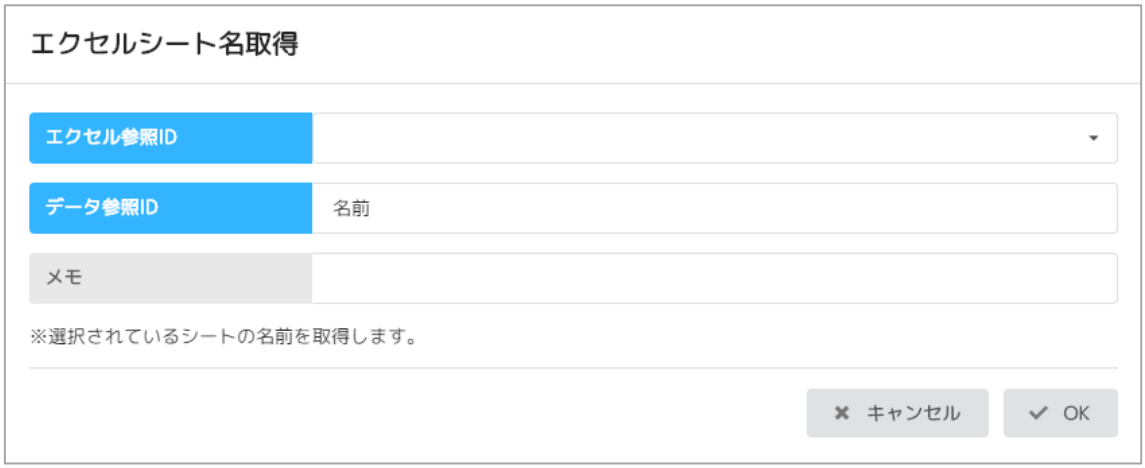
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（シート操作 ＞ 移動・コピー）の実行結果：



6.10.9. シート操作 ＞ 名前取得

エクセルのシート名を取得する。



名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

6.10.10. シート操作 ＞ 名前変更

エクセルシートの名前を変更する。

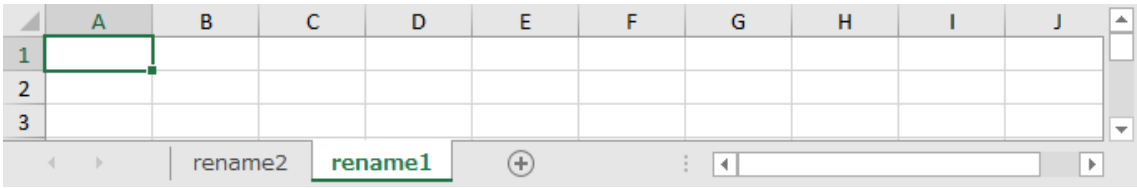
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
変更対象シート名	名前変更したいシート名を入力する
変更名	シートの新しい名前を入力する

シナリオ例（シート操作 ＞ 名前変更）：

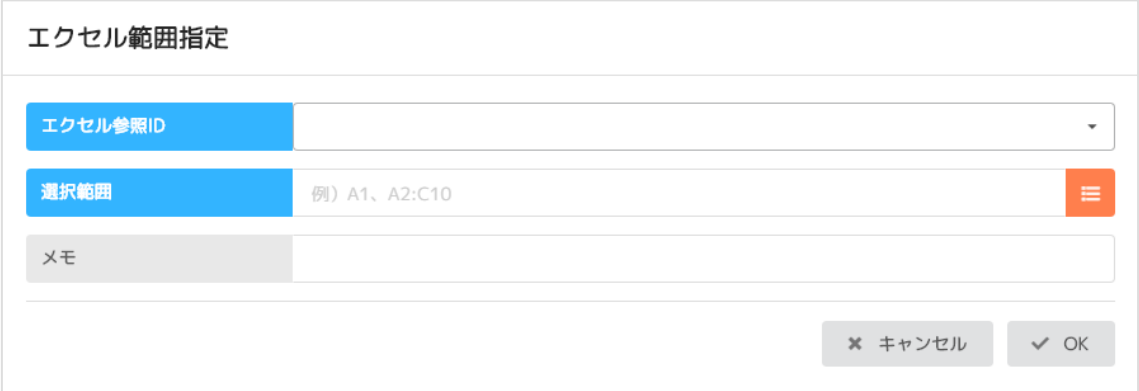
現在のシートと指定シートの名前を変更するシナリオ。

シナリオ例（シート操作 ＞ 名前変更）の実行結果：



6.10.11. セル操作 ＞ 範囲指定

エクセルで範囲を指定する。

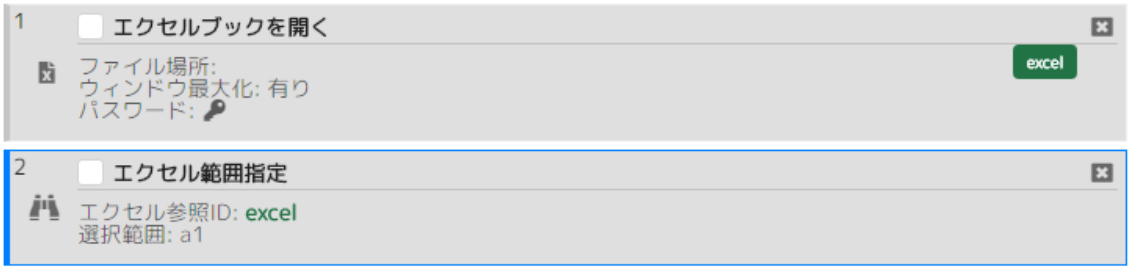


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

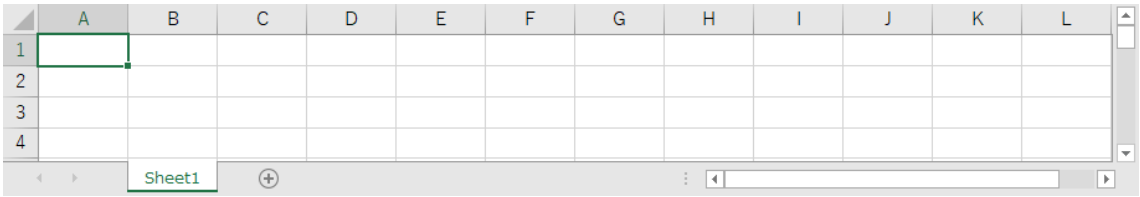
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
選択範囲	1 つ、もしくは 2 つのセル行列番号を指定する

シナリオ例 1（セル操作 ＞ 範囲指定）：

新規エクセルを開いて A1 を選択するシナリオ。

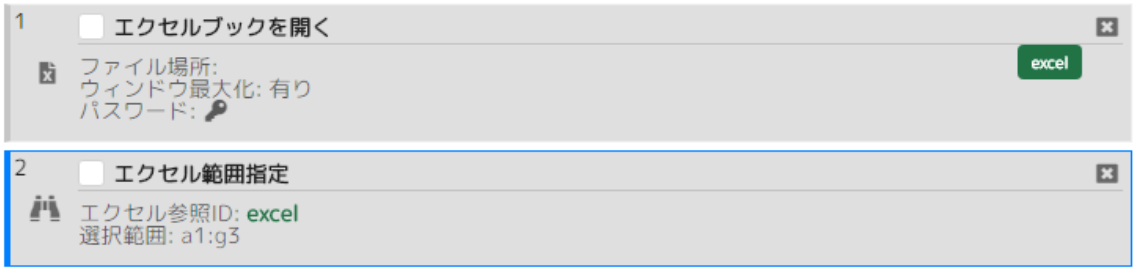


シナリオ例 1（セル操作 ＞ 範囲指定）の実行結果：

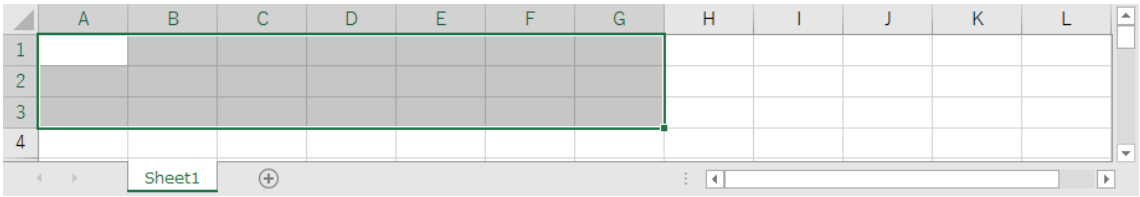


シナリオ例 2（セル操作 ＞ 範囲指定）：

新規エクセルを開いて A1:G3 を選択するシナリオ。



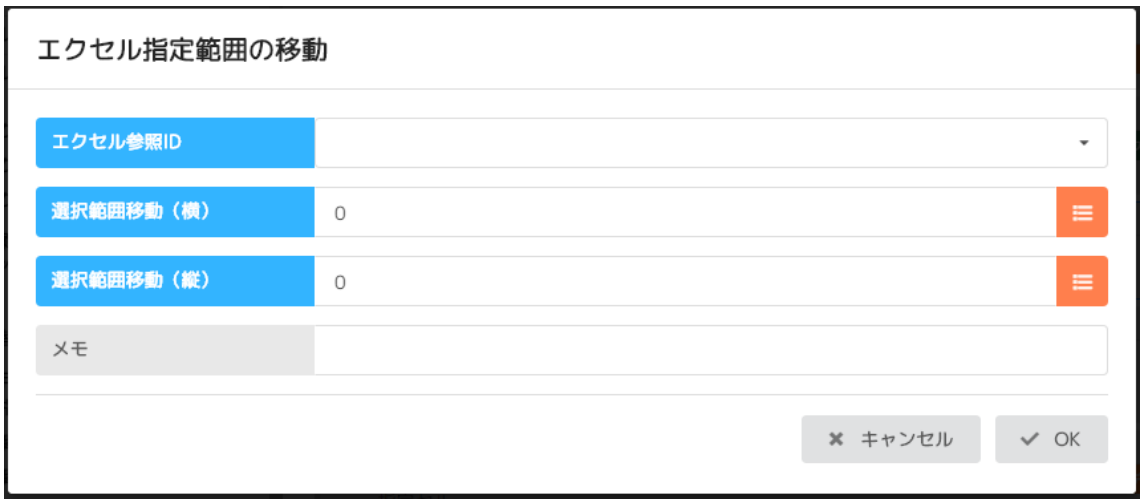
シナリオ例 2（セル操作 ＞ 範囲指定）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.12. セル操作 ＞ 指定範囲の移動

エクセルで指定した範囲を移動する。

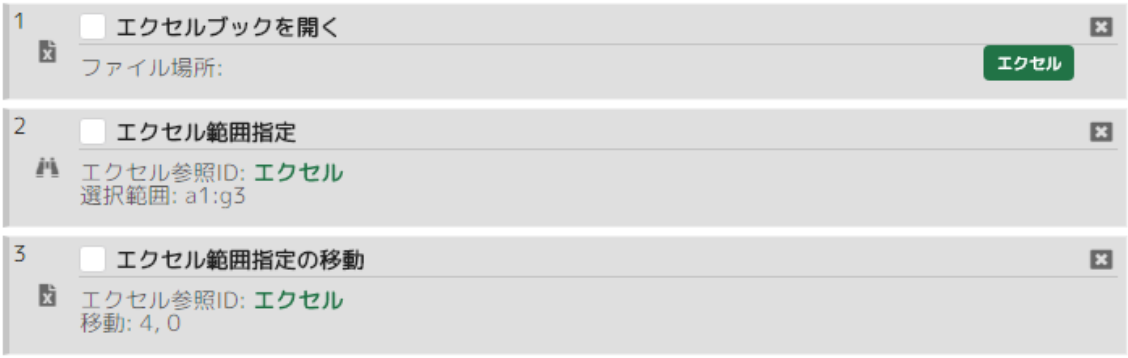


名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
選択範囲移動（横）	横移動する数値を指定する。
選択範囲移動（縦）	縦移動する数値を指定する

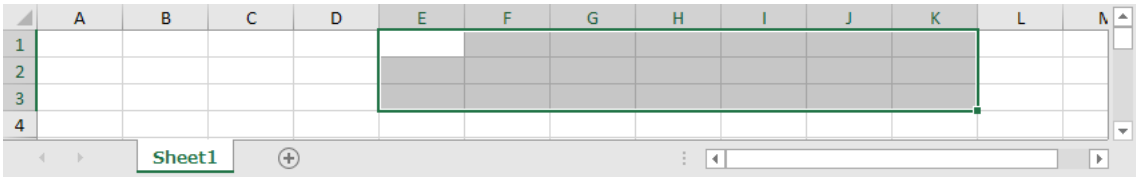
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲の移動）：

新規エクセルブックを開き、選択範囲（A1:G3）を右に 4 つ移動するシナリオ。

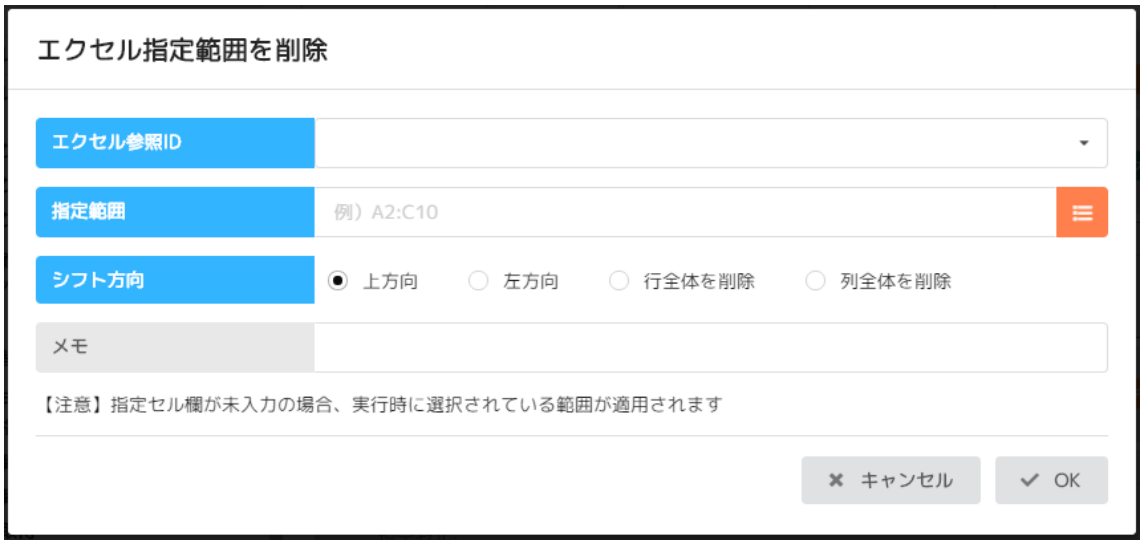


シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲の移動）の実行結果：



6.10.13. セル操作 ＞ 指定範囲の削除

エクセルで指定した範囲を削除する。

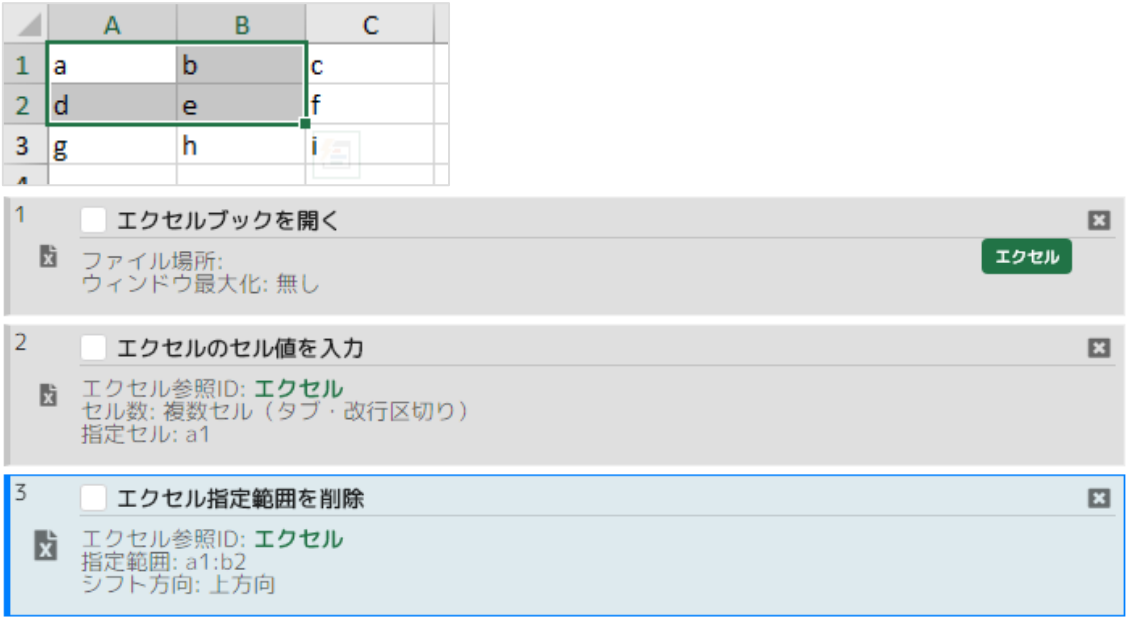


名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
指定範囲	2 つのセル行列番号を指定する
シフト方向	削除後に残ったセルを詰める方向（上・左） または削除範囲（行・列）を指定する

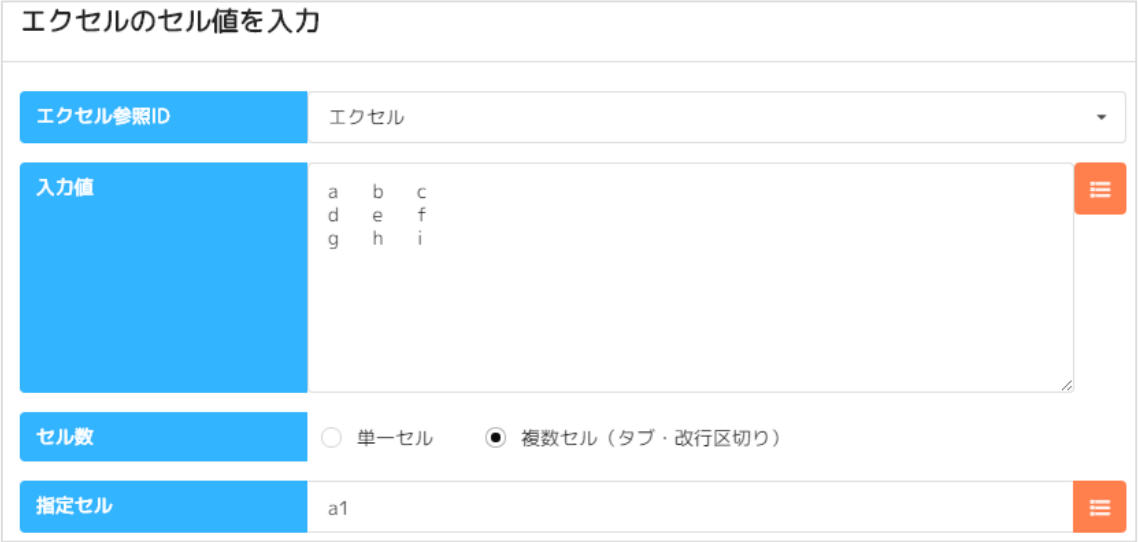
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲の削除）：

新規エクセルブックに文字を入力し、選択範囲（A1:B2）を削除（上方向にシフト）する。

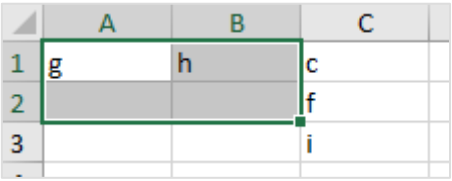


※入力値の空白（ab 間、bc 間など）はタブです



シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲の削除）の実行結果：

A1:B2 が削除され、A1:B2 の下にあった g と h が上方向に移動(シフト)した。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.14. セル操作 ＞ 指定範囲にセルを挿入

指定範囲した箇所にセルを挿入する。

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
挿入指定範囲	2 つのセル行列番号を指定する
シフト方向	挿入時にセルを詰める方向（右・下） または挿入方向（行・列）を指定する

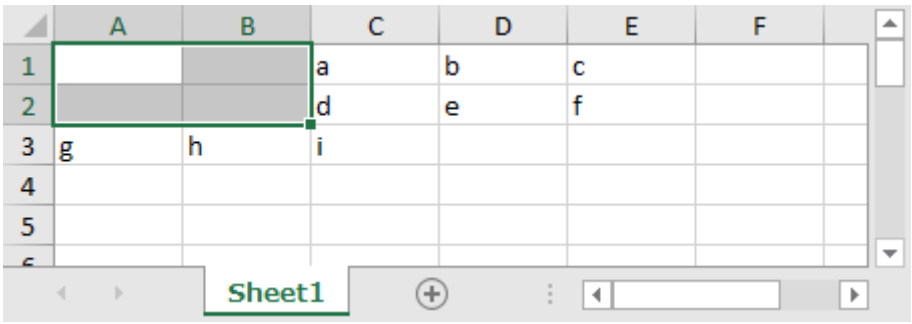
シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲にセルを挿入・右にシフト）：

値を入力したエクセルの A1:B2 にセルを挿入（右シフト）する。

※セル値を入力コマンドは 6.10.12 を参照してください

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

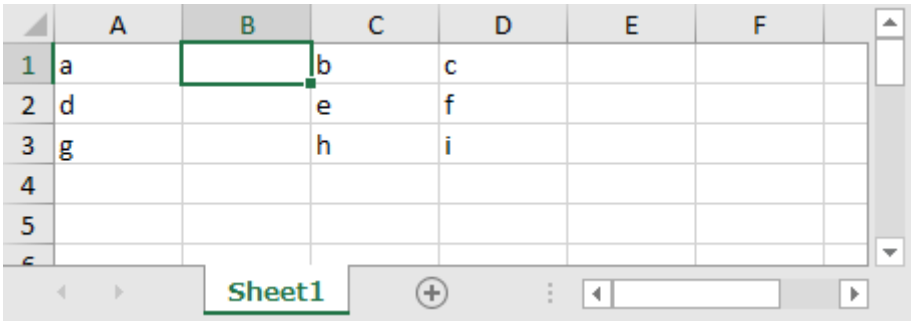
シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲にセルを挿入・右にシフト）の実行結果：



シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲にセルを挿入・列挿入）：

値を入力したエクセルにセル列 B（B1:B1）を挿入する。

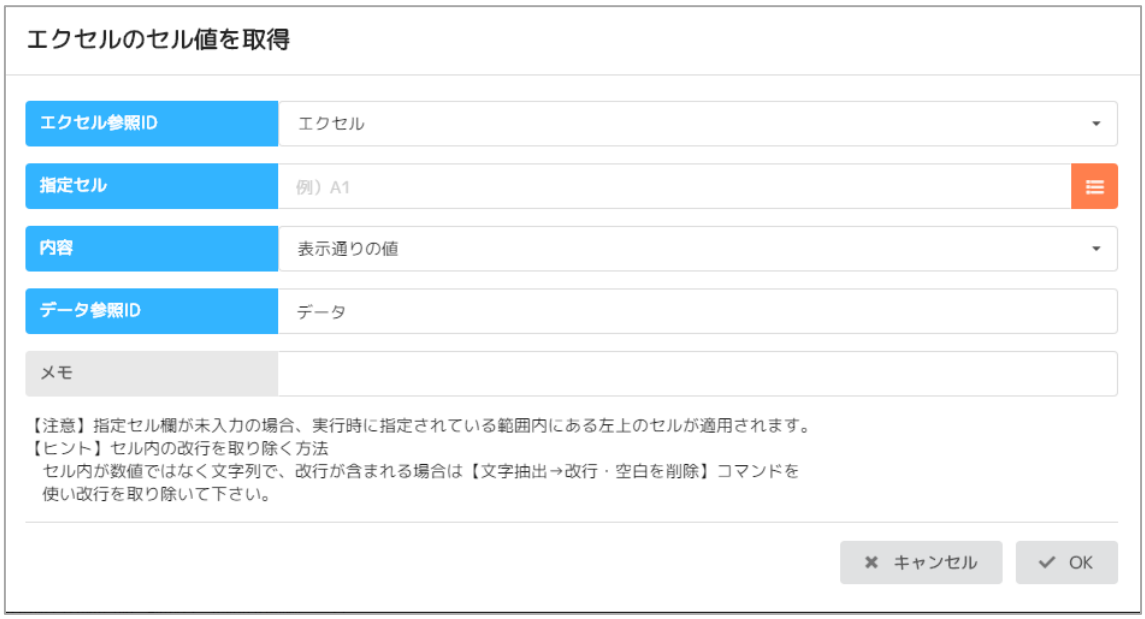
シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲にセルを挿入・列挿入）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.15. セル操作 ＞ 値を取得

セルの値または数式を取得し、データ参照 ID に記憶する。



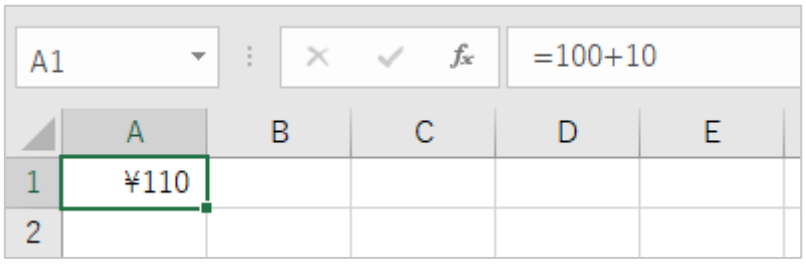
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
指定セル	セルの行列番号を指定する
内容	取得したいセルの内容を選択する（補足事項あり）
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

補足事項

項目「内容」の各選択肢の詳細について下記に示す。

選択肢	内容
表示通りの値	表示通りの値を取得する
値	書式なしの値を取得する
数式	数式を取得する

例えば、下図のようなセルの場合、各選択肢は下表のように値を取得する。

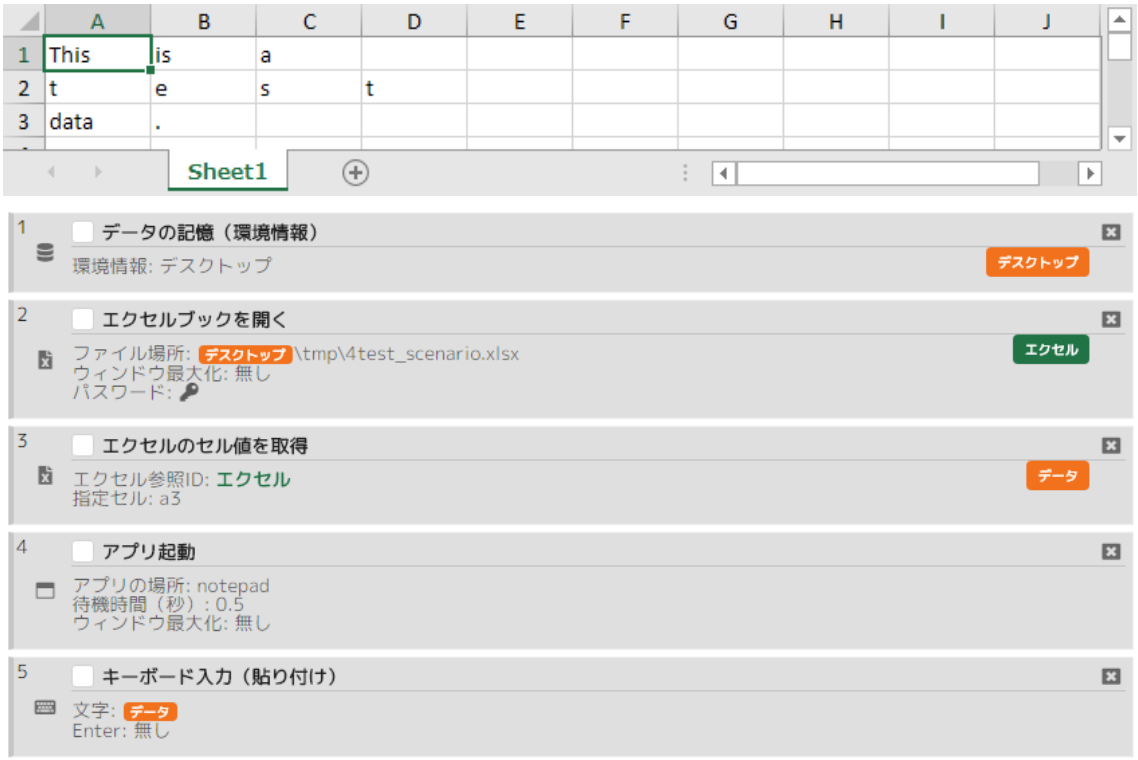


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

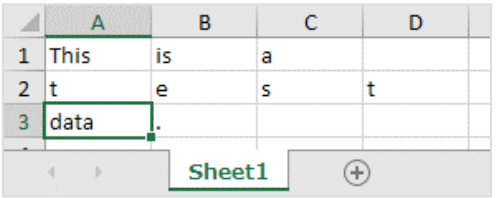
選択肢	取得値
表示通りの値	¥110
値	110
数式	=100+10

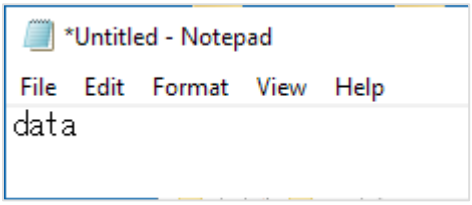
シナリオ例（セル操作 > 値を取得）：

4test_scenario.xlsx から A3 セルの値を取得し、メモ帳に入力するシナリオ。



シナリオ例（セル操作 > 値を取得）の実行結果：



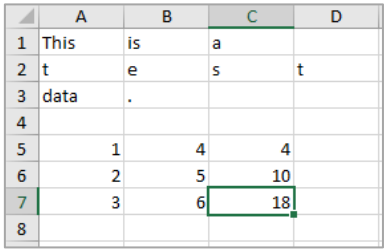


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

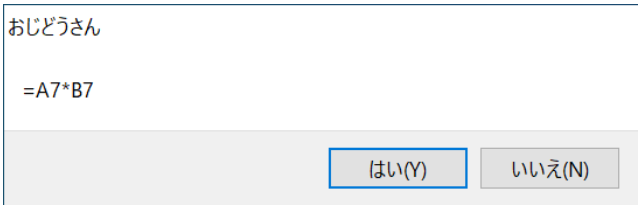
シナリオ例 2（セル操作 ＞ 値を取得）：

4test_scenario.xlsx から C7 セルの数式を取得して表示するシナリオ。

シナリオ例 2（セル操作 ＞ 値を取得）の実行結果：



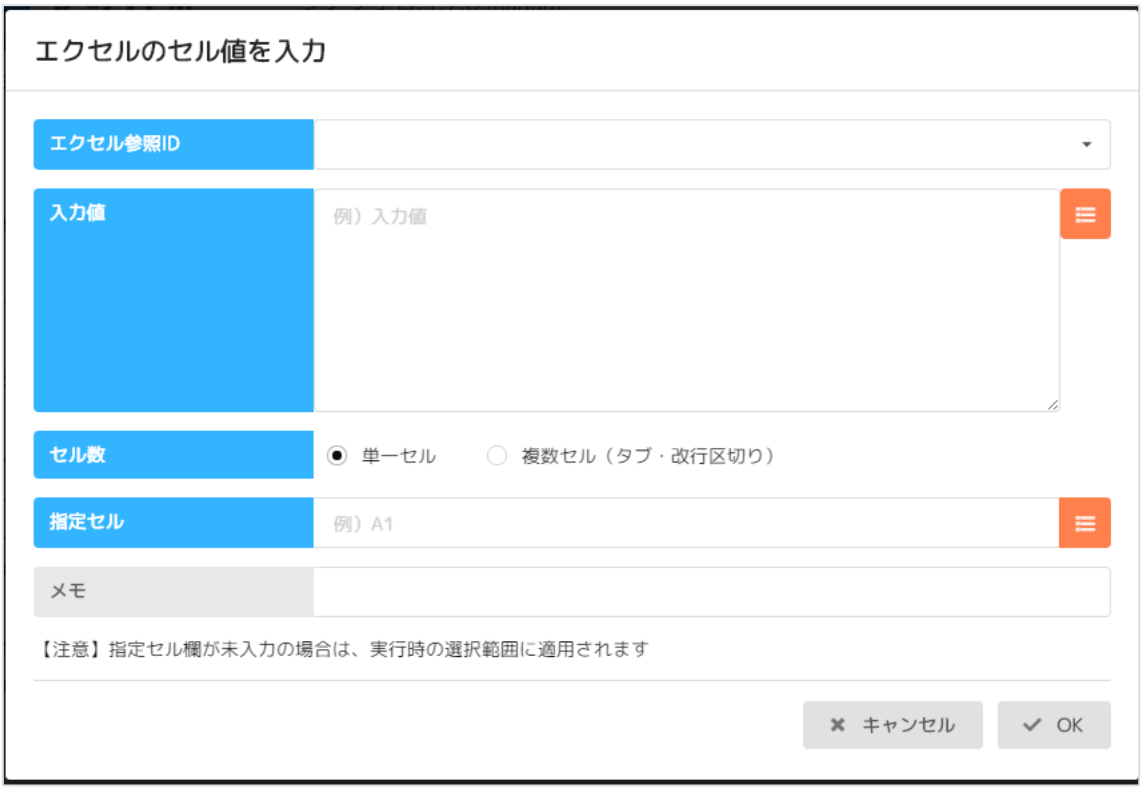
	A	B	C	D
1	This	is	a	
2	t	e	s	t
3	data	.		
4				
5	1	4	4	
6	2	5	10	
7	3	6	18	
8				



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.16. セル操作 ＞ 値を入力

任意のセルに値を入力する。



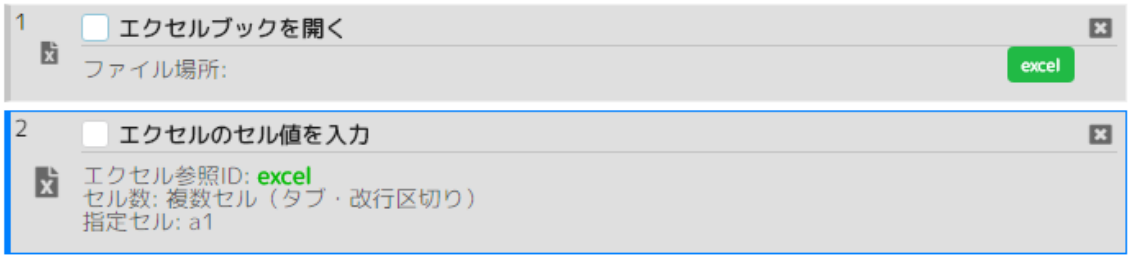
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
入力値	入力する値
セル数	入力するセルの数を指定する
指定セル	セルの行列番号を指定する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

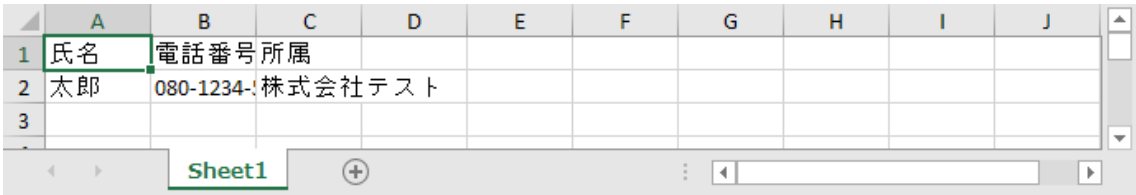
シナリオ例（セル操作 ＞ 値を入力）：

タブで区切った以下の内容を複数セルに入力するシナリオ。

氏名	電話番号	所属
太郎	080-1234-5678	株式会社テスト



シナリオ例（セル操作 ＞ 値を入力）の実行結果：



6.10.17. セル操作 ＞ セルをコピー

セルをクリップボードにコピーする。

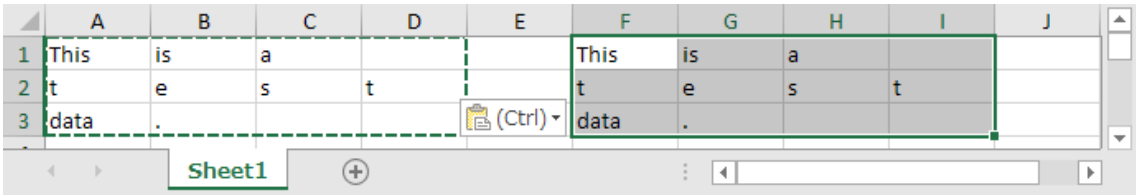
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
コピー範囲	コピーする範囲を指定する。指定されていない場合、 実行時の選択されているセルに適用される。

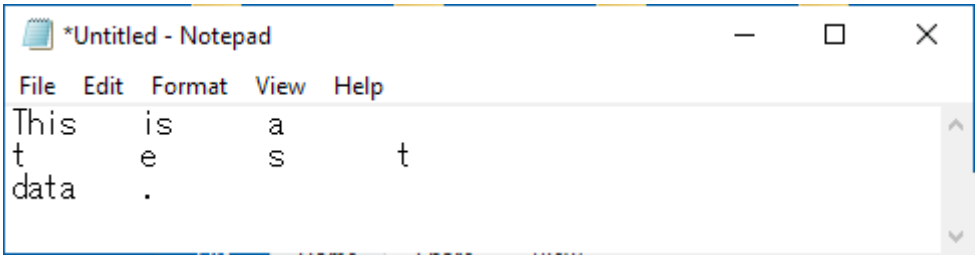
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（セル操作 > セルをコピー）：

4test_scenario.xlsx から A1:D3 をコピーし、F1 セルとメモ帳に貼り付けるシナリオ。

シナリオ例（セル操作 > セルをコピー）の実行結果：

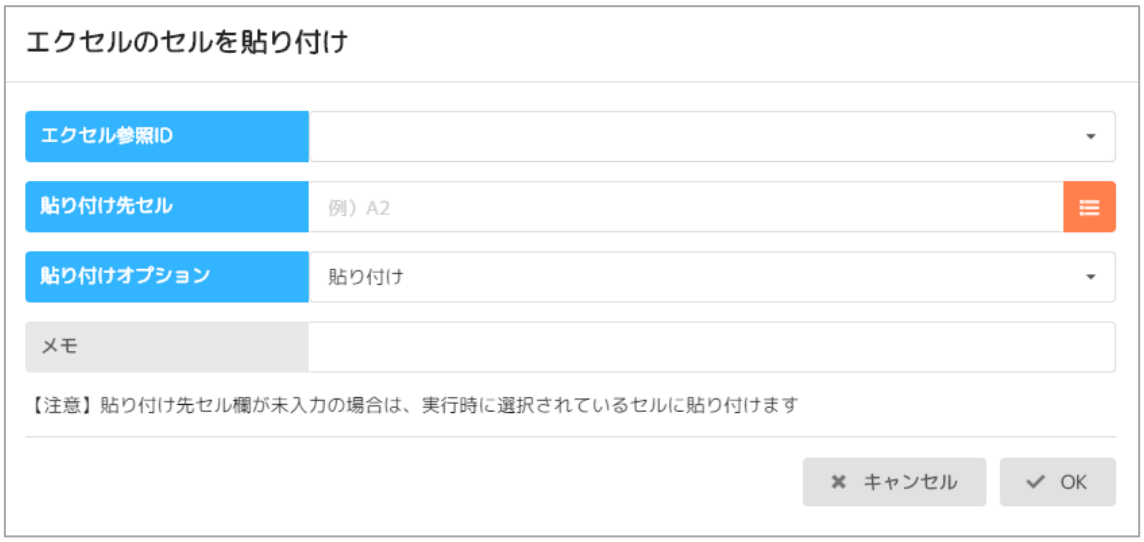




Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.18. セル操作 ＞ セルを貼り付け

任意の場所にセルを貼り付ける。

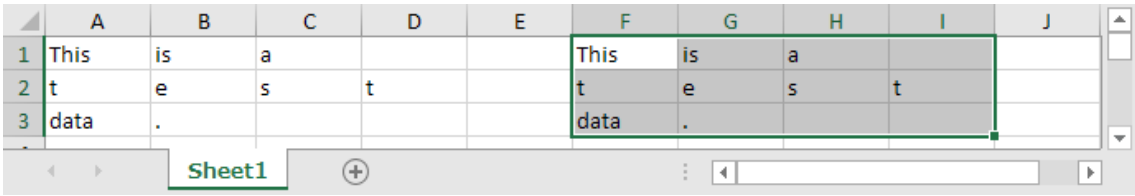


名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
貼り付け先セル	貼り付ける先のセルの行列番号を指定する 指定なしの場合は、実行時に選択されているセルに貼り付ける
貼り付けオプション	貼り付けの方法を選択する

シナリオ例（セル操作 ＞ セルを貼り付け）：

4test_scenario.xlsx から A1:D3 をコピーし、F1 セルに貼り付けるシナリオ。

シナリオ例（セル操作 ＞ セルを貼り付け）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.19. セル操作 ＞ 位置を取得

現在のセルの位置をデータ参照 ID と紐づけて記憶するコマンド。

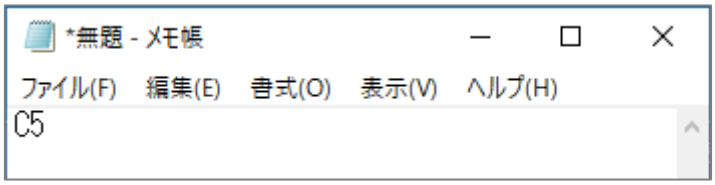
名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
位置記憶方法	セルの位置を記憶する方法を選択する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する。 位置記憶方法「通常」のときに表示される。
データ参照 ID（列）	セルの列情報を記憶するデータ参照 ID を定義する。 位置記憶方法「行列分割」のときに表示される。
データ参照 ID（行）	セルの行情報を記憶するデータ参照 ID を定義する。 位置記憶方法「行列分割」のときに表示される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（セル操作 ＞ セルを貼り付け）：

現在のセルの位置を取得し、メモ帳に貼り付けるシナリオ。

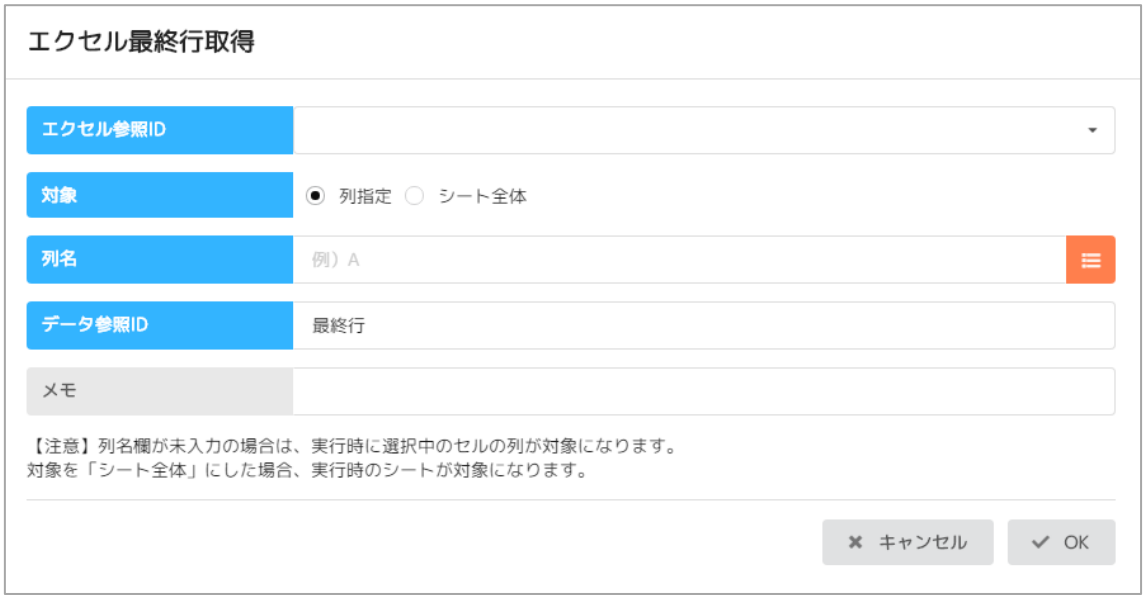
シナリオ例（セル操作 ＞ セルを貼り付け）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.20. セル操作 ＞ 最終行取得

指定列またはシート全体の最終行を取得するコマンド。
※指定列またはシート全体に値がない場合も、データ参照 ID には 1 が記憶される。

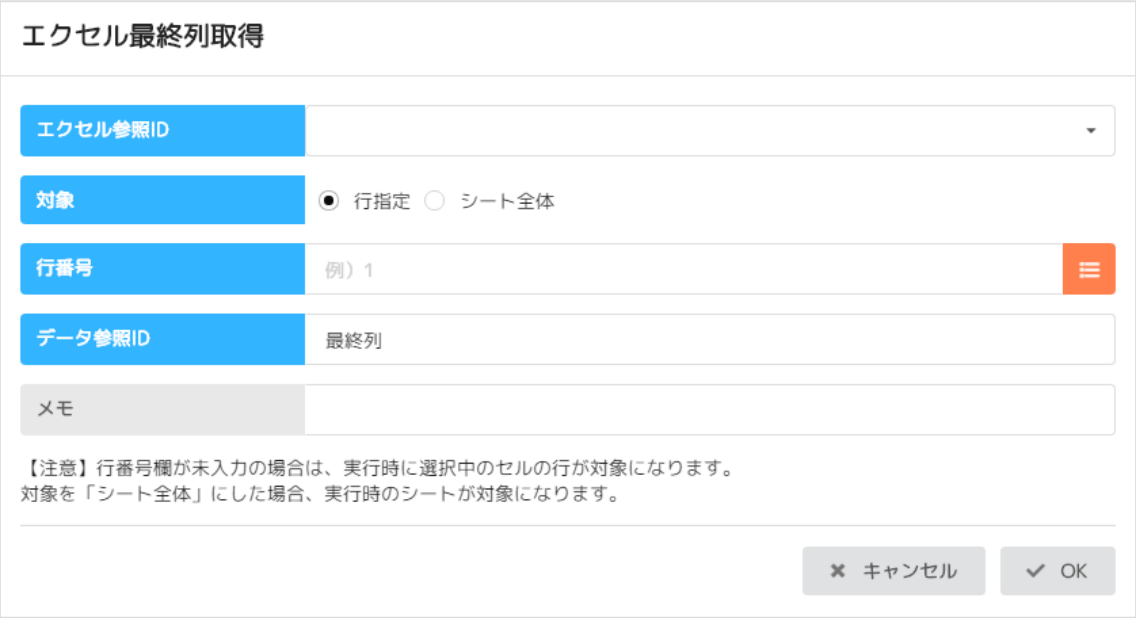


名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
対象	最終行を取得する列もしくはシート全体を指定する
列名	最終行を取得する列名を指定する。
データ参照 ID	最終行を記憶するデータ参照 ID を定義する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.21. セル操作 ＞ 最終列取得

指定行またはシート全体の最終列を取得するコマンド。
※指定行またはシート全体に値がない場合も、データ参照 ID には「A」が記憶される。



名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
対象	最終列を取得する行もしくはシート全体を指定する
行番号	最終列を取得する行番号を指定する
データ参照 ID	最終列を記憶するデータ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

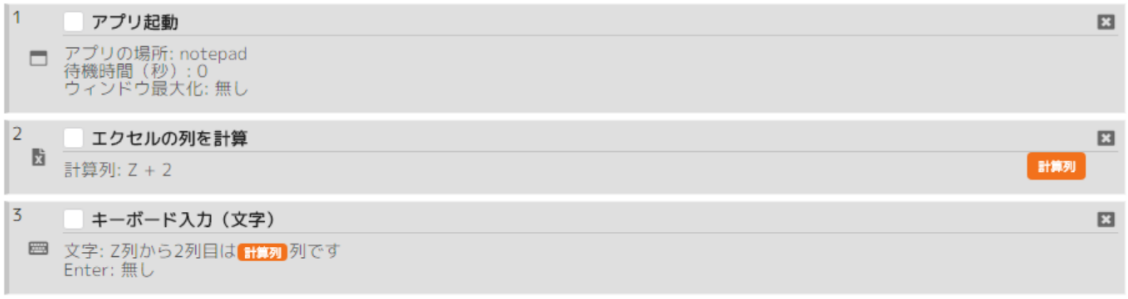
6.10.22. セル操作 ＞ 列計算

エクセルの列の計算を行うコマンド。

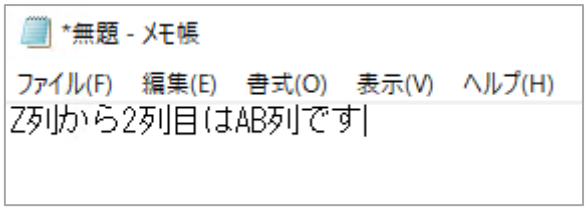
名称	内容
基準列	基準となる列を指定する
演算子	加算または減算記号を選択する
列数	基準列からの差分となる列数を指定する
データ参照 ID	計算した列名を記憶するデータ参照 ID を定義する

シナリオ例（エクセル列計算）：

Z 列に 2 列足した列を計算してメモ帳に出力するシナリオ



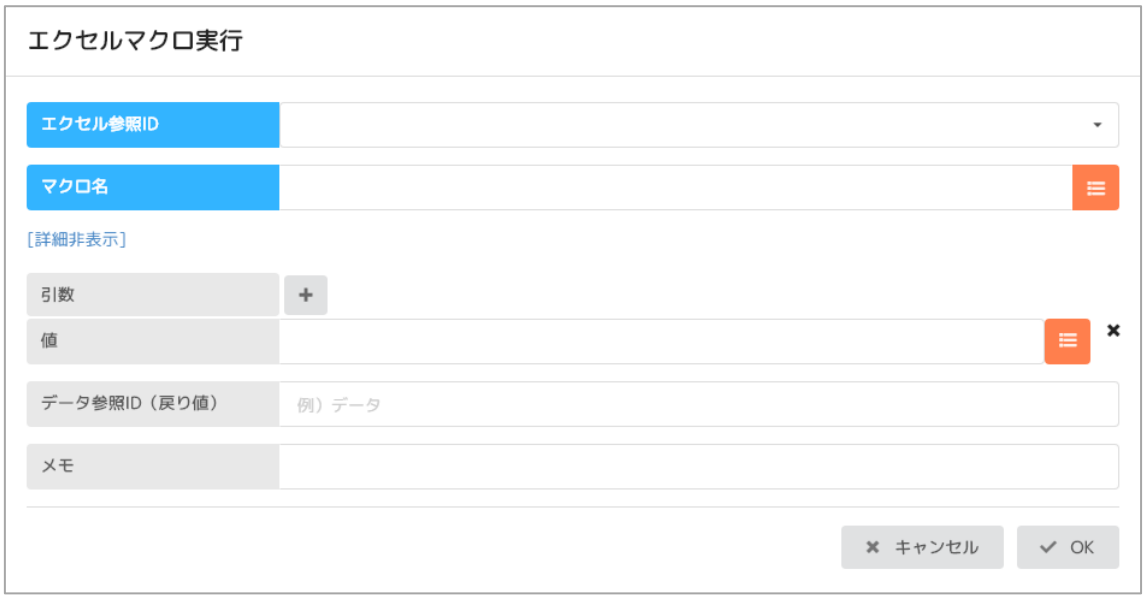
シナリオ例（エクセル列計算）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.23. セル操作 ＞ マクロ実行

指定のマクロを実行するコマンド。



名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
マクロ名	マクロを指定する
引数	マクロ実行時の引数を指定する
値	引数の値を指定する
データ参照 ID（戻り値）	マクロの実行結果を格納するデータ参照 ID を指定する

注意事項

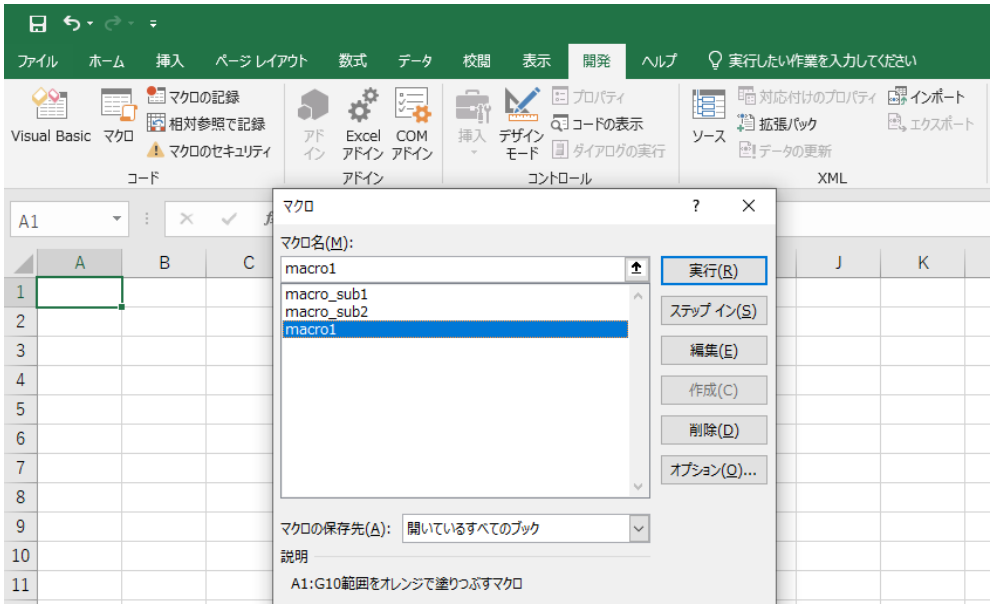
- 引数は上から順に第 1 引数、第 2 引数、第 3 引数、、、となる
- 引数を空欄で指定すると、マクロには空文字として渡される
- マクロへ渡す引数はすべて文字列（String 型）として渡される
- マクロの戻り値はすべて文字列（String 型）へ変換される

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

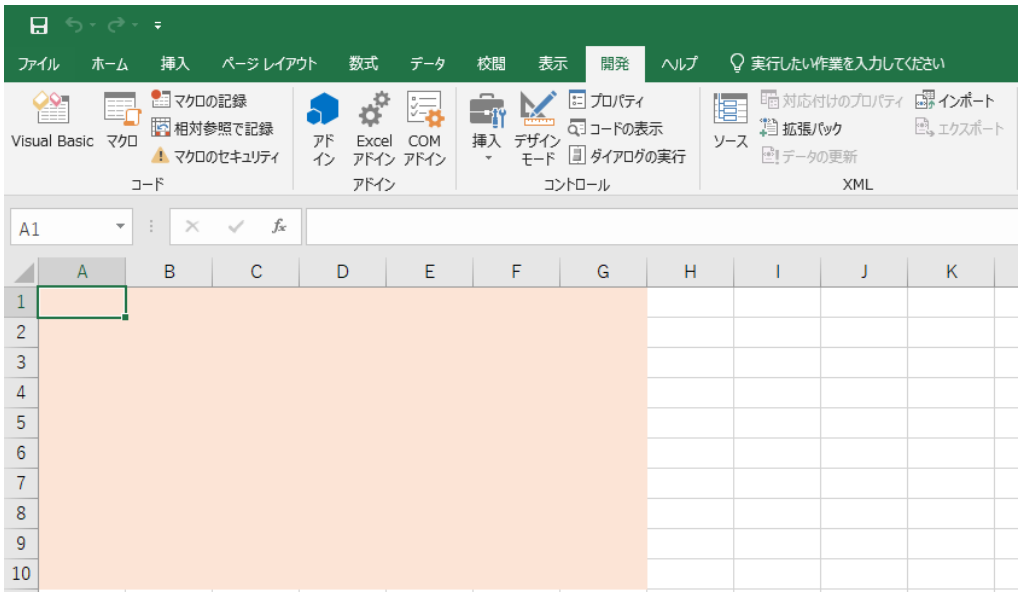
シナリオ例（セル操作 ＞ マクロ実行）：

　下記のエクセルのマクロ「macro1」を実行するシナリオ。

macro1 は A1:G10 範囲をオレンジで塗りつぶすマクロとする。



シナリオ例（セル操作 ＞ マクロ実行）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.10.24. セル操作 ＞ 行ループ

指定の開始セル位置から指定の終了条件になるまで下方向へループするコマンド。ループするたびにセルが下方向へ移動し、セルの行番号と値を各データ参照 ID に記憶する。

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
開始セル	ループの開始セルを指定する
終了条件	ループの終了条件を選択する
行番号	ループを終了する行番号を指定する 終了条件「指定行まで」のときに表示される
指定セル値	ループを終了するセル値を指定する 終了条件「指定セル値」のときに表示される

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
回数	ループ回数を指定する 終了条件「指定回数」のときに表示される
データ参照 ID（行番号）	セルの行番号を記憶するデータ参照 ID を定義する。 ループするたび、選択されているセルの行番号で更新される。
データ参照 ID（セル値）	セル値を記憶するデータ参照 ID を定義する。 ループするたびに、選択されているセル値で更新される。
セル値取得オプション	セル値を取得するオプションを選択する。各選択肢の挙動の違いについてはこちらの補足事項を参照ください。

6.10.25. セル操作 ＞ 列ループ

指定の開始セル位置から指定の終了条件になるまで右方向にループするコマンド。ループするたびにセルが右方向へ移動し、セルの列名と値を各データ参照 ID に記憶する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
開始セル	ループの開始セルを指定する
終了条件	ループの終了条件を選択する
列名	ループを終了する列名を指定する
指定セル値	ループを終了するセル値を指定する
回数	ループ回数を指定する
データ参照 ID（列名）	セルの列名を記憶するデータ参照 ID を定義する。 ループの度に選択されているセルの列名で更新される。
データ参照 ID（セル値）	セル値を記憶するデータ参照 ID を定義する。 ループの度に選択されているセル値で更新される。
セル値取得オプション	セル値を取得するオプションを選択する。各選択肢の挙動の違いについてはこちらの補足事項を参照ください。

6.10.26. CSV 読込ループ

CSV ファイルを読み込み、最後の行まで 1 行ずつ繰り返すコマンド。
指定した列番号の値をデータ参照 ID に記憶する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

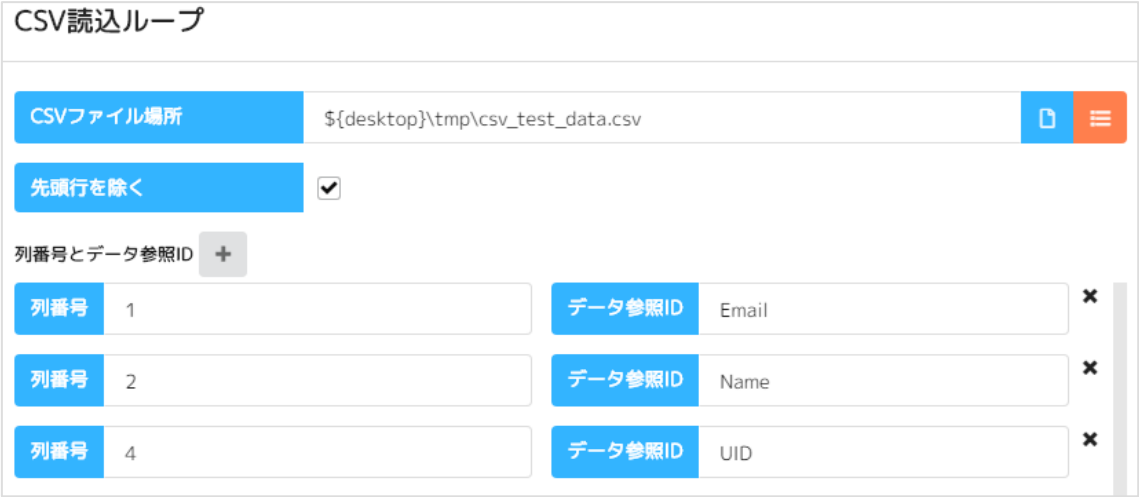
名称	内容
CSV ファイル場所	CSV ファイルパスを指定する
先頭行を除く	チェックなし：1 行目を読み込む チェックあり：1 行目の読み込みをスキップする
列番号とデータ参照 ID	列番号：CSV から読み込みたい列番号を指定する データ参照 ID：データ参照 ID を定義する

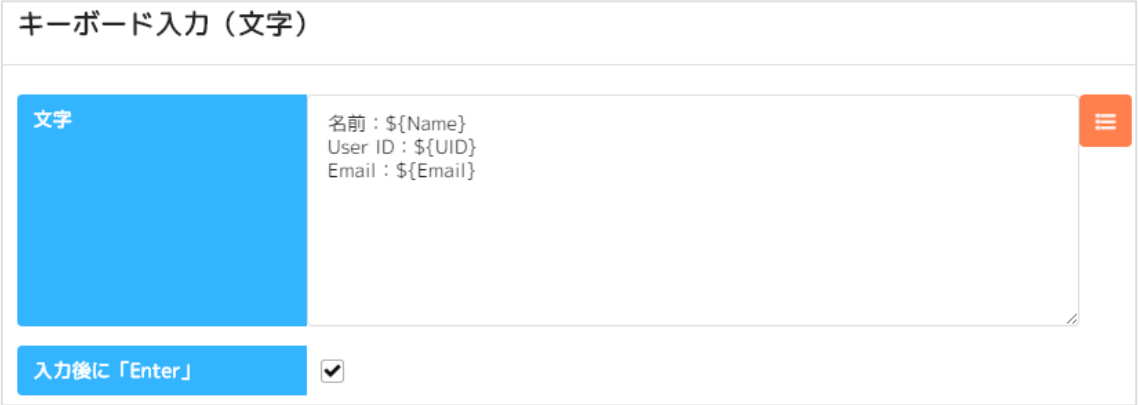
シナリオ例（CSV 読込ループ）：

CSV ファイルから Email, Name, User Id を読み込み、メモ帳に入力する。

A	B	C	D
Email	Name	Country	User Id
Charlotte@carey.tv	Otho	Turkmenistan	1
Mack@coty.org	Lewis	Guinea	2
Roger@zakary.org	Orland	Kyrgyzstan	3
Mckenzie@kenyatta.tv	Murphy	Cyprus	4
Vivienne_Kunde@casimer.me	Delilah	Eritrea	5

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.





シナリオ例（CSV 読込ループ）の実行結果：

※User Id は 001, 002, … の表示が正しいです

エクセルで開くと先頭の 0 が自動的に非表示にされます

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11. スプレッドシート

※注意点

- スプレッドシートコマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要です。
- スプレッドシートコマンドの動作は画面には表示されません。
  動作を目視確認する際にはブラウザ（Google Chrome や Micrsoft Edge など）でスプレッドシートを開く必要があります。
- スプレッドシートへの変更は自動的に Google ドライブへ保存されます。
- Google スプレッドシート、Google ドライブの仕様変更によりコマンドの挙動が変わる可能性がございます。
- Google スプレッドシートの仕様により、スプレッドシートコマンドには短期間に実行できる回数に制限があります。回数制限によりエラーとなる場合には、スプレッドシートコマンドの後に「待機」コマンドで 1 分待機すると改善する場合があります。

6.11.1. スプレッドシート ＞ 作成

スプレッドシートを作成する。作成されたスプレッドシートは自動的に Google ドライブに保存される。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

名称	内容
Google アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Google アカウントを入力する
スプレッドシート名	作成するスプレッドシート名を入力する
スプレッドシート参照 ID	スプレッドシート参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.2. スプレッドシート ＞ 読み込む

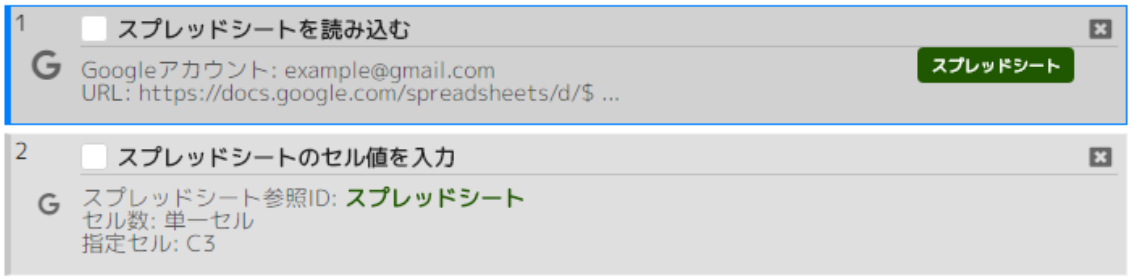
Google ドライブにあるスプレッドシートを読み込むコマンド。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

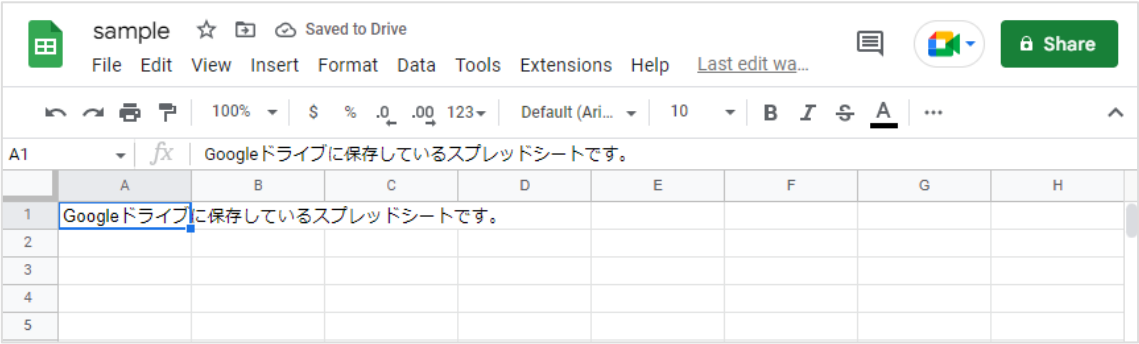
名称	内容
Google アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Google アカウントを入力する
指定方法	スプレッドシートを指定する方法を選択する
URL	指定方法「URL」のときに表示される スプレッドシートの URL を入力する
スプレッドシート名	指定方法「スプレッドシート名」のときに表示される スプレッドシートの名前を入力する
ID	指定方法「ID」のときに表示される スプレッドシートの ID を入力する
スプレッドシート参照 ID	エクセル参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

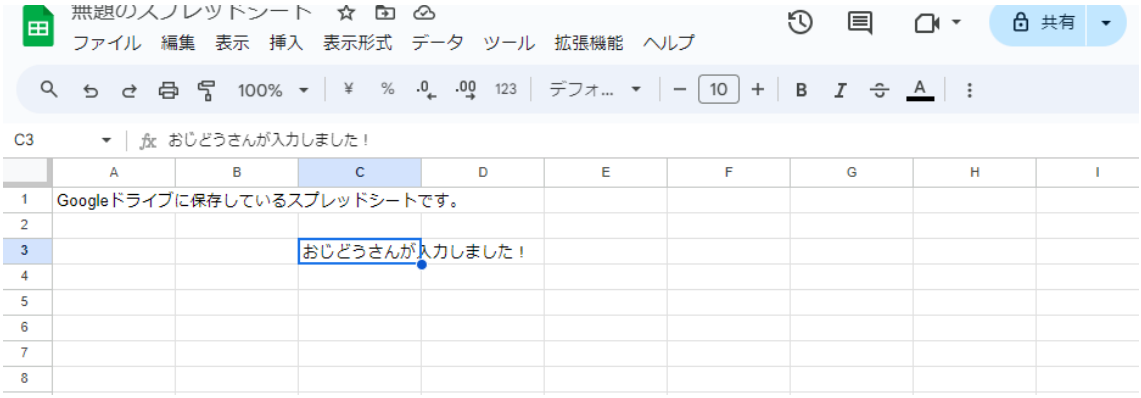
シナリオ例（スプレッドシート ＞ 読み込む）：

Google ドライブに保存しているスプレッドシートを読み込み、C3 セルに値を入力する。





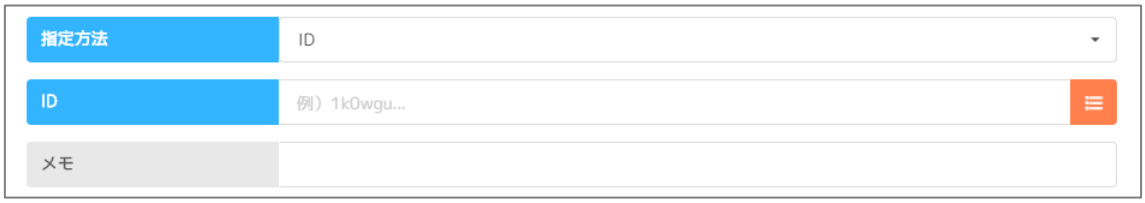
シナリオ例（スプレッドシート ＞ 読み込む）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.3. スプレッドシート ＞ 削除

スプレッドシートを完全に削除する。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。



名称	内容
Google アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Google アカウントを入力する
指定方法	スプレッドシートを指定する方法を選択する
URL	指定方法「URL」のときに表示される スプレッドシートの URL を入力する
スプレッドシート名	指定方法「スプレッドシート名」のときに表示される スプレッドシートの名前を入力する
ID	指定方法「ID」のときに表示される スプレッドシートの ID を入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.4. スプレッドシート ＞ 名前変更

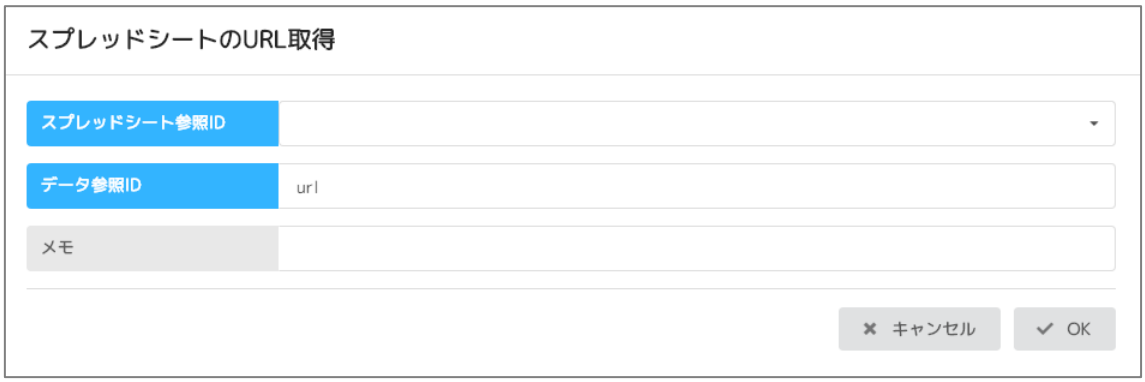
スプレッドシートの名前を変更する。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

名称	内容
Google アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Google アカウントを入力する
指定方法	スプレッドシートを指定する方法を選択する
URL	指定方法「URL」のときに表示される スプレッドシートの URL を入力する
スプレッドシート名	指定方法「スプレッドシート名」のときに表示される スプレッドシートの名前を入力する
ID	指定方法「ID」のときに表示される スプレッドシートの ID を入力する
変更名	変更後のスプレッドシートの名前を入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.5. スプレッドシート ＞ URL 取得

スプレッドシートの URL を取得する。



名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

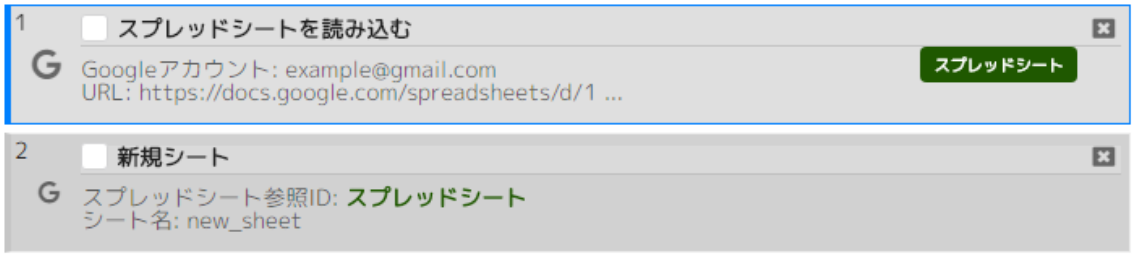
6.11.6. シート ＞ 新規作成

スプレッドシートのシートを新規作成する。

名称	内容
エクセル参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	作成するシート名を入力する

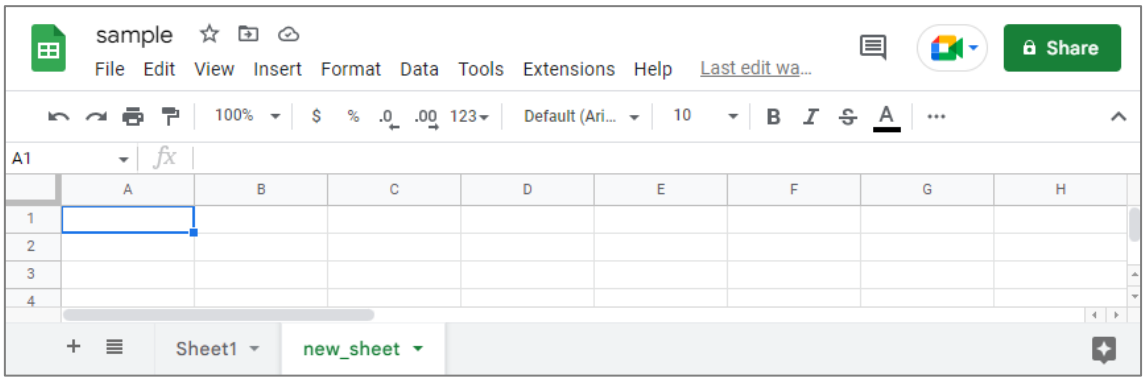
シナリオ例（シート ＞ 新規作成）：

スプレッドシートを読み込んでシート「new_sheet」を新規作成するシナリオ。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（シート ＞ 新規作成）の実行結果：



6.11.7. シート ＞ 削除

スプレッドシートのシートを削除する。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	削除するシート名を入力する

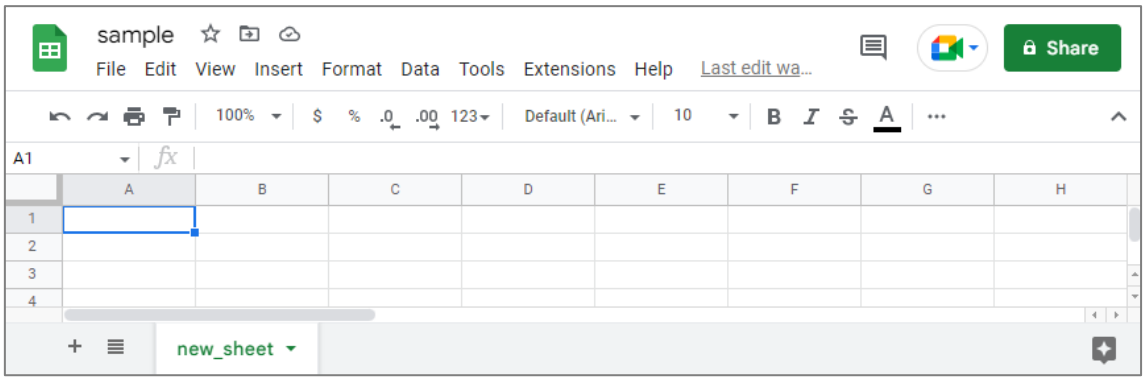
シナリオ例（シート ＞ 削除）：

新規シート「new_sheet」作成後にシート「Sheet1」を削除するシナリオ。

※シート削除を目視確認するために待機コマンドを入れています

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（シート ＞ 削除）の実行結果：



6.11.8. シート ＞ 移動

スプレッドシートのシートを移動する。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
対象シート名	移動するシート名を指定する
挿入先	シートの移動先を選択する
指定シート名	挿入先「指定シートの前」のときに表示される 挿入先のシート名を入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.9. シート ＞ コピー

スプレッドシートのシートをコピーする。

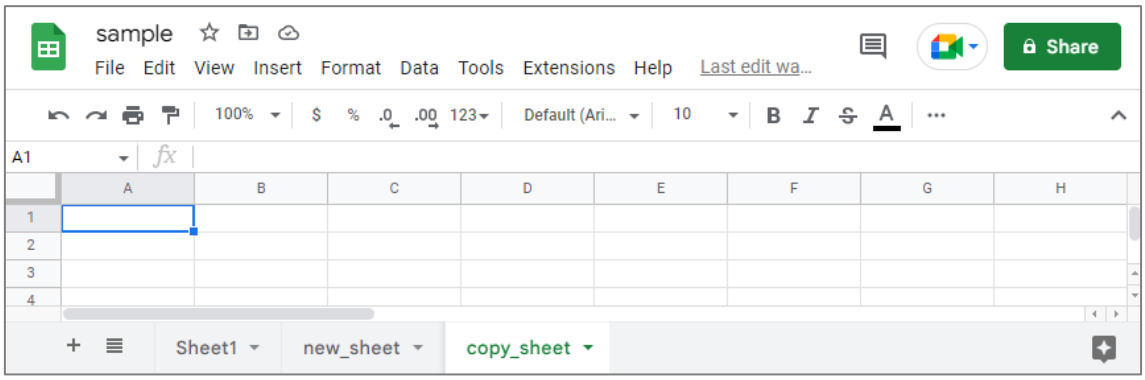
名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
対象シート名	コピーするシート名を指定する
挿入先スプレッドシート	挿入先のスプレッドシート参照 ID を選択する
コピー後のシート名	コピー後のシート名を入力する

シナリオ例（シート ＞ コピー）：

新規シート「new_sheet」作成後、「new_sheet」を「copy_sheet」としてコピーして、「copy_sheet」を末尾に移動するシナリオ。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（シート操作 ＞ 移動・コピー）の実行結果：



6.11.10. シート ＞ 名前取得

スプレッドシートのシート名を取得する。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シートの位置	取得するシートの位置を選択する
何番目	シートの位置「何番目」のときに表示される 取得するシートの位置を入力する
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.11. シート ＞ 名前変更

スプレッドシートのシートの名前を変更する。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
変更対象シート名	名前変更したいシート名を入力する
変更名	新しいシート名を入力する

6.11.12. セル操作 ＞ 指定範囲の削除

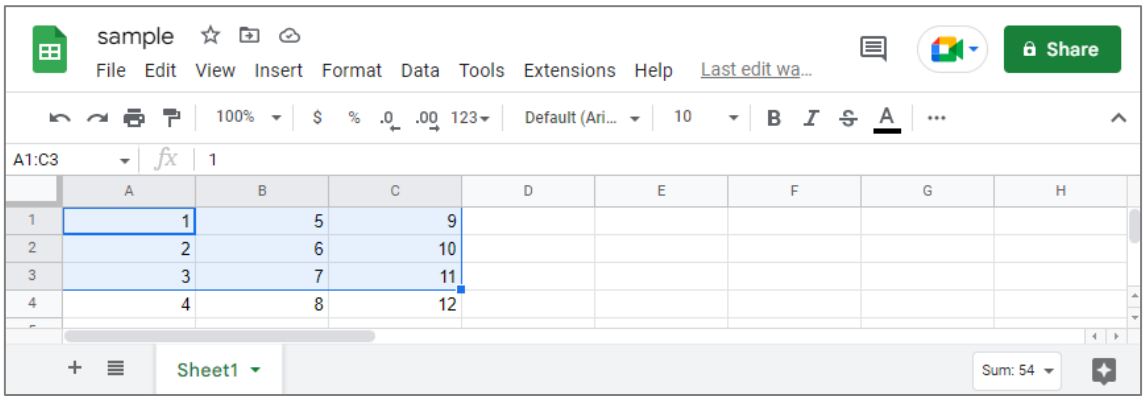
スプレッドシートで指定した範囲を削除する。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する
指定範囲	1 つまたは 2 つのセル行列番号を指定する
シフト方向	削除範囲（行または列）を指定する

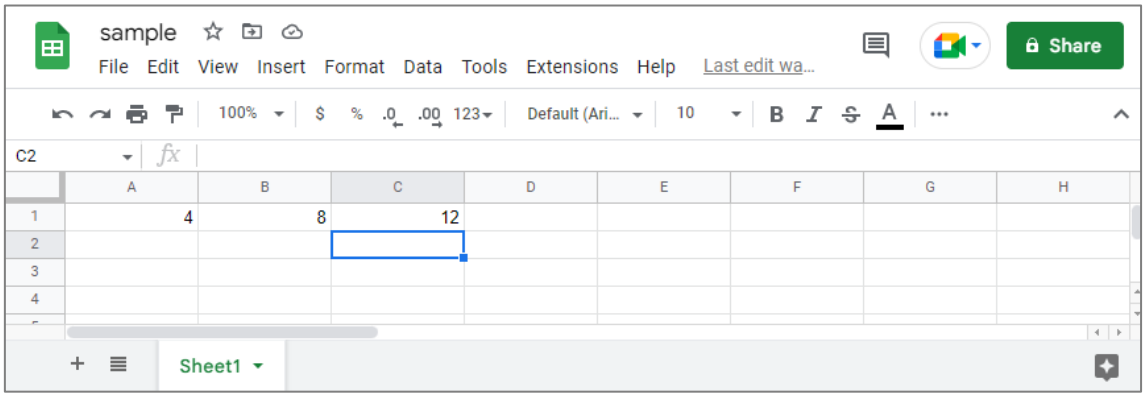
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲の削除）：

1~3 行目を削除する。



シナリオ例（セル操作 ＞ 指定範囲の削除）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

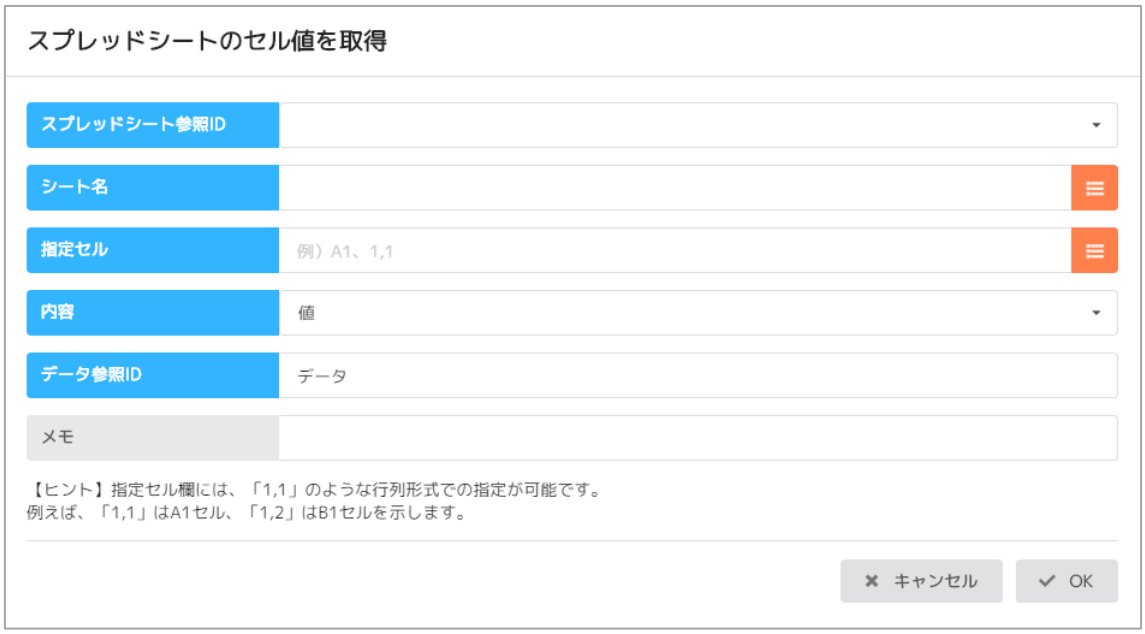
6.11.13. セル操作 ＞ 指定範囲にセルを挿入

指定範囲した箇所にセルを挿入する。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したエクセル参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する
挿入指定範囲	1 つまたは 2 つのセル行列番号を指定する
シフト方向	挿入方向（行または列）を指定する

6.11.14. セル操作 ＞ 値を取得

セルの値または数式を取得し、データ参照 ID に記憶する。

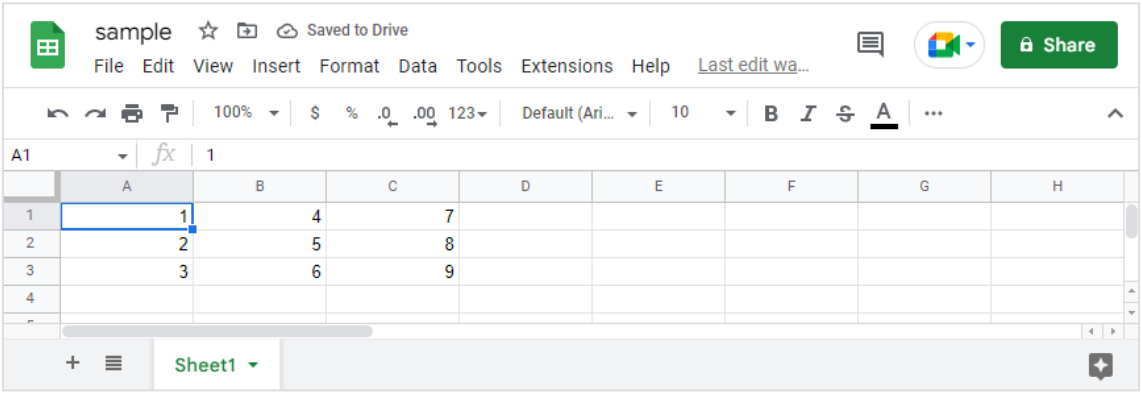


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する
指定セル	セルを A1 表記または行列表記で指定する （A1 表記の例） A1 （行列表記の例） 1,1
内容	取得したいセルの内容を選択する。
データ参照 ID	データ参照 ID を定義する

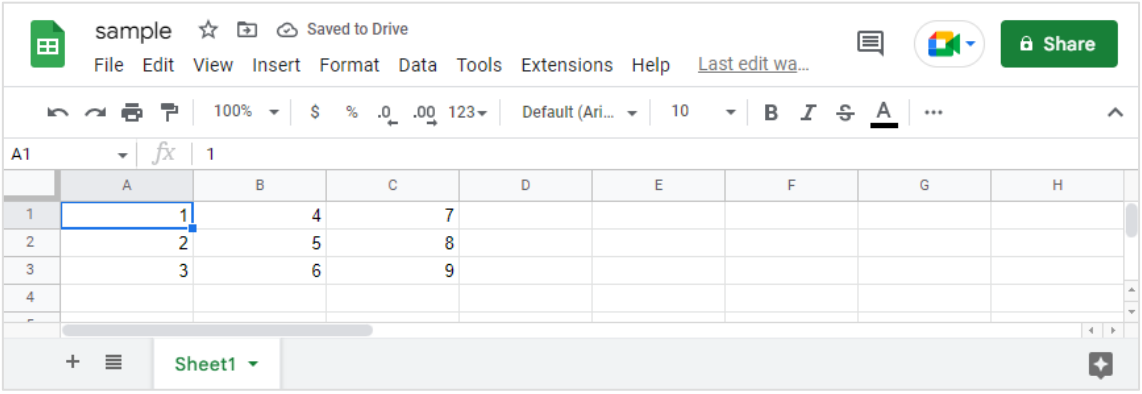
シナリオ例 1（セル操作 ＞ 値を取得）：

A1 からセル値を取得するシナリオ。



シナリオ例 2（セル操作 ＞ 値を取得）：

A 列から C 列、1 行目から 3 行目へと移動しながら、A1～C3 のセル値を取得するシナリオ。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.15. セル操作 ＞ 値を入力

任意のセルに値を入力する。

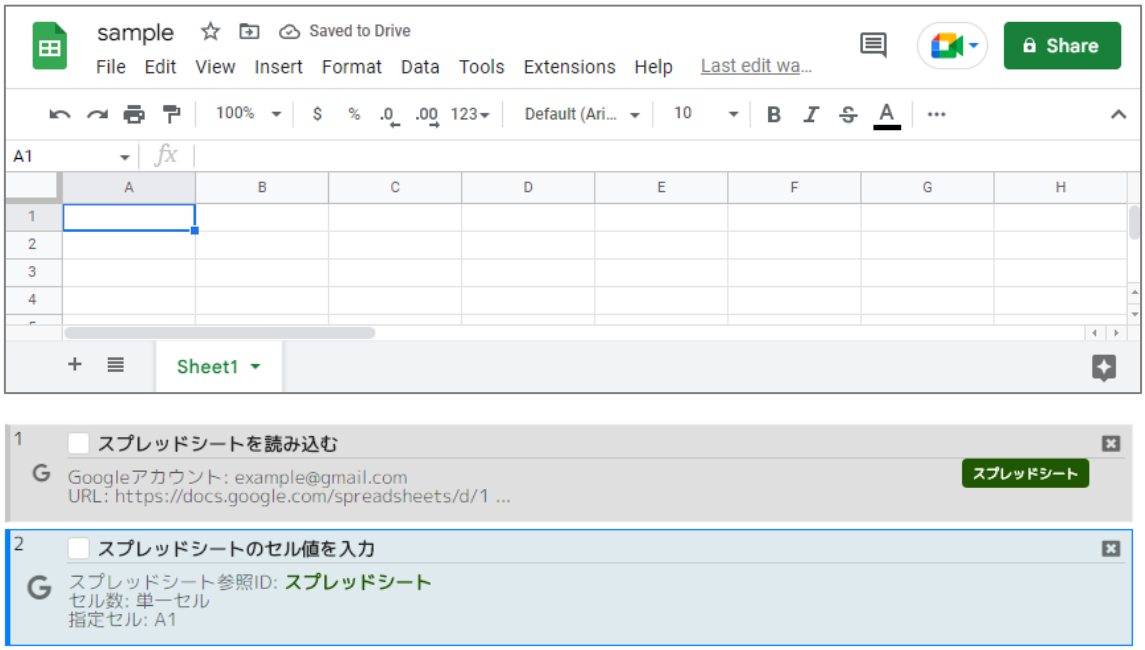
名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シート名	シート名を指定する
入力値	入力する値
セル数	入力するセルの数を指定する
指定セル	セルを A1 表記または行列表記で指定する （A1 表記の例）　A1　（行列表記の例）　1,1

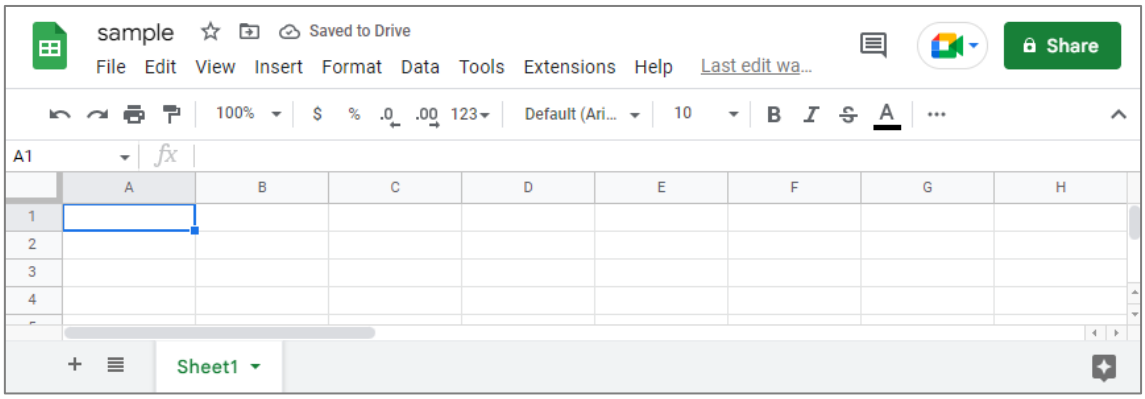
シナリオ例 1（セル操作 ＞ 値を入力）：

A1 セルに値を入力するシナリオ。



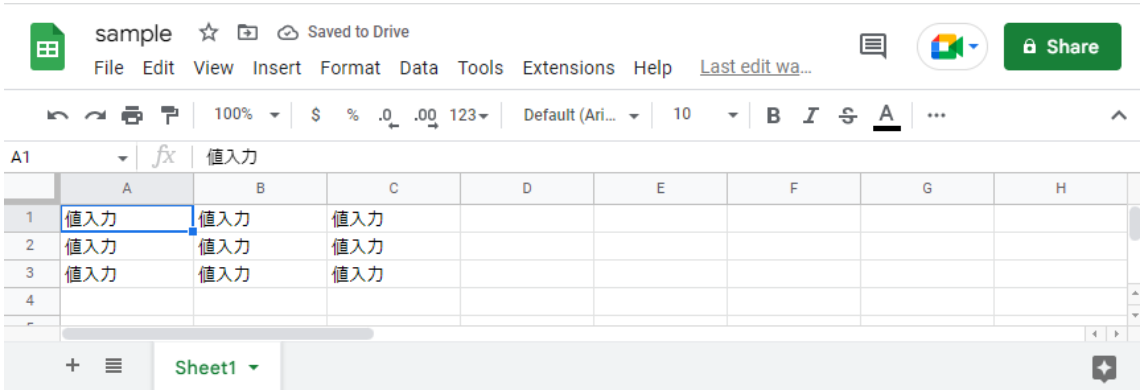
シナリオ例 2（セル操作 ＞ 値を入力）：

A 列から C 列、1 行目から 3 行目へと移動しながら、A1～C3 セルに値を入力するシナリオ。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例 2（セル操作 ＞ 値を入力）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.16. セル操作 ＞ セルをコピー・貼り付け

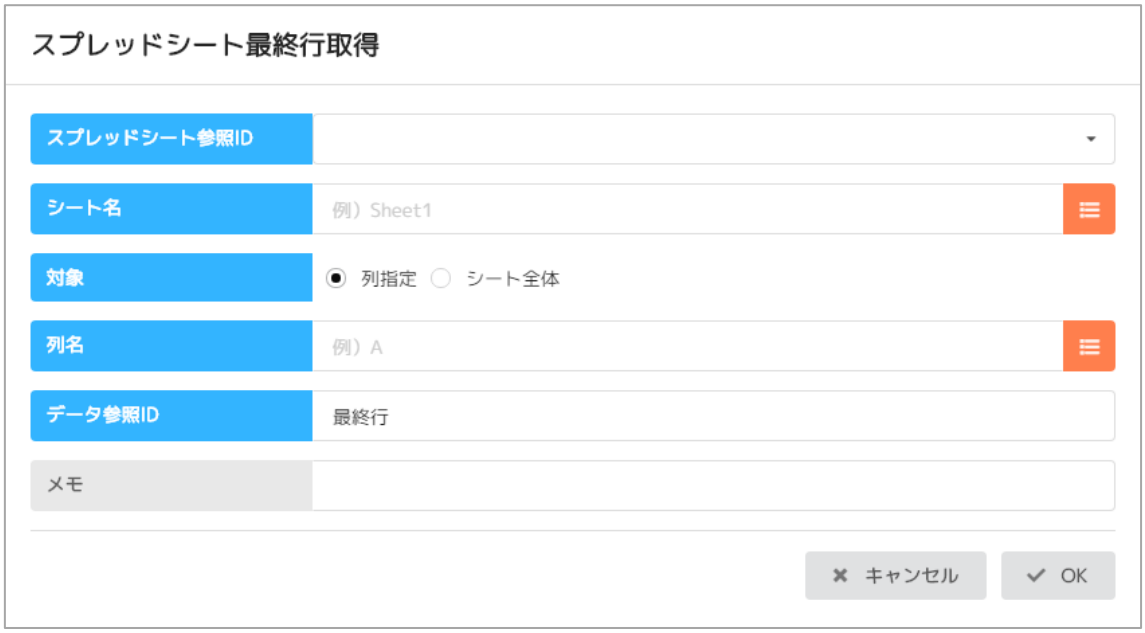
任意のセルをコピーして、指定のセルへ貼り付けする。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
コピー元のシート名	コピー元のシート名を指定する。
コピー元のセル	コピー元のセル範囲を指定する。 範囲指定の場合、「A1:A10」のように指定する。 R1C1 形式で指定することも可能である。
コピー先のシート名	コピー先のシート名を指定する。
コピー先のセル	コピー先のセル範囲を指定する。 範囲指定の場合、「A1:A10」のように指定する。 R1C1 形式で指定することも可能である。
貼り付けタイプ	貼り付けタイプを選択する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.17. セル操作 ＞ 最終行取得

指定列またはシート全体の最終行を取得するコマンド。
※指定列またはシート全体に値がない場合も、データ参照 ID には 1 が記憶される。



名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する。
対象	最終行を取得する列もしくはシート全体を指定する
列名	最終行を取得する列名を指定する。
データ参照 ID	最終行を記憶するデータ参照 ID を定義する。

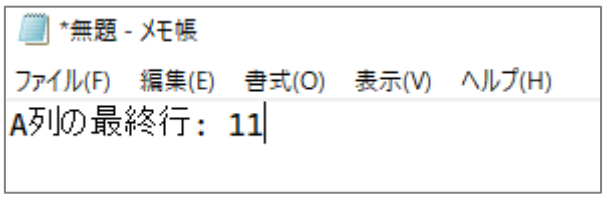
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（セル操作 ＞ 最終行取得）：

下記のシートの A 列の最終行を取得するシナリオ。

	A	B	C	D
1	ID	Email	住所	備考
2	1	test1@example.com	東京都	
3	2	test2@example.com	神奈川県	
4	3	test3@example.com		
5	4	test4@example.com	静岡県	
6	5	test5@example.com		
7	6	test6@example.com	北海道	
8	7	test7@example.com		
9	8		福岡県	
10	9	test9@example.com	千葉県	
11	10	test10@example.com		

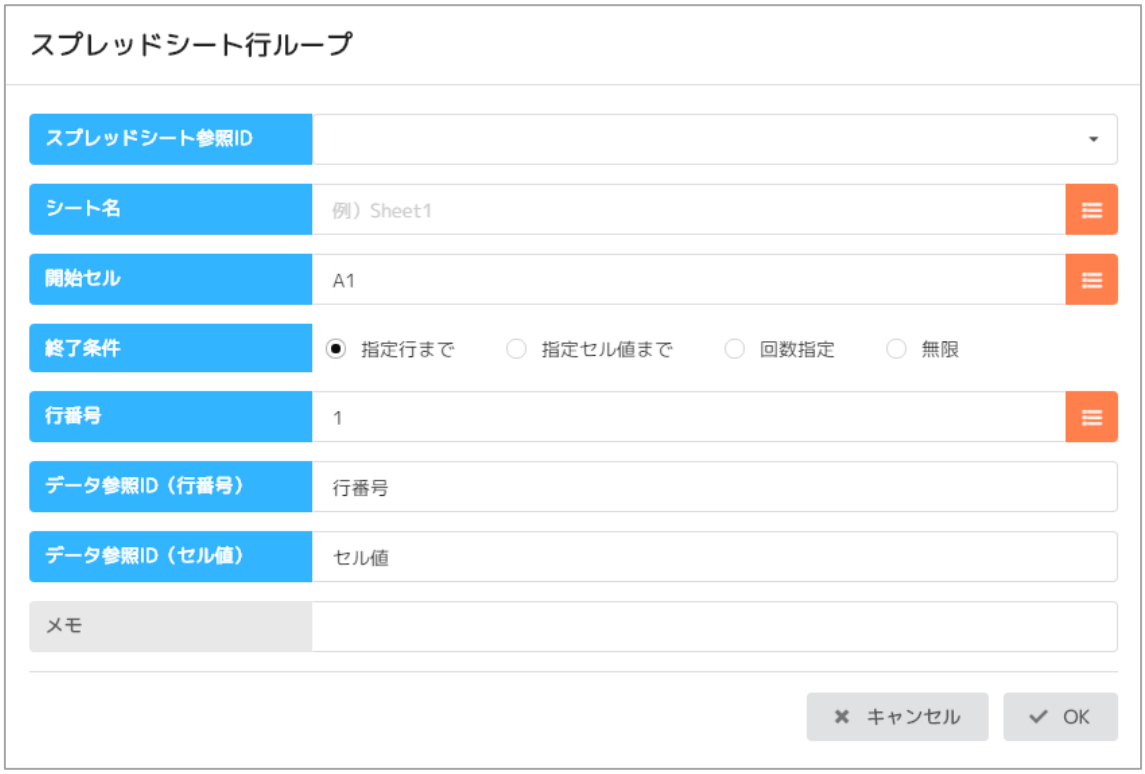
シナリオ例（セル操作 ＞ 最終行取得）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.18. セル操作 ＞ 行ループ

指定の開始セル位置から指定の終了条件になるまで下方向へループするコマンド。ループする度に、下方向へ移動したセルの行番号と値を各データ参照 ID に記憶する。



名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する。
開始セル	ループを開始するセルを指定する。
終了条件	終了条件を選択する。
行番号	ループを終了する行番号を指定する。
セル値	ループを終了するセル値を指定する。
回数	ループする回数を指定する。
データ参照 ID（行番号）	行番号を記憶するデータ参照 ID を定義する。
データ参照 ID（セル値）	セル値を記憶するデータ参照 ID を定義する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（セル操作 ＞ 行ループ）：

下記のシートの B 列の値をすべて取得するシナリオ。

	A	B	C	D
1	ID	Email	住所	備考
2	1	test1@example.com	東京都	
3	2	test2@example.com	神奈川県	
4	3	test3@example.com		
5	4	test4@example.com	静岡県	
6	5	test5@example.com		
7	6	test6@example.com	北海道	
8	7	test7@example.com		
9	8	test8@example.com	福岡県	
10	9	test9@example.com	千葉県	
11	10	test10@example.com		

シナリオ例（セル操作 ＞ 行ループ）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.11.19. セル操作 ＞ 列ループ

指定の開始セル位置から指定の終了条件になるまで右方向にループするコマンド。ループする度に、右方向へ移動したセルの列名と値を各データ参照 ID に記憶する。

名称	内容
スプレッドシート参照 ID	定義したスプレッドシート参照 ID を指定する
シート名	シート名を指定する。
開始セル	ループを開始するセルを指定する。
終了条件	終了条件を選択する。
列名	ループを終了する列名を指定する。
セル値	ループを終了するセル値を指定する。
回数	ループする回数を指定する。
データ参照 ID（列名）	列名を記憶するデータ参照 ID を定義する。
データ参照 ID（セル値）	セル値を記憶するデータ参照 ID を定義する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（セル操作 ＞ 列ループ）：

下記のシートの 2 行目の値をすべて取得するシナリオ。

	A	B	C	D
1	ID	Email	住所	備考
2	1	test1@example.com	東京都	
3	2	test2@example.com	神奈川県	
4	3	test3@example.com		
5	4	test4@example.com	静岡県	
6	5	test5@example.com		
7	6	test6@example.com	北海道	
8	7	test7@example.com		
9	8	test8@example.com	福岡県	
10	9	test9@example.com	千葉県	
11	10	test10@example.com		

シナリオ例（セル操作 ＞ 列ループ）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12. ウェブブラウザ

6.12.1. 起動

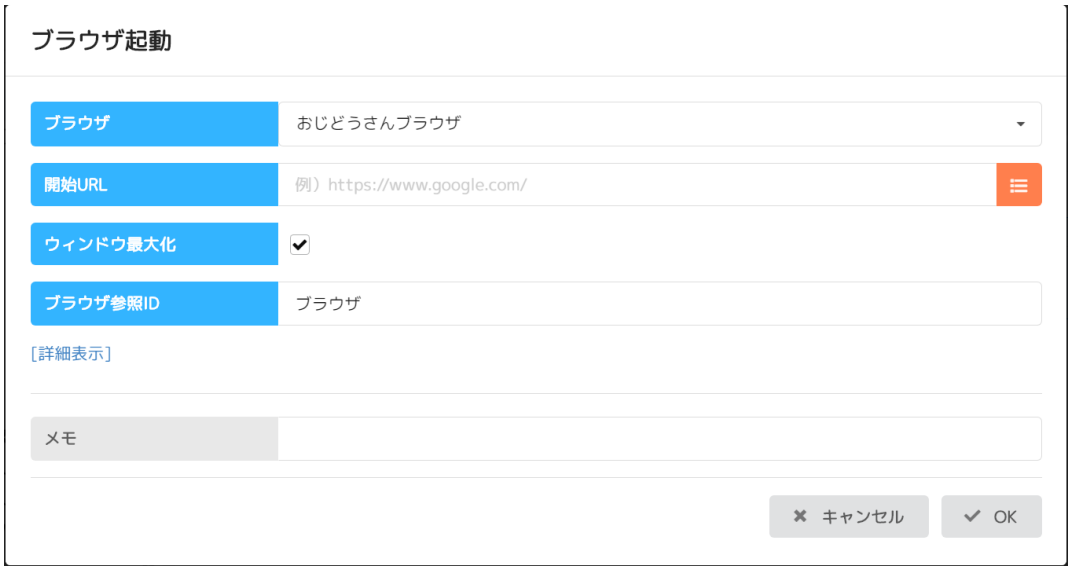
　ブラウザを起動し、指定した URL へアクセスするコマンド。

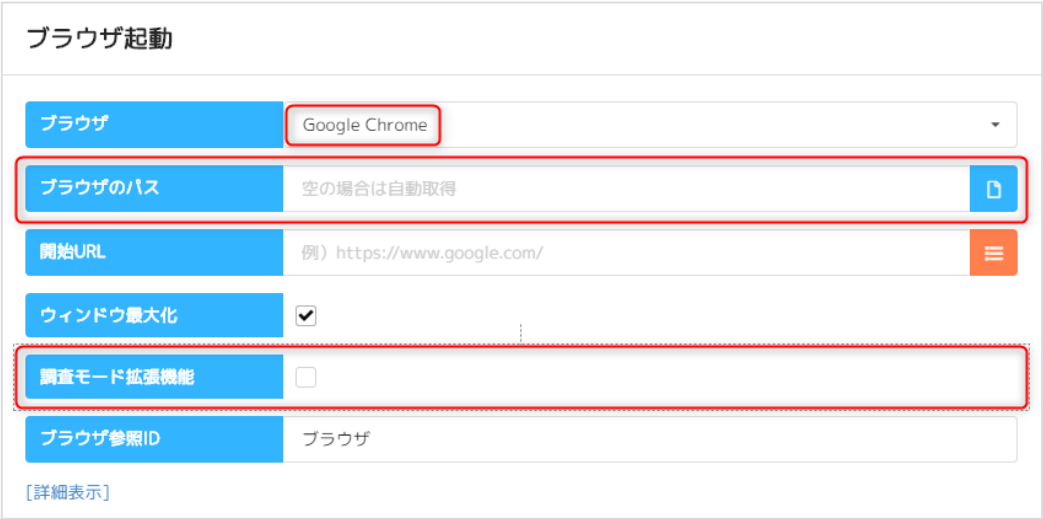
※注意点

・Google Chrome 及び Microsoft Edge は最新～旧バージョン 4 つをサポートする。

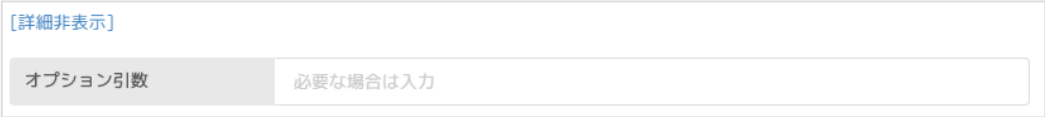
・Microsoft Internet Explorer v11 および Microsoft Edge の IE モードを利用する場合は、追加設定（2.6. Internet Explorer v11 操作のための設定）が必要である。

・Microsoft Edge HTML は 2021 年 3 月にサービス終了しているため、新しくインストール出来ない場合がある。





Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



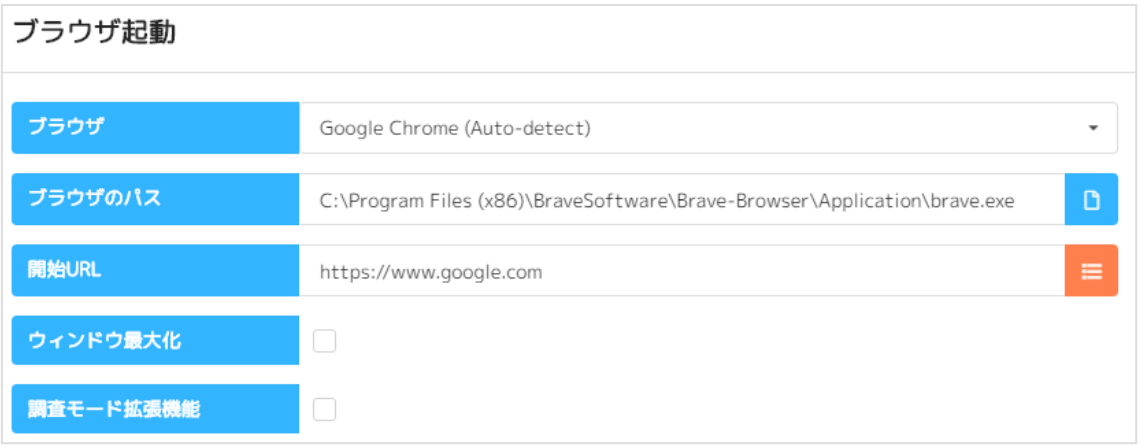
名称	内容
ブラウザ	ブラウザを選択する。使用できるブラウザは以下のとおり。 1. おじどうさんブラウザ 2. Google Chrome 3. Microsoft Internet Explorer (v11) 4. Microsoft Edge 5. Microsoft Edge HTML (v18) 6. Mozilla Firefox (32-bit) 7. Mozilla Firefox (64-bit)
ブラウザのパス	Mozilla Firefox、Google Chrome または Microsoft Edge を選択した場合に表示される。ブラウザのパスを入力する。
開始 URL	ブラウザ起動後のアクセスする URL を入力する
ウィンドウ最大化	チェックなし：　ウィンドウを最大化しない チェックあり：　ウィンドウを最大化する
IE モード	Microsoft Edge を選択した場合に表示される。 チェックなし：　通常のモードで起動する チェックあり：　IE モードで起動する
調査モード拡張機能	Microsoft Edge または Google Chrome を選択した場合に表示される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

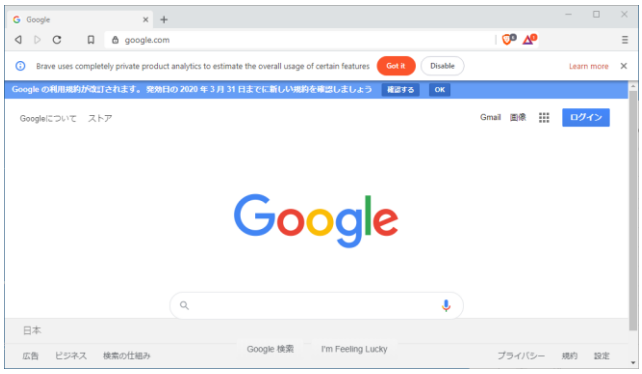
	チェックなし：　拡張しない チェックあり：　ブラウザに調査モードが表示される
ブラウザ参照 ID	ブラウザ参照 ID を定義する
オプション引数	ブラウザ起動時のオプション（引数）を入力する [詳細表示]をクリックすると表示される

［ブラウザのパス］設定機能は Mozilla Firefox、Google Chrome または Microsoft Edge のウェブドライバーに対応している他のブラウザを起動する場合に有効である。

シナリオ例 1（起動）：
Google Chrome ドライバー対応の Brave Browser を起動する。



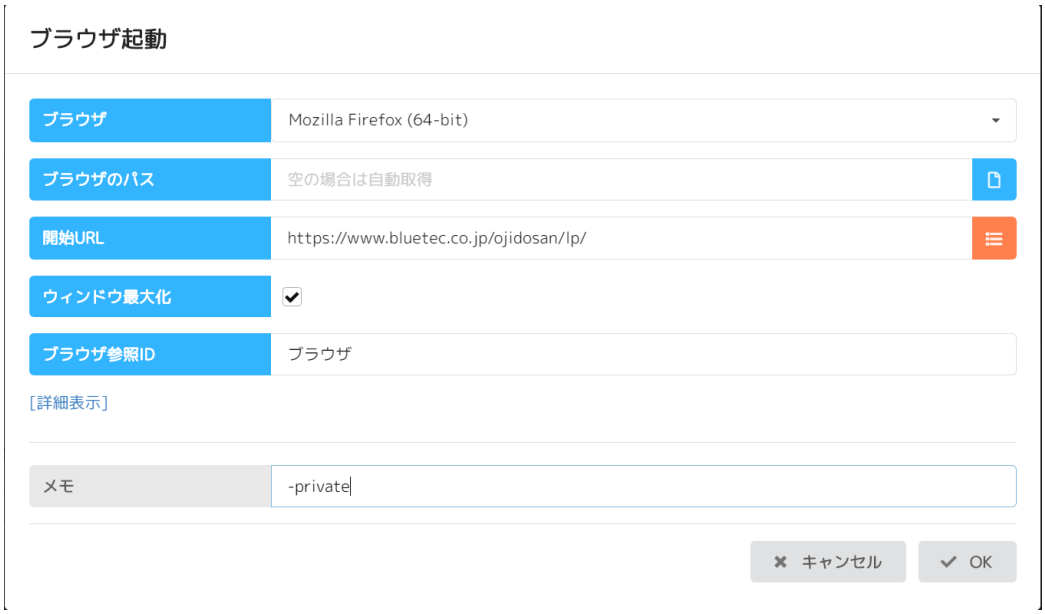
シナリオ例 1（起動）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例２（起動）：

Mozilla Firefox (64-bit)をオプション引数「-private」を使って起動する。「-private」を使う事で Mozilla Firefox はプライベートモードで起動する。



シナリオ例２（起動）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.2. 起動（ユーザ情報引継）

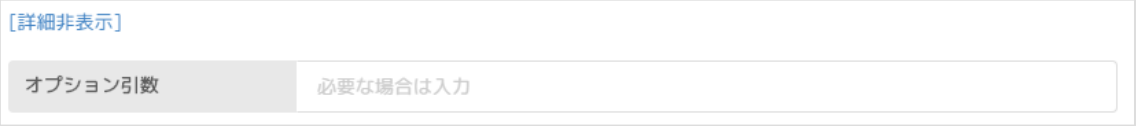
プロファイル（ブックマーク・自動入力データ・パスワード・閲覧履歴・ブラウザの設定・インストール済みの拡張機能など）を引き継いだ状態でブラウザを起動する。

※必須事項

(1) 本コマンド使用前にブラウザで該当サービスにログインしてください

(2) ログイン完了後はブラウザを閉じる

(3) Microsoft Edge を使用する場合、本コマンド使用前に「Microsoft Edge のスタートアップブースト機能」を無効化してください



名称	内容
ブラウザ	ブラウザを選択する。使用できるブラウザは以下の通り。 1. Google Chrome 2. Microsoft Edge
ブラウザのパス	ブラウザのパスを入力する
プロファイルのパス	プロファイルのパスを入力する 詳細は 9.3.ブラウザプロファイルの使い方 ※ユーザ情報が引き継がれない場合は 9.3.2.その他のブラウザで

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

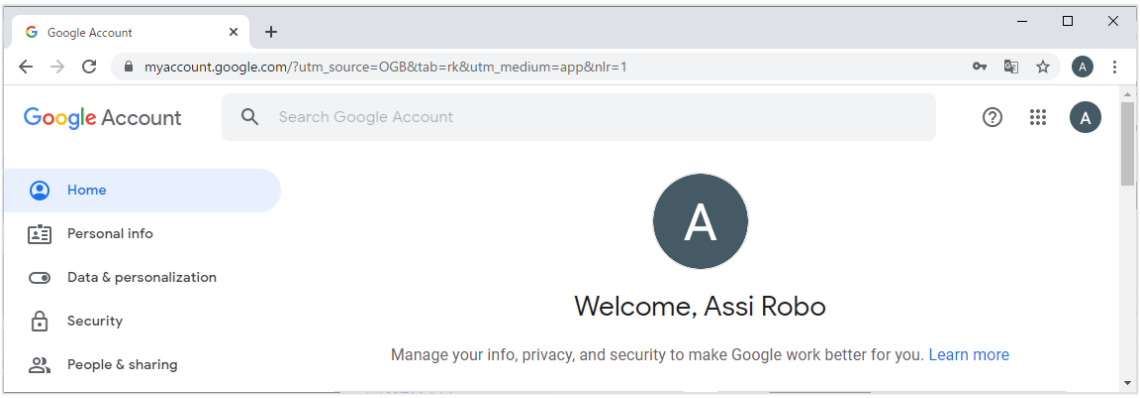
	プロファイルを読み込みたい場合の手順でご対応下さい
開始 URL	ブラウザ起動時にアクセスする URL を入力する
ウィンドウ最大化	ブラウザウィンドウを最大化するオプション
ブラウザ参照 ID	ブラウザ参照 ID を定義する
オプション引数	ブラウザ起動時のオプション（引数）を入力する [詳細表示]をクリックすると表示される

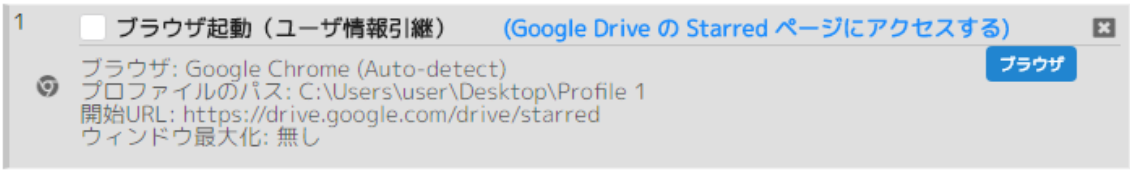
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（起動（ユーザ情報引継））：

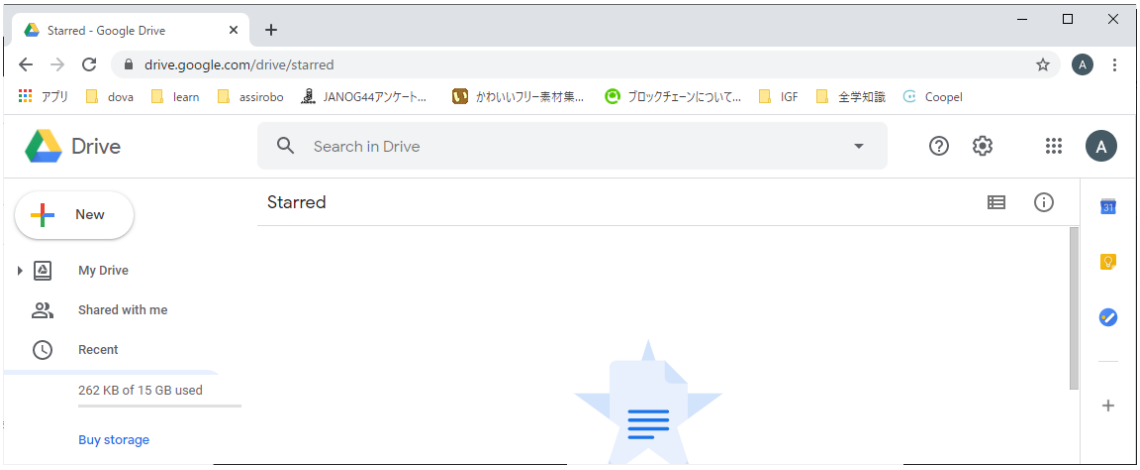
　現在の Google Chrome のプロファイルを引き継いでブラウザを起動する。

※シナリオ実行前に Google Chrome を通常起動し、操作したいサービスへログインできたらブラウザを閉じてください





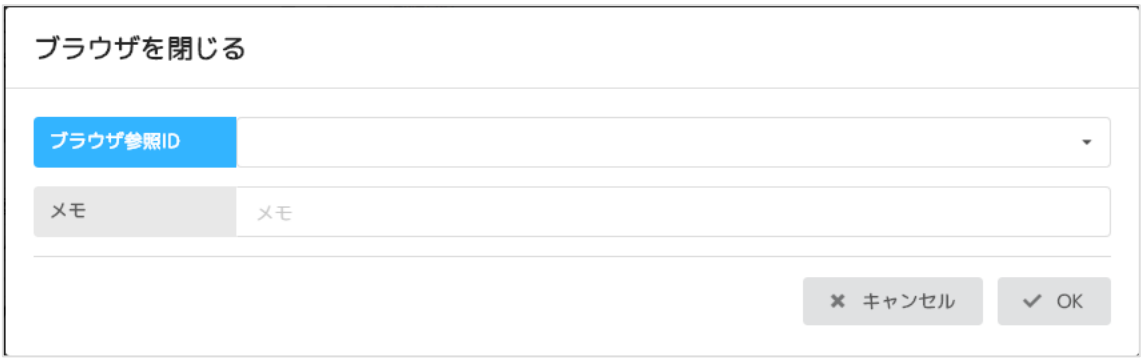
シナリオ例（起動（ユーザ情報引継））の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.3. 閉じる

ブラウザを閉じるコマンド。



名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する

6.12.4. 派生ブラウザ画面記憶

おじどうさん実行中にできる新しいブラウザウィンドウを記憶するコマンド。

名称	内容
派生元ブラウザ	新しいブラウザウィンドウを派生する ブラウザ参照 ID を指定する
新ブラウザ参照 ID	新しいブラウザウィンドウのブラウザ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（派生ブラウザ画面記憶）：

新しいブラウザから、問い合わせページにアクセスするシナリオ。

シナリオ例（派生ブラウザ画面記憶）の実行結果：

派生元ブラウザ（下図）

派生ブラウザ（下図）

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

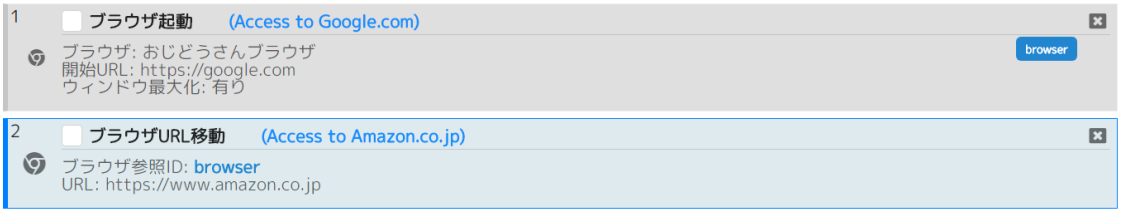
6.12.5. URL 移動

ブラウザで URL 移動をするコマンド。

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
URL	移動先の URL を入力する

シナリオ例（URL 移動）：

ブラウザで https://www.google.com ページを起動後、https://www.amazon.co.jp へ移動するシナリオ。



シナリオ例（URL 移動）の実行結果：

https://www.amazon.co.jp が表示された。

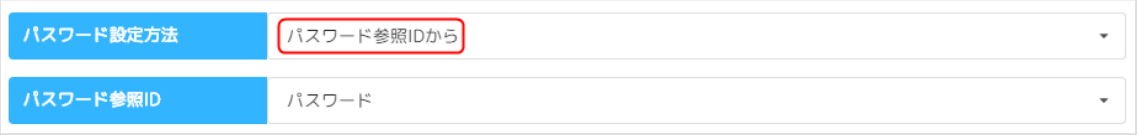
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.6. URL 移動（Basic 認証）

ブラウザで URL 移動と同時に Basic 認証するコマンド。

※注意点

・認証に失敗してもエラーが発生しない

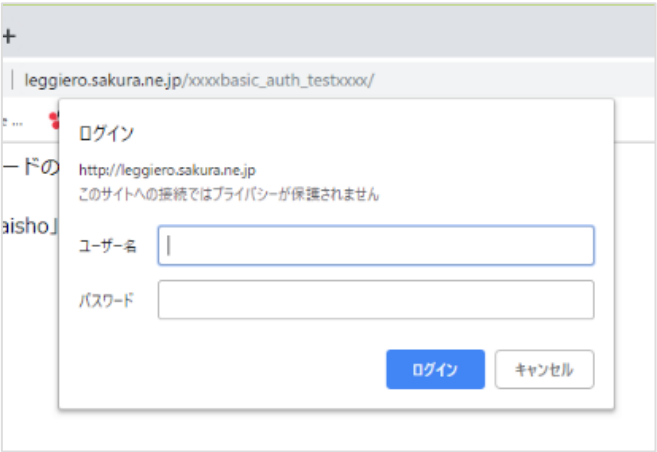


名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
URL	移動先の URL を入力する
ユーザ名	Basic 認証へ入力するユーザ名を指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される Basic 認証へ入力するパスワードを指定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

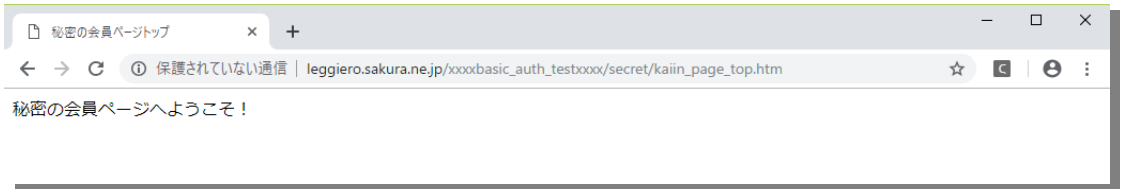
シナリオ例（URL 移動（Basic 認証））：

Basic 認証テストサイトへアクセスする。



シナリオ例（URL 移動（Basic 認証））の実行結果：

Basic 認証に成功し、対象の URL へ移動した。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.7. Cookie を追加

ブラウザで Cookie 設定するコマンド。

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
Name	Cookie の Name を指定する
Value	Cookie の Value を指定する

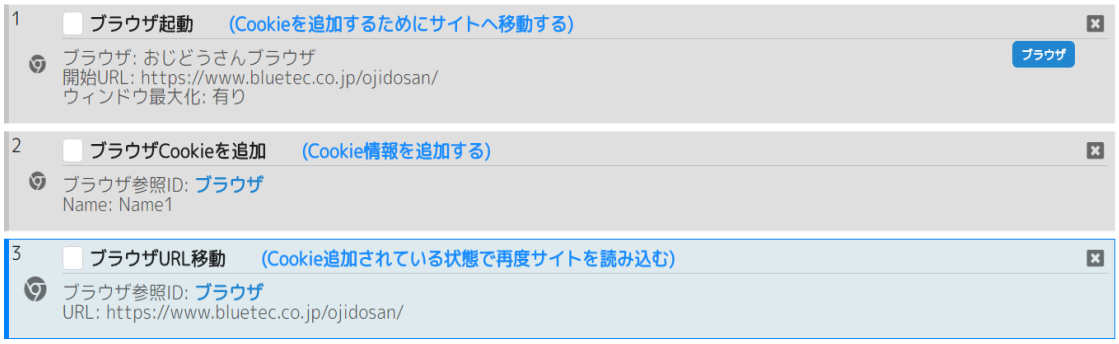
注意事項

- Cookie は認証情報となりますのでお取り扱いにご注意ください。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

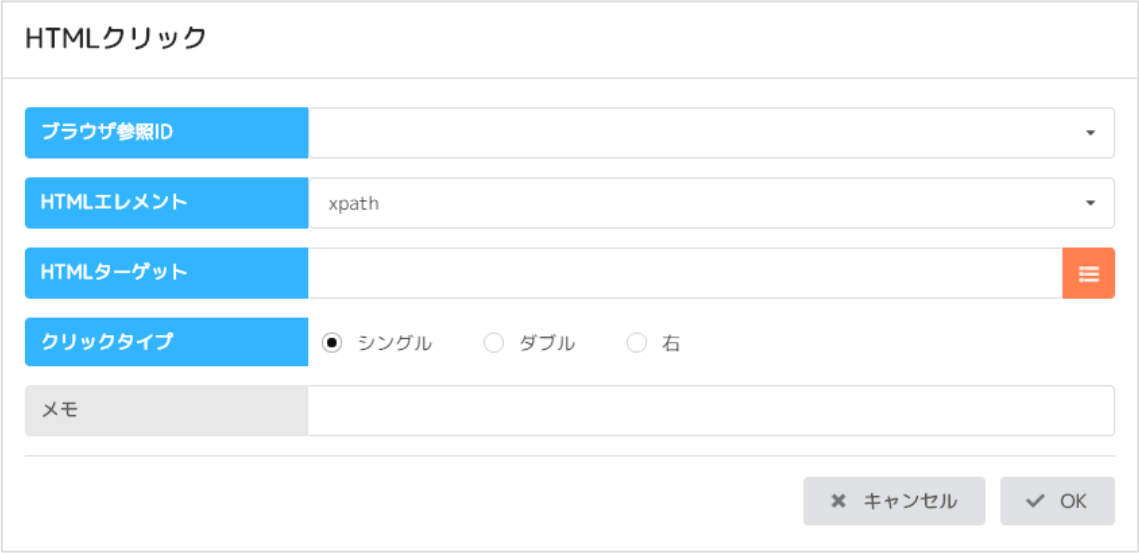
シナリオ例（Cookie を追加）：

ログインが必要なサイトで Cookie を利用してログインする。



6.12.8. ページ操作 ＞ HTML クリック

ブラウザ上のコンテンツをクリックするコマンド。

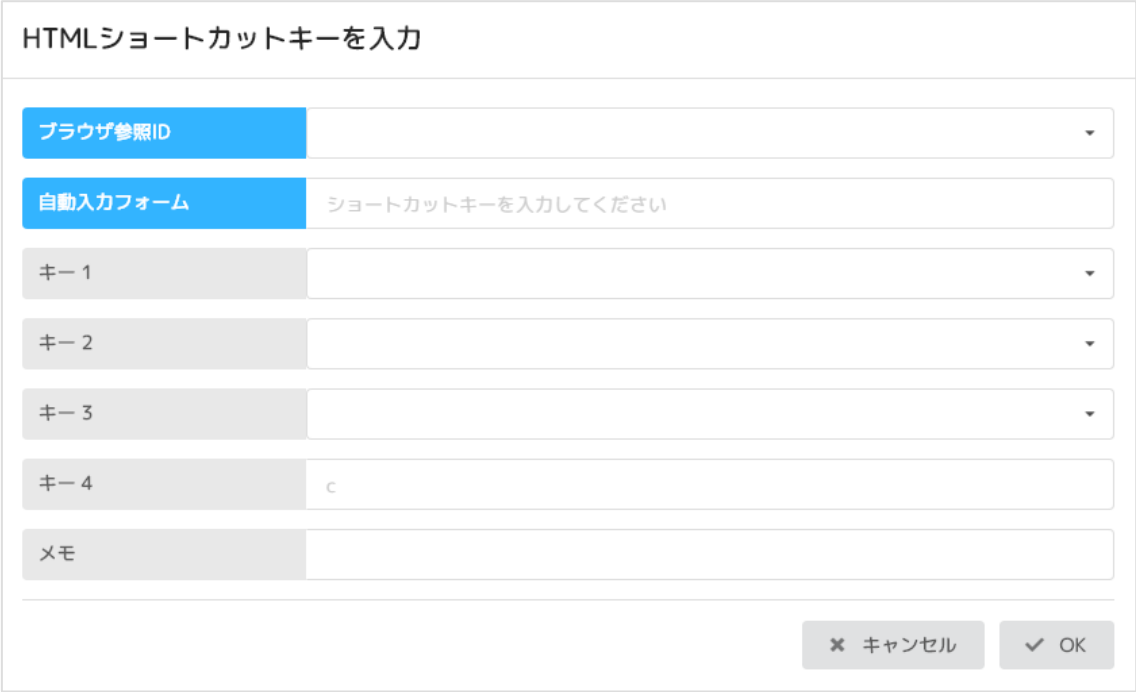


名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	クリックしたいエレメントの値を入力する
クリックタイプ	クリックのタイプを選択する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.9. ページ操作 ＞ HTML ショートカットキー

Web ページに対してショートカットキーを入力する。キーボード ＞ ショートカットキーコマンドで操作できない場合に有効である。



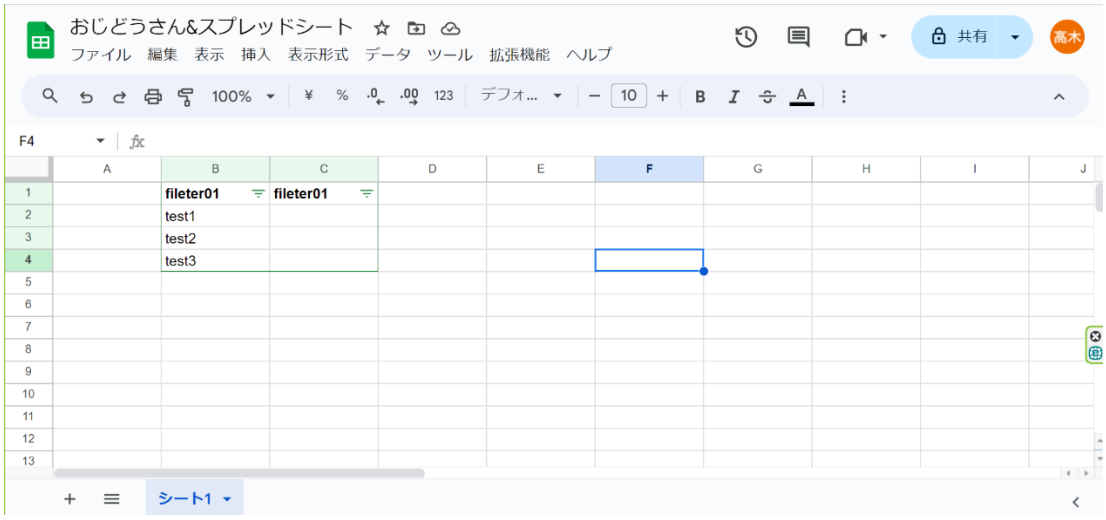
名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
自動入力フォーム	入力したキーを自動的にキー1～キー4 へ挿入する
キー1～キー3	特殊キーを 1 つ指定する（F1-F12、 Enter、 ctrl、 alt、 win 等）
キー4	キーを 1 文字のみ入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ページ操作＞HTML ショートカットキー：

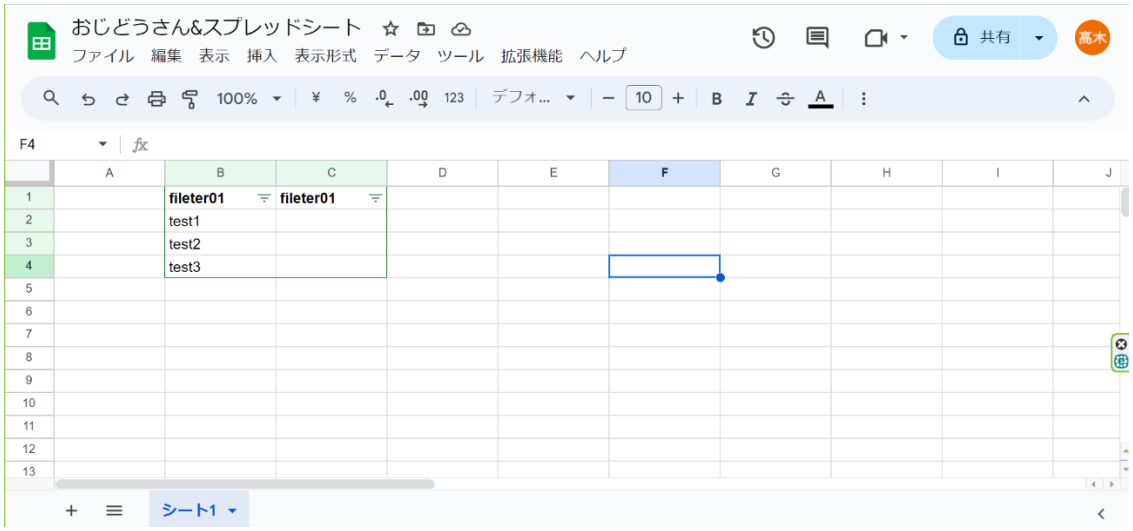
Google スプレッドシートでフィルタメニューから「Sort Z→A」を選択する。

※必須事項：　事前に Google にログインしてブラウザを閉じる



シナリオ例（ページ操作＞HTML ショートカットキー）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



6.12.10. ページ操作 ＞ HTML 選択

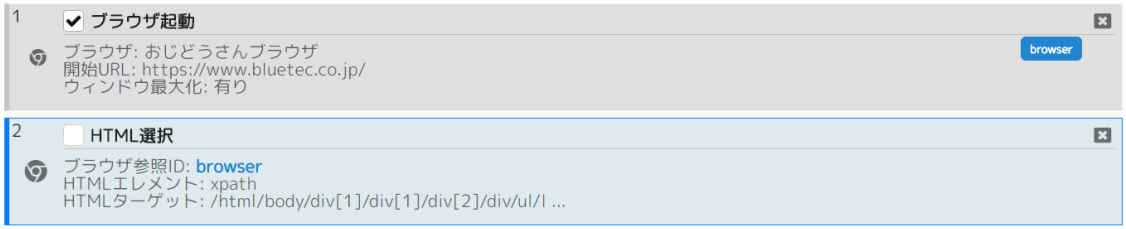
指定したエレメントにフォーカスを当てるコマンド。HTML クリックとは異なり、ブラウザ内で Tab キー移動するような効果がある。

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ページ操作＞HTML 選択・メニュー表示）：

https://www.bluetec.co.jp/ のメニューボタン「製品紹介」にフォーカスを当て、サブメニューを表示する。



シナリオ例（ページ操作＞HTML 選択・メニュー表示）の実行結果：

製品紹介にサブメニューが表示された。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

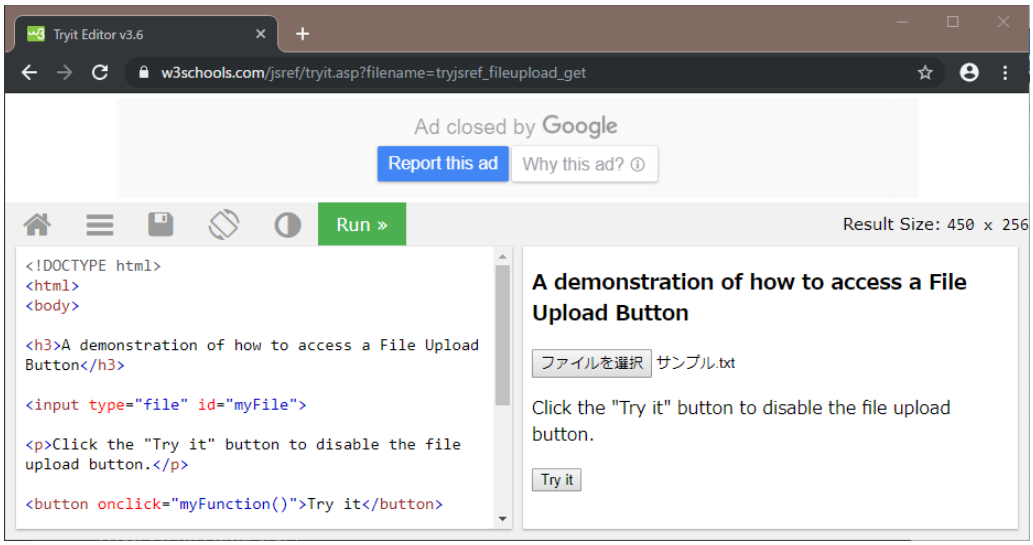
シナリオ例（ページ操作＞HTML 選択・ファイルアップロード）：

https://www.w3schools.com/jsref/tryit.asp?filename=tryjsref_fileupload_get でファイルアップロードする。

シナリオ例（ページ操作＞HTML 選択・ファイルアップロード）の実行結果：

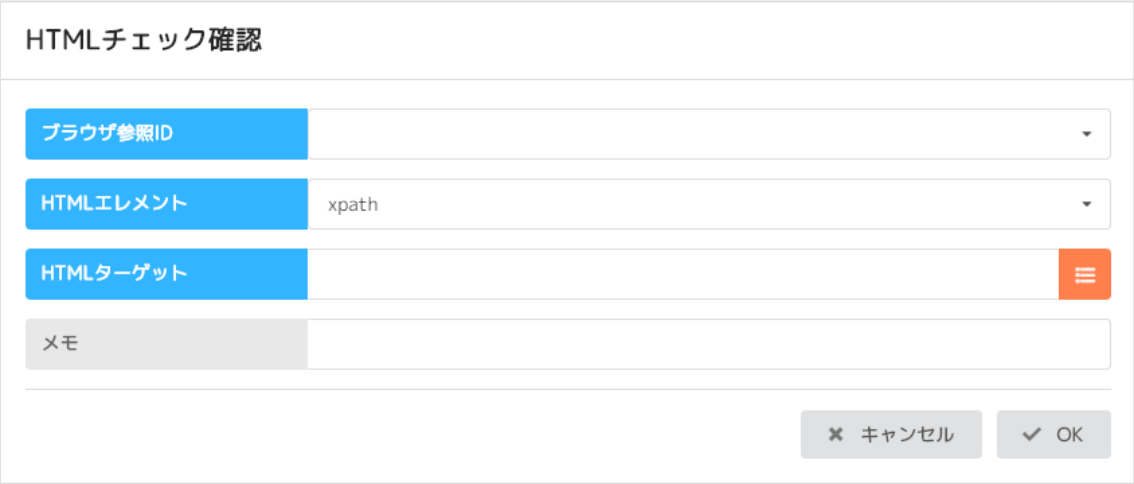
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

iFrame 内の「ファイルを選択」ボタンにフォーカスを当てダイアログボックスを開き、サンプル.txt をアップロードした。



6.12.11. ページ操作 ＞ HTML チェック確認

ブラウザ上のチェックボックスやラジオボタンからチェックの有無を確認する。チェックが有る場合とない場合とで処理を分ける。

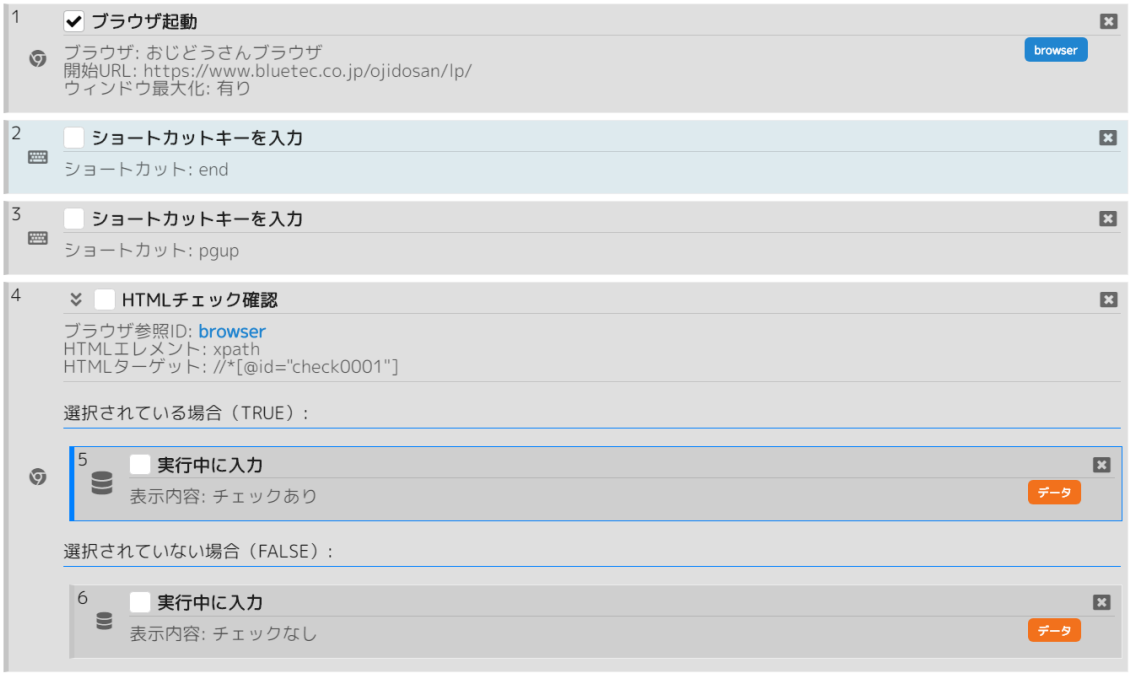


名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する

シナリオ例（ページ操作＞HTML チェック確認）：

「おじどうさん資料請求（https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/）」の「問い合わせ・ご依頼内容」のボックス入力有無を確認する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



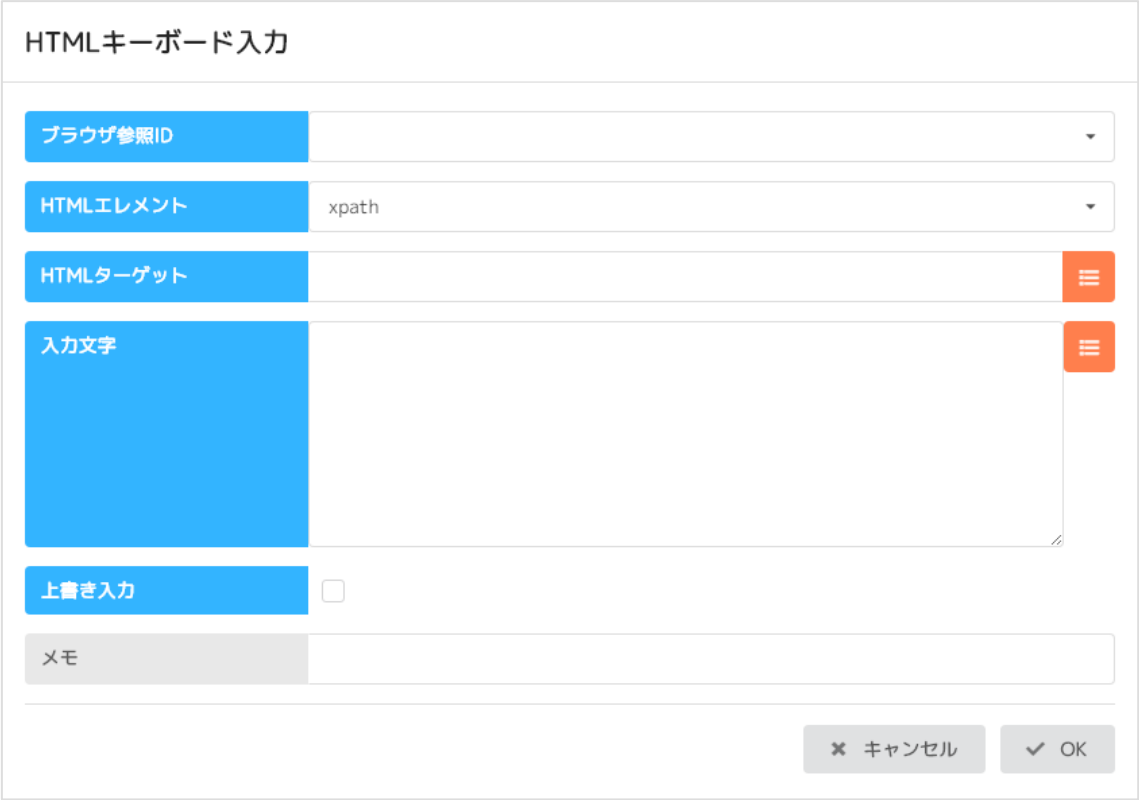
シナリオ例（ページ操作＞HTML チェック確認）の実行結果：

チェックボックスに入力されていないことを確認した。「OK」ボタンをクリックしてシナリオを終了する。

6.12.12. ページ操作 ＞ HTML キーボード入力

ブラウザ内で文字列を入力する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

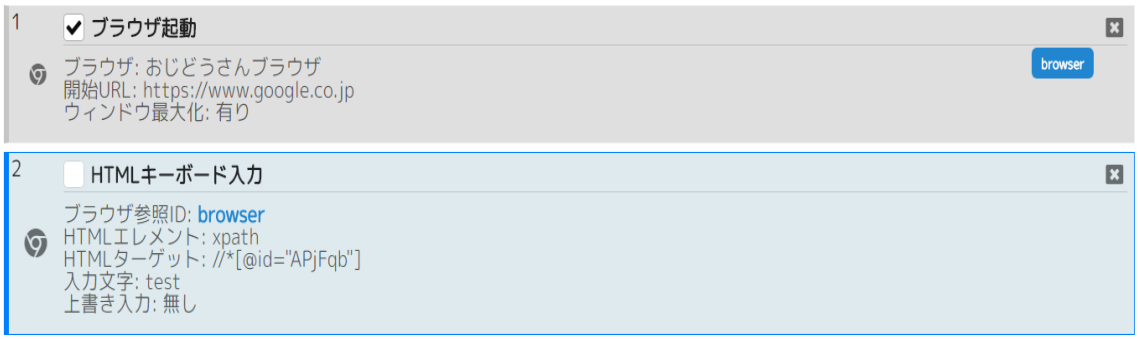


名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
入力文字	ブラウザに入力したい文字列を入れる
上書き入力	チェック有り： ターゲットを一度空にして入力する チェック無し： ターゲットへ追記する

シナリオ例（ページ操作＞HTML キーボード入力）：

https://www.google.co.jp ページの検索フォームに「test」を入力するシナリオ。

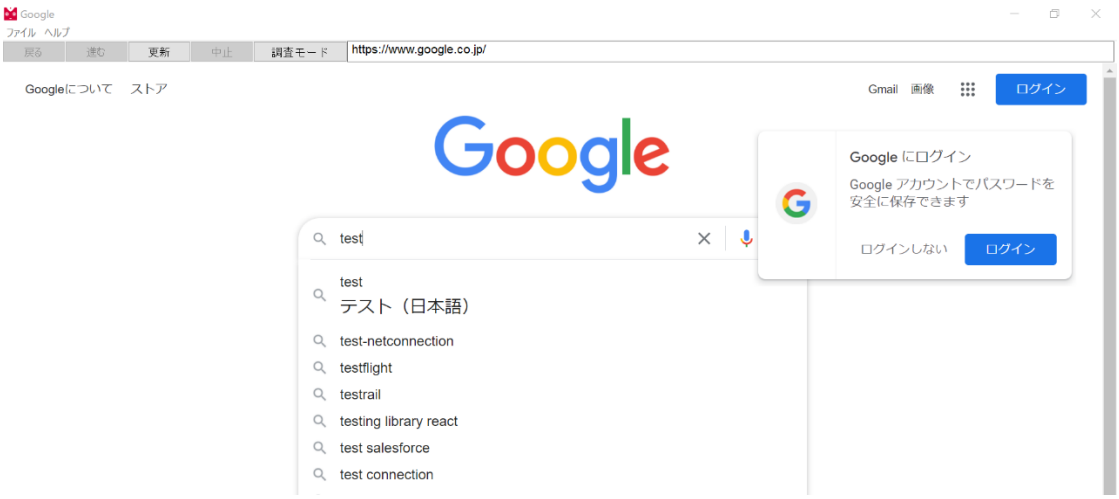
※ HTML ターゲットの xpath を取得する方法は後述の 7.3. 調査モードに記載しています。



シナリオ例（ページ操作＞HTML キーボード入力）の実行結果：

google ページの検索フォームに「test」が入力された。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

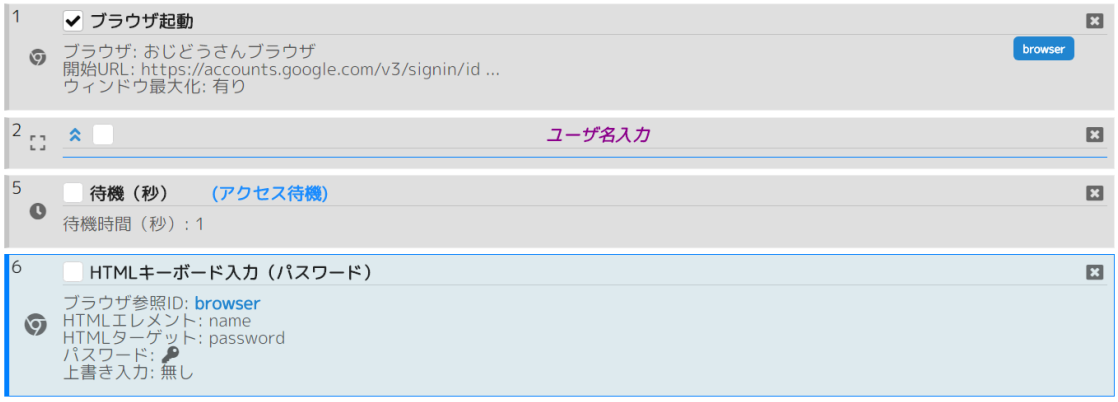


6.12.13. ページ操作 ＞ HTML キーボード入力（パスワード）

ブラウザ上でパスワードを入力するコマンド。シナリオ上で表示させたくない数値や文字列を入力する際に使用する。入力した数値や文字列はマスク処理され、入力内容が全て「●」となる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

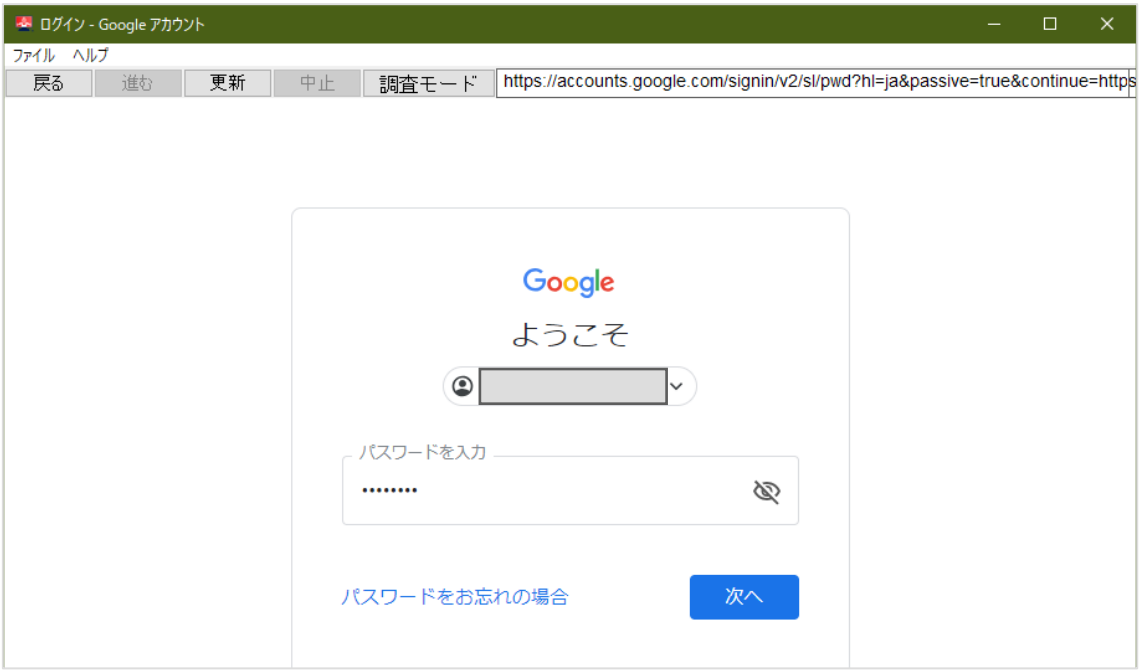
名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. 直接入力 2. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される パスワード等の表示させたくない数値や文字列を入力する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
上書き入力	チェック有り： ターゲットを一度空にして入力する チェック無し： ターゲットへ追記する



シナリオ例（ページ操作＞HTML キーボード入力（パスワード））の実行結果：

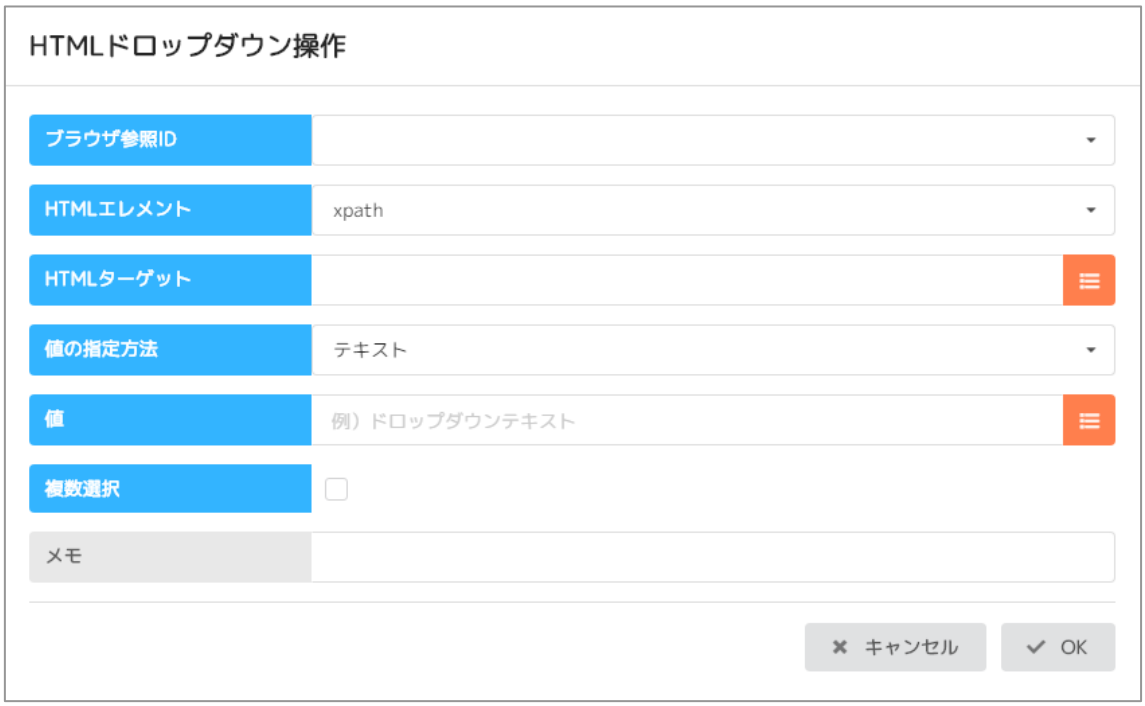
Google のログインページでパスワードを入力した。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



6.12.14. ページ操作 ＞ HTML ドロップダウン操作

ブラウザ上のドロップダウンを選択するコマンド。



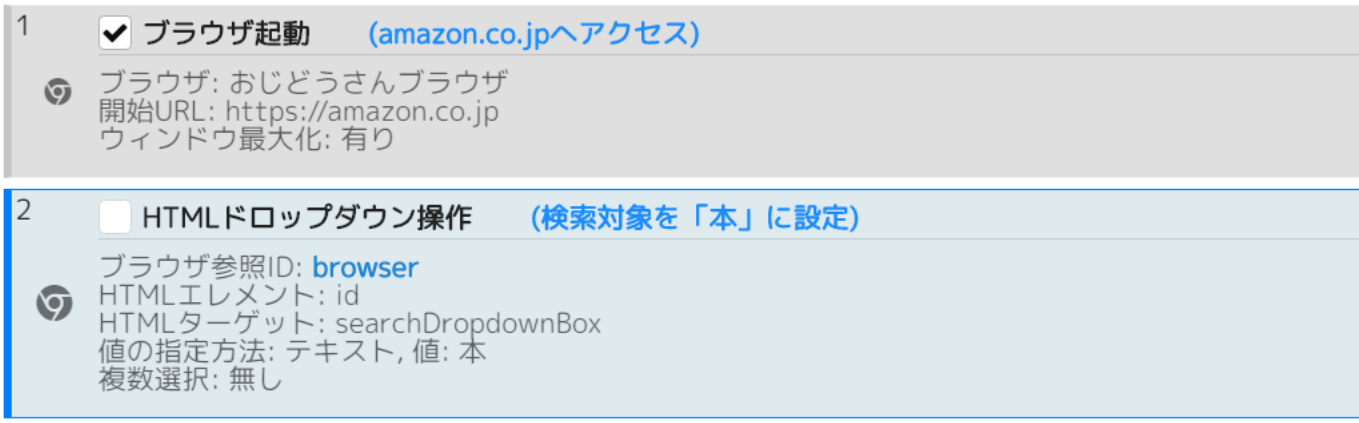
名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
値の指定方法	値の指定方法を「テキスト」「value 属性」「何番目」から選択する
値	選択するドロップダウンの値（テキスト、value 属性、何番目）を

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

	入力する
複数選択	チェック有り：選択済みのもの+対象値を選択する チェック無し： 対象値を選択する

シナリオ例（ページ操作＞HTML ドロップダウン操作）：

amazon ページの検索フォームのドロップダウンから「本」を選択するシナリオ。



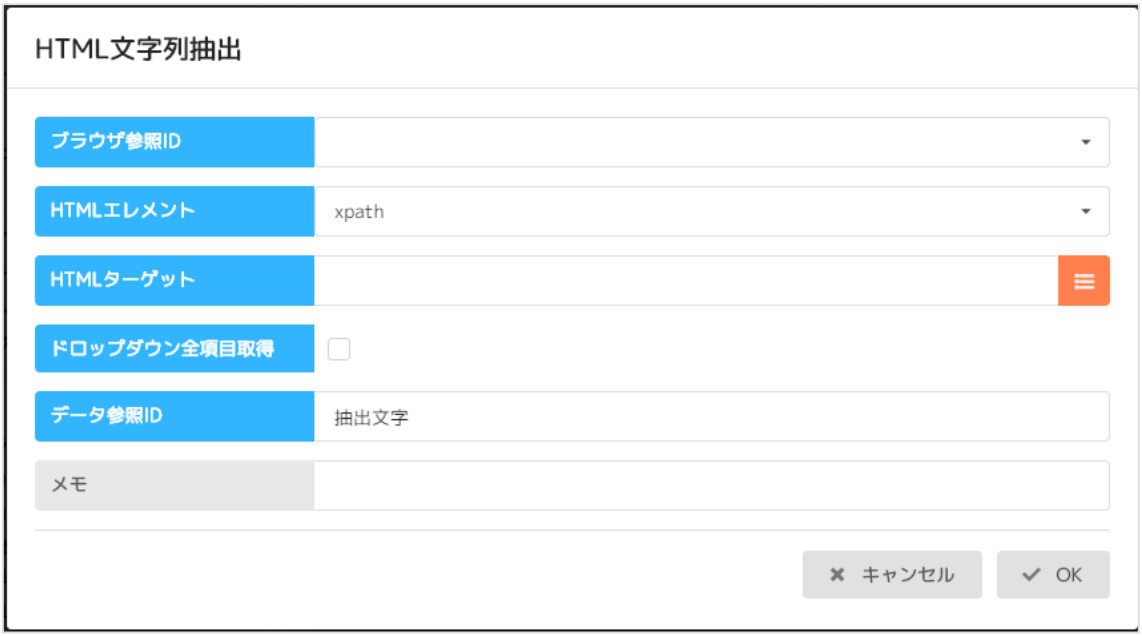
シナリオ例（ページ操作＞HTML ドロップダウン操作）の実行結果：

ドロップダウンから「本」が選択された。

6.12.15. ページ操作 ＞ HTML 文字列抽出

ブラウザにて、指定したエレメントの文字列を抽出するコマンド。抽出した文字列はデータ参照 ID に記憶される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
ドロップダウン全項目取得	ドロップダウンの全項目の文字を取得する場合にチェックする
データ参照 ID	取得した文字列を記憶するデータ参照 ID を定義する

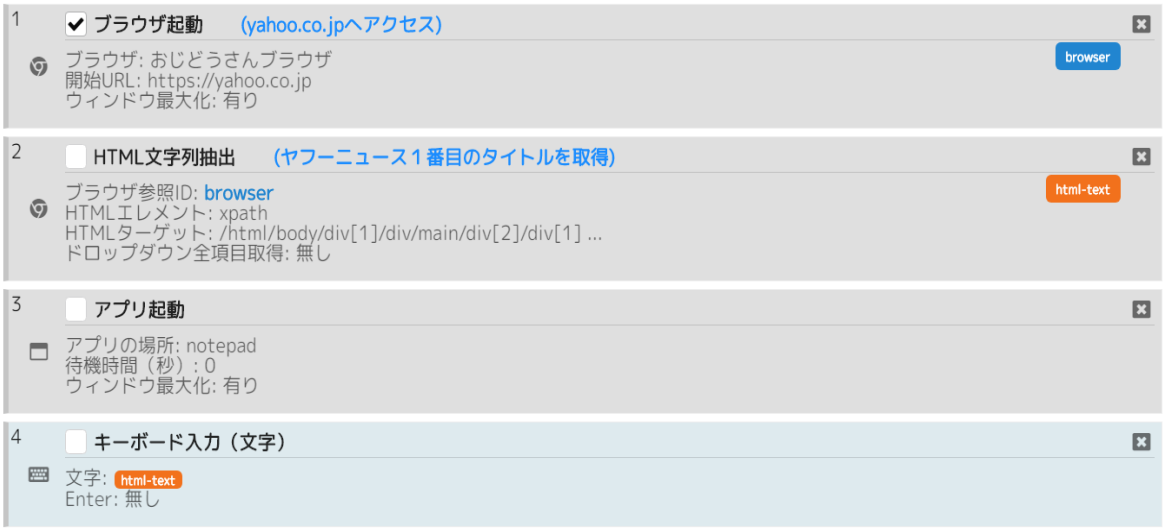
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ページ操作＞HTML 文字列抽出）：

yahoo ページのニュース 1 番目の文字列を取得して、メモ帳に入力するシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

HTML 文字列抽出の HTML ターゲット：
/html/body/div[1]/div/main/div[2]/div[1]/article/div/section/div/div[1]/ul/li[1]/article/a/div/div/h1/spa



シナリオ例（ページ操作＞HTML 文字列抽出）の実行結果：

ニュース 1 番目の文字列がメモ帳に記載された。

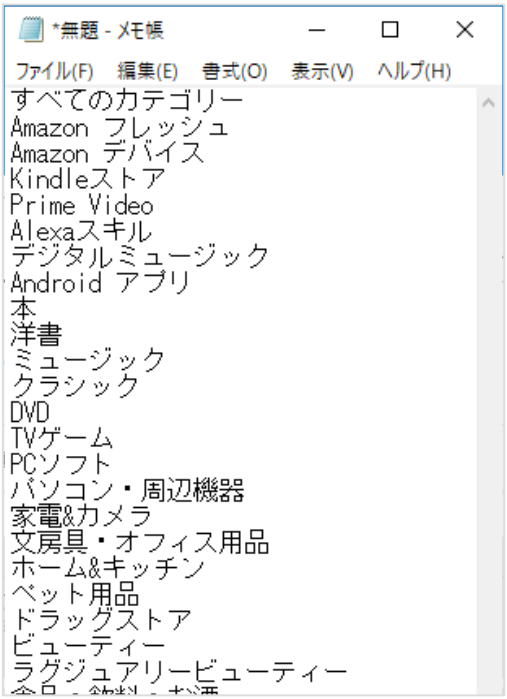
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

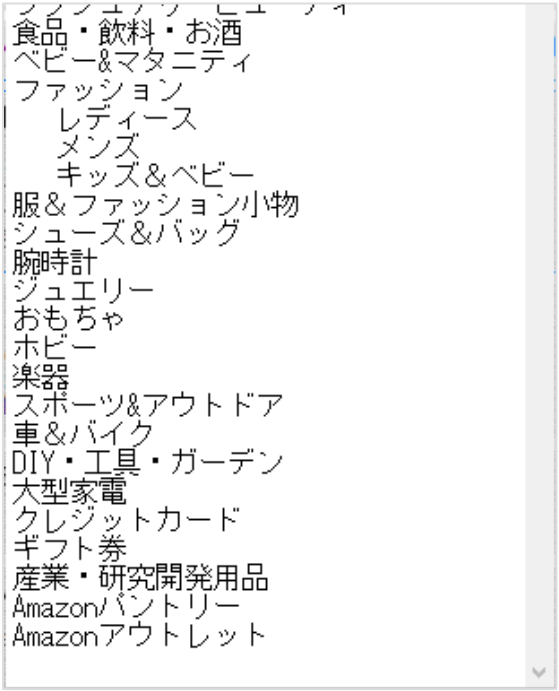
シナリオ例（ページ操作＞HTML 文字列抽出・ドロップダウン全項目取得）：

Amazon ページの検索フォームのドロップダウンから全項目を取得し、メモ帳に入力するシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

シナリオ例（ページ操作＞HTML 文字列抽出・ドロップダウン全項目取得）の実行結果：

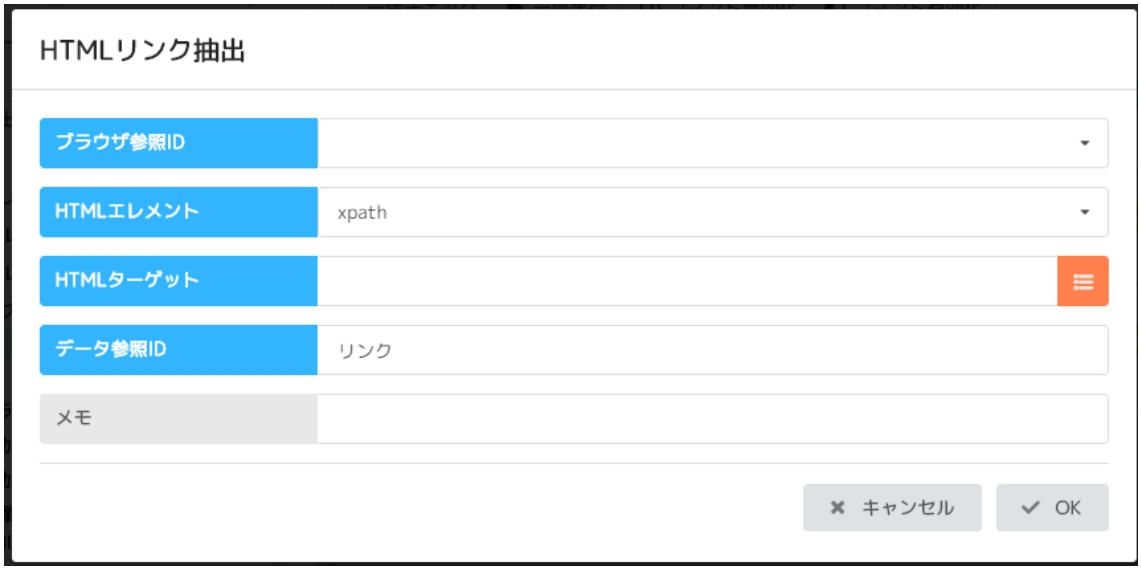




Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.16. ページ操作 ＞ HTML リンク抽出

ブラウザにて、指定したエレメントのリンク（URL）を抽出するコマンド。抽出したリンクはデータ参照 ID に記憶される。



名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
データ参照 ID	取得した文字列を記憶するデータ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ページ操作＞HTML リンク抽出）：

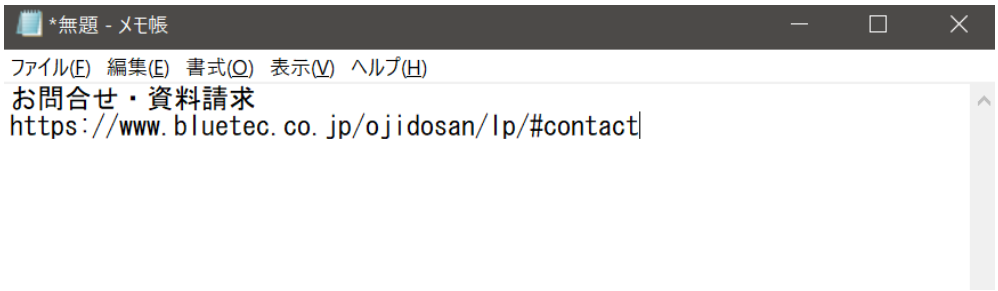
おじどうさん公式ホームページのメニュー「お問合せ・資料請求」の文字列とリンクを取得して、メモ帳に入力するシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

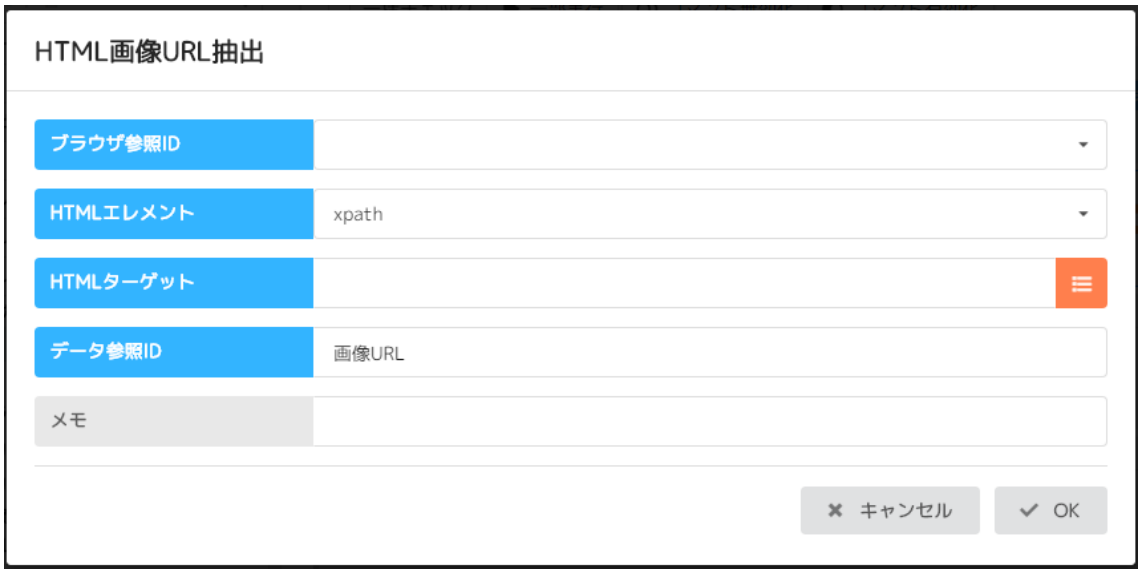
シナリオ例（ページ操作＞HTML リンク抽出）の実行結果：

「お問合せ・資料請求」の文字列とリンクがメモ帳に記載された。



6.12.17. ページ操作 ＞ HTML 画像 URL 抽出

ブラウザにて、指定したエレメントの画像 URL を抽出するコマンド。抽出した画像 URL はデータ参照 ID に記憶される。



名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
データ参照 ID	取得した文字列を記憶するデータ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

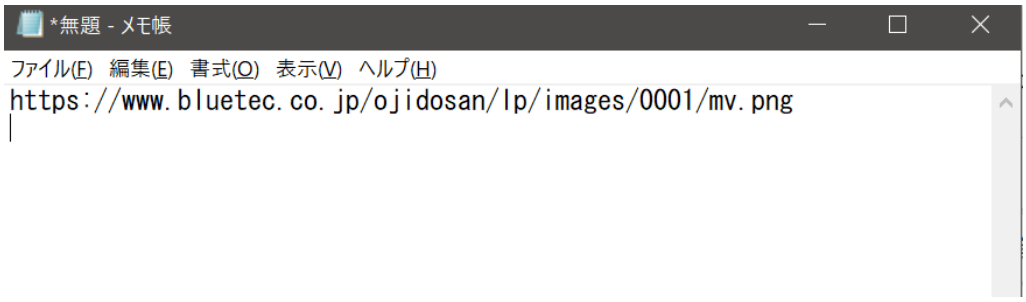
シナリオ例（ページ操作＞HTML 画像 URL 抽出）：

おじどうさん公式ホームページから「トップ画面」の画像 URL を取得して、メモ帳に入力するシナリオ。

※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

シナリオ例（ページ操作＞HTML 画像 URL 抽出）の実行結果：

「トップ画面」の画像 URL がメモ帳に記載された。

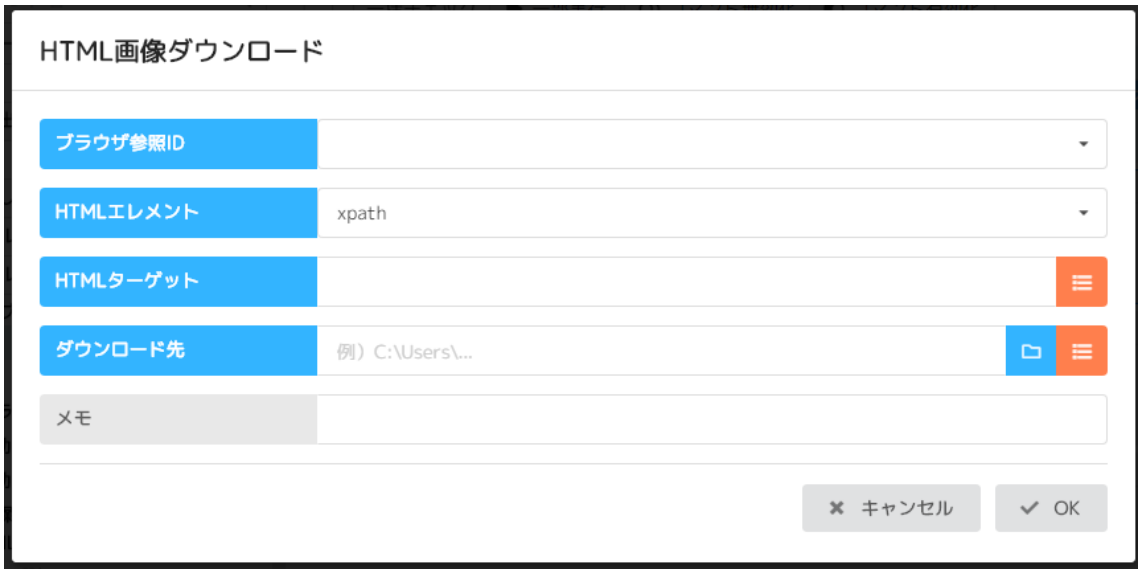


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.18. ページ操作 ＞ HTML 画像ダウンロード

ブラウザにて、指定したエレメントの画像をダウンロードするコマンド。画像は指定のダウンロード先に保存される。

※ダウンロード先に同じ名前のファイルがある場合は上書きされる。



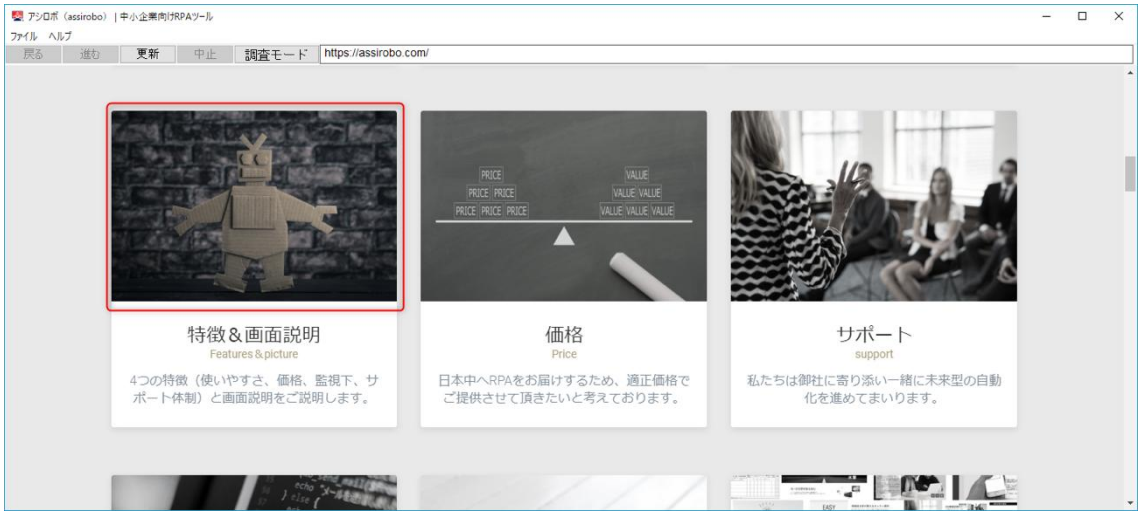
名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
ダウンロード先	画像を保存する場所を指定する。

シナリオ例（ページ操作＞HTML 画像ダウンロード）：

おじどうさん公式ホームページから「特徴＆画像説明」の画像をダウンロードするシナリオ。

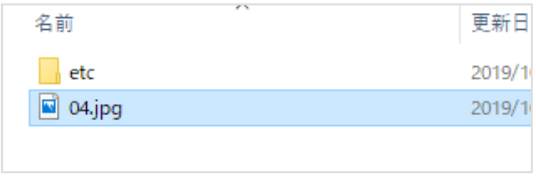
※例のような HTML ターゲットの xpath を取得する方法は、後述の 7. おじどうさんに記載しています。

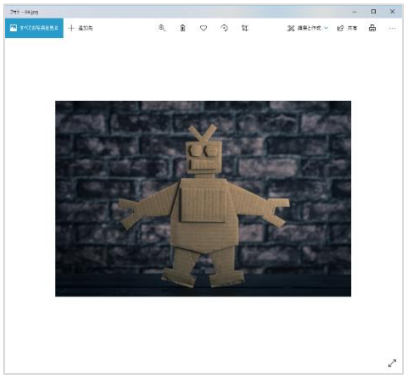
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



シナリオ例（ページ操作＞HTML 画像ダウンロード）の実行結果：

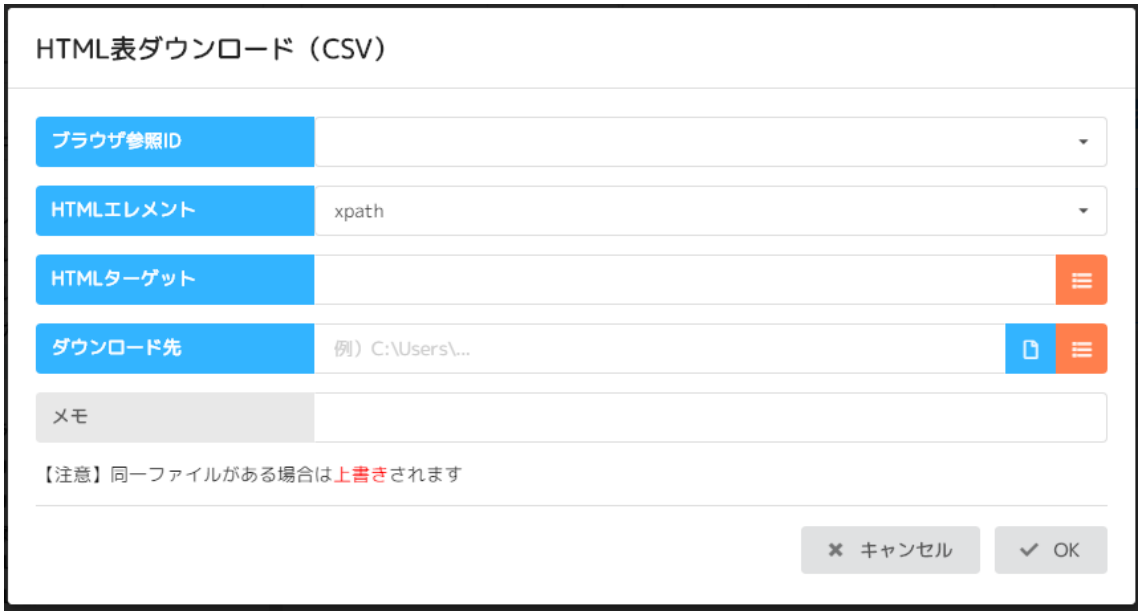
「特徴＆画像説明」の画像がダウンロードフォルダに保存された。





6.12.19. ページ操作 ＞ HTML 表ダウンロード（CSV）

Web ページ内の表を取得し、CSV ファイルとしてダウンロードするコマンド。



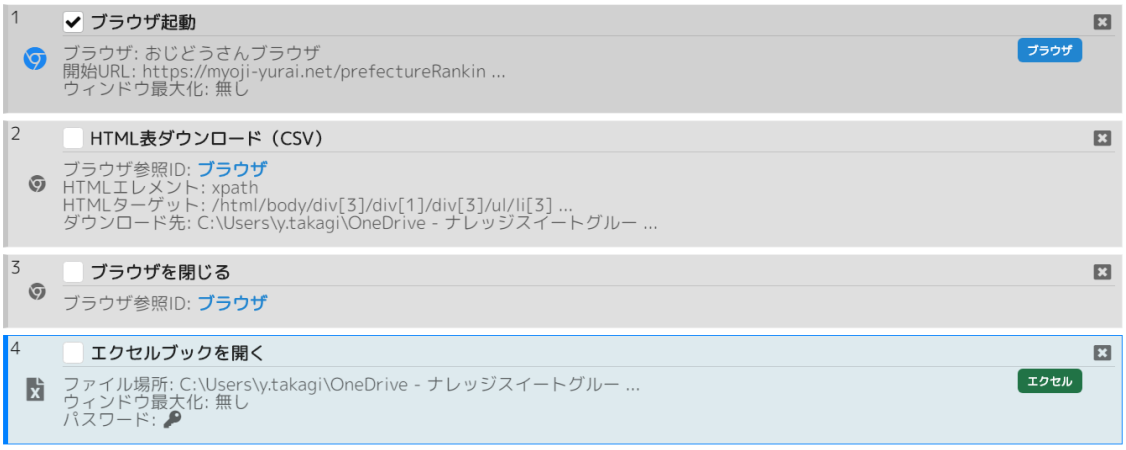
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する ※エレメントのタグが table, th, tr, td のいずれかであること
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
ダウンロード先	CSV ファイルを指定する ※既存の CSV ファイルを指定した場合は「上書き」されます

※新規ファイルとしてダウンロードする場合は、ファイル選択ウィンドウで保存先フォルダを開いた状態から、ファイル名フォームに新規ファイル名を入力することを推奨します。

シナリオ例（ページ操作 ＞HTML 表ダウンロード（CSV））：

全国名字ランキング（https://myoji-yurai.net/prefectureRanking.htm）20 位までの表を test.csv としてダウンロードするシナリオ。



シナリオ例（ページ操作 ＞HTML 表ダウンロード（CSV））の実行結果：

	A	B	C	D
1	順位	名字	人数	
2	1位	佐藤	およそ1,871,000人	
3	2位	鈴木	およそ1,797,000人	
4	3位	高橋	およそ1,411,000人	
5	4位	田中	およそ1,335,000人	
6	5位	伊藤	およそ1,074,000人	
7	6位	渡辺	およそ1,063,000人	
8	7位	山本	およそ1,050,000人	
9	8位	中村	およそ1,044,000人	
10	9位	小林	およそ1,028,000人	
11	10位	加藤	およそ887,000人	
12	11位	吉田	およそ829,000人	
13	12位	山田	およそ814,000人	
14	13位	佐々木	およそ673,000人	
15	14位	山口	およそ643,000人	
16	15位	松本	およそ627,000人	
17	16位	井上	およそ614,000人	
18	17位	木村	およそ576,000人	
19	18位	林	およそ545,000人	
20	19位	斎藤	およそ542,000人	
21	20位	清水	およそ532,000人	

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

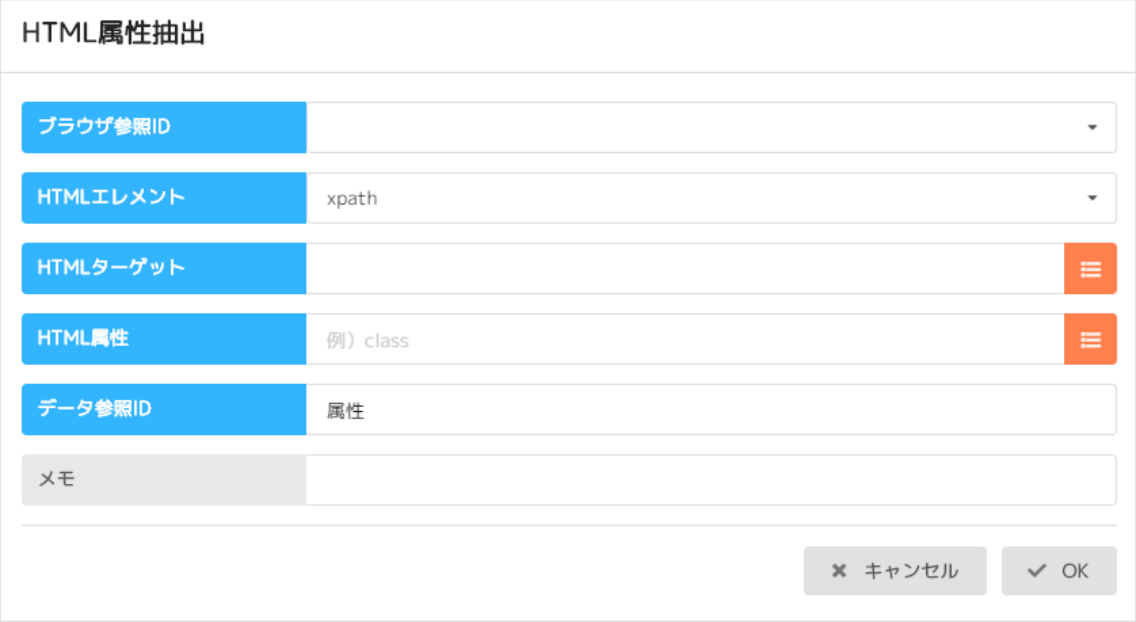
6.12.20. ページ操作 ＞ HTML 属性抽出

Web ページから HTML 属性の値を抽出する。

例を以下に示す。本コマンドでは下記表の「属性値」を取得する。

☆☆☆☆☆

	HTML 属性	属性値
1	class	Fam1ne EBe2gf
2	aria-label	5 点中 5.0 点の評価、
3	role	Img
4	style	width:70px



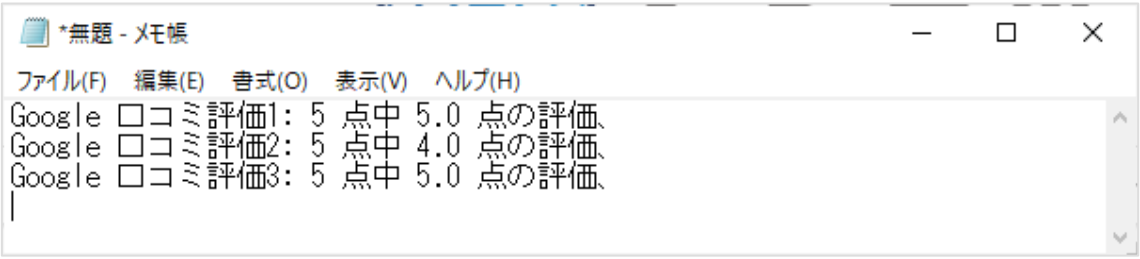
名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
HTML 属性	抽出する HTML 属性を入力する
データ参照 ID	取得した文字列を記憶するデータ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ページ操作 ＞HTML 属性抽出）：

横浜ランドマークタワーの Google 口コミ評価をメモ帳に入力する。

シナリオ例（ページ操作 ＞HTML 属性抽出）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.21. ページ操作 ＞ HTML ポップアップクリック

ブラウザに表示されたポップアップのボタンをクリックするコマンド。

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
ポップアップボタン	クリックしたいボタンを選択する

※注意点

・ファイル操作時のダイアログは対象外です。

・調査モードで選択できるポップアップは操作の対象外です

※シナリオ例は直下の 6.11.21. HTML ポップアップ内容抽出に記載する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.22. ページ操作 ＞ HTML ポップアップ内容抽出

ブラウザに表示されたポップアップの内容を抽出するコマンド。

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する
データ参照 ID	取得した文字を記憶するデータ参照 ID を定義する

※注意点

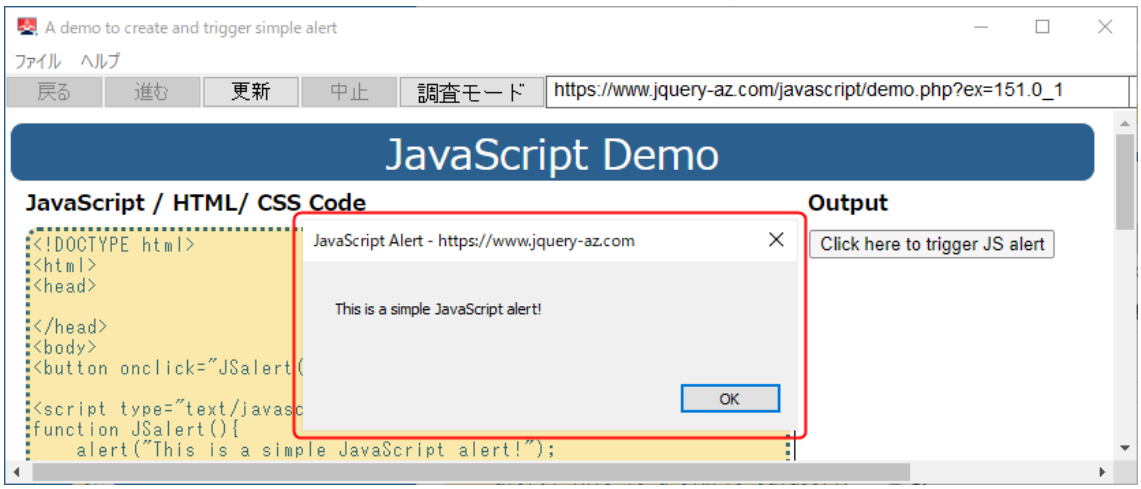
・ファイル操作時のダイアログは対象外です。

・調査モードで選択できるポップアップは操作の対象外です

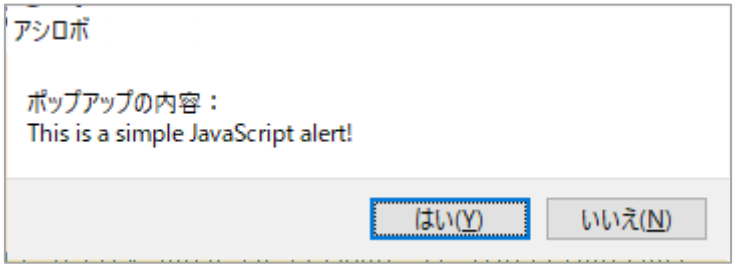
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ページ操作＞HTML ポップアップクリック、HTML ポップアップ内容抽出）：

ポップアップの文字を抽出して閉じるシナリオ。



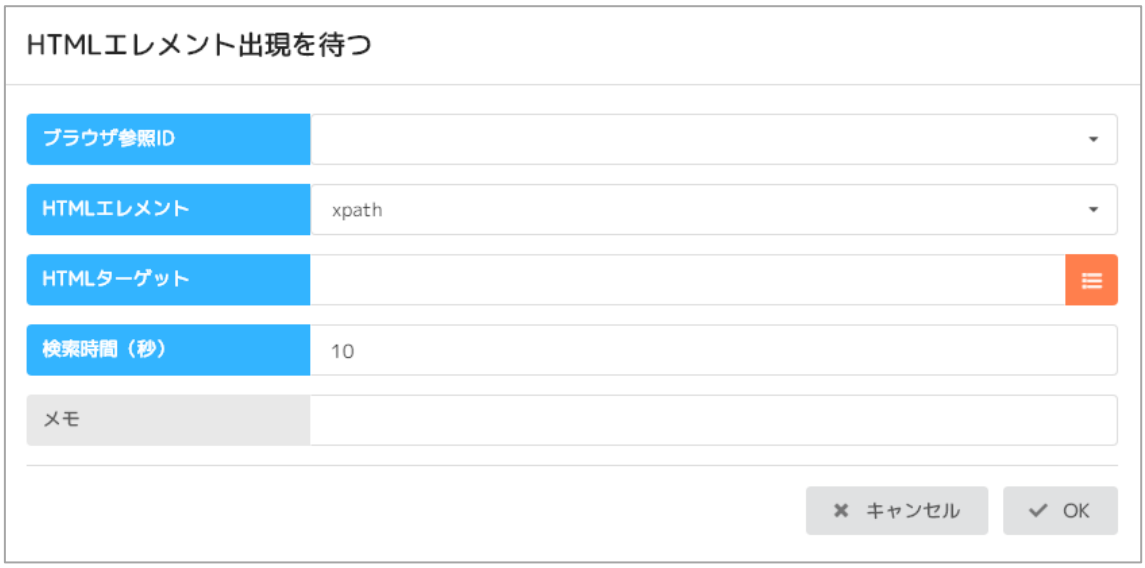
シナリオ例の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.23. ページ操作 ＞ HTML エレメント出現を待つ

ブラウザ上のエレメント（ボタンや画像等）の出現を待つコマンド。エレメントが出現したかそうで無いかで処理を分けることができる。



名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義されたブラウザ参照 ID を指定する
HTML エレメント	HTML エレメントを指定する
HTML ターゲット	指定したエレメントの値を入力する
検索時間（秒）	検索時間を指定する。最大検索時間は 3600 秒。エレメントが出現した場合は検索時間の経過を待たずに次の処理を実行する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

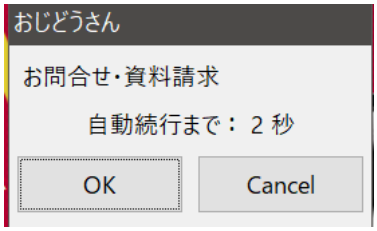
シナリオ例（ページ操作＞HTML エレメント出現を待つ）：

https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/　から存在するエレメント（ボタン「お問合せ・資料請求」）の出現を待ち、その結果を表示するシナリオ。

シナリオ例（ページ操作＞HTML エレメント出現を待つ）の実行結果：

ボタン「お問合せ・資料請求」の出現を検知したときは文字「お問合せ・資料請求」を抽出し、エレメントが出現しなかった場合は「HTML エレメントがありません。」と表示した。

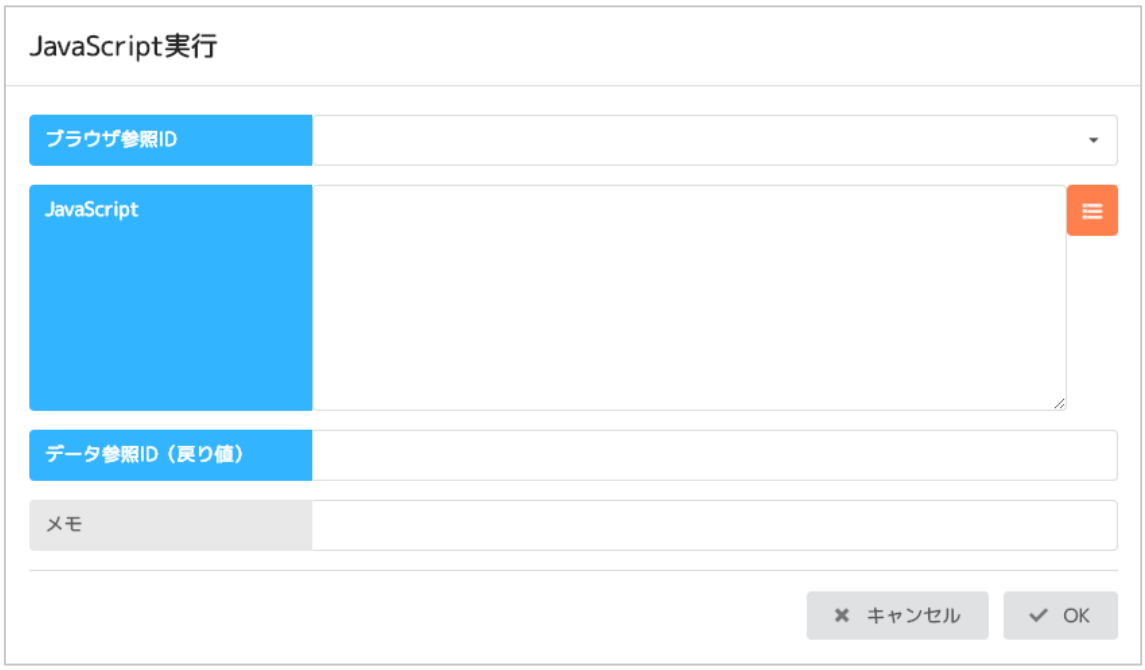
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



6.12.24. ページ操作 ＞ JavaScript 実行

※本コマンドは技術者向けです。

Web ページに対して JavaScript を実行し、その結果（戻り値）をデータ参照 ID に記憶するコマンド。

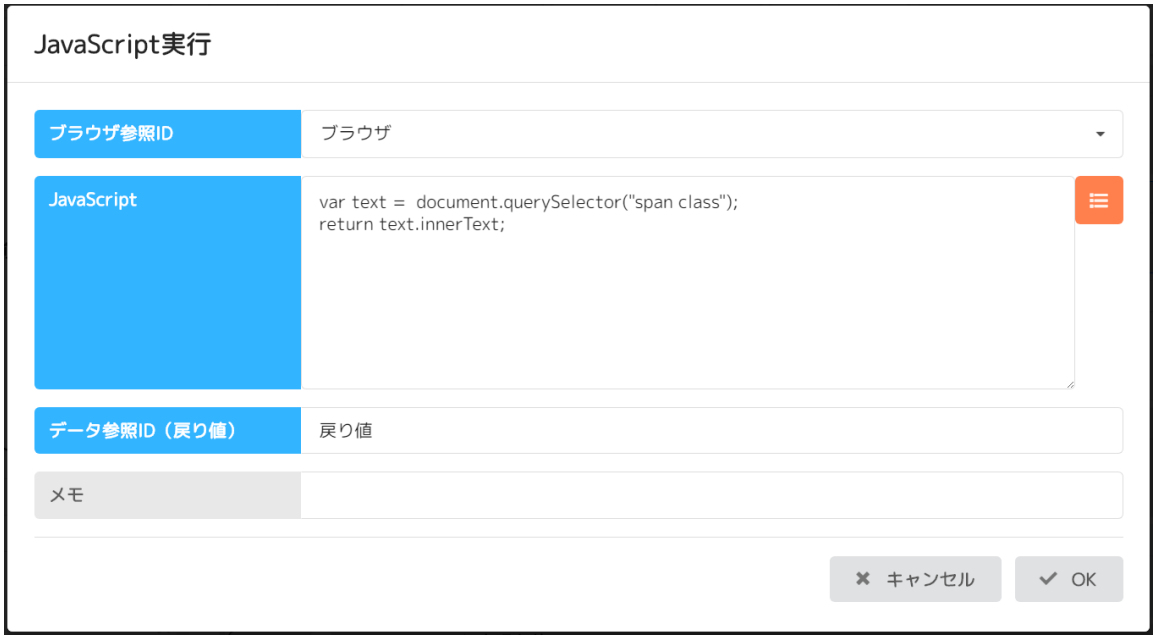


名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する。
JavaScript	実行したい JavaScript を入力する。
データ参照 ID（戻り値）	JavaScript 実行結果（戻り値）を記憶する、 データ参照 ID を定義する。

シナリオ例（ページ操作＞JavaScript 実行）：

おじどうさんの公式ページ（https://www.bluetec.co.jp/ojidosan/lp/）に対して、セレクタが「span class」である HTML タグによってレンダリングされた文字を取得し、その内容をメモ帳に入力する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



シナリオ例（ページ操作＞JavaScript 実行）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

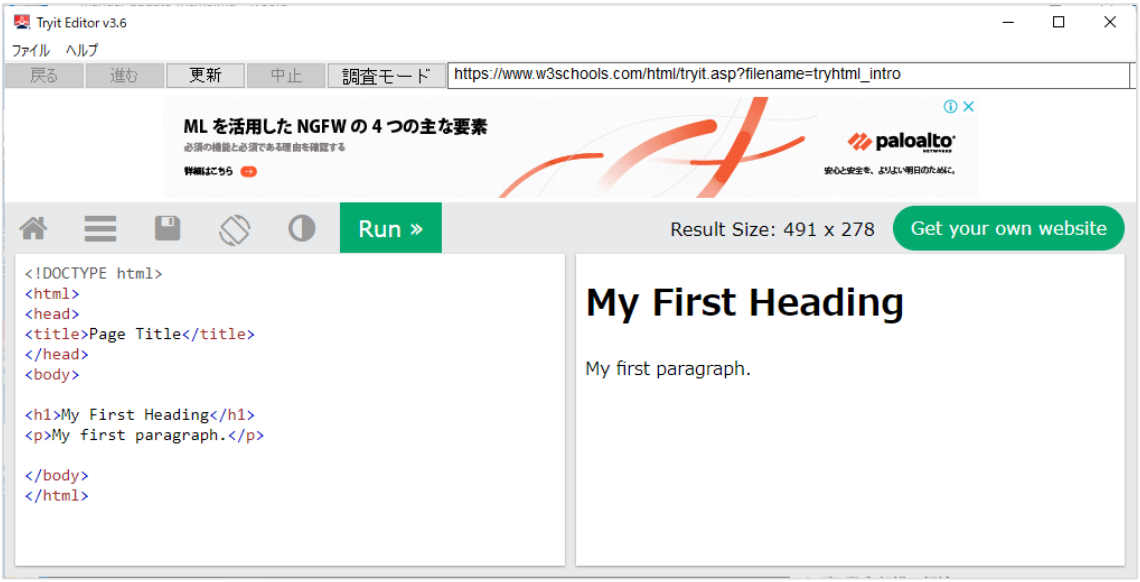
6.12.25. IFrame 移動 ＞ IFrame に入る

Web ページ内に埋め込まれた別の Web ページ(IFrame)にアクセスするコマンド。

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する。
IFrame エレメント	IFrame エレメントを指定する。
IFrame ターゲット	操作したい IFrame エレメントの値を指定する。

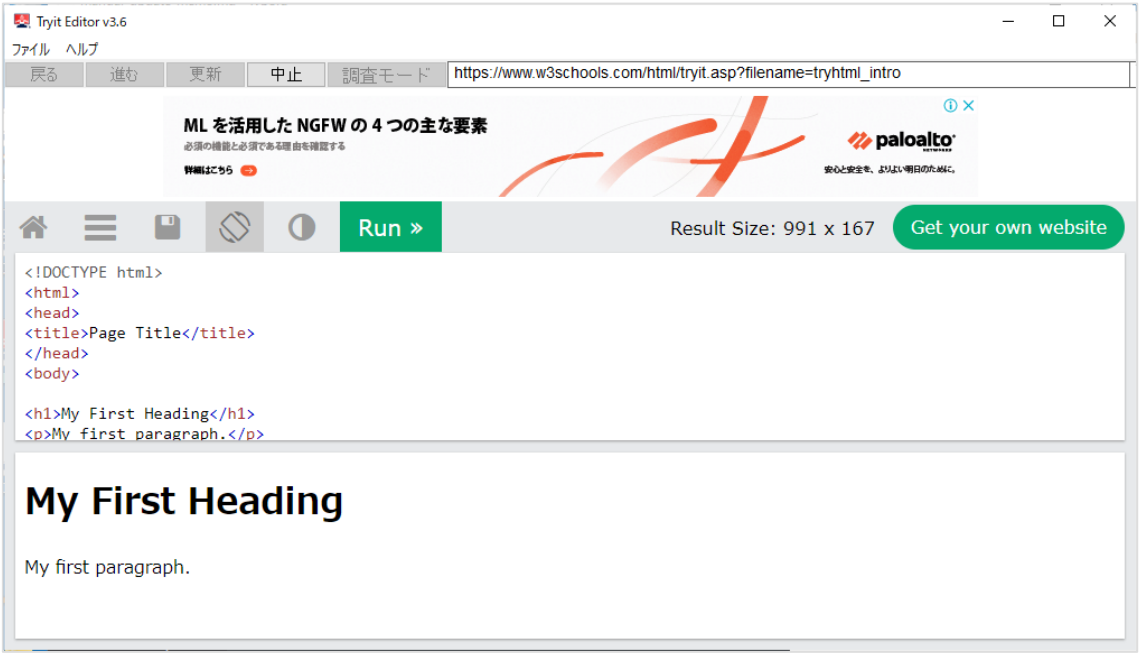
シナリオ例（IFrame 移動＞IFrame に入る、IFrame 移動＞IFrame から出る）：

IFrame 内の文字をメモ帳に転記するシナリオ。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（IFrame 移動＞IFrame に入る、IFrame 移動＞IFrame から出る）の実行結果：
　メモ帳に IFrame 内の文字を転記した。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.12.26. IFrame 移動 ＞ IFrame から出る

IFrame から出て、ページ操作対象を Web ページ全体に戻すコマンド。

名称	内容
ブラウザ参照 ID	定義したブラウザ参照 ID を指定する

シナリオ例は前項の 6.11.12. IFrame 移動 ＞ IFrame に入るを参照せよ。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.13. メール

6.13.1. 送信

　メールを送信するコマンド。
※メール設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。
※下記は設定例です。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
送信サーバ	送信サーバを指定する
ポート	ポートを指定する
通信セキュリティ	通信セキュリティを指定する
送信者アカウント	送信アドレスを指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1.　パスワード無し 2.　直接入力 3.　パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される 送信ユーザのパスワードを指定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
送信者名	送信者名のメールアドレスを指定する 日本語名の表記方法：　氏名 <メールアドレス>
宛先アドレス（To）	宛先 To のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス（CC）	宛先 CC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス（BCC）	宛先 BCC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
件名	件名を入力する
本文	本文を入力する
添付ファイル	添付ファイルを指定する
ファイルが存在しない場合	送信：　ファイルが無くても送信する エラー終了：　ファイルが無かったらエラーで終了する

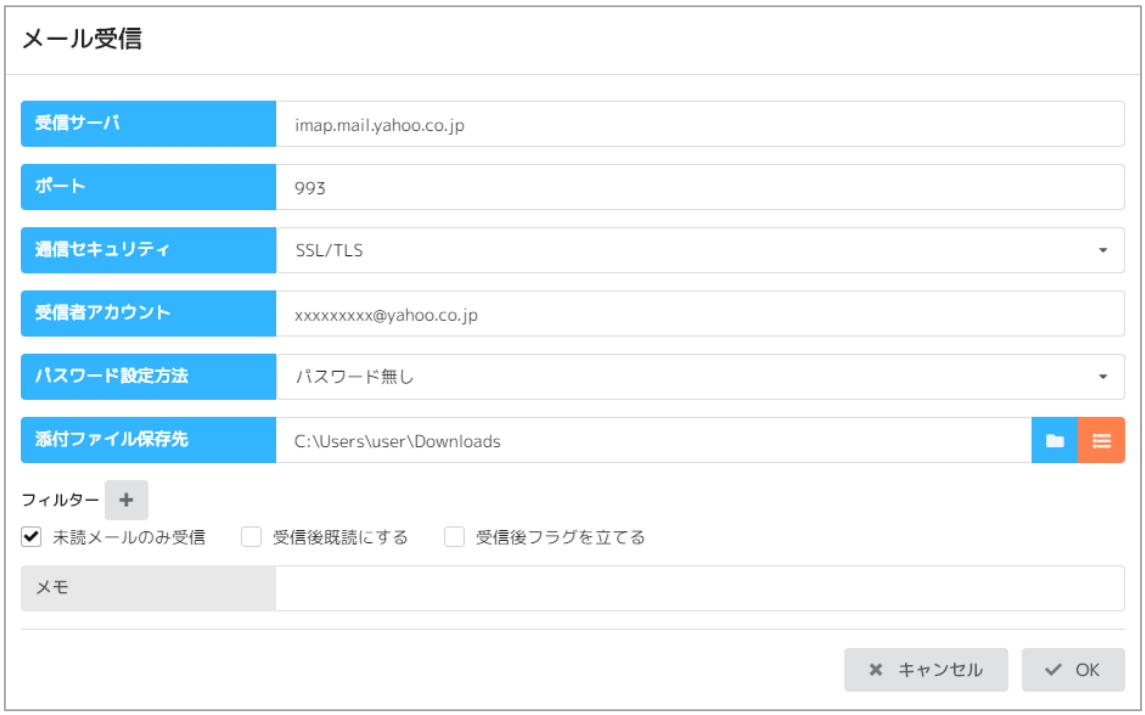
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.13.2. 受信

受信したメール一通一通に処理を行うコマンド。受信メールが複数ある場合は受信日時が過去のものから順にループ処理を行う。

※メール設定についてはシステム管理者にお問い合わせください。

※Yahoo!Japan メール利用時の一般的な設定は下図のようになります。



名称	内容
受信サーバ	受信サーバを指定する ※POP 未対応
ポート	ポートを指定する
通信セキュリティ	通信セキュリティを指定する
受信者アカウント	受信アドレスを指定する
パスワード設定方法	パスワード設定の方法を指定する。以下の設定方法から選択できる。 1. パスワード無し 2. 直接入力 3. パスワード参照 ID から
パスワード	直接入力を選択すると表示される

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

	認証の際に必要なパスワードを設定する
パスワード参照 ID	パスワード参照 ID からを選択すると表示される パスワードを記憶しているパスワード参照 ID をここで指定する
添付ファイル保存先	添付ファイル保存先を指定する
フィルター	メール受信時のフィルター条件を設定する 【注意点】 ・フィルターにフォルダ名が設定されていない場合、INBOX フォルダーのみを検索する
未読メールのみ受信	チェックすると未読メールのみ受信する
受信後既読にする	チェックすると受信メールに既読の処理をする
受信後フラグを立てる	チェックすると受信メールにフラグを立てる

メールの送信者や件名等の情報はメール受信コマンド内のデータ参照 ID に格納される（下図）。

シナリオ例（メール受信）：

未読メールの本文をメモ帳に入力するシナリオ。

下記フィルター条件

- 「Sent Messages」内のメール
- 件名に「test」を含む

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（メール受信）の実行結果：

メモ帳に対象メール 2 通の本文が記載された。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.13.3. 送信（Gmail）

Gmail を送信する。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

名称	内容
Gmail アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Gmail アカウントを入力する
宛先アドレス（To）	宛先 To のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス（CC）	宛先 CC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス（BCC）	宛先 BCC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
件名	件名を入力する
本文	本文を入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
添付ファイル	添付ファイルを指定する
ファイルが存在しない場合	送信：　ファイルが無くても送信する エラー終了：　ファイルが無かったらエラーで終了する

6.13.4. 受信（Gmail）

Gmail を受信する。受信メールが複数ある場合は受信日時が新しいのものから順にループ処理を行う。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。
※Gmail の仕様変更により本コマンドの挙動が変わる可能性がございます。

名称	内容
Gmail アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Gmail アカウントを入力する
添付ファイル保存先	添付ファイル保存先を指定する
フィルター	メール受信時のフィルター条件を設定する 【注意点】 ・フィルターにフォルダ名が設定されていない場合、全フォルダを検索する ・全角スペースが含まれるフォルダはフィルターで指定できない ・サブフォルダをフィルター対象にする場合、下記のような書き方をする必要がある 　文字列：　親フォルダ名/子フォルダ名
未読メールのみ受信	チェックすると未読メールのみ受信する
受信後既読にする	チェックすると受信メールに既読の処理をする

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

受信後フラグを立てる	チェックすると受信メールにフラグを立てる
添付ファイルの種類	ダウンロードする添付ファイルの種類をチェックする

メールの送信者や件名等の情報は本コマンド内のデータ参照 ID に格納される（下図）。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.13.5. 送信（Microsoft）

Microsoft Mail(Microsoft Outlook, Microsoft Exchange)を送信する。本コマンドを利用するには OAuth2 アカウント登録が必要である。

名称	内容
Microsoft アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Microsoft アカウントを入力する
宛先アドレス（To）	宛先 To のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス（CC）	宛先 CC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
宛先アドレス（BCC）	宛先 BCC のメールアドレスを指定する ※複数送信時はカンマ(,)区切り
件名	件名を入力する
本文	本文を入力する
添付ファイル	添付ファイルを指定する
ファイルが 存在しない場合	送信：　ファイルが無くても送信する エラー終了：　ファイルが無かったらエラーで終了する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.13.6. 受信（Microsoft）

Microsoft Mail(Microsoft Outlook, Microsoft Exchange)を受信する。受信メールが複数ある場合は受信日時が新しいのものから順にループ処理を行う。本コマンドを利用するにはOAuth2 アカウント登録が必要である。
※Microsoft Mail の仕様変更により本コマンドの挙動が変わる可能性がございます。

名称	内容
Microsoft アカウント	OAuth2 アカウント登録済みの Microsoft アカウントを入力する
添付ファイル保存先	添付ファイル保存先を指定する
フィルター	メール受信時のフィルター条件を設定する 【注意点】 ・フィルターにフォルダ名が設定されていない場合、全フォルダーを検索する
未読メールのみ受信	チェックすると未読メールのみ受信する
受信後既読にする	チェックすると受信メールに既読の処理をする
受信後フラグを立てる	チェックすると受信メールにフラグを立てる

メールの送信者や件名等の情報は本コマンド内のデータ参照 ID に格納される（下図）。

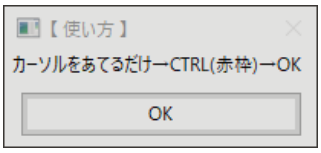
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.14. 特殊アプリ操作

特殊アプリ操作とは、ウィンドウズアプリを操作する事に特化したコマンド。アプリ内の様々な UI 要素（ボタン、メニュー項目、ラジオボタン等）を、座標や形状関係なく認識し、操作できるのが特徴。UIAutomation という技術を使って実現している。

特殊アプリ操作のコマンドを含んだシナリオを構築する際には、おじどうさんの「UI キャプチャー」機能を利用する。UI キャプチャー機能とは、操作したいアプリの UI 要素にマウスカーソルをあてる事で、その UI 要素を簡易的に記憶する機能である。特殊アプリ操作の全てのコマンド設定画面に、UI キャプチャーを開始するボタンが搭載されている。ボタンは、下記の形状をしている。

ボタンを押すと、下記の UI キャプチャーウィンドウが立ち上がり、UI キャプチャーモードに移行する。



UI キャプチャーモードでは、マウスと「CTRL」キーのみを利用する。マウスカーソルを操作対象の UI 要素にあてて CTRL キーを押すと、マウスカーソル直下の UI 要素に赤い枠が表示される。赤い枠が表示されれば、その UI 要素が記憶された合図である。この状態で UI キャプチャーウィンドウの「OK」ボタンを押すと設定完了となり、特殊アプリ操作コマンドの各設定項目に対して、UI 要素の識別データが自動的に書き込まれる。

例として、マイクロソフトワードの「デザイン」タブ項目にマウスをあて、CTRL を押したものが下記画像である。この状態で上記画像の UI ウィンドウにて OK ボタンを押すと、「デザイン」の UI 要素設定を自動で行い、コマンドにてクリック等をする事が可能になる。

特殊アプリ操作コマンドは Win32、WinForms、WPF、Metro などのフレームワークで開発されたウィンドウズアプリを操作する事を得意とするが、それ以外のアプリも操作可能の場合がある。しかし、本機能と相性が悪いアプリも存在するため、本コマンドが利用できるかの判断については、実際にコマンド設定を行い動作するか試す必要がある。

UI キャプチャーモードでは UI 要素 5 つの詳細情報を自動取得する。「操作対象」、「フレームワーク ID」、「クラス名」、「AutomationID」、「名称／ラベル」が対象である。

「操作対象」とは、UI 要素の種類である。「ボタン」や「メニュー項目」など例で、現在 40 種類ある。UIAutomation では、コントロールタイプと同じものである。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

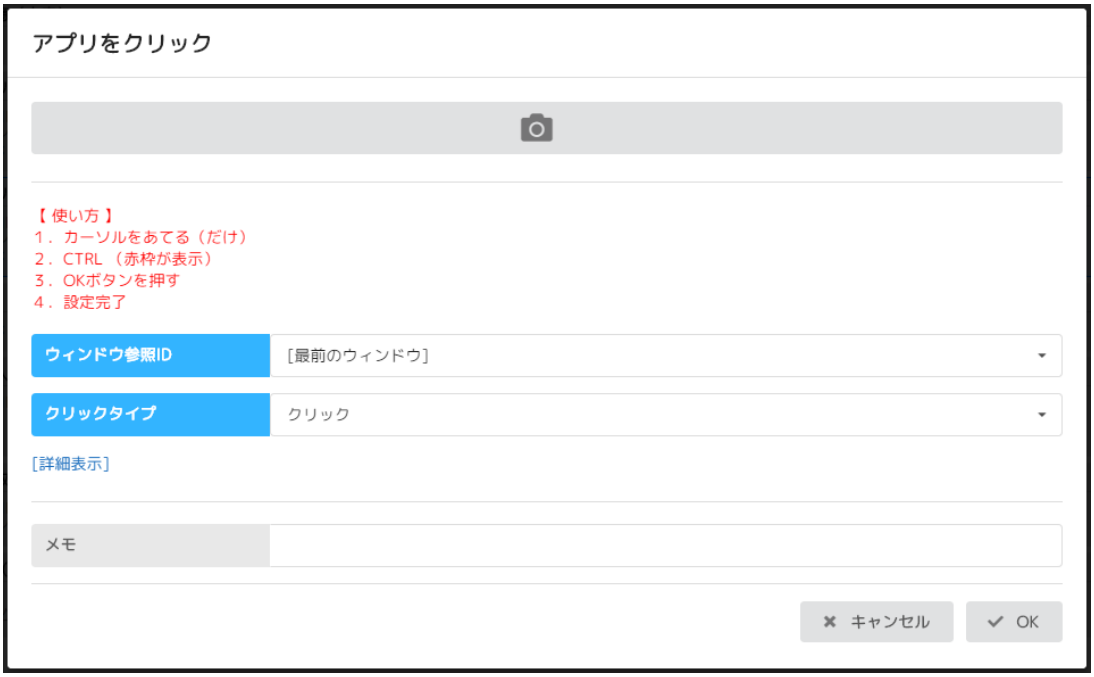
「フレームワーク ID」とは、その UI 要素が生成されたフレームワークの名称を指す。
「クラス名」とは、操作対象のアプリ内においてのその UI 要素の種類である。
「AutomationID」とは、その UI 要素の識別子である。
「名称／ラベル」とは、その UI 要素に表示されているラベルの文言などである。
上記項目については UI キャプチャー時に自動設定されるため、シナリオを簡単に組むことができる。これらの設定を手動で設定することもできるが、自動設定することができるため、初期状態では非表示としている。

6.14.1. クリック

指定のアプリウィンドウの UI 要素をクリックするコマンド。ウィンドウはウィンドウ参照 ID から選ぶ。クリックの種類は、「クリック」と「マウス移動」を含んだクリックを選べる。「クリック」に対応している操作対象は以下の通り。

ボタン	チェックボックス	コンボボックス
データ項目	ヘッダーアイテム	ハイパーリンク
リスト項目	メニュー項目	ラジオボタン
セマンティックズーム	スプリットボタン	タブアイテム
ツリーアイテム		

上記以外の項目に対して、「クリック」が効かない場合、「マウス移動＋クリック」を行うと動作する場合がある。
クリック対象の設定は、「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。ウィンドウ参照 ID 以外に、[最前のウィンドウ]、もしくは[全てのウィンドウ]を選択可能。
クリックタイプ	クリックの種類を選択する。種類は以下のとおり。 １．クリック ２．マウス移動＋シングルクリック ３．マウス移動＋ダブルクリック ４．マウス移動＋トリプルクリック ５．マウス移動＋右クリック
[詳細表示] の項目	
操作対象	クリック対象の UI 要素の種類を 40 種類から選ぶ。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
フレームワーク ID	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
クラス名	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
識別子の種類	種類は以下のとおり。 １．名称／ラベル ２．AutomationID ３．なし シナリオを実行する時に、AutomationID または 名称／ラベルの探索を設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
名称／ラベル	識別子の種類で「名称／ラベル」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
AutomationID	識別子の種類で「AutomationID」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
何番目	シナリオを実行する時に、似た UI 要素が複数あった場合、 何番目の要素に対してクリックするかを設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（クリック）：

電卓で「1」「+」「2」「=」のボタンを操作する。

シナリオ例（クリック）の実行結果：

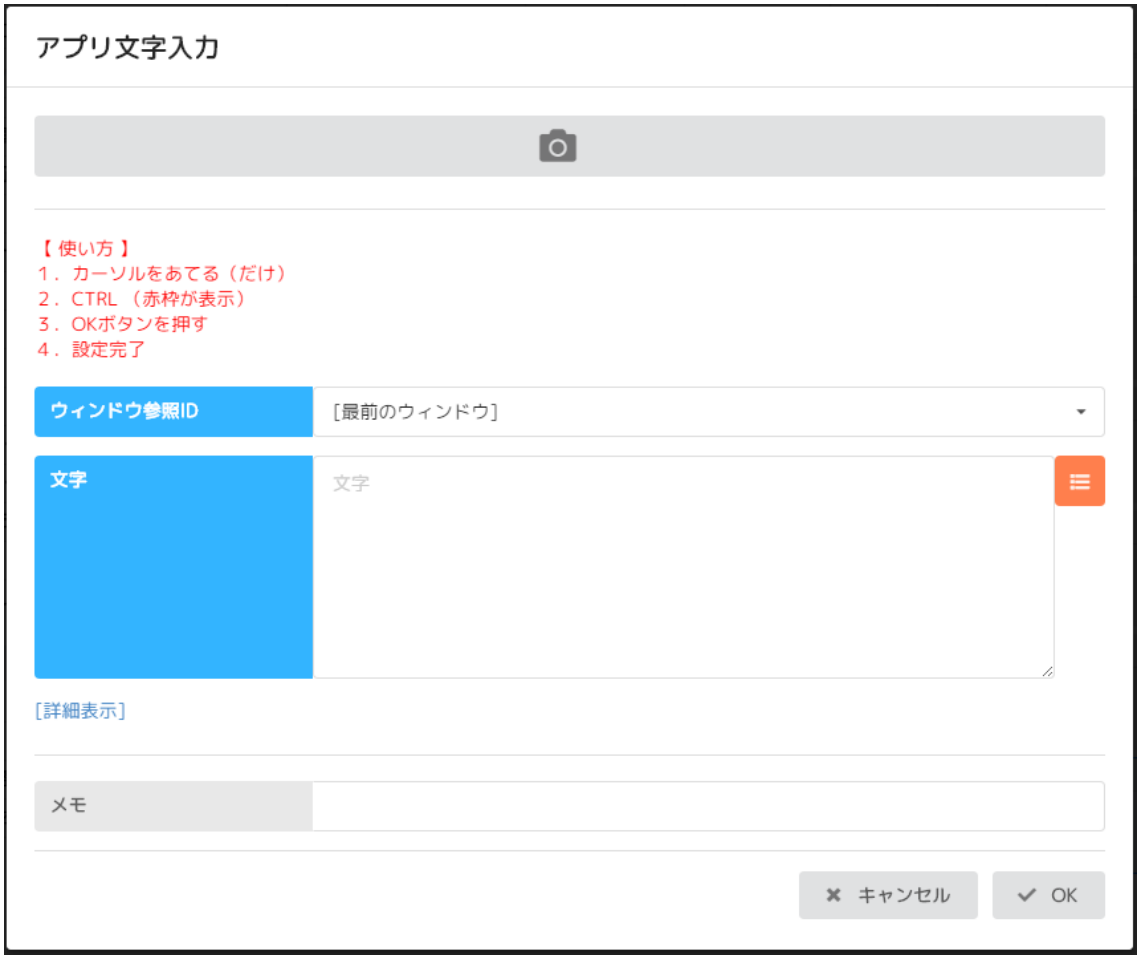
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.14.2. 文字入力

指定のアプリの UI 要素に文字入力するコマンド。ウィンドウはウィンドウ参照 ID から選ぶ。文字入力に対応している操作対象は以下の通り：

- ドキュメント
- 編集

文字入力対象の設定は、「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。



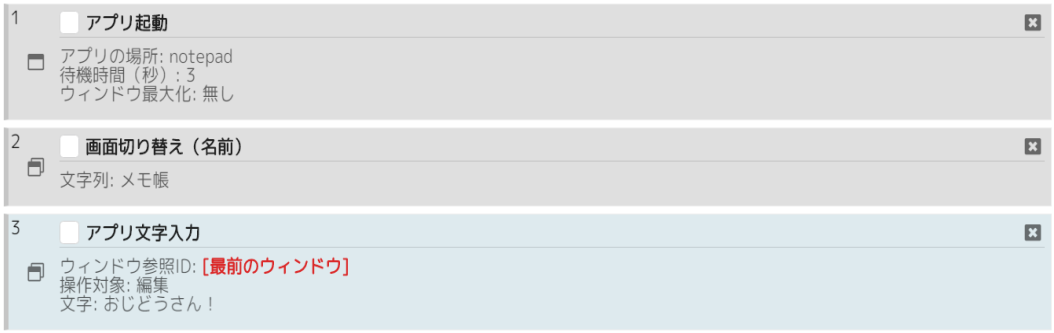
名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。 ウィンドウ参照 ID 以外に、[最前のウィンドウ]、もしくは[全てのウィンドウ]を選択可能。
文字	UI 要素に対して入力する文字を設定する。
[詳細設定] の項目	
操作対象	文字入力対象の UI 要素の種類を 40 種類から選ぶ。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
フレームワーク ID	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

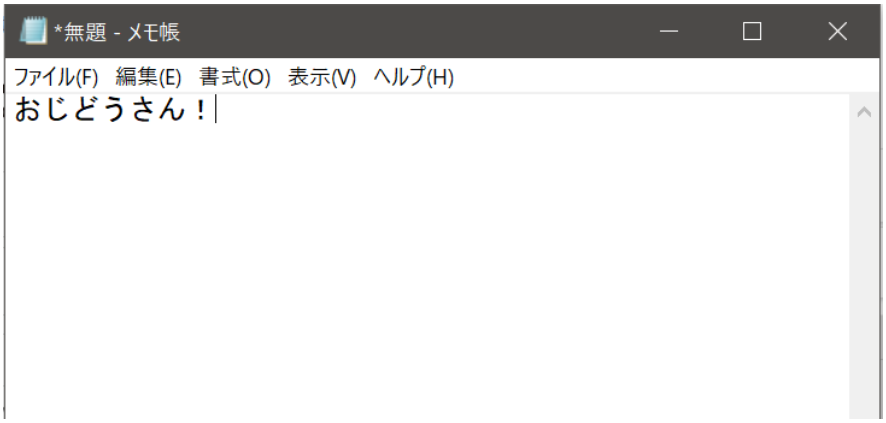
クラス名	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
識別子の種類	種類は以下のとおり。 １．名称／ラベル ２．AutomationID ３．なし シナリオを実行する時に、AutomationID または 名称／ラベルの探索を設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
名称／ラベル	識別子の種類で「名称／ラベル」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
AutomationID	識別子の種類で「AutomationID」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
何番目	シナリオを実行する時に似た UI 要素が複数あった場合、 何番目の要素に対して文字入力するかを設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

シナリオ例（文字入力）：

メモ帳に「おじどうさん！」と文字入力する。



シナリオ例（文字入力）の実行結果：



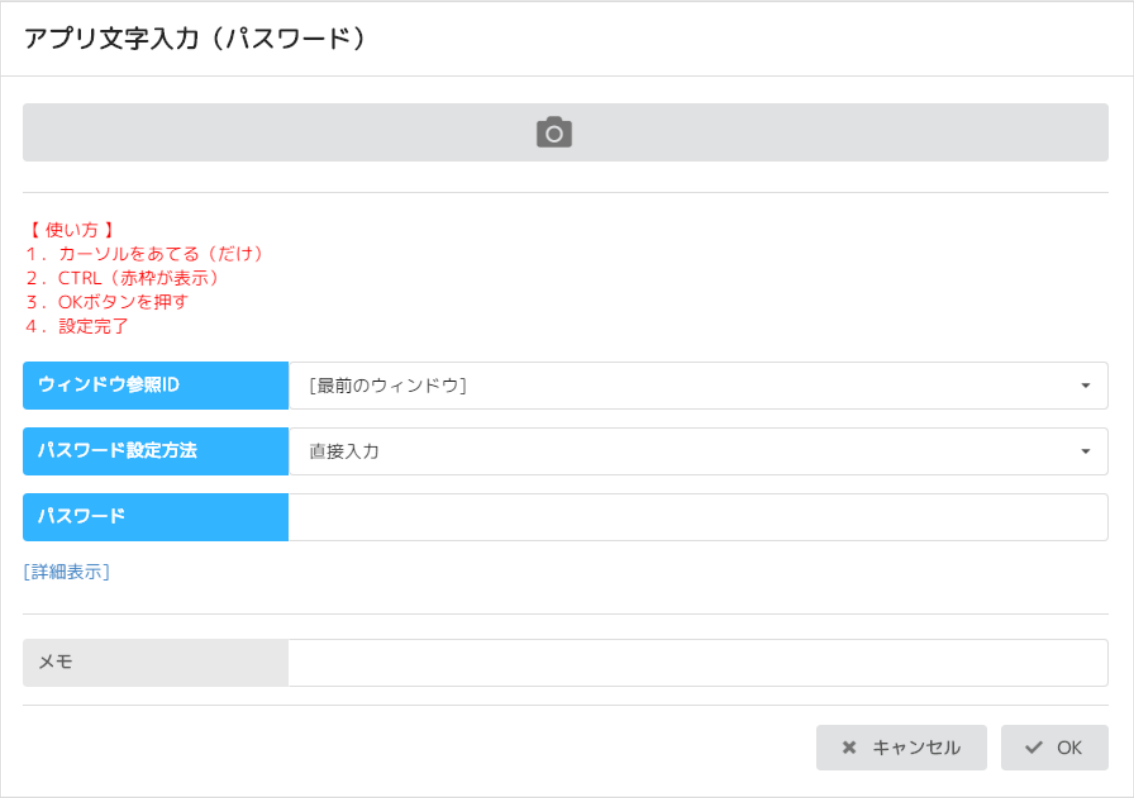
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.14.3. 文字入力（パスワード）

指定のアプリの UI 要素にパスワードを入力するコマンド。ウィンドウはウィンドウ参照 ID から選ぶ。文字入力に対応している操作対象は以下の通り：

- ドキュメント
- 編集

文字入力対象の設定は、「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。



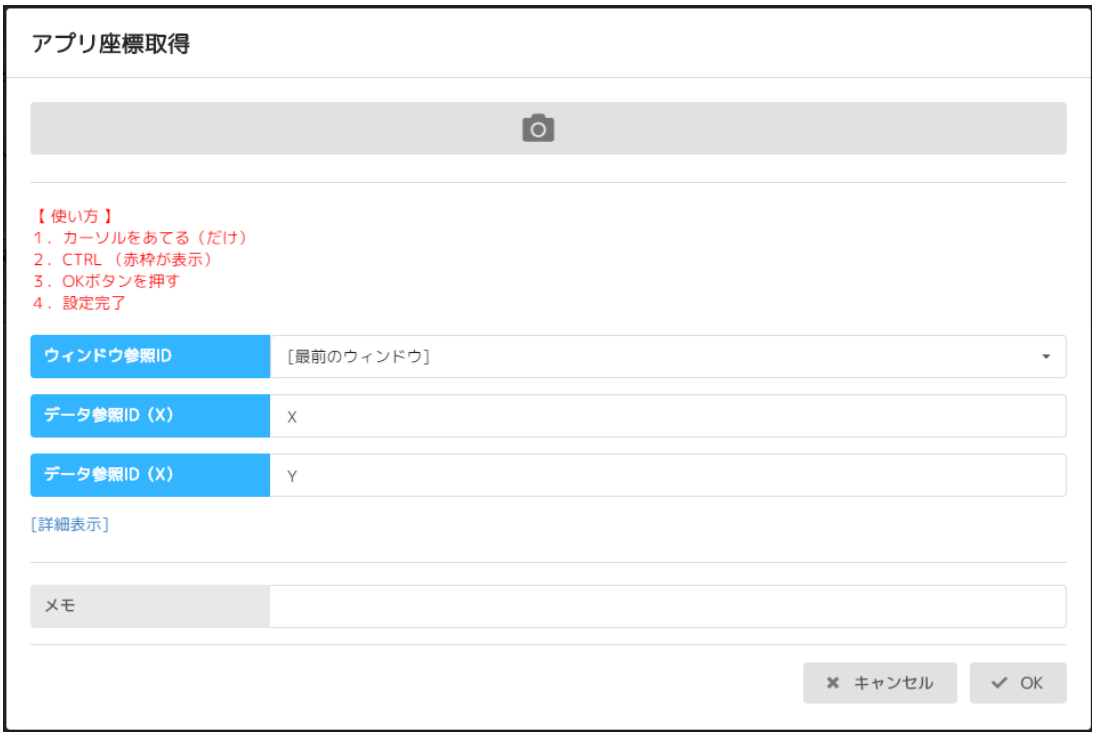
名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。ウィンドウ参照 ID 以外に、[最前のウィンドウ]、[全てのウィンドウ]を選択可能。
パスワード設定方法	パスワードを入力する方法を設定する。 [直接入力]、[パスワード参照 ID から]が選択可能。
パスワード	パスワード設定方法が[直接入力]のときに表示される。 UI 要素に対して入力するパスワードを設定する。 このフォームに入力した文字はマスキングされる。
パスワード参照 ID	パスワード設定方法が[パスワード参照 ID から]のときに表示される。 UI 要素に対して入力するパスワード参照 ID を選択する。
[詳細設定] の項目	
※アプリ文字入力コマンドと同じ項目内容であるため詳細割愛	

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.14.4. 座標取得

指定のアプリの UI 要素の画面上の座標（X 軸と Y 軸）を記憶するコマンド。ウィンドウはウィンドウ参照 ID から選ぶ。ほとんどの UI 要素に対して座標を取得できる。座標はそれぞれ、データ参照 ID に記憶される。

座標取得対象の設定は、「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。



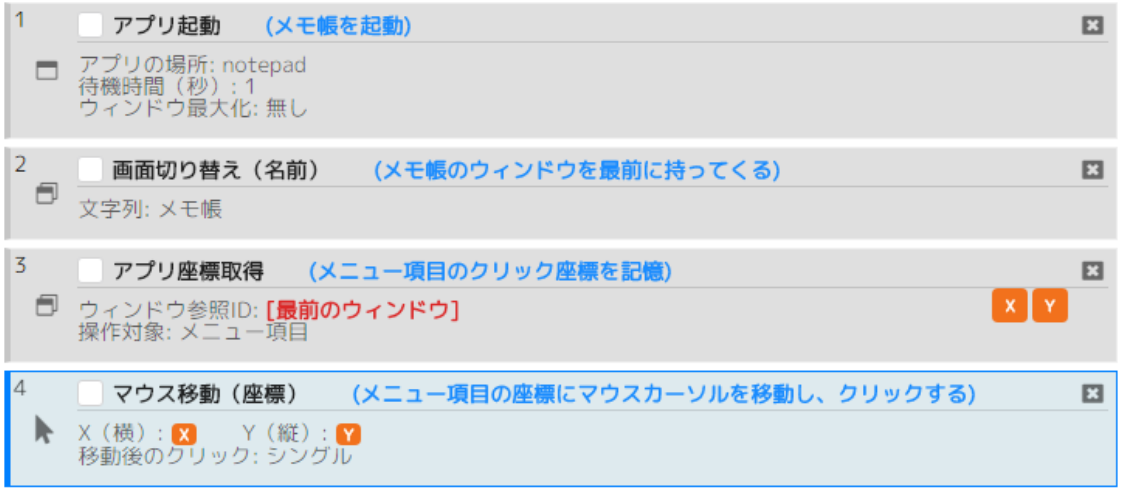
名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。ウィンドウ参照 ID 以外に、[最前のウィンドウ]、もしくは[全てのウィンドウ]を選択可能。
データ参照 ID（X）	取得した座標の X 軸を記憶するデータ参照 ID を定義する
データ参照 ID（Y）	取得した座標の Y 軸を記憶するデータ参照 ID を定義する
[詳細設定] の項目	
操作対象	座標取得対象の UI 要素の種類を 40 種類から選ぶ。UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
フレームワーク ID	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
クラス名	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
識別子の種類	種類は以下のとおり。 1．名称／ラベル 2．AutomationID 3．なし シナリオを実行する時に、AutomationID または

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

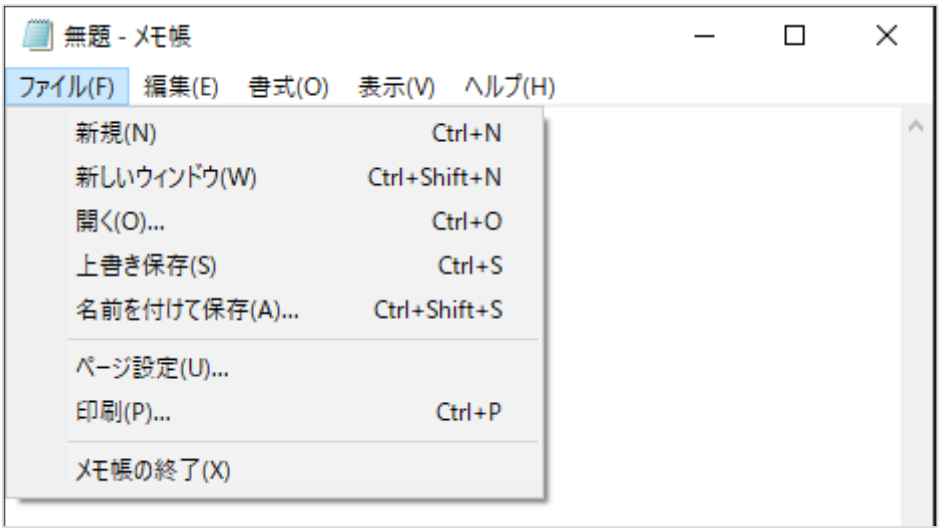
	名称／ラベルの探索を設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
名称／ラベル	識別子の種類で「名称／ラベル」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
AutomationID	識別子の種類で「AutomationID」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
何番目	シナリオを実行する時に、似た UI 要素が複数あった場合、 何番目の要素の座標を取得するかを設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

シナリオ例（座標取得）：

メモ帳の「ファイルメニュー」の座標を記憶し、そこにマウスを移動し、クリックする。



シナリオ例（座標取得）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.14.5. 文字取得

指定アプリの UI 要素の文字を取得するコマンド。文字はデータ参照 ID に記憶される。

文字取得対象の設定は「詳細表示」から設定できる。この詳細設定で表示される項目は UI キャプチャーモードから自動的に取得できる。

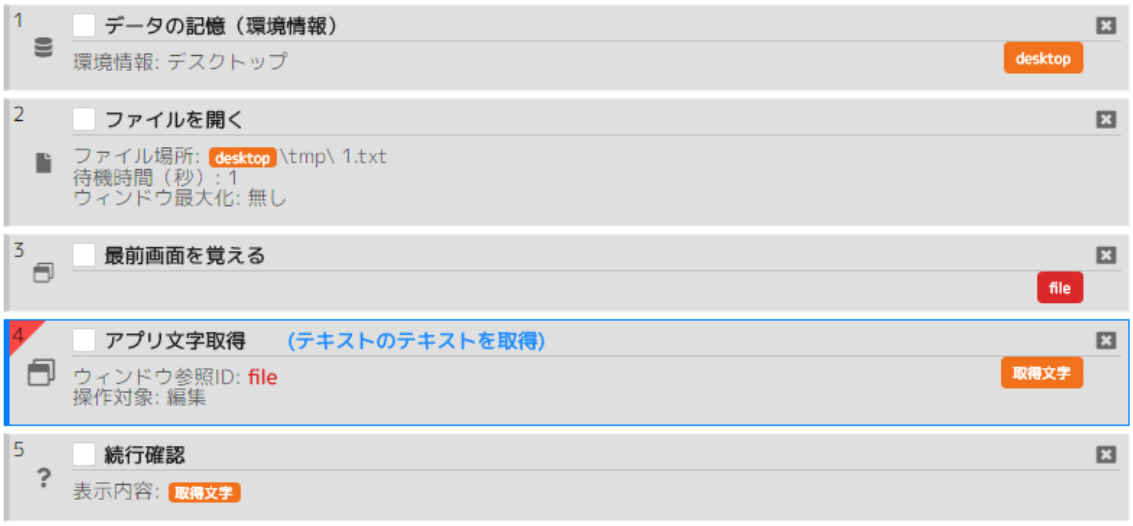
名称	内容
ウィンドウ参照 ID	定義したウィンドウ参照 ID を設定する。 ウィンドウ参照 ID 以外に、[最前のウィンドウ]、もしくは[全てのウィンドウ]を選択可能。
データ参照 ID	取得した文字を記憶するデータ参照 ID を定義する。
[詳細表示] の項目	
操作対象	座標取得対象の UI 要素の種類を 40 種類から選ぶ。UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
フレームワーク ID	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
クラス名	UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
識別子の種類	種類は以下のとおり。 1．名称／ラベル 2．AutomationID 3．なし シナリオを実行する時に、AutomationID または 名称／ラベルの探索を設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

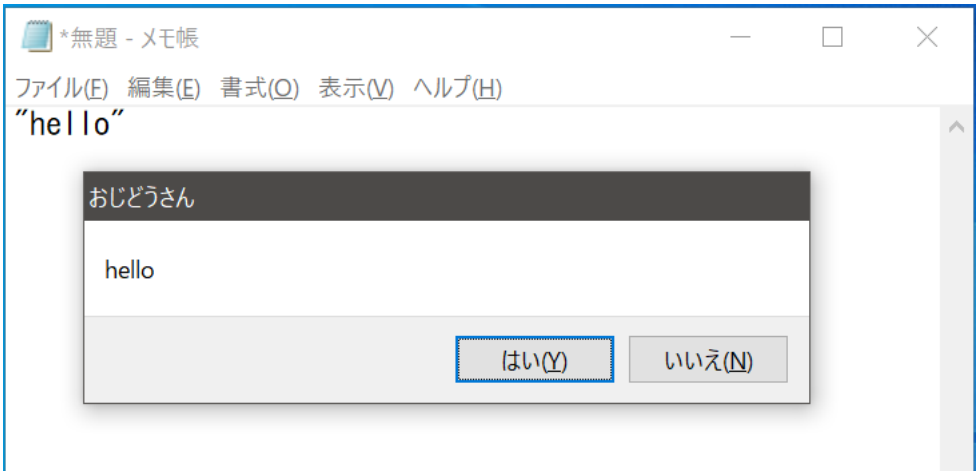
名称／ラベル	識別子の種類で「名称／ラベル」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
AutomationID	識別子の種類で「AutomationID」を選択すると表示される。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。
何番目	シナリオを実行する時に、似た UI 要素が複数あった場合、 何番目の要素の座標を取得するかを設定する。 UI キャプチャーモードから自動的に設定される。

シナリオ例（文字取得）：

メモ帳内の文字を取得するシナリオ。メモ帳には「"hello"」が入力されている。



シナリオ例（文字取得）の実行結果：



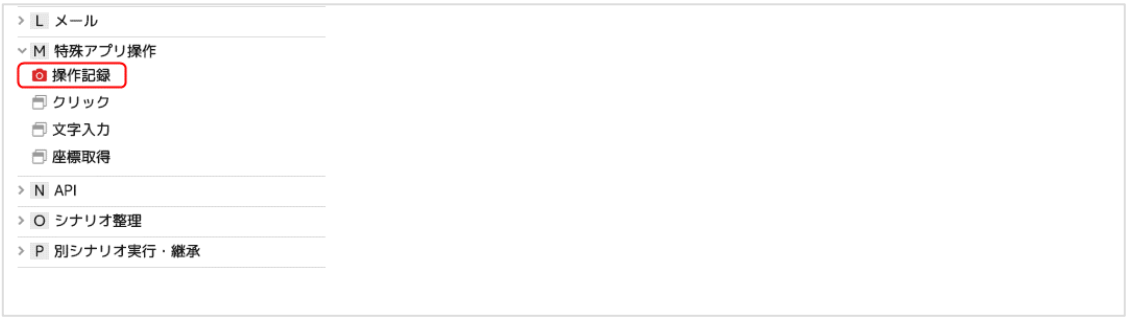
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

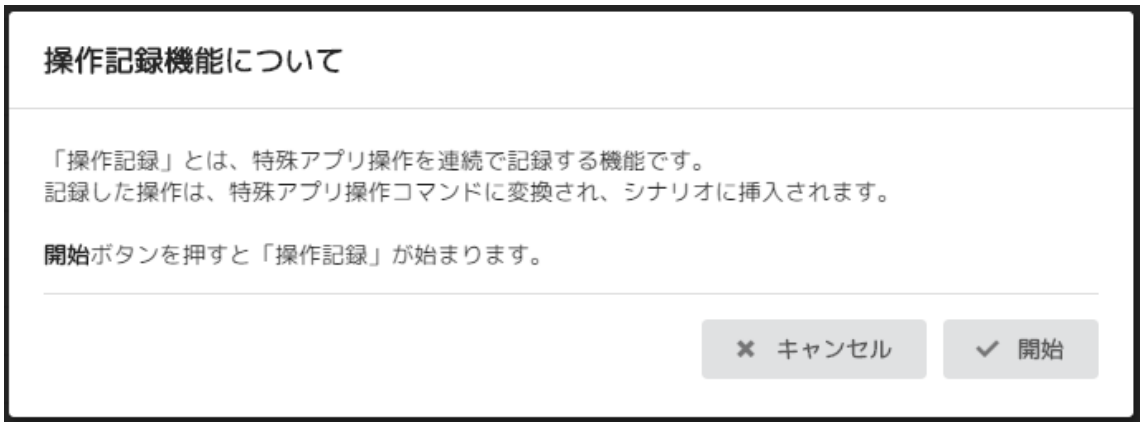
6.14.6. 操作記録

操作記録とは、おじどうさんがユーザの特殊アプリ操作を連続で記録し、記録した操作からシナリオを部分的に自動生成してくれる便利機能である。現在おじどうさんが記録できる操作の種類は、6.13.1 の特殊アプリ「クリック」、6.13.2 の特殊アプリ「文字入力」、そして 6.1.4 の「ウィンドウ切り替え（名前）」である。

操作記録画面の起動方法

特殊アプリ操作メニューの赤い「操作記録」ボタンをクリックすると、操作記録の説明画面が起動する。



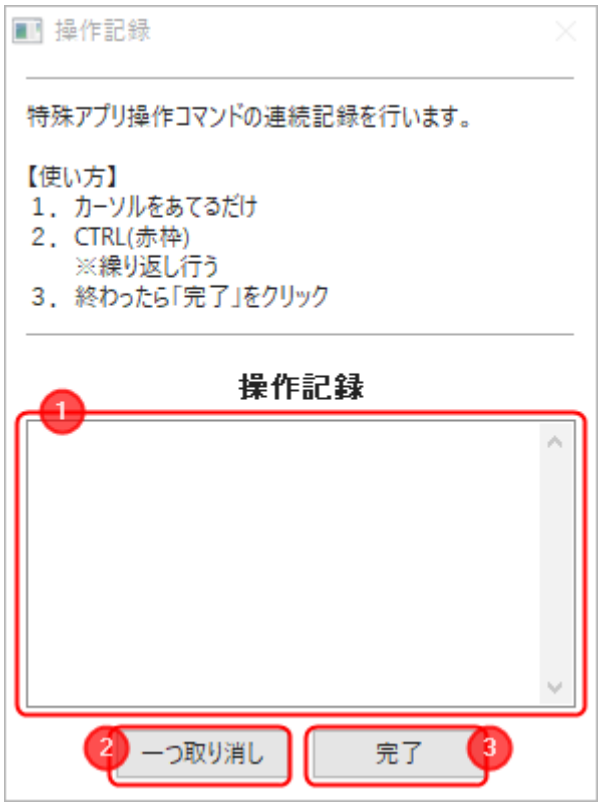


説明画面の「開始」ボタンを押すと、操作記録画面が起動する。操作記録画面が表示されると同時に、おじどうさんの編集画面は自動的に閉じ、おじどうさんはユーザの操作を連続記録する体勢に入る。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

操作記録の画面説明

以下が操作記録画面である。この画面が表示されている間は、おじどうさんはユーザの操作を記録する体勢にある。この画面には、主に三つの要素がある。①操作記録のテキストボックス、②「一つ取り消し」ボタン、そして③「完了」ボタンである。



操作記録テキストボックス

①の操作記録テキストボックスには、おじどうさんが記録したユーザの操作が追記表示される。例えば、ユーザがアプリのボタンをクリックする操作を記録すれば、このテキストボックスには「ボタンをクリック」という文字が追記される。

「一つ取り消し」ボタン

②の「一つ取り消し」ボタンとは、ユーザが間違った操作を記録してしまった時のためのボタンである。例えば、ユーザがアプリのボタンをクリックする操作を記録したが、それが誤操作だった場合、「一つ取り消し」ボタンをクリックする事でその記録が取り消される。取り消されると同時に、その誤動作は①の操作記録テキストボックスに表示されなくなる。

「完了」ボタン

③の「完了」ボタンをクリックすると操作記録画面は消え、おじどうさんの編集画面に戻る。編集画面に戻ると同時に、記録された操作が全ておじどうさんの RPA コマンドに変換され、シナリオに自動的に追加される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

操作の記録の仕方

操作記録の仕方は、6.13.1 や 6.13.2 などの特殊アプリ操作系コマンドの使い方に似ている。記録できる操作の種類は、6.13.1 の特殊アプリ「クリック」、6.13.2 の特殊アプリ「文字入力」、そして 6.1.4 の「ウィンドウ切り替え（名前）」である。ダブルクリックや右クリックは現在記録対象外である。

シングルクリック操作の記録の仕方

シングルクリック操作をおじどうさんに記録させる手順は以下の通りである：

1）クリック対象にマウスをあてる

2）実際にクリックせず、キーボードの「CTRL」キーを押す

「CTRL」キーを押すと、クリック対象に赤い枠が表示される。赤い枠が表示されれば、無事クリック操作が記録された合図である。操作記録テキストボックスにも、クリック操作が表示される。

例えば、ウィンドウズ OS に標準搭載されている「電卓」プログラムに、「2」「+」「2」「=」ボタンを連続でクリックする操作をおじどうさんに記録させるためには、以下の手順を実践する：

1）電卓の「2」ボタンにマウスをあてる。

2）「CTRL」キーを押し、「2」ボタンに赤い枠が表示されるのを確認する。

3）電卓の「+」ボタンにマウスをあてる。

4）「CTRL」キーを押し、「+」ボタンに赤い枠が表示されるのを確認する。

5）電卓の「2」ボタンにマウスをあてる。

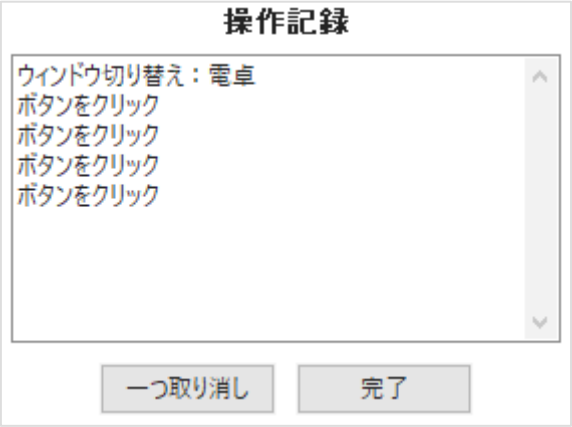
6）「CTRL」キーを押し、「2」ボタンに赤い枠が表示されるのを確認する。

7）電卓の「=」ボタンにマウスをあてる。

8）「CTRL」キーを押し、「=」ボタンに赤い枠が表示されるのを確認する。

9）操作記録画面の「完了」ボタンを押す。

上記の手順を実践すると、操作記録画面は以下のようになる。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

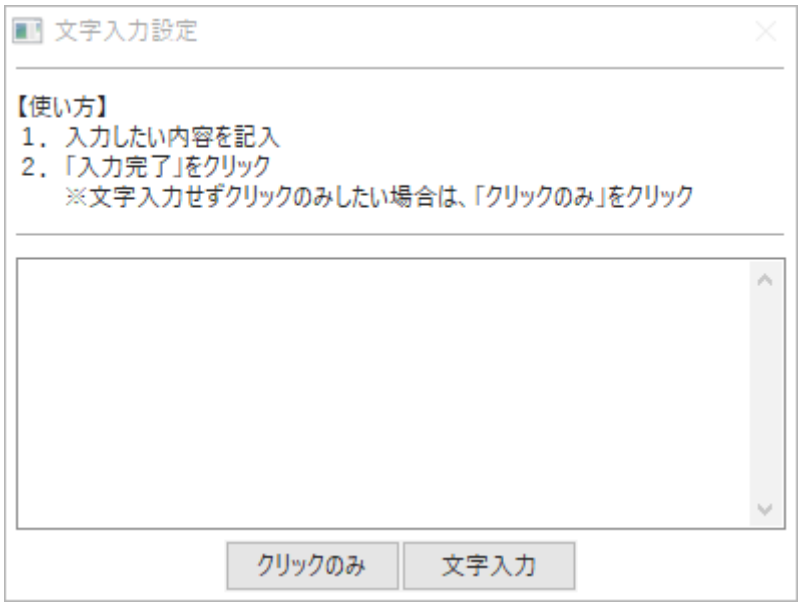
上記の手順でおじどうさんが自動生成するシナリオは以下のように見える。

<u>文字入力操作の記録の仕方</u>

文字入力操作を記録する手順は以下の通りである：

1）文字入力対象にマウスをあてる。

2）「CTRL」キーを押す。文字入力可能であれば、以下の文字入力画面が表示される：



3）上記の文字入力画面が表示されたら、その文字入力画面に、入力したい文字を入力する。

4）文字入力画面の「文字入力」ボタンを押す。（文字入力せずにクリックのみをしたい場合は、「クリックのみ」ボタンを押す。）

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

例えば、ウィンドウズ OS に標準搭載されている「メモ帳」プログラムに、「おじどうさん」という文字を入力する操作をおじどうさんに記録させるためには、以下の手順を実践する：

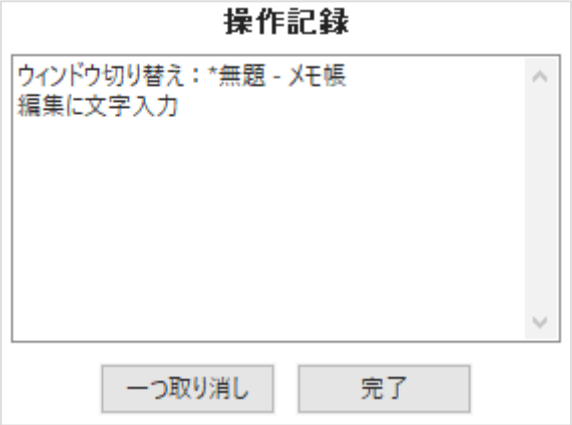
1）メモ帳の文字入力部分にマウスをあてる。

2）「CTRL」キーを押し、メモ帳の文字入力部分に赤い枠が表示される事、そして上記の文字入力画面が表示されるのを確認する。

3）文字入力画面に「おじどうさん」と記入し、「文字入力」ボタンをクリックする。

4）操作記録画面の「完了」ボタンを押す。

上記の手順を実践すると、操作記録画面は以下のようになる。



上記の手順でおじどうさんが自動生成するシナリオは以下のように見える。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

ウィンドウ切り替え操作の記録の仕方

ウィンドウ切り替え操作の記録にはユーザの特別な操作は必要なく、おじどうさんが自動的にしてくれる。クリックや文字入力操作を記録する際に、おじどうさんはクリック対象や文字入力対象のウィンドウを確認し、ウィンドウが変わったのを検知したらウィンドウ切り替えを自動的に記録する。

自動生成されるシナリオについて

本章の操作記録機能で自動生成されるコマンドは、「シングルクリック」、「文字入力」そして「ウィンドウ切り替え」の三種類である。「シングルクリック」と「文字入力」に使われているコマンドはマウスの座標コマンドやキーボード入力コマンドではなく、6.13 の「特殊アプリ操作」系のコマンドである。座標などに頼らずクリック対象や文字入力対象を記録するため、正確にユーザが記録した操作をコマンド化する事を実現している。

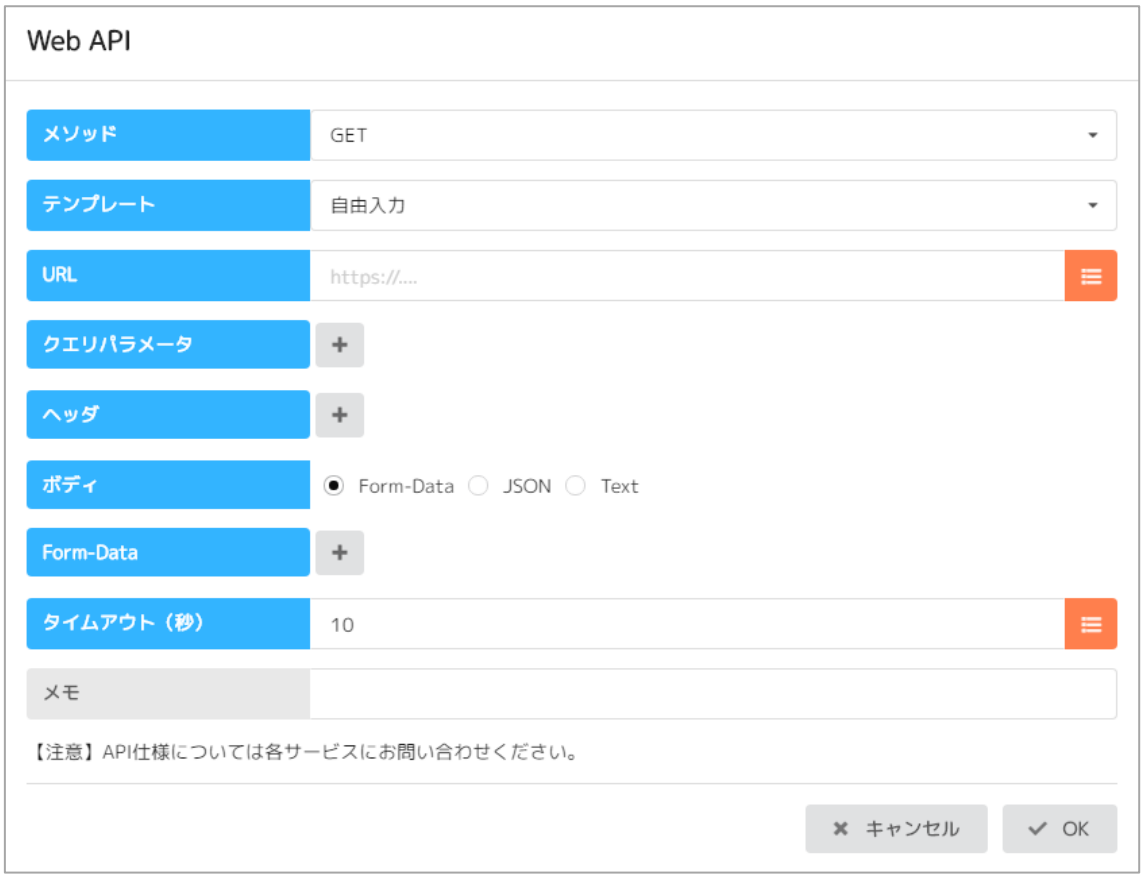
しかし、自動生成されたシナリオは、待機時間までは記録しないため、クリック間に待機などが必要だった場合、手動で待機コマンドをいれる必要がある。また、ウィンドウ切り替えには、操作記録時のウィンドウ名を基準に、6.1.4 の「ウィンドウ切り替え（名前）」コマンドが自動生成される。操作記録時のウィンドウ名と、シナリオ実行時のウィンドウ名が異なる場合は、シナリオを調整する必要もある。

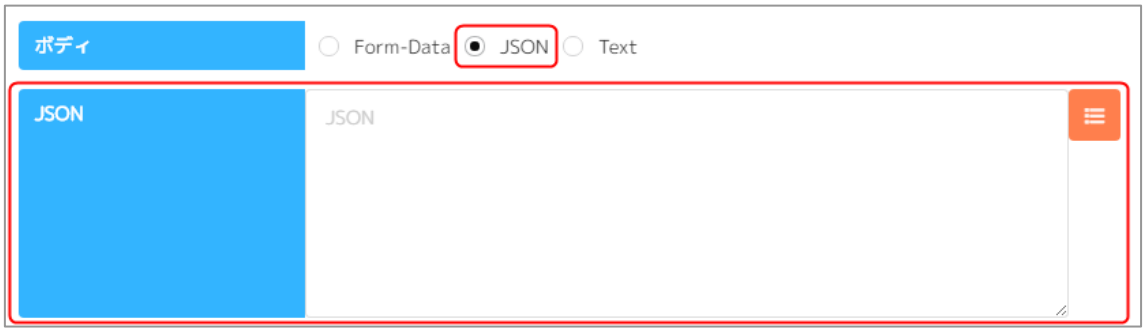
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.15. API

6.15.1. Web API

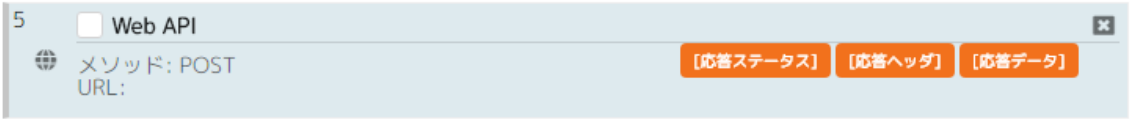
Web API（REST API）を利用して Web サービスと連携するコマンド。
※API の仕様については各サービスにお問い合わせください。





Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
メソッド	以下の選択肢からメソッドを選択する POST・GET・PUT・DELETE
テンプレート	自由入力またはテンプレートを選択する テンプレートを選択すると必須項目を自動的に入力する
URL	URL（エンドポイント）を入力する
クエリパラメータ	クエリパラメータを入力する
ヘッダ	ヘッダを入力する
ボディ	ボディの入力方式を選択する
Form-Data	ボディで「Form-Data」を選択すると表示される ボディの内容を入力する
JSON	ボディで「JSON」を選択すると表示される ボディの内容を入力する
Text	ボディで「Text」を選択すると表示される ボディの内容を入力する
タイムアウト（秒）	指定秒数の間レスポンスを待機する

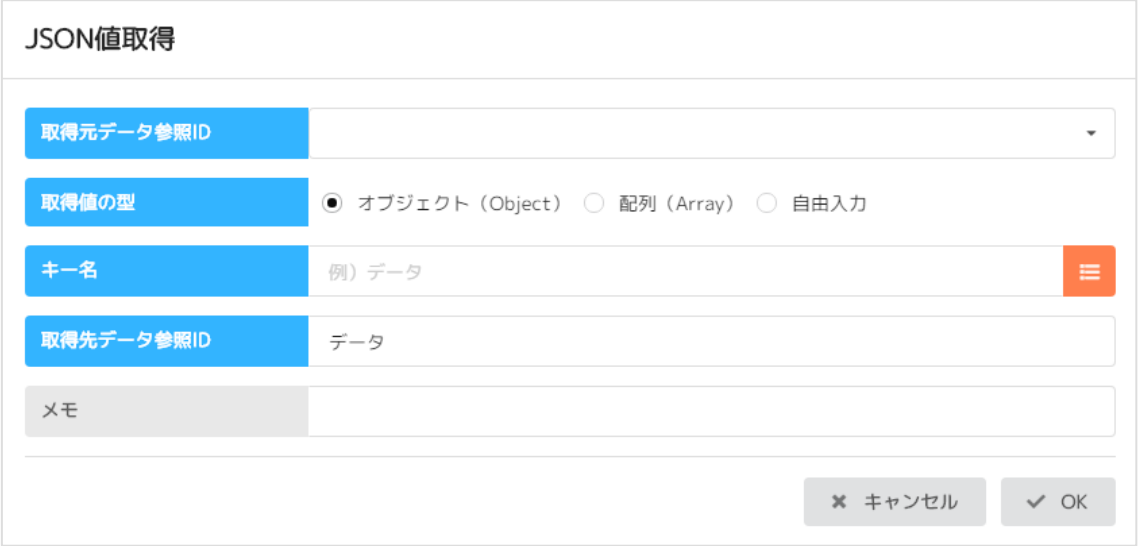


名称	内容
[応答ステータス]	レスポンスのステータス
[応答ヘッダ]	レスポンスのヘッダ情報
[応答データ]	レスポンスのデータ

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.15.2. JSON > JSON 値取得

JSON から任意の値を取得するコマンド。



名称	内容
取得元データ参照 ID	JSON を記憶しているデータ参照 ID を選択する
取得値の型	取得したい値の型を選択する
キー名	取得値の型が「オブジェクト」のときに表示される オブジェクトのキー名を入力する
何番目	取得値の型が「配列（Array）」のときに表示される 配列の位置を入力する
自由入力	取得値の型が「自由入力」のときに表示される キー名・配列が複数続く場合に利用する （入力例）オブジェクトの場合： [“キー名”] （入力例）配列の場合： [添字] （入力例）オブジェクトと配列の場合：[“キー名”] [添字] ※添字は 0 から始まります
取得先データ参照 ID	取得値を保存するデータ参照 ID を定義する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（API > JSON > JSON 値取得）：

シンプルな JSON、配列、複雑な JSON を定義し、それぞれから値を取得するシナリオ。

各データの記憶（文字）コマンドの設定内容は以下のとおり。

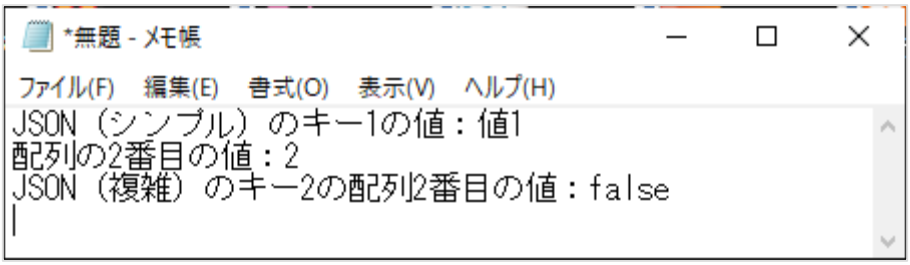
データ参照 ID 名	文字
JSON（シンプル）	{"キー1": "値 1", "キー2": "値 2", "キー3": "値 3"}
配列	[1,2,3]
JSON（複雑）	{"キー1（オブジェクト）": {"キー1-1（文字列）": "こんにちは","キー1-2（真偽）": true},"キー2（配列）": [23, false, null]}

各 JSON 値取得コマンドの設定内容は以下のとおり。

取得元 ID	取得値の型	キー名/何番目/自由入力	取得先 ID
JSON（シンプル）	オブジェクト	キー1	JSON（シンプル）の値
配列	配列	2	配列の値
JSON（複雑）	自由入力	["キー2（配列）"][1]	JSON（複雑）の値

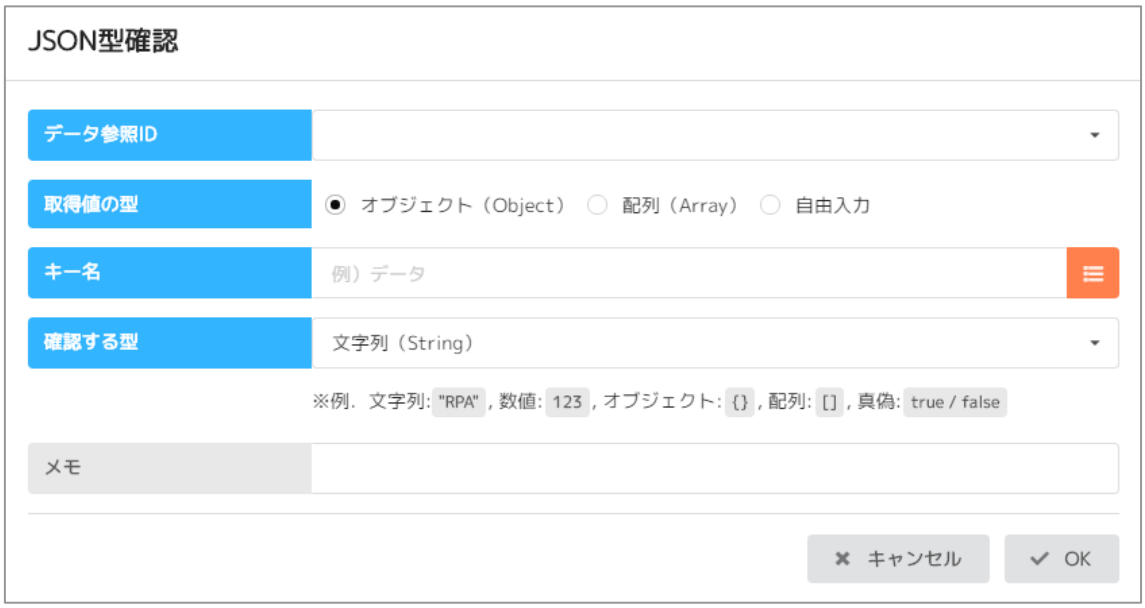
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（API > JSON > JSON 値取得）の実行結果：



6.15.3. JSON > JSON 型確認

JSON の値の型を確認するコマンド。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
取得元データ参照 ID	JSON を記憶しているデータ参照 ID を選択する
取得値の型	取得したい値の型を選択する
キー名	取得値の型が「オブジェクト」のときに表示される オブジェクトのキー名を入力する
何番目	取得値の型が「配列（Array)」のときに表示される 配列の位置を入力する
自由入力	取得値の型が「自由入力」のときに表示される キー名・配列が複数続く場合に利用する （入力例）オブジェクトの場合： [“キー名”] （入力例）配列の場合： [添字] （入力例）オブジェクトと配列の場合：[“キー名”] [添字] ※添字は 0 から始まります
確認する型	取得値の型を選択する

シナリオ例（API > JSON > JSON 型確認）：

以下の内容の JSON から 3 つの値を取得し、型が一致するか確認するシナリオ。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

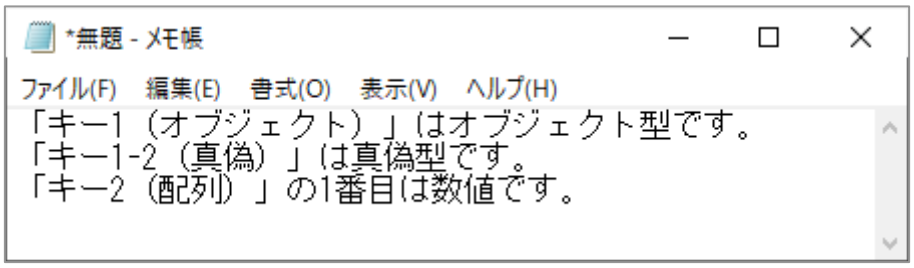
データの記憶（文字）コマンドの設定内容は以下のとおり。

データ参照 ID 名	文字
JSON	{"キー1（オブジェクト）": {"キー1-1（文字列）": "こんにちは","キー1-2（真偽）": true},"キー2（配列）": [23, false, null]}

各 JSON 型確認コマンドの設定内容は以下のとおり。

データ参照 ID	取得値の型	キー名/何番目/自由入力	確認する型
JSON	オブジェクト	キー1（オブジェクト）	JSON（シンプル）の値
JSON	自由入力	2	配列の値
JSON	自由入力	["キー2（配列）"][0]	JSON（複雑）の値

シナリオ例（API > JSON > JSON 型確認）の実行結果：



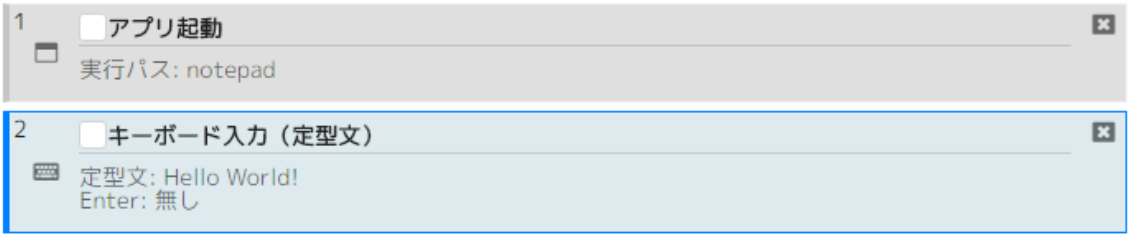
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.16. シナリオ整理

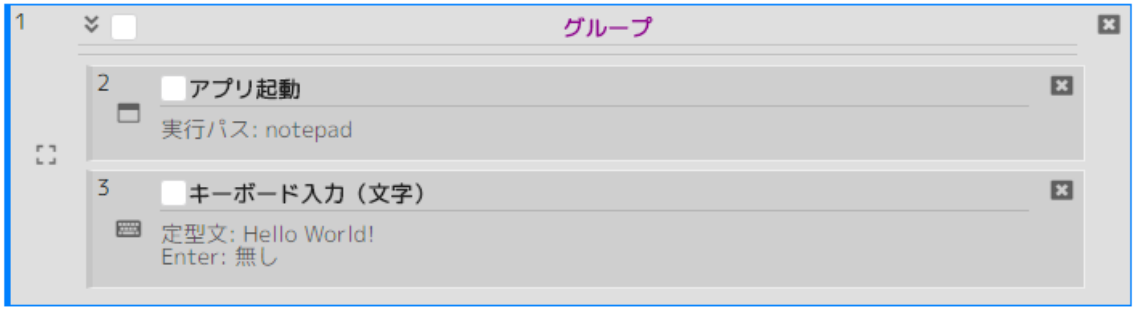
6.16.1. グループ化

連続したコマンド群をグループにしてまとめるコマンド。
何度も使用するコマンド群がある場合にそれらをグループ化し、グループ化コマンドを選択してコピー＆ペーストすることで、シナリオ編集効率が向上する。

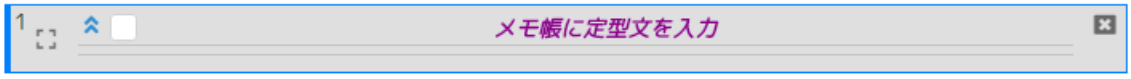
ctrl を押しながらクリックしたコマンド群、または shift を押しながら選択したコマンド群を、ショートカットキー[ctrl + g]にてグループ化することができる。
※コマンドを選択するとコマンドの枠が青く変化します。



上図をグループ化すると下図のようになる。下図の状態から再度ショートカットキー[ctrl + g]を入力するとグループ化を解除できる。



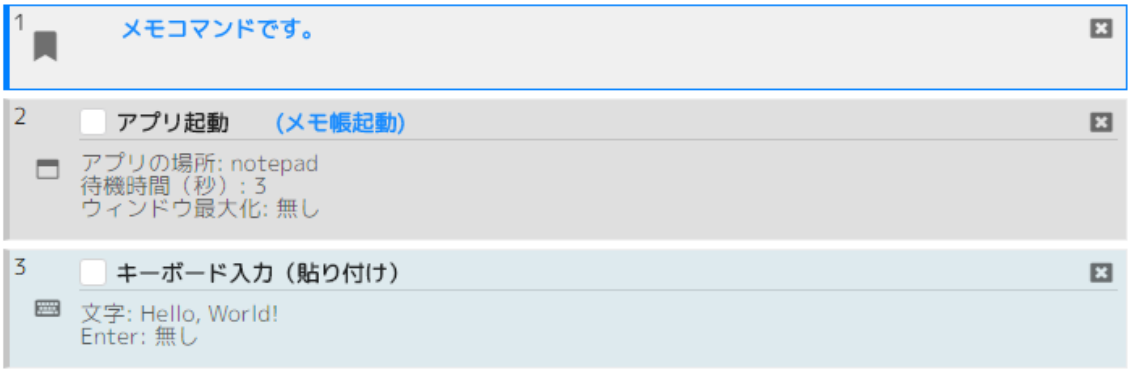
グループ化コマンドを畳むことでシナリオ編集パネル内を整理することができる（下図）。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

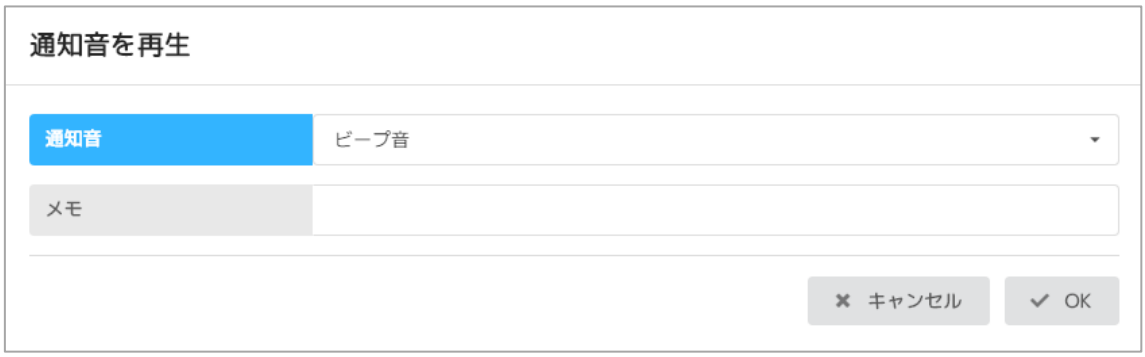
6.16.2. メモ

シナリオメモ用のコマンド。シナリオの区切りやメモとして使用できる。



6.16.3. 通知音を再生

通知音を再生するコマンド。



名称	内容
サウンド	音を選択する。
ファイル場所(*.wav)	wav 形式の音声ファイルを選択する。 通知音「音声ファイルを選択」を選ぶと表示される。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.17. 別シナリオ実行・継承

6.17.1. 別シナリオ実行

別のシナリオを呼び出すコマンド。
別シナリオの実行が成功した場合と失敗した場合で処理を分けることができる。

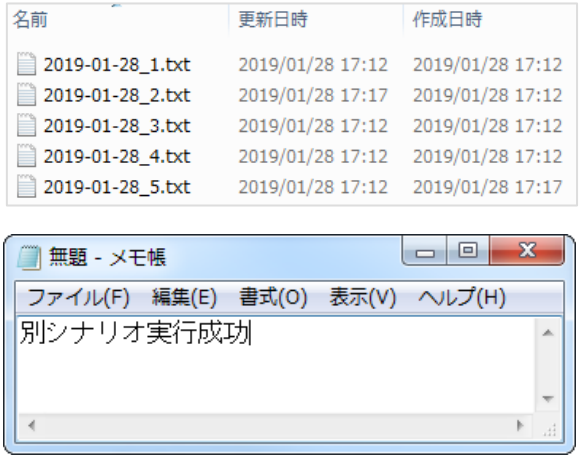
名称	内容
シナリオ名	実行する別シナリオを選択する

シナリオ例（別シナリオ実行）：
　フォルダ内の全ファイル名の先頭に日付付与する外部シナリオを実行した結果を、メモ帳に入力するシナリオ。

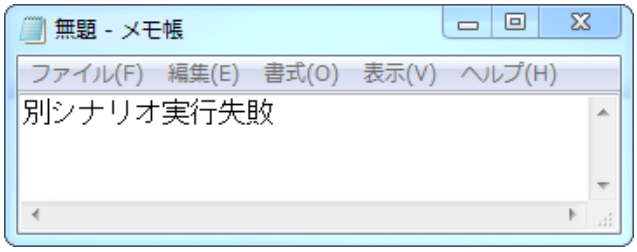
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（別シナリオ実行）の実行結果：

ファイル名変更完了後、メモ帳に成功の旨が入力された。



対象フォルダが存在しなかった場合の結果（下図）。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.17.2. 親シナリオからデータを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、データ参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で使用する。

※注意点

・子シナリオ B でデータ参照 ID の値を変更すると、親シナリオ A にもその変更が反映される。そのため、継承したデータ参照 ID の値に変更を加えたくない場合は新しいデータ参照 ID にコピーすることを推奨する。

・親シナリオ実行前はシナリオを保存すること

名称	内容
継承する対象	継承したいデータの数を選択する。
継承データ参照 ID	継承対象が「1 つのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオで定義されたデータ参照 ID 名を入力する。
シナリオ名	継承対象が「すべてのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

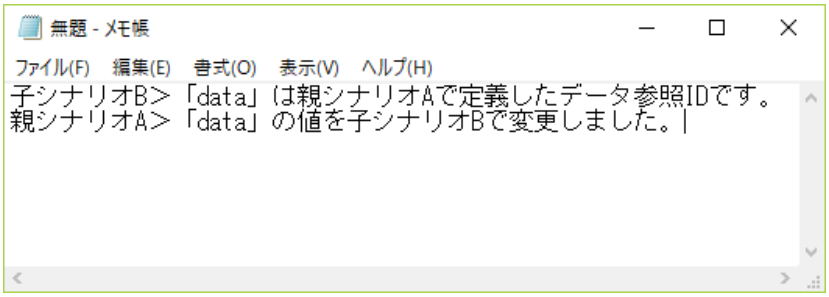
シナリオ例（親シナリオからデータを継承・1 つの参照 ID）：

親シナリオ A で定義したデータ参照 ID「data」を、子シナリオ B に継承する。継承したデータ参照 ID をメモ帳に入力する。また、継承したデータ参照 ID の値を変更し、親シナリオ A でメモ帳に入力させ、その変更が反映されたことを確認する。

キーボード入力（文字）コマンドでは高度データ参照 ID 呼び出し機能（${}）を利用している。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（親シナリオからデータを継承）の実行結果：

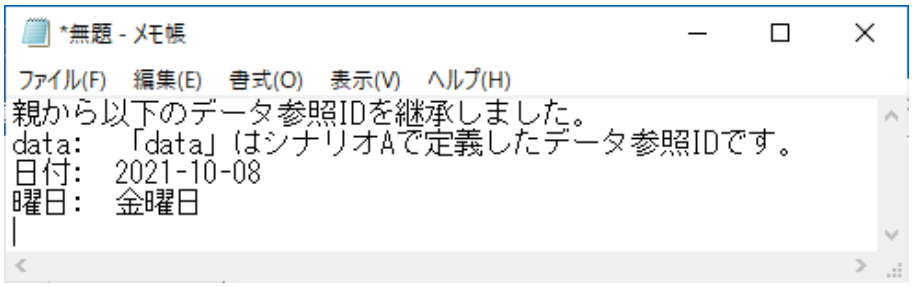


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（親シナリオからデータを継承・すべての参照 ID）：

親シナリオの全てのデータ参照 ID を継承し、子シナリオ側でそれらのデータ参照 ID をメモ帳に入力する。

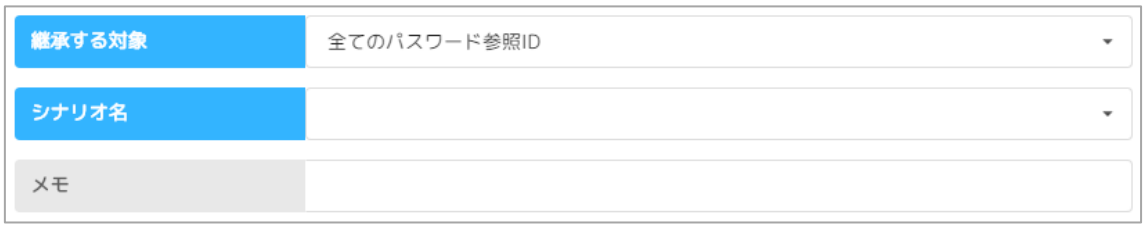
シナリオ例（親シナリオからデータを継承・すべての参照 ID）の実行結果：



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.17.3. 親シナリオからパスワードを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、パスワード参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で使用する。



名称	内容
継承する対象	継承したいパスワードの数を選択する。
継承ウィンドウ参照 ID	継承対象が「1 つのパスワード参照 ID」のときに表示される。 親シナリオで定義されたパスワード参照 ID を指定する。
シナリオ名	継承対象が「全てのパスワード参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

6.17.4. 親シナリオからウィンドウを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、ウィンドウ参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で本コマンドを使用する。

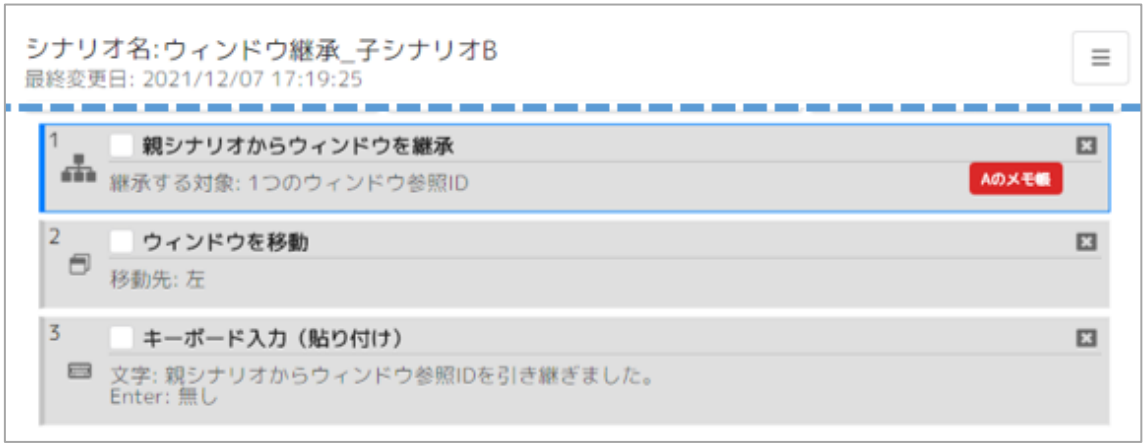
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

名称	内容
継承する対象	継承したいウィンドウの数を選択する。
継承ウィンドウ参照 ID	継承対象が「1 つのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオで定義されたウィンドウ参照 ID を指定する。
シナリオ名	継承対象が「全てのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（親シナリオからウィンドウを継承・1 つの参照 ID）：

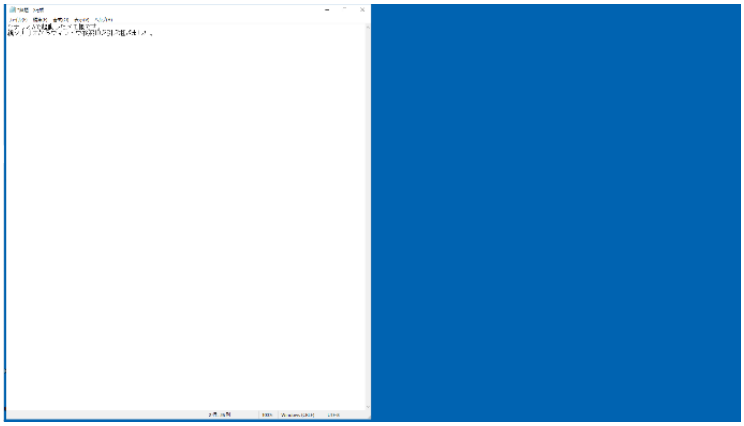
親シナリオ A で定義したウィンドウ参照 ID「メモ帳ウィンドウ」を子シナリオ B から本コマンドを利用して継承する。親シナリオ A でメモ帳を画面右へ移動し、子シナリオ B で左に移動する。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（親シナリオからウィンドウを継承・1 つの参照 ID）の実行結果：

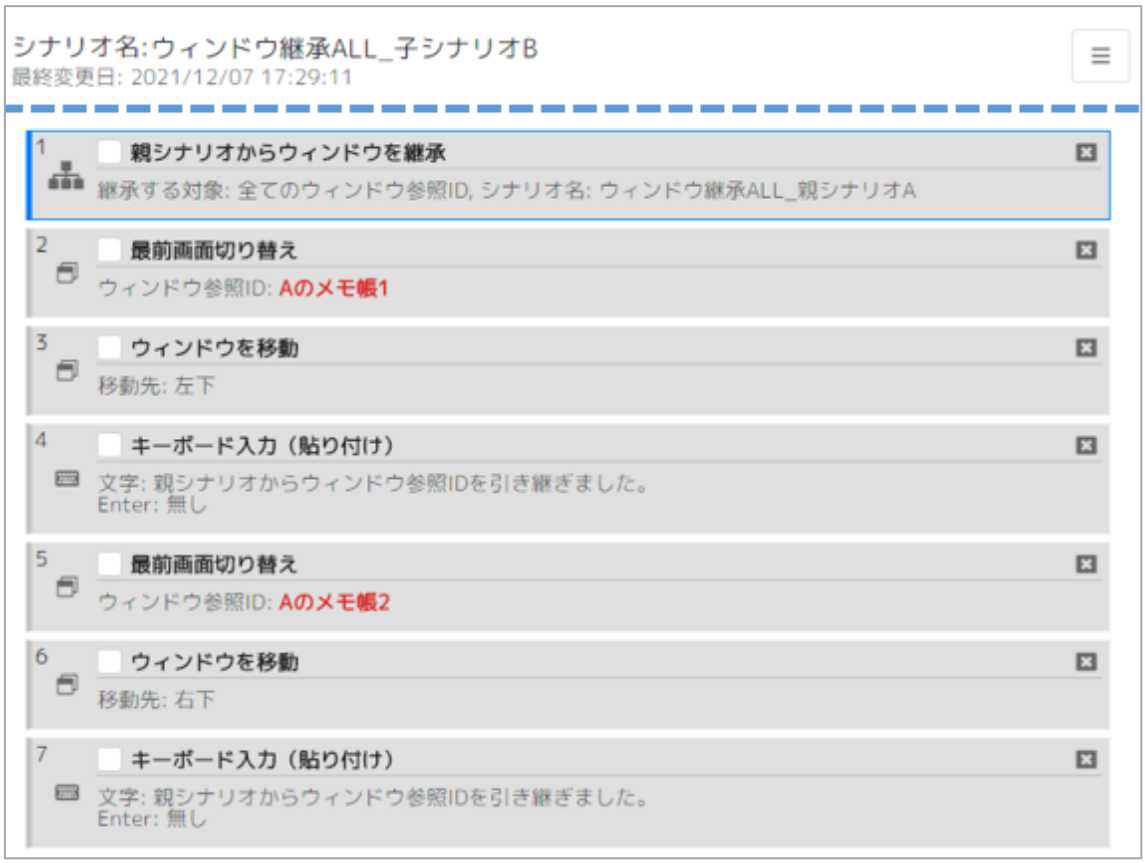
メモ帳が画面右から左へと移動した。子シナリオ B でメモ帳ウィンドウが継承されたことが確認できる。



シナリオ例（親シナリオからウィンドウを継承・全ての参照 ID）：

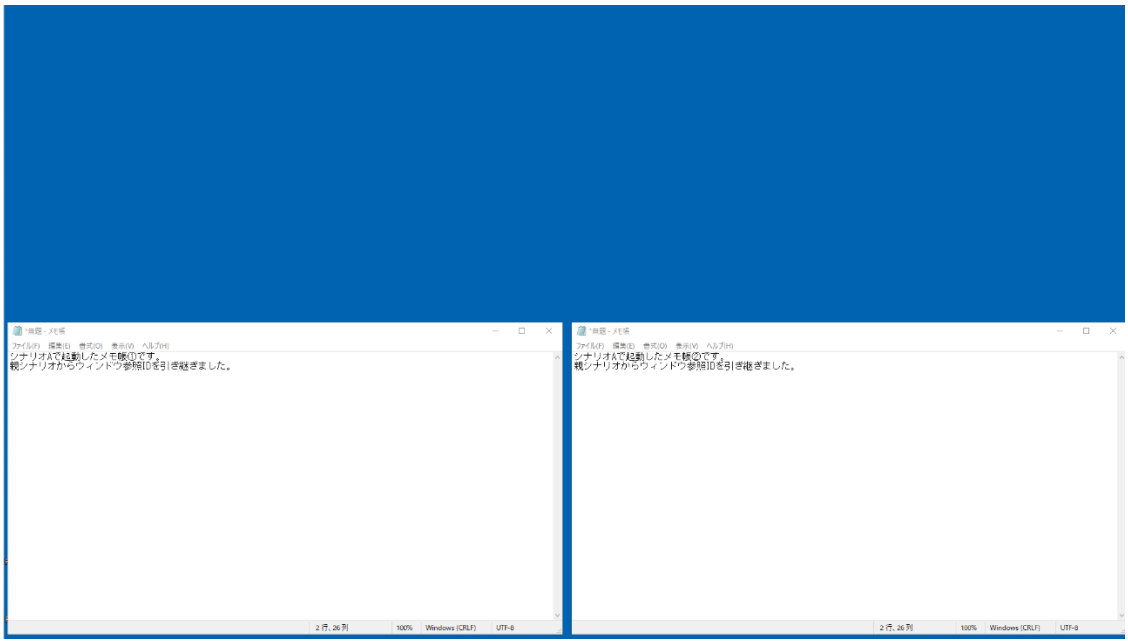
親シナリオの全てのウィンドウ参照 ID（メモ帳）を継承し、子シナリオ側で全てのウィンドウを移動して文字を入力するシナリオ。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.



シナリオ例（親シナリオからウィンドウを継承・全ての参照 ID）の実行結果：

画面の左上と右上に開いたメモ帳を、子シナリオ側で左下と右下に移動し文字を入力した。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.17.5. 親シナリオからエクセルを継承

親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、エクセル参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で利用する。

名称	内容
継承する対象	継承したいデータの数を選択する。
継承エクセル参照 ID	親シナリオで定義されたエクセル参照 ID を指定する
シナリオ名	継承対象が「すべてのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

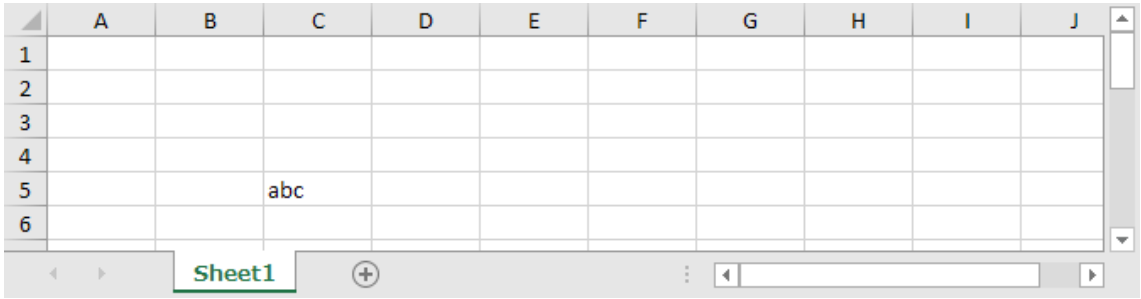
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（親シナリオからエクセルを継承・1 つの参照 ID）：

親シナリオ A で定義したエクセル参照 ID「エクセル A」を子シナリオ B から本コマンドを利用して継承する。親シナリオ A でエクセルを起動し、子シナリオ B で編集する。

シナリオ例（親シナリオからエクセルを継承・1 つの参照 ID）の実行結果：

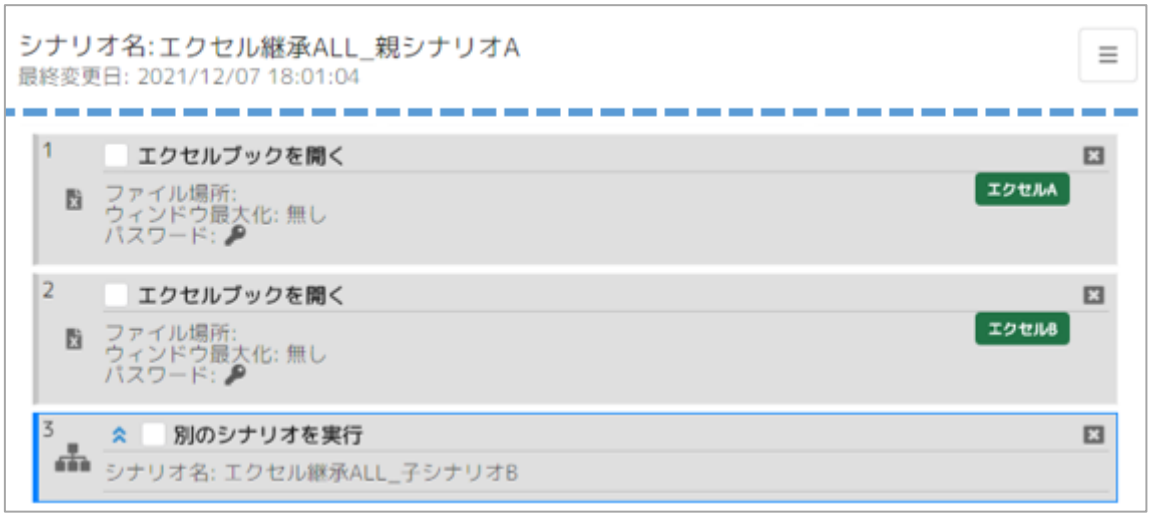
エクセルを編集した。つまり、子シナリオ B でエクセル参照 ID が継承されたことが確認できる。

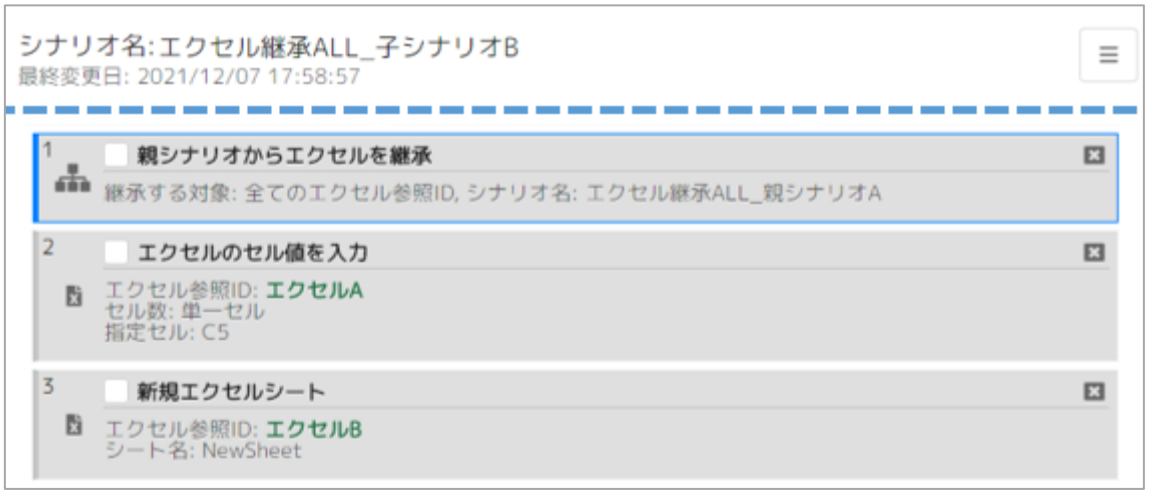


Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

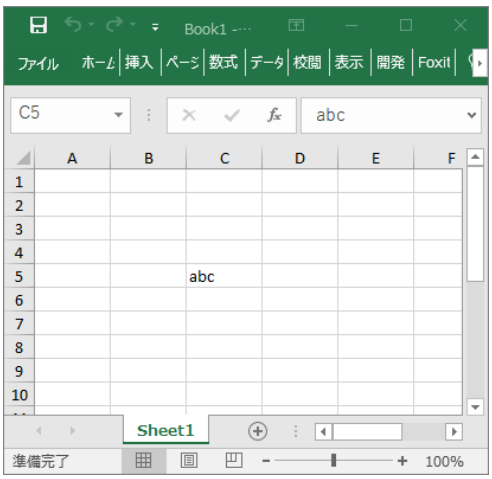
シナリオ例（親シナリオからエクセルを継承・全ての参照 ID）：

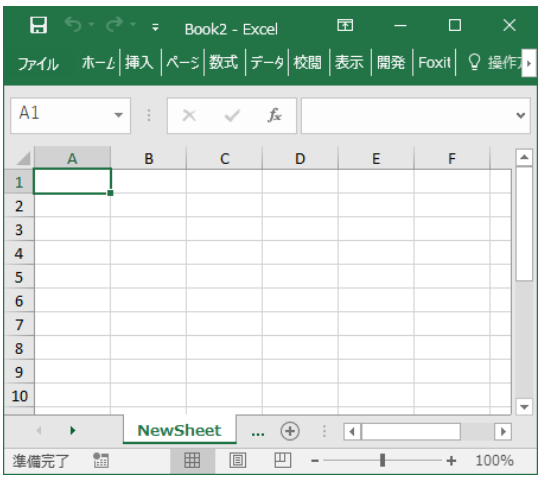
親シナリオで新規エクセル A と B を開き、子シナリオ側で編集するシナリオ。





シナリオ例（親シナリオからエクセルを継承・全ての参照 ID）の実行結果：





Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

6.17.6. 親シナリオからブラウザを継承

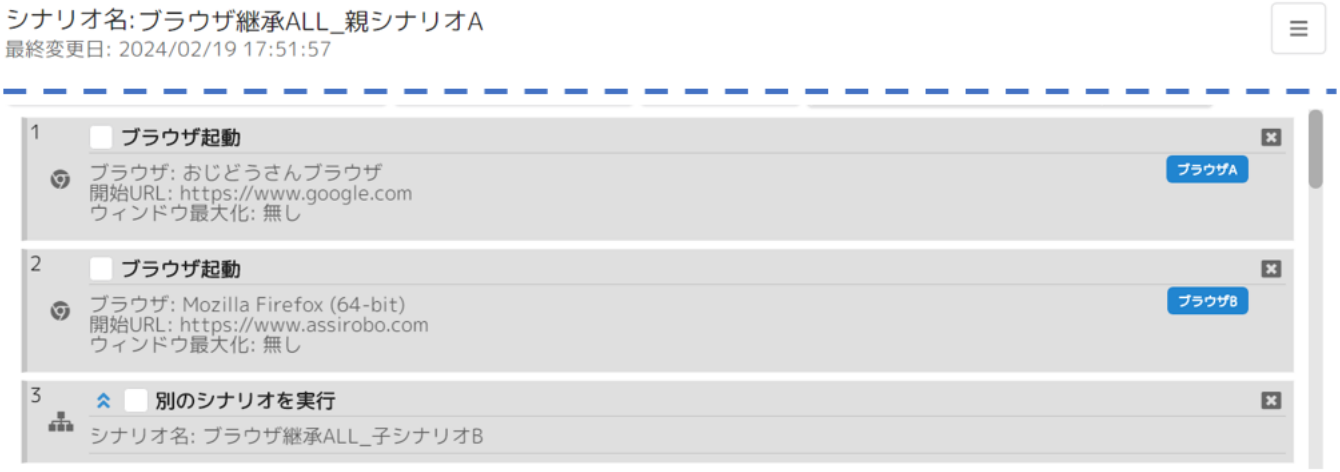
親シナリオ A から別シナリオ実行コマンドで呼び出された子シナリオ B へ、ブラウザ参照 ID を継承するコマンド。本コマンドは子シナリオ B で使用する。

名称	内容
継承する対象	継承したいデータの数を選択する。
継承ブラウザ参照 ID	親シナリオで定義されたブラウザ参照 ID を指定する
シナリオ名	継承対象が「すべてのデータ参照 ID」のときに表示される。 親シナリオを選択する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（親シナリオからブラウザを継承・1 つの参照 ID）：

親シナリオ A で定義したブラウザ参照 ID「browser」を子シナリオ B から本コマンドを利用して継承する。親シナリオ A でおじどうさんブラウザを起動および Google へアクセスし、子シナリオ B で Amazon へ移動する。



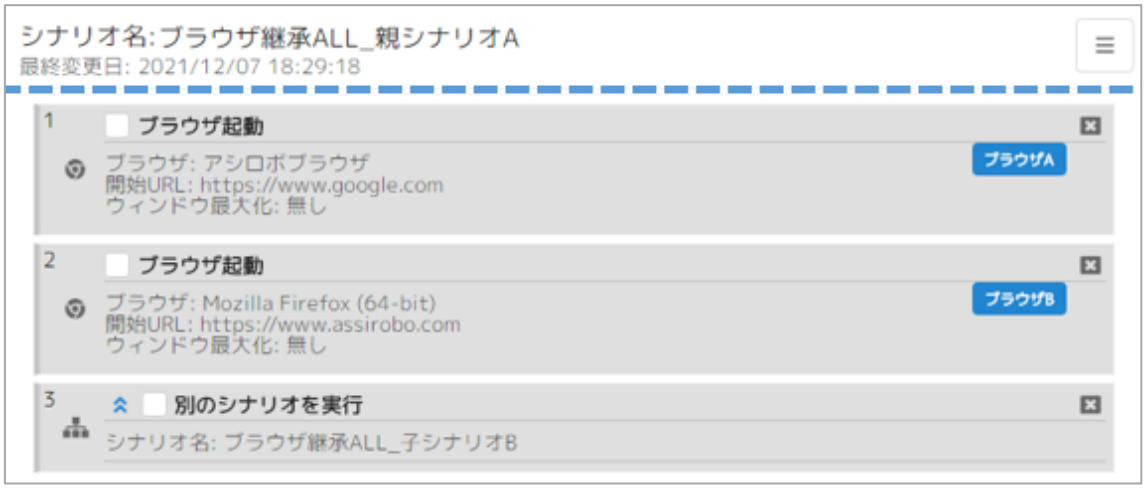
シナリオ例（親シナリオからブラウザを継承・1 つの参照 ID）の実行結果：

Amazon へアクセスした。つまり、子シナリオ B でブラウザ参照 ID が継承されたことが確認できる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（親シナリオからブラウザを継承・全ての参照 ID）：

親シナリオ A でブラウザを起動し、子シナリオ B で操作するシナリオ。



シナリオ例（親シナリオからブラウザを継承・全ての参照 ID）の実行結果：

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

7. ブラウザ操作

7.1. おじどうさんブラウザ起動方法

おじどうさんブラウザを起動する方法は 2 通りある。

1. デスクトップ上にあるおじどうさんブラウザのショートカットから起動する

※おじどうさんのインストールと同時に、おじどうさんブラウザのショートカットがデスクトップ上に作成されます

2. ブラウザ起動コマンドからおじどうさんブラウザを起動する

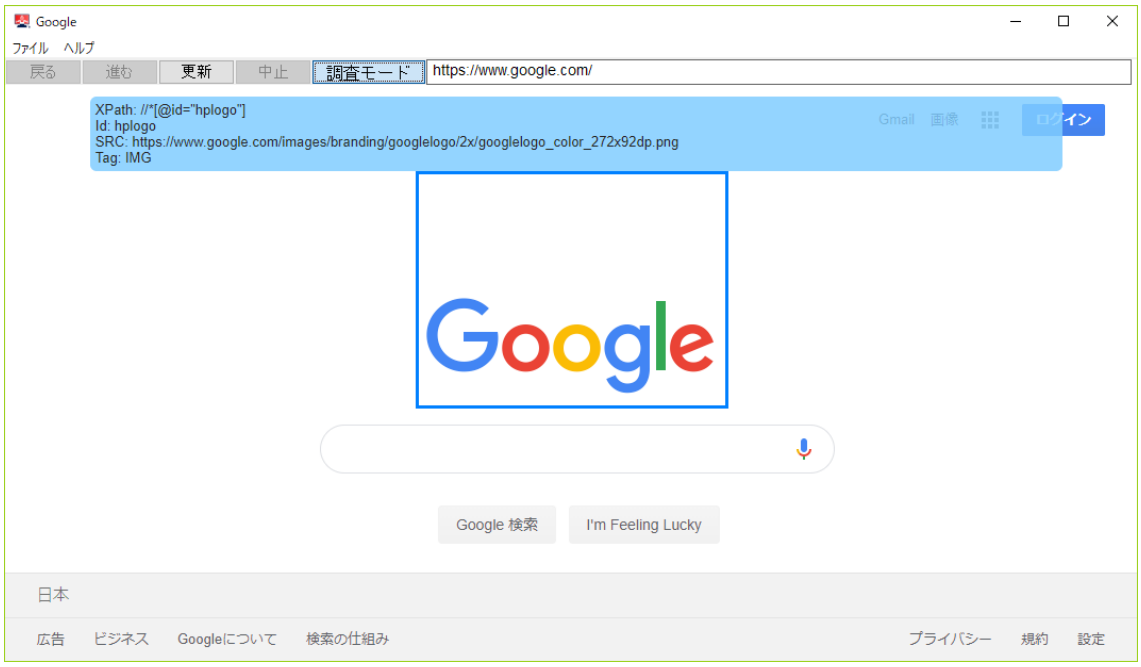
7.2. おじどうさんブラウザ画面説明

名称	内容
調査モード	HTML 内のエレメント調査モードに切り替える
URL 入力フォーム	URL を入力する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

7.3. おじどうさんブラウザの調査モード

おじどうさんブラウザを調査モードに切り替え、マウスを HTML のエレメント上に移動すると HTML エレメント情報が表示される（下図）。



上図のように取得したい HTML エレメント上で右クリックをするとそのエレメントの XPath がコピーされる。上図の例ではコピー内容は下記となる。

```
//*[@id="hplogo"]
```

また、エレメント上で Ctrl ＋ 右クリックすると任意の HTML エレメント情報をコピーできる。

再度エレメント調査モードをクリックすることで通常モードに切り替わる。

このようにおじどうさんブラウザの調査モードを活用することで、ウェブブラウザのページ操作コマンドの作成が簡易になります。

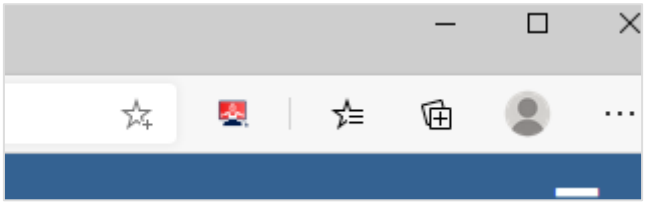
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

7.4. おじどうさんブラウザ以外の調査モード

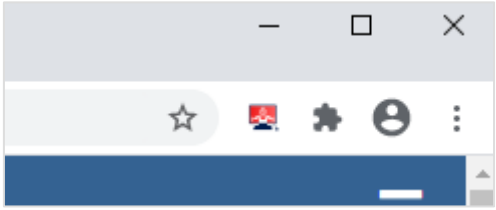
調査モードは Microsoft Edge と Google Chrome でも利用できる。

調査モード起動方法一覧

1. ブラウザ起動： Microsoft Edge、調査モード拡張機能を☑



2. ブラウザ起動： Google Chrome、調査モード拡張機能を☑



3. ブラウザ起動（ユーザ情報引継）

4.

調査モードの操作はおじどうさんブラウザでの使い方と同様である。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

8. アクセス制御機能

8.1. 管理・制限モード

おじどうさんには以下の操作権限モードがある。

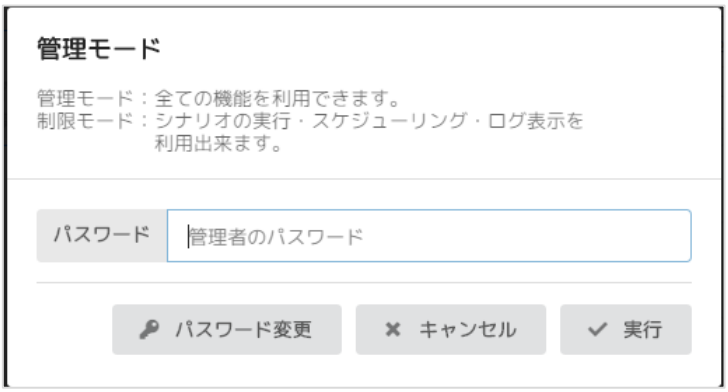
1. 管理モード：すべての機能を利用できる

2. 制限モード：シナリオの実行・スケジューリング・ログ表示のみ実行可能

管理・制限モードの有効化

管理モードにパスワードを設定することで、管理・制限モードを有効化する。
※管理・制限モードを有効化すると、おじどうさん起動時は制限モードで開くようになります。

管理・制限モードボタンが「制限モード」の場合にクリックすると管理モード切替えモーダル（下図）が表示される。このモーダルから管理モードのパスワードを入力・変更できる。
※管理者の初期パスワードは設定されていません（空パスワード）



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

パスワード変更のフォーム右側のアイコンをクリックすることで入力したパスワードを確認できる。（初期の古いパスワードは空パスワードとなる）

管理・制限モードの無効化

管理モードのパスワードを空にすることで、管理・制限モードを無効化する。

8.2. シナリオロック

おじどうさん管理者はシナリオ一つ一つに対してロックをかけることができる。この機能をシナリオロックと呼称する。本機能は制限モードを利用するユーザに対して柔軟な利用権限をシナリオ毎に付与することができる。

制限モードのユーザがシナリオのロックを解除できる場合は管理モードと同様の権限が、そうでない場合の権限はシナリオロックの制御レベルに依存する。制御レベルの詳細は 8.2.2. 制御レベル に記載する。

8.2.1. シナリオロックの権限とデフォルト設定

シナリオロック設定権限は管理者モードを利用できるユーザのみである。

新規のシナリオはデフォルトで制御レベル 2 が適用される。

※注意点

・シナリオロックがデフォルト設定の場合、制限モードのユーザはロック解除が利用できません。詳しくは 8.2.4. 管理・制限モードとシナリオロック UI の違いに記載します。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

8.2.2. 制御レベル

シナリオロックのレベルとその制限内容については以下のとおりである。

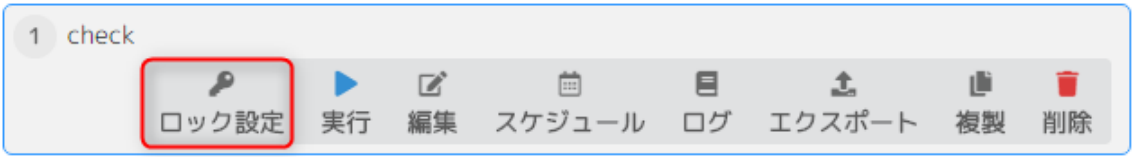
制御レベル 2 のシナリオに対して、制限モードのユーザが利用できる機能はシナリオ実行・スケジューリング・ログ表示のみとなる。

制御レベル 1：全操作可能
制御レベル 2：シナリオ実行・スケジューリング・ログ表示
制御レベル 3：全操作拒否

8.2.3. シナリオロックの設定と初期化

シナリオロックを設定するにはまず、おじどうさん操作権限モードを管理モードに変更する。

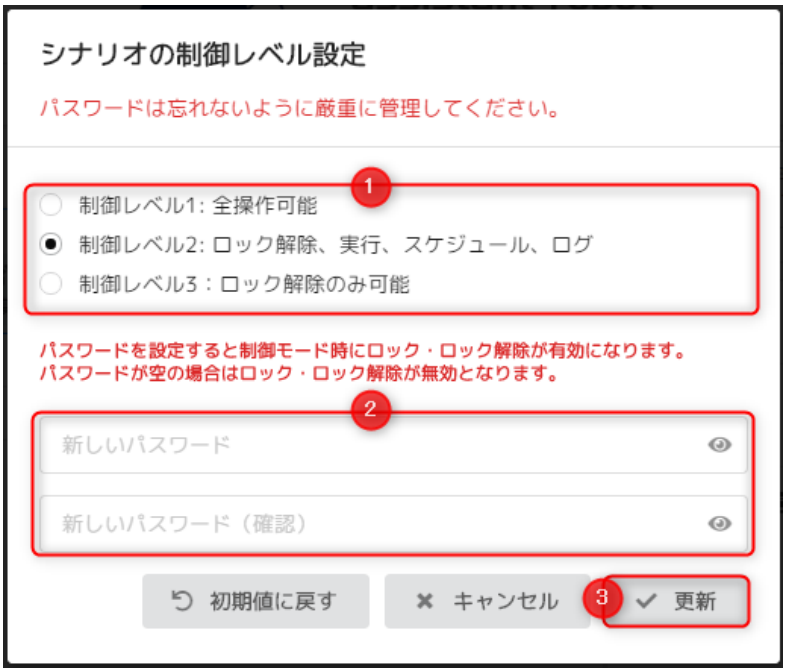
次に、シナリオのシナリオ操作メニューから[ロック設定]を選択する（下図）。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

[ロック設定]を選択するとシナリオの制御レベル設定モーダル（下図）が表示される。このモーダルで以下の手順を踏む。

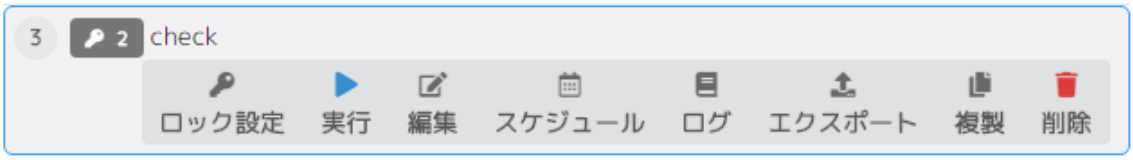
1. 制御レベルを選択 2. パスワードを入力 3. [更新]をクリック



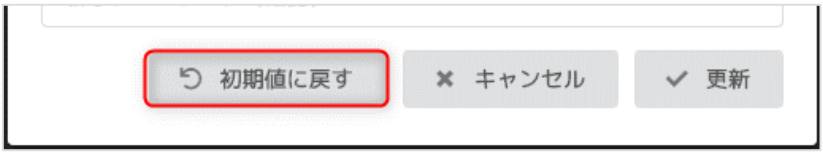
※注意点

1. パスワードは厳重に管理してください
2. パスワードが空（パスワード設定なし）の場合はロック・ロック解除が無効となります

ロックが設定されたシナリオには [🔑 制御レベル]が表示される。制御レベル 2 を設定したシナリオだと下図のようになる。



シナリオロックの設定を初期化する場合はシナリオの制御レベル設定モーダルから[初期値に戻す]をクリックする（下図）。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

8.2.4. 管理・制限モードとシナリオロック UI

シナリオロックの UI（見た目）は管理・制限モードで異なる。

管理モードでシナリオ名のとおりにシナリオロックを設定したシナリオ一覧を下図に示す。

これを制限モードにすると UI が下図のように変化する。

制限モードにすると、「新しい仕事」「フォルダ作成」「インポート」「エクスポート（全）」の機能が使用不可になる。

鍵アイコンが緑色のものは「権限が全操作可能である状態」を意味している。つまりロックを解除すると同様に鍵アイコンが灰色➔緑色に変化する。再度ロックすると灰色のアイコンに戻る。

また、フォルダ名の編集と削除ができなくなる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

また、シナリオ操作メニューは下図のように変化する。

ここで「シナリオロックレベル（デフォルト）」「省略（1）」「省略（2・パスワード無し）」に注目してほしい。この 3 つのシナリオにはシナリオ操作メニューに[ロック解除]が表示されていない。その理由は 2 つある。

1. シナリオロックのパスワードを設定していないため
2. シナリオロックの制御レベルが 1（全操作可能）であるため

ロックレベルが「デフォルト」「2・パスワード無し」は理由 1 に該当し、「1」は理由 2 に該当するため、シナリオ操作メニューに[ロック解除]が非表示となる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

9. 上級者向け操作

9.1. 高度データ参照 ID 呼び出し機能

おじどうさんには高度なデータ参照 ID 呼び出し機能 ${} が存在する。本機能は定型文とデータ参照 ID を柔軟に組み合わせて利用するために用意されている。

・使い方

${データ参照 ID}

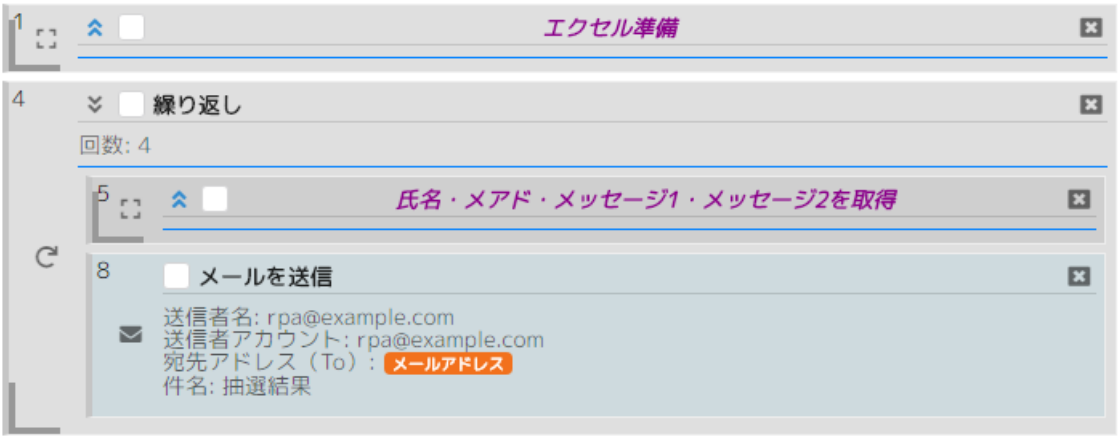
シナリオ例(高度データ参照 ID 呼び出し機能 1)

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例(高度データ参照 ID 呼び出し機能 2)

エクセルに記載された人全員にテンプレートメールを送信するシナリオ。

	A	B	C	D
1	氏名	メールアドレス	メッセージ内容1	メッセージ内容2
2	山田	yamada@hogehoge.com	ご当選されましたのでお知らせ致します。	以下のリンク先の手続きに従ってください。 http://www.hogefugafoobar.com/tousen
3	佐藤	satou@fugafuga.com	誠に残念ですが落選となりました。	お断りせざるを得ない状況になり、 誠に申し訳ございません。
4	金城	kinjou@foofoo.com	ご当選されましたのでお知らせ致します。	以下のリンク先の手続きに従ってください。 http://www.hogefugafoobar.com/tousen
5	比嘉	higa@barbar.com	ご当選されましたのでお知らせ致します。	以下のリンク先の手続きに従ってください。 http://www.hogefugafoobar.com/tousen



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

9.2. ワイルドカード（*）

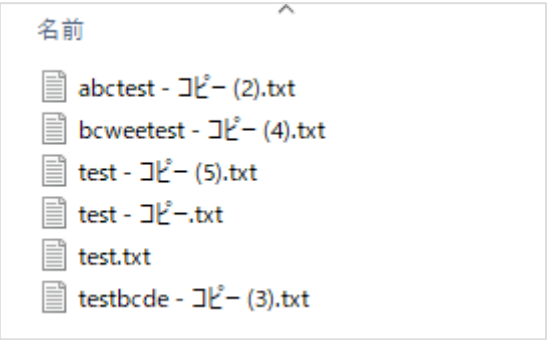
一部のファイル操作コマンドではワイルドカード(*)が利用できる。対象のコマンドを以下に示す。

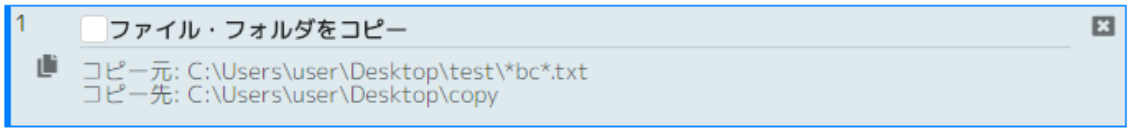
1. 分岐 ＞ ファイル・フォルダの有/無を確認
2. ファイル・フォルダ ＞ ファイル ＞ 移動
3. ファイル・フォルダ ＞ ファイル名変更（先頭に挿入） ＞ 参照 ID
4. ファイル・フォルダ ＞ ファイル・フォルダをコピー
5. ファイル・フォルダ ＞ ファイル・フォルダを削除

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

シナリオ例（ワイルドカード(*)）：

条件「*bc*.txt」に該当するファイルをコピーする。





シナリオ例（ワイルドカード(*)）の実行結果：

9.3. ブラウザプロファイルの使い方

「ブラウザ起動コマンド」はブラウザのログイン情報を利用、表示したくない場合に有効である。逆に、ログイン状態を引き継いだブラウザを操作したい場合に「ブラウザ起動（ユーザ情報引継)コマンド」を使うと便利である。

・ブラウザプロファイルに含まれる情報

ブックマーク	自動入力データ	パスワード	閲覧履歴
ブラウザの設定	インストール済みの拡張機能		

参考：　https://support.google.com/chrome/a/answer/7349337?hl=ja

※デフォルトのプロファイルとは

おじどうさんを使わない、通常起動（ブラウザアイコンをクリック）したときに読み込まれるプロファイルのことを指します。

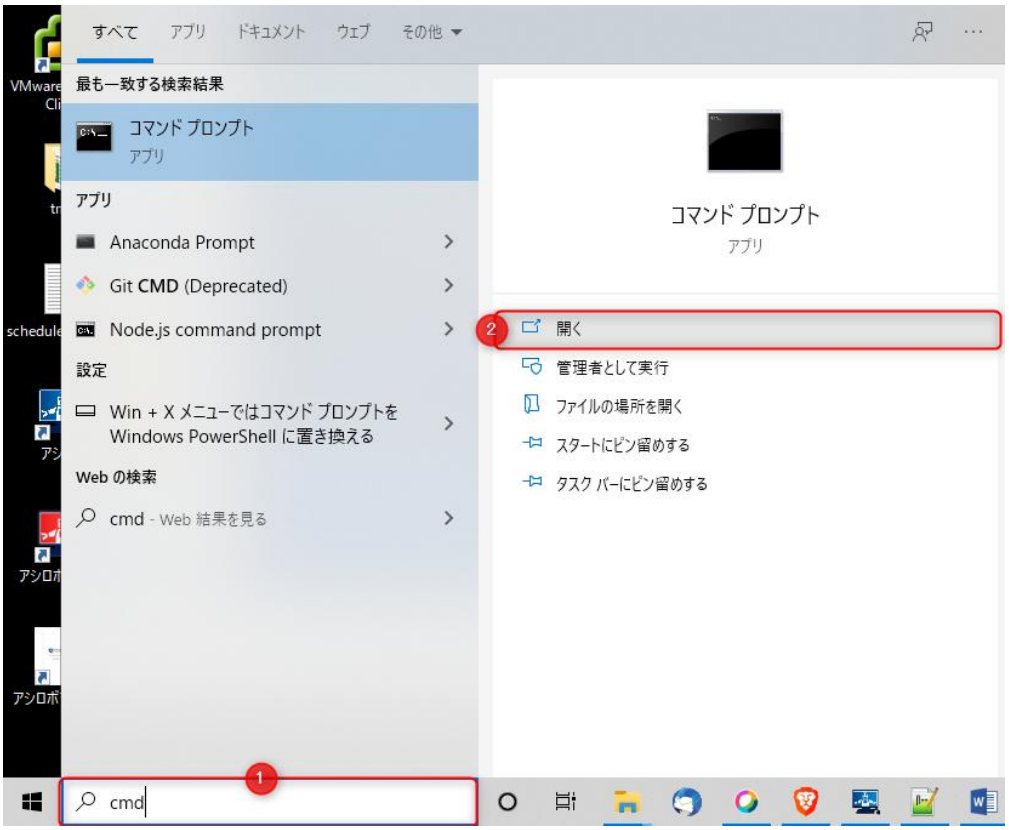
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

9.3.1. デフォルト以外のプロファイルを利用したい場合

[手順 01]　プロファイル保存用のフォルダを新規作成する

[手順 02]　コマンドプロンプトを起動する

タスクバーから「cmd」を検索し、「開く」を選択する



[手順 03]　コマンドプロンプトで以下を入力して実行する

```
"C:¥Program Files (x86)¥Google¥Chrome¥Application¥chrome.exe" "--user-data-dir=
プロファイル保存場所"
```

[手順 04]　コマンドプロンプトから起動したブラウザで操作対象サービスにログインする

ログイン後はブラウザを閉じる

[手順 05] ブラウザ起動（ユーザ情報引継)コマンドで以下のように設定する

プロファイルのパス：　プロファイル保存場所

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

9.3.2. その他のブラウザでプロファイルを読み込みたい場合

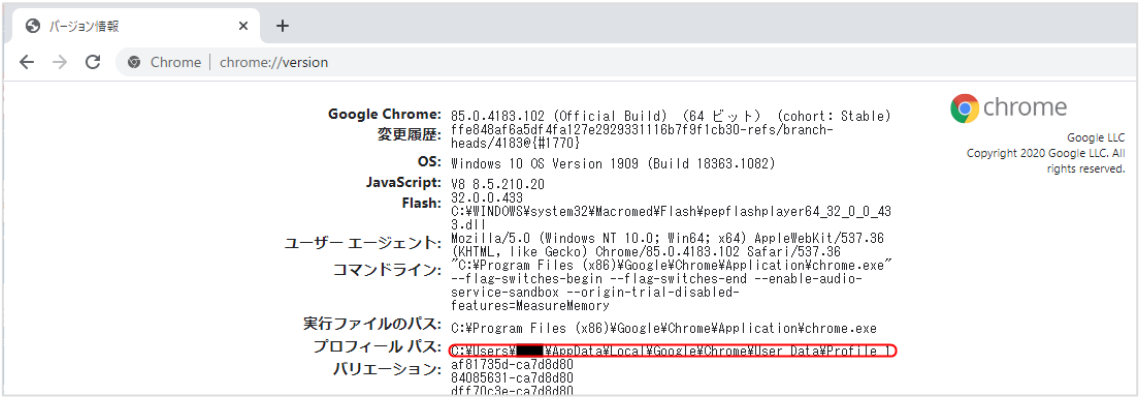
その他のブラウザ（Brave Browser, Chrome Beta 等）のプロファイルを自動的に取得することができないため、この場合は個別にプロファイルのパスを設定する必要がある。

[手順 01] その他のブラウザのプロファイル保存場所を調べる

各ブラウザの URL に以下を入力するとプロファイルのパスを確認できる。

[Chrome] chrome://version	[Firefox] about:profiles
[MS Edge] edge://version	[Brave] brave://version

Google Chrome の場合は以下の通り。



[手順 02] その他のブラウザのファイルパスを取得する

ブラウザイコンを右クリック→「ファイル場所を開く」からファイルの場所を探す。

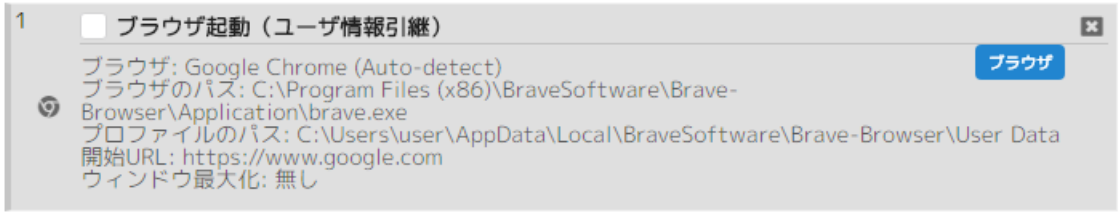
[手順 03] ブラウザ起動（ユーザ情報引継)コマンドで以下のように設定する

ブラウザのパス：　手順 02 で取得したブラウザのファイルパス

プロファイルのパス：　手順 01 で調べたファイルパス

シナリオ例（その他のブラウザでプロファイルを読込＆起動）：

Brave Brawser（Chrome 系のブラウザ）を、ユーザ情報を読み込んだ状態で起動する。



シナリオ例（その他のブラウザでプロファイルを読込＆起動）の実行結果：

ユーザの Google アカウントでログインした状態の Brave Browser が起動した。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

10. おじどうさん利用における注意点

10.1. シナリオ行数の推奨値は 1,000 行

端末に依存せず安定して動作するシナリオ行数の推奨値は 1,000 行である。この推奨値を大きく超えると「動作が重くなる」「おじどうさんがフリーズする」などの現象に陥る可能性が高くなる。

なお、1,000 行以上のシナリオを動作させる必要がある場合は、「別シナリオ実行」コマンド（詳細：6.10.4）を利用してシナリオを分割することを推奨する。また、同一処理が連続している場合は「繰り返し」コマンド（詳細：6.6）を活用してシナリオ数を減らすことができる。

10.2. デスクトップの背景色を単色に

画像抽出コマンド等を利用する際、座標によって抽出できない現象を防ぐためにデスクトップの背景色を単色にすることを推奨する。

10.3. 画像探索系コマンドのざっくり検索について解説

10.3.1. ざっくり検索%（色：RGB）の考え方

ざっくり検索（色：RGB）では色のズレに注目している。例えば、

色を表す数値：　0～255
画像の色：　(Red, Green, Blue) = (100, 30, 0)
色一致率：　99%

とした場合、

色の最大値 × 色一致率 = 255 × 0.99 = 252.45

色の最大値と一致率との差は

255 – 252.45 = 2.55　→　2（小数点切り捨て）

である。この計算から、検索する画像の色の数値が

Red　：　98～102
Green：　28～32
Blue　：　0～2

であれば、色が一致していると判断する。
この色の数値確認を、検索画像 1 ピクセル毎に実施している。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

10.3.2. ざっくり検索%（ピクセル）の考え方

ざっくり検索（色：RGB）が 1 つ 1 つのピクセルの色の数値で判断する一方、ざっくり検索（ピクセル）は検索画像のピクセル一致数で判断する。

検索画像：　100px
ピクセル一致率：　99%

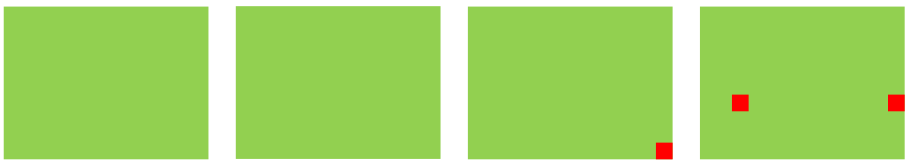
である場合、

一致ピクセル数 ＝ 100px × 0.99 ＝ 99px

つまり、検索画像 100px のうち 99px が一致する場合は「画像全体が一致」と判断する。
また逆に、

不一致ピクセル数
＝ (検索画像のピクセル数) – (一致ピクセル数)

と考えるため、例題では 1px（100px-99px）以上不一致の場合、「画像全体が不一致」と判断する。
例題を画像にすると以下の通りである。赤画像は 1px とする。



検索画像　　一致　　一致　　不一致

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

10.4. 入力値の制限

各コマンドのフォームに入力できる値は以下のように制限されている。

入力フォーム名	制限内容
データ参照 ID	最大 24 文字かつ半角スペース禁止
ウィンドウ参照 ID	最大 24 文字かつ半角スペース禁止
ブラウザ参照 ID	最大 24 文字かつ半角スペース禁止
各コマンドのメモ	最大 32 文字
拡張子	最大 16 文字
キー4	最大 1 文字
プロンプト・グループ名・ユーザ名・値・文字列（ウィンドウ切り替え（名前）・文字ファイル名の先頭に）	最大 128 文字
宛先アドレス・受信者アカウント・件名・添付ファイル・パスワード	最大 1024 文字
文字（キーボード入力（貼り付け）・データの記憶（文字）・文字比較）・ファイル名・HTML ターゲット・本文・入力文字・ファイル・フォルダ場所	最大 31999 文字
何マッチ目	1～1024 以内の整数
回数	0～9999 以内の整数
X, Y(マウス移動（距離）)	-9999～9999 以内の整数
X, Y(マウス移動（座標）)・開始 X, Y・終了 X, Y・スクロール回数・リトライ回数	0～9999 以内の整数
待機時間（コマンド間の待機時間を変更）	0～5 以内の数値
待機時間（画面出現を待つ・タイマー付き続行確認・直前のコマンドのエラーを確認処理）	0～600 以内の数値
待機時間（待機（秒））	0～21600 以内の数値
ポート	1～65535 以内

その他の入力制限は以下のとおりである。

入力項目	制限内容
シナリオ名	最大 1024 文字

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

11. Google Services (Self-Registration)の事前準備

11.1. 概要

Google 社のポリシー変更に伴い、2024 年 4 月以降、おじどうさんの Google API の OAuth 認証手順が変わる。新規で Google アカウントをおじどうさんで OAuth 認証するユーザ様は新しい手順で登録する必要がある。

なお、2024 年 4 月現在、すでにおじどうさんで Gmail や Google Sheets 機能を利用するために OAuth アカウント登録を済ませているアカウントは、本章の手順で再登録する必要はない。引き続き、変更なくそのアカウントを利用できる。

新しい OAuth 登録手順には、大まかに下記のステップが含まる。

① Google アカウントで Google Cloud Console (https://console.cloud.google.com/)にログインする
② おじどうさんを Google プロジェクトとして登録する
③ ②で登録した Google プロジェクトに、Google API を有効化する
④ OAuth クライアント ID を発行し、ダウンロードする
⑤ おじどうさんにクライアント ID を読み込ませ、OAuth 認証する

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

11.2. 詳細手順

11.2.1. Google Cloud Console にログインする

ブラウザから Google Cloud Console (https://console.cloud.google.com)を訪問し、Google アカウントでログインする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

11.2.2. おじどうさんを Google アプリとして登録します

Google Cloud Console にログインすると、ダッシュボードが表示される。左上のメニューボタンから、「IAM と管理」➡「プロジェクトを作成」をクリックする。

Google プロジェクト作成画面で、任意のプロジェクト名を入力する。入力後、「作成」ボタンをクリックする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

新しいプロジェクト

割り当てには 6 つのプロジェクトが残っています。プロジェクトの追加または削除をリクエストします。もっと詳しく知る

クォータの管理

プロジェクト名 *
ojidousan-RPA

プロジェクト ID: nodal-listener-422000。後で変更することはできません。 編集

位置 *
No organization ブラウズ

親組織またはフォルダー

作成する キャンセル

プロジェクト作成完了までに、数秒かかる事がある。作成完了次第、右上に通知が表示される。

通知

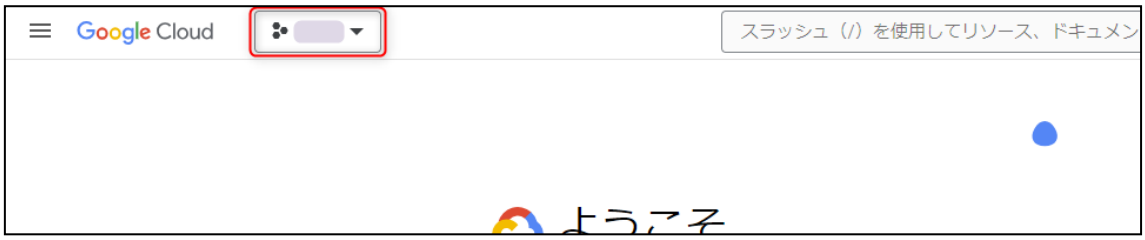
プロジェクトの作成: ojidousan-RPA ちょうど今

プロジェクトの選択

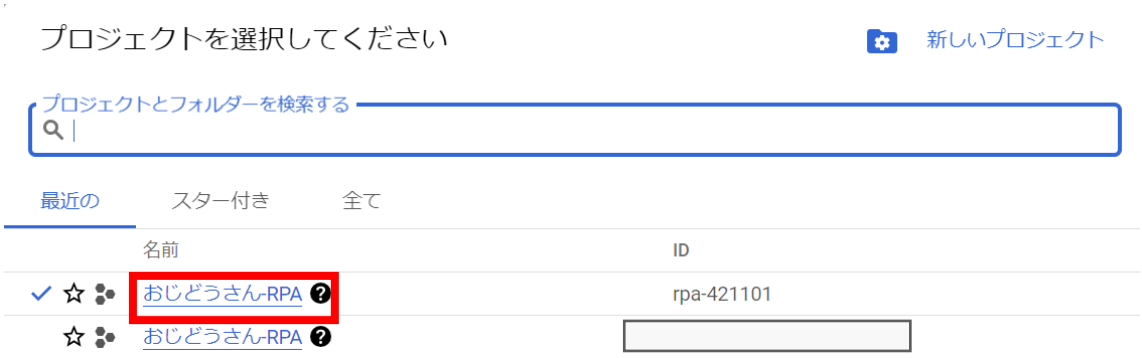
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

11.2.3. 作成した Google プロジェクトの API を有効化する

先ほど作成した Google プロジェクトを選択する。画面上部のプロジェクト選択用のボタンをクリックする。



クリックすると、これまで Google アカウントで作成したプロジェクト一覧が表示される。ここで、プロジェクト名をクリックする。



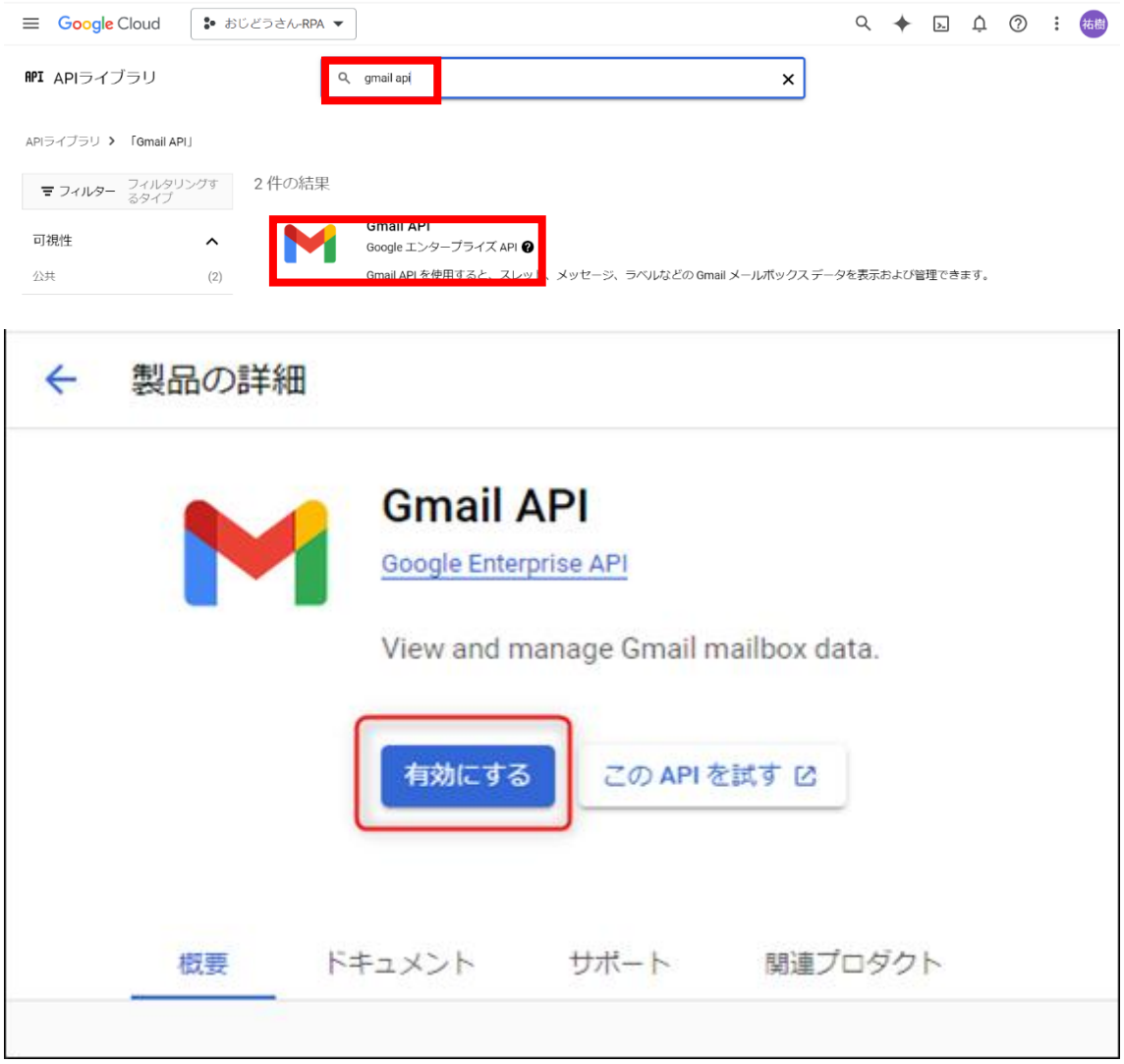
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

次に、このアカウントおよびプロジェクトで利用する API を有効化するために、左上メニューから「API とサービス」➡「有効な API とサービス」をクリックする。

API とサービス画面に遷移し、画面上部の「+ ENABLE APIS AND SERVICES」というボタンをクリックする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

おじどうさんから Google API を利用するには、「Gmail API」、「Google Drive API」、そして「Google Sheets API」を有効化する必要がある。それぞれを検索ボックスに入力し、「有効にする」ボタンをクリックする。



１つ目設定後は、画面上部の「API / サービスの詳細」の左隣の「←」をクリックすると「+ ENABLE APIS AND SERVICES」が表示されるので、２つ目以降を検索ボックスで入力し設定する。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

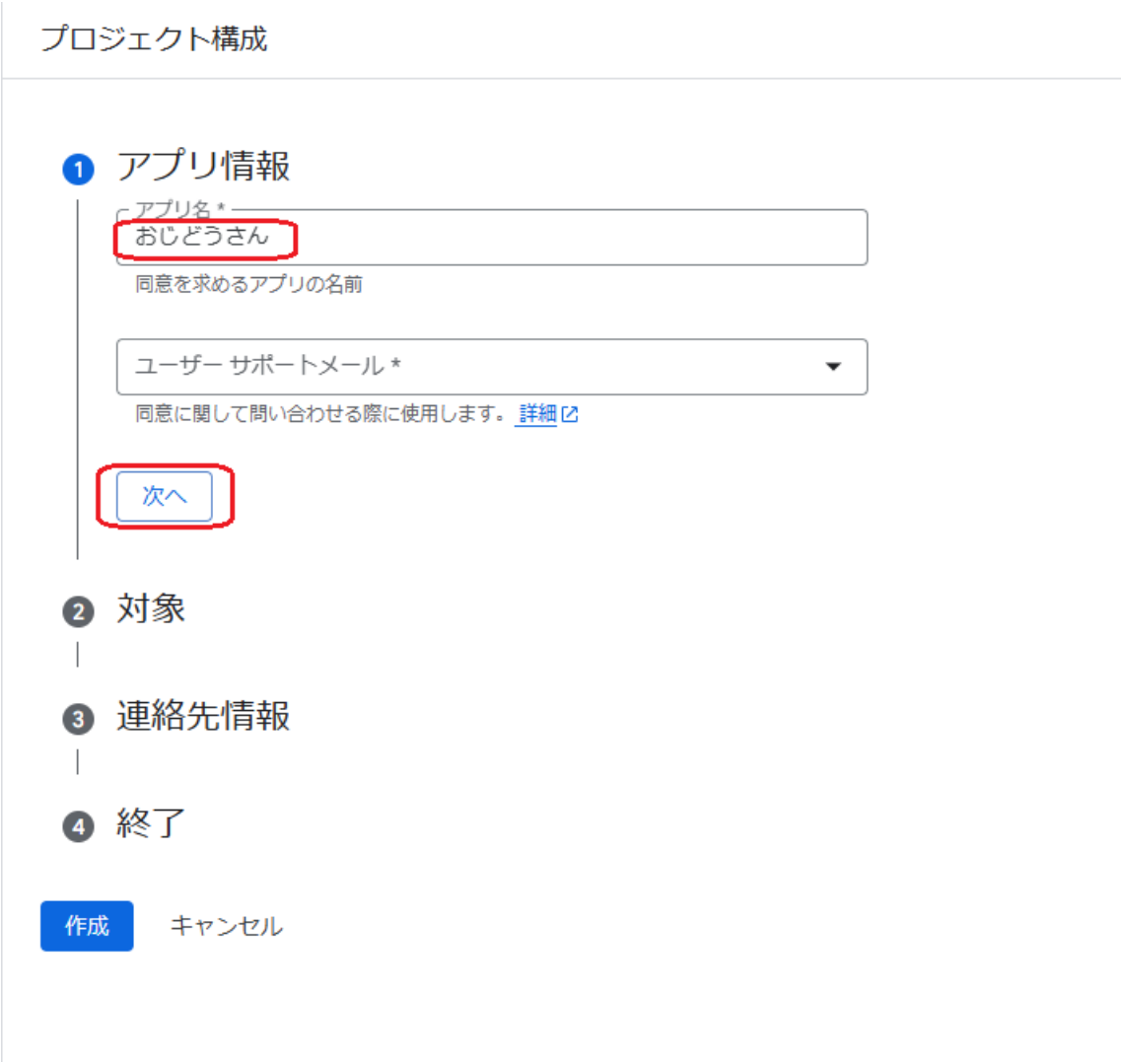
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

次に、OAuth 認証を行う際の OAuth 同意画面の設定をする。「API とサービス」メニューから、「OAuth 同意画面」をクリックする。

下記の画面が出てきたら「開始」ボタンをクリック

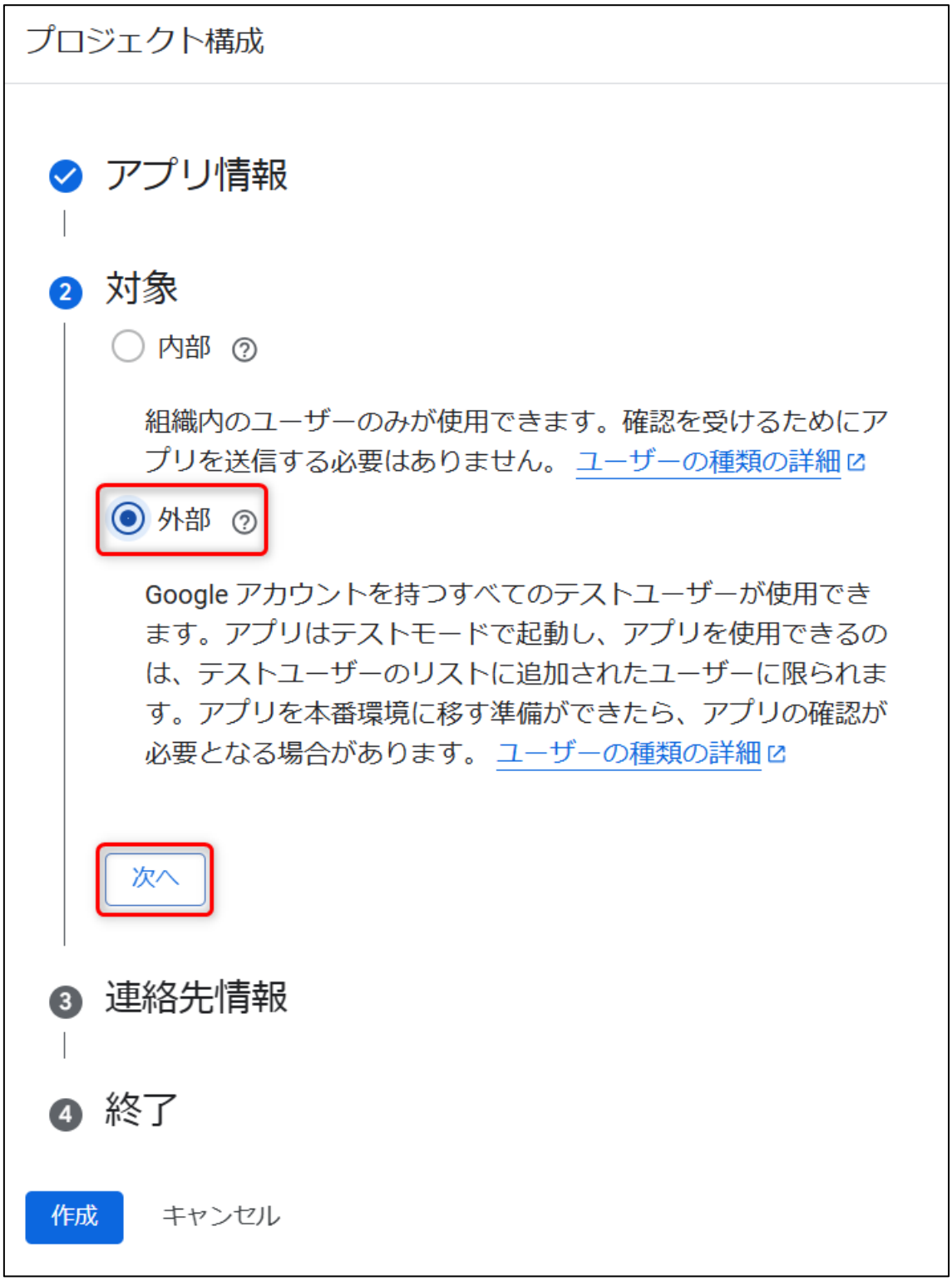
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

ここからは、OAuth 同意画面で表示する必須内容を設定する。
まずは、アプリ名を設定する。本ドキュメントでは、「おじどうさん」と設定する。ユーザーサポートメール入力欄では、ログインしている Google アカウントを選択する。入力し終わったら、「次へ」ボタンを押す。



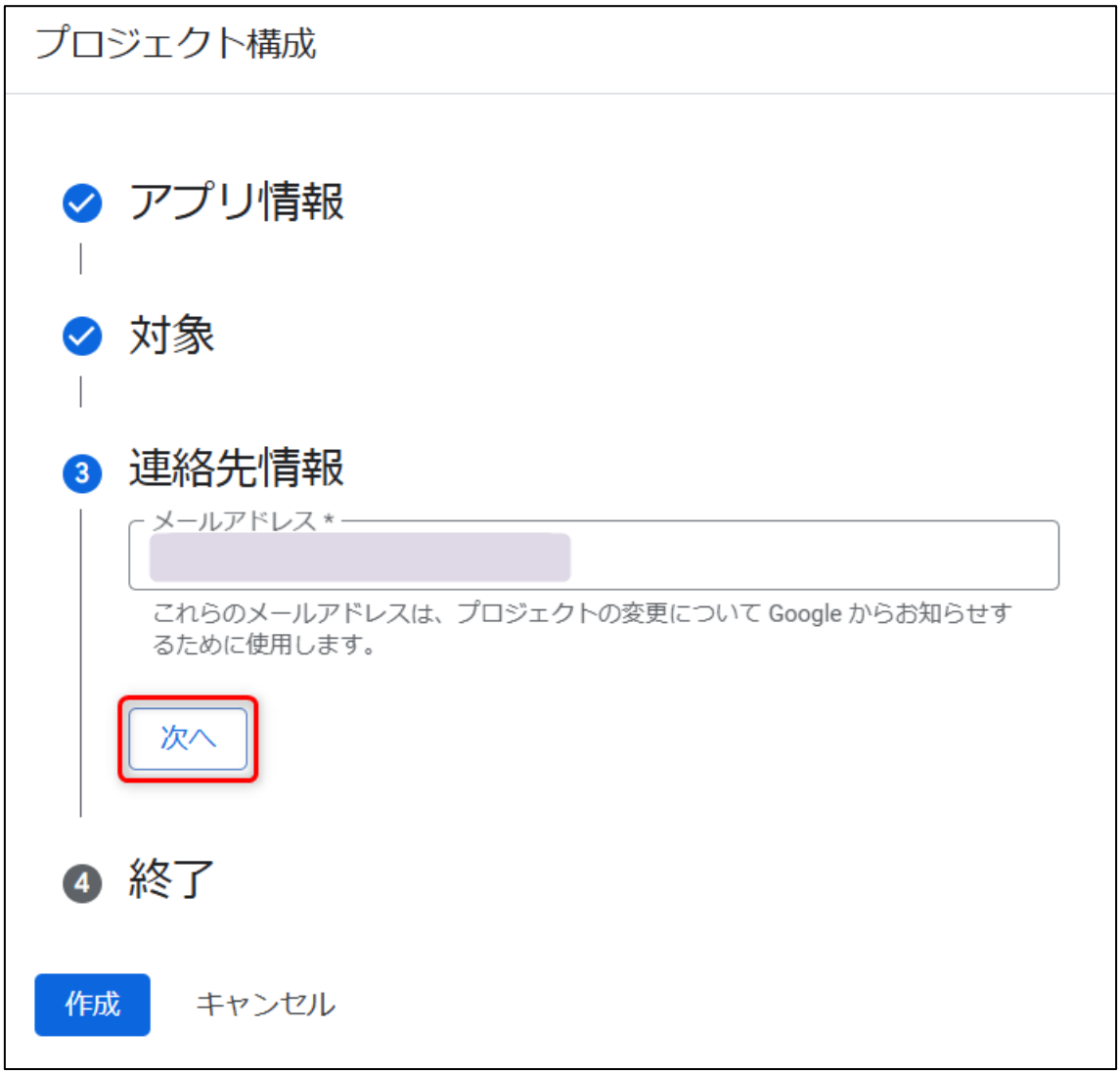
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

次に、おじどうさんのユーザータイプを入力する。ここで「外部」ラジオボタンを選択、「次へ」ボタンをクリックする。



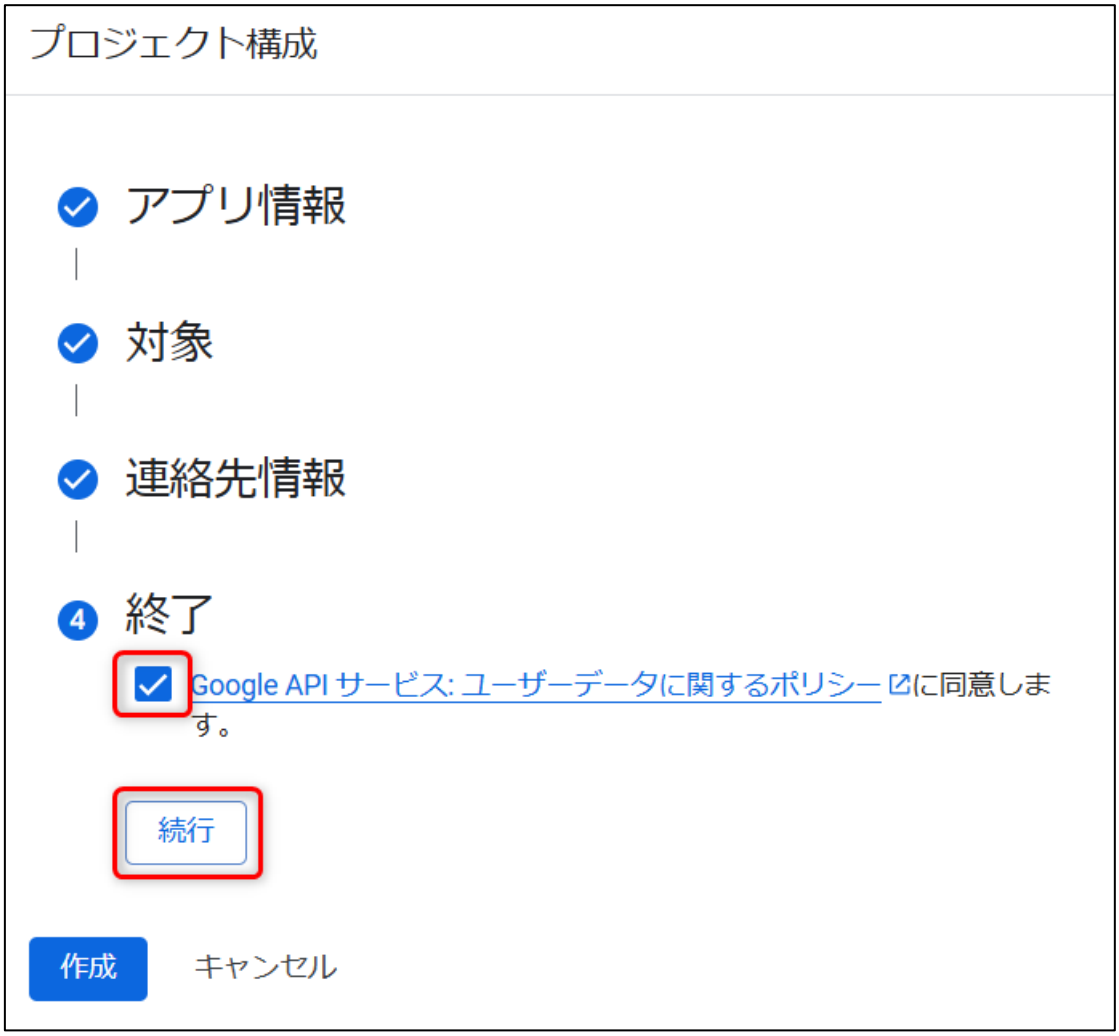
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

連絡先情報のメールアドレス欄には、ログインしている Google アカウントを選択する。入力し終わったら、「次へ」ボタンを押す。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

Google API サービスにおけるユーザーデータに関するポリシーに同意するチェックボックスを有効可し、「続行」ボタンをクリックする。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

「作成」ボタンをクリックする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

次は、「おじどうさん」の Google API における利用許可範囲（スコープ）を設定する。おじどうさんの RPA コマンドにおいて必要なスコープは、下記の通り：

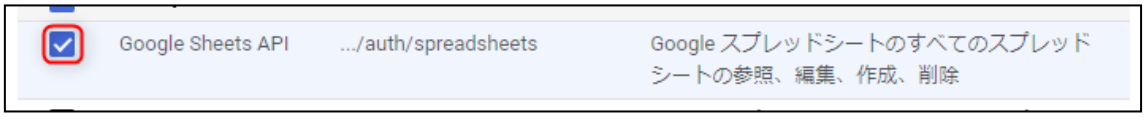
- https://www.googleapis.com/auth/gmail.modify
- https://www.googleapis.com/auth/spreadsheets
- https://www.googleapis.com/auth/drive

それぞれのスコープを追加するために、まずは「スコープを追加または削除」ボタンをクリックする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

クリックすると、画面の右側に追加できるスコープの一覧が表示される。スコープ一覧から、上記三つのスコープを探し、チェックボックスにチェックを入れる。API 名は同じ場合があるが、範囲とユーザ向けの説明が同じものを選択する。

API 名	範囲	ユーザ向けの説明
Gmail API	../auth/gmail.modify	Gmail アカウントのメールの閲覧、作成、送信
Google Drive API	…/auth/drive	Google ドライブの全てのファイルの表示、編集、作成、削除
Google Sheets API	…/auth/spreadsheets	Google スプレッドシートの全てのスプレッドシートの参照、編集、作成、削除



もしスコープが一覧に表示されていない場合は、手動で追加する必要がある。下部の入力欄に、スコープをそれぞれカンマ区切りで入力し、「テーブルに追加」ボタンをクリックすることで追加できる。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

- https://www.googleapis.com/auth/gmail.modify
- https://www.googleapis.com/auth/spreadsheets
- https://www.googleapis.com/auth/drive

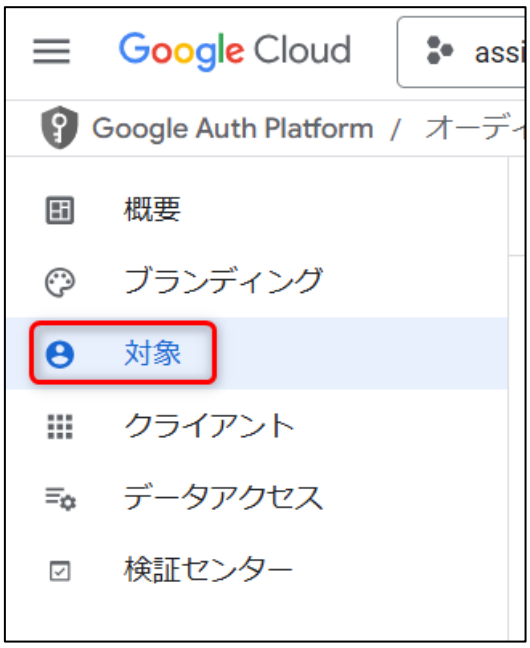
三つのスコープにチェックボックスを入れた後に、「更新」ボタンをクリックする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

うまく更新できた場合、画面に三つのスコープが下記のように表示される。表示されている事を確認し、「保存して次へ」ボタンをクリックする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

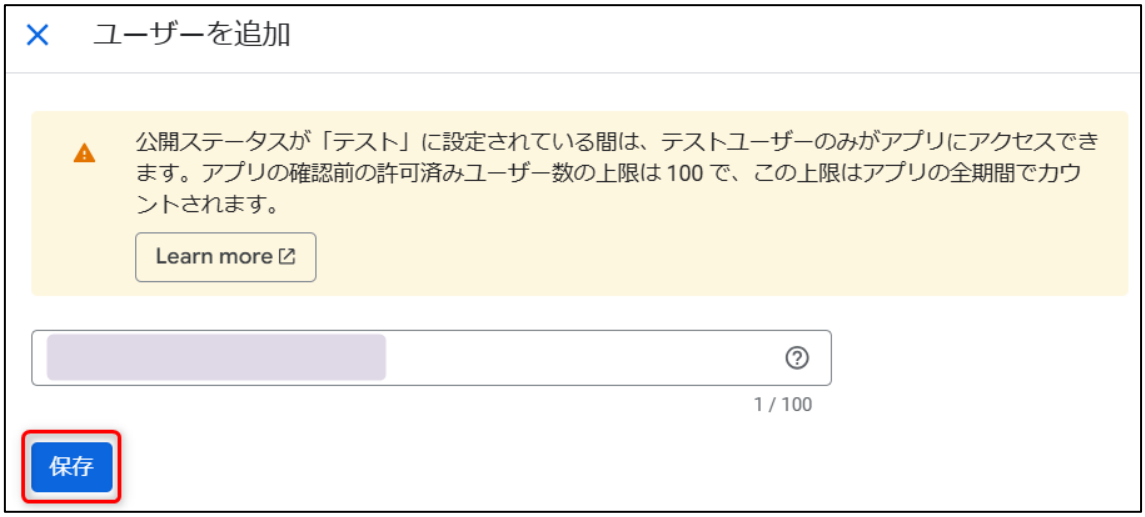
次は、「おじどうさん」を通して OAuth 認証をする際に、どの Google アカウントに認証許可をするかを設定する。まずは、左メニューの「対象」をクリックする。



下の方にある「+ Add users」ボタンをクリックする。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

すると、右側に Google アカウントを入力する欄が表示される。認証許可をしたい Google アカウントをカンマ区切りで入力し、「保存」ボタンをクリックする。



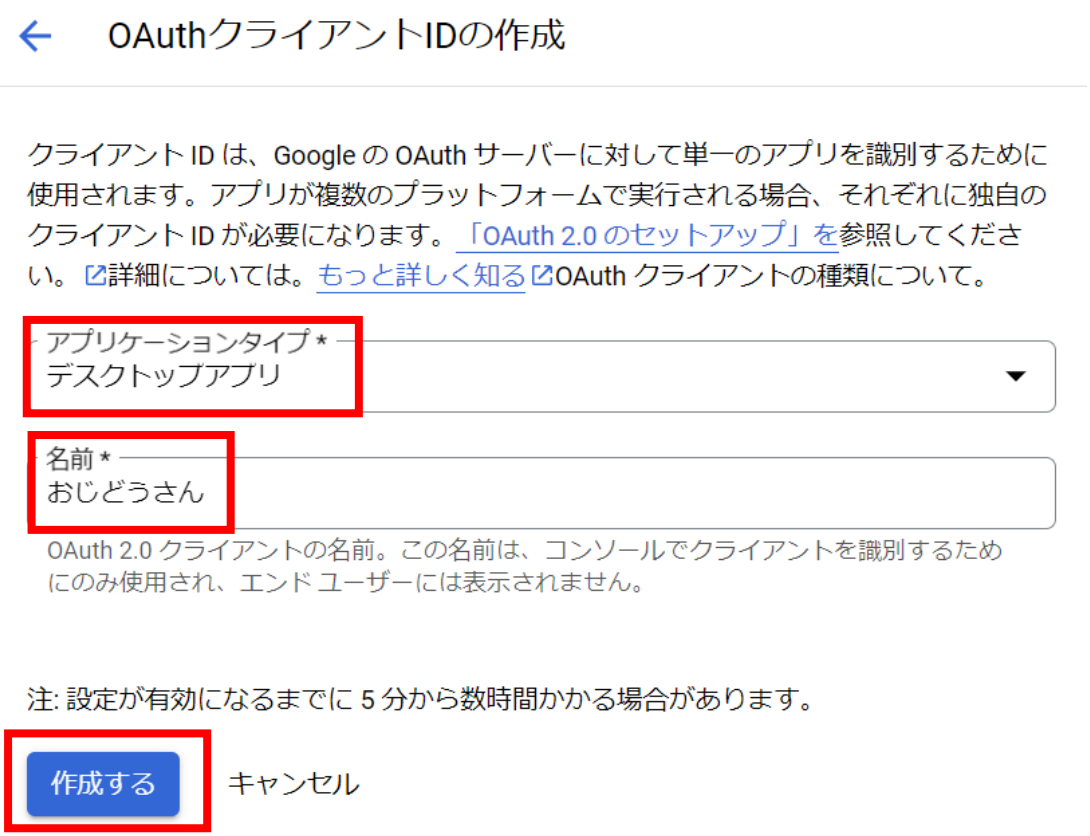
Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

11.2.4. OAuth クライアント ID を発行し、ダウンロードする

これまでの設定内容でおじどうさんに OAuth 認証を可能にするために、OAuth クライアント ID を発行する必要がある。おじどうさんにその OAuth クライアント ID を読み込ませる事で、初めて認証可能になる。

発行するには、左メニューの「クライアント」をクリックする。続いて、画面上部の「+ Create client」をクリックする。

次の画面で、おじどうさんのアプリケーションの種類を「デスクトップアプリ」に設定する。アプリ名を任意のものに設定する。「作成」ボタンをクリックする。



Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

OAuth クライアント ID が発行され次第、画面に下記のメッセージが表示される。ここには、おじどうさんに読み込ませる認証情報ファイルをダウンロードするボタンがある。「JSON をダウンロード」ボタンをクリックし、端末にファイルをダウンロードする。ダウンロードできたら「OK」ボタンをクリックする。

Google Cloud Console での操作は以上で完了。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.

11.2.5. おじどうさんにクライアント ID を読み込ませ、OAuth 認証する

おじどうさんの OAuth2 アカウント登録画面の「サービス」のドロップダウンメニューの「Google Services (Self-Registration)」を選択する。すると、下記画面のように「クライアント ID ファイル」の入力欄が表示される。インポートボタンを押し、前記手順でダウンロードした JSON ファイルを指定する。アカウント名に Google アカウントを入力し、「アプリの認証」ボタンをクリックすることで認証を行うことができる。あとは、本マニュアルの 4 .2.3.4 章の手順に沿って、アカウント登録を進める。

Copyright © BlueTec Inc. All Rights Reserved.